山梨県埋蔵文化財センター調査報告書　第136集

酒呑場遺跡（第３次）

SAKENOMIBA SITE

－酪農試験場増・改築工事に伴う発掘調査報告書－

（遺構編－前編）

1997. 3

山梨県教育委員会
山梨県農務部

酒呑場遺跡 (第3次)

SAKENOMIBA SITE

－酪農試験場増・改築工事に伴う発掘調査報告書－

（遺構編－前編）

1997. 3

山梨県教育委員会
山梨県農務部

序

本書は北巨摩郡長坂町に所在する酪農試験場の増築、改築に伴い1997年度に実施した発掘調査の報告書であります。縄文時代の環状集落の発掘のため出土遺構や遺物が膨大なため、今回は遺構のみを取り上げ報告することになりました。

酪農試験場の増築、改築に伴う発掘調査はすでに第１次調査を1995年度、1996年度に第２次調査を実施しました。本年度の調査は第３次調査になり、本事業での最終調査となりました。第１・２次調査の遺構編の報告書は本センター調査報告書第135集として本書と同時に刊行しました。また、第３次調査の遺構編は前編と後編に分けて刊行することとし、本書は前編で、後編は本センター調査報告書第169集として平成９年度に刊行します。

第１次調査では1500㎡、第２次調査では5600㎡を調査し、今回の第３次調査では3000㎡を調査しましたので、合計10100㎡の大規模調査となりました。酪農試験場が立地する小丘は全体が縄文時代の集落であり、縄文時代前期から中期にわたり集落が若干地点を変えながら営まれている状況が把握されました。したがって、約１万㎡の調査地域全体に密に遺構や遺物が出土する状況でありました。第１次調査では縄文前期から後期にかけての住居跡が37軒、土坑などが650基、第２次調査では縄文前期から中期の住居跡117軒、土坑など3500基、古墳時代前期の住居跡15軒、掘立柱建物址４棟、近世の溝１条が調査されました。第３次調査では縄文前期から中期の住居跡59軒、土坑など1700基、古墳時代前期の掘立柱建物址１棟、中・近世の溝１条を調査しました。合計では、縄文時代の住居跡213軒、土坑など5850基、古墳時代前期の住居跡15軒、掘立柱建物址５棟、中・近世の溝２条となります。これほど大規模な縄文時代を中心とする集落の調査は、本県では釈迦堂遺跡群に継ぐ規模の調査となりました。

今回調査した地域は縄文中期前葉から中葉の環状集落の中央部分の約1/4程度にあたり、復元すると直径200mほどの規模になります。第２次調査で3200㎡を調査しましたので、全体の２割程度を調査したことになります。本調査区に関連する縄文中期集落は、農場などで保存されている部分を含めておそらく800軒規模の拠点的集落であったと思われます。環状集落の一部の調査ではありますが、今回の発掘の成果が縄文時代の研究の進展とその保存のための一助となれば幸甚です。

最後に発掘調査から報告書の刊行までの過程で、ご助力いただいた関係機関各位、ならびに発掘調査や整理作業に参加いただいた方々に衷心より御礼申し上げます。

１９９７年３月

山梨県埋蔵文化財センター
所　長　大塚　初重

例　言

1　本書は、山梨県北巨摩郡長坂町長坂上条621－2に所在する酪農試験場内の酒呑場（さけのみば）遺跡の発掘調査報告書である。1994年の第1次調査、1995年の第2次調査に引き続き行なった1996年の第3次調査の発掘調査報告書で、発掘成果の内、今回は遺構の記載と図面のみを報告する。

2　本書は第3次調査の内、グリッドでB，A列とA′列からJ′列およびK′列の内27～33グリッド部分を前編として掲載し、残りの部分は後編で取り扱う。

3　本調査は農務部の依頼受けて山梨県教育委員会が実施した、酪農試験場の増・改築工事に伴う発掘調査である。

4　発掘調査および整理作業、報告書刊行は、山梨県埋蔵文化財センターが行なった。

5　本書の執筆は、第1～2章を保坂康夫、第3～4章を村松佳幸と五味孝広（調査員）が共同で行い、編集は保坂が行なった。

6　本書にかかわる出土品および図面、写真は、山梨県埋蔵文化財センターが保管している。

7　発掘調査から報告書刊行までに、次の方々からご指導、ご助力いただいた。記して衷心より御礼申し上げる次第である。

杉本充、小宮山隆、伊藤公明、坂上寛一、Ilona　Baush、杉本陽、宮尾亨、尾谷卓一、萩原三雄、河西学、鈴木稔、谷口康浩、櫛原功一

目　　次

序
例言
目次
挿図目次
第Ⅰ章　発掘調査の経過
　第1節　発掘調査に至る経過 ---------- 1
　第2節　調査組織 ---------- 1
　第3節　調査の方法と経過 ---------- 2
第Ⅱ章　遺跡の概要と立地
　第1節　遺跡の概要 ---------- 6
　第2節　遺跡の立地と土層 ---------- 6
第Ⅲ章　縄文時代の遺構
　第1節　住居跡 ---------- 7
　第2節　土坑 ---------- 70
　第3節　炉址 ---------- 143
　第4節　配石 ---------- 144
　第5節　屋外埋甕 ---------- 145
第Ⅳ章　古墳時代、中・近世の遺構
　第1節　古墳時代の掘立柱建物址 ---------- 149
　第2節　中・近世の溝状遺構 ---------- 149

挿図目次

第１図　酪農試験場旧建物配置と調査区の配置図 --- 2
第２図　遺跡の位置と周辺の遺跡 ---------- 3
第３図　調査地点の位置図 ---------- 3
第４図　遺構全体図 ---------- 5
第５図　１号住居跡 ---------- 26
第６図　２号住居跡 ---------- 27
第７図　３号住居跡（１） ---------- 28
第８図　３号住居跡（２） ---------- 29
第９図　４号住居跡 ---------- 30
第10図　５号住居跡 ---------- 31
第11図　６号住居跡 ---------- 32
第12図　７・８・９号住居跡 ---------- 33
第13図　１０号住居跡 ---------- 34
第14図　１１号住居跡 ---------- 35
第15図　１２号住居跡 ---------- 36
第16図　１３号住居跡 ---------- 37
第17図　１４号住居跡 ---------- 38
第18図　１５号住居跡 ---------- 39
第19図　１６号住居跡（１） ---------- 40
第20図　１６号住居跡（２） ---------- 41
第21図　１７号住居跡 ---------- 42
第22図　１８号住居跡 ---------- 43
第23図　１９号住居跡 ---------- 44
第24図　２０号住居跡 ---------- 45
第25図　２１号住居跡 ---------- 46
第26図　２２号住居跡 ---------- 47
第27図　２３号住居跡 ---------- 48
第28図　２４号住居跡 ---------- 49
第29図　２５号住居跡 ---------- 50
第30図　２６号住居跡 ---------- 51
第31図　２７・２８号住居跡 ---------- 52
第32図　２９号住居跡 ---------- 53
第33図　３０・３１号住居跡 ---------- 54
第34図　３２号住居跡 ---------- 55
第35図　３３号住居跡（１） ---------- 56
第36図　３３号住居跡（２） ---------- 57
第37図　３４号住居跡 ---------- 58
第38図　３５号住居跡 ---------- 59
第39図　３６号住居跡 ---------- 60
第40図　３７号住居跡 ---------- 61
第41図　３８号住居跡 ---------- 62
第42図　３９号住居跡 ---------- 63
第43図　５１号住居跡 ---------- 64
第44図　５２号住居跡 ---------- 65
第45図　５３号住居跡 ---------- 66
第46図　５４号住居跡 ---------- 67
第47図　５５・５７号住居跡 ---------- 68
第48図　５６号住居跡 ---------- 69
第49図　土坑分布区割り図および炉址分布図 --- 82
第50図　土坑（1/60)(A23・24区内) ---------- 83
第51図　土坑（1/30)(B24、A23・25・26区内) ---- 84
第52図　土坑(1/60)炉址(1/30)(B25・26、A25・26区内) -- 85
第53図　土坑（1/60)(B27・28、A27・28区内) ---- 86
第54図　土坑（1/30)(A27・28、A'25区内) -------- 87
第55図　土坑(1/60)炉址(1/30)(B29、A29、B31、A31区内) --- 88
第56図　土坑（1/60)(A'25・26区内) ---------- 89
第57図　土坑（1/30)(A26、A'26・27・28区内) --- 90
第58図　土坑（1/60)(A'27・28区内) ---------- 91
第59図　土坑（1/60)(1/30)(A'29・30区内) ------- 92
第60図　土坑（1/60)(1/30)(A'31・32区内) ------- 93
第61図　土坑（1/60)(B'25・26区内-(1)) ---------- 94
第62図　土坑(1/60)焼土(1/30)(B'25・26区内-(2)) --- 95
第63図　土坑（1/30)(B'25・26・27・28区内) ------ 96
第64図　土坑（1/60)(B'27・28区内) ---------- 97

第65図　土坑(1/60)(B'29・30区内) ---------- 98
第66図　土坑(1/60)(1/30)(B'31・32区内) ----- 99
第67図　土坑(1/60)(1/30)(C'24区内) -------- 100
第68図　土坑(1/60)(C'25・26区内) ---------- 101
第69図　土坑(1/60)(C'27・28区内) ---------- 102
第70図　土坑(1/30)(C'28・29・30区内) -------- 103
第71図　土坑(1/60)(C'29・30区内) ---------- 104
第72図　土坑(1/30)(C'30・31区内) ---------- 105
第73図　土坑(1/60)(1/30)(C'31・32区内) ----- 106
第74図　土坑(1/60)(D'27・28区内) ---------- 107
第75図　土坑(1/60)(D'29・30・32区内) -------- 108
第76図　土坑(1/30)(D'25・29・30区内) -------- 109
第77図　土坑(1/60)(E'25・26区内) ---------- 110
第78図　土坑(1/30)(E'25・26区内) ---------- 111
第79図　土坑(1/60)(E'27・28区内) ---------- 112
第80図　土坑(1/60) 石囲炉(1/30)(E'29・30区内) -- 113
第81図　土坑(1/60)(1/30)石囲炉(1/30)(E'29・30区内) --- 114
第82図　土坑(1/60)(E'33・34区内) ---------- 115
第83図　土坑(1/60)(F'25・26区内) ---------- 116
第84図　土坑(1/60)(F'27・28区内) ---------- 117
第85図　土坑(1/60)(1/30)(F'31・32区内) ----- 118
第86図　土坑(1/60)(F'33・34区内) ---------- 119
第87図　土坑(1/60)(G'26・27・28区内) -------- 120
第88図　土坑(1/30)(G'27・28区内) ---------- 121
第89図　土坑(1/60)(G'29・30区内) ---------- 122
第90図　土坑(1/60)(G'31・32区内) ---------- 123
第91図　土坑(1/60)(G'33区内) ---------- 124
第92図　土坑(1/60)(H'26・27・28区内) -------- 125
第93図　土坑(1/30)(H'27・28・32区内) -------- 126
第94図　土坑(1/60)(H'29・30区内) ---------- 127
第95図　土坑(1/60)(H'31・32区内) ---------- 128
第96図　土坑(1/60)(H'33区内) ---------- 129
第97図　土坑(1/60)(I'27・28区内) ---------- 130
第98図　土坑(1/30)(I'27・29区内) ---------- 131
第99図　土坑(1/60)(I'29・30区内) ---------- 132
第100図 土坑(1/60)(I'31・32・33区内) --------- 133
第101図 土坑・炉址(1/30)(I'31、J'30、K 30区内) --- 134
第102図 土坑(1/60)(J'27・28区内) ---------- 135
第103図 土坑(1/60)(J'29・30区内) ---------- 136
第104図 土坑(1/60)(J'31・32区内) ---------- 137
第105図 土坑(1/30)(J'31・32・33区内) --------- 138
第106図 土坑(1/60)(K'27)(1/30)(K'25・26区内) --- 139
第107図 土坑(1/60)(K'29・30区内) ---------- 140
第108図 土坑(1/60)(K'31・32区内) ---------- 141
第109図 土坑(1/60)(1/30)炉址(1/30)(K'33区内) --- 142
第110図 配石・屋外埋甕分布図 ---------- 146
第111図 配石（1） ---------- 147
第112図 配石（2）・屋外埋甕 ---------- 148
第113図 古墳時代、中・近世の遺構分布図 ----- 150
第114図 古墳時代、中・近世の遺構 ---------- 151

第Ⅰ章　発掘調査の経過

第１節　発掘調査に至る経過

北巨摩郡長坂町長坂上条にある酪農試験場は、戦後まもなくの昭和２５年に建設され、その当時の木造建築が今日まで使用されてきたが、老朽化が激しいため、国庫補助を受けて改築、増築を行なうことが県農務部農業技術課によって計画された。埋蔵文化財の有無について相談を受けた学術文化課は、１９９４年２月に簡単な試掘調査を急遽実施したところ、いずれの地点においても縄文時代の遺構や遺物が出土することが判明し、発掘調査を全面的に実施することとなった。発掘調査は旧建築物の解体作業を待って１９９４年９月より開始した。１９９４年９月から１９９５年１月にかけて第１次調査、１９９５年４月から１２月にかけて第２次調査を実施した。第３次調査は、農務部畜産課が窓口となり国庫補助を受けて１９９６年に実施した搾乳牛舎の改築に伴う発掘調査である。調査は４月１５日に器材を搬入して開始した。当初２１５０㎡を対象とし発掘調査を開始したが、建物の設計進んだ８月段階になって関連施設の建設のためさらに８７０㎡の追加が必要であることが協議された。調査は１０月から開始した追加部分も含め１１月１３日に終了した。引き続き、整理作業に入り、１９９７年８月２０日まで行なった。

第２節　調査の組織

調査主体　山梨県教育委員会
調査機関　山梨県埋蔵文化財センター
調査担当者　保坂康夫、村松佳幸
調査員　五味孝広
調査作業員
小林としえ、小林立枝、小林裕、河手寿子、伊藤杉子、三井幸子、壷屋てる子、平嶋純一、平嶋弘子、小尾トヨ子、山崎笑美子、保坂実香子、内藤陽一、高橋純子、日向たまの、酒巻正道、八巻久子、大嶋むら子、名取初子、八巻重子、平井欣一、平井幸子、輿石勉、守屋敏子、田中玲子、山坂千恵子、窪田満子、秋山かつ糸、須賀富雄、田中真一、吉田香代子、大嶋貴賀、篠原かつみ、小尾ねのえ、渡辺早月、大柴富子、猿田定雄、藤原近雄、牛山政志、和田暢子、藤原照代、佐藤真佐美、浅川茂子、渡辺旭光、山中敏夫、戸島義和、千野あやめ、今村香恵子、浅川たつ子、浅川保代、千野松代、佐藤絵梨、麻川こずえ、川戸郁子、柏木理沙、井戸明、神沢正孝、森本通久、羽中田弘、柴田昭二、清水重雄、小澤功子、大塚紀弘、田野裕之、秋葉多聞、山岸広輔、渡辺耕、水矢亨、岡野由希、小西敬、春野祐司、加藤栄一、宮内美和、久野洋平、高田あや、船場昌子、小林益子、大沢寛一、岸村顕広、日尾有宏、山内秀樹、楯石健太郎、田中真理、一瀬利明
整理作業員
雨宮寛美、藤井多恵子、渡辺旭光、田中真理、荻原光代、一瀬好子、長田奈代子、末木義光、菊島慶子、浅野由美子、石原恵、平美与子、堀口恵子、原田みゆき、土屋道子、高野真寿美、深沢聡美、沢登由美

第３節　発掘調査の方法と経過

第１・２次調査ではＡ～Ｈ区までの調査区を設定し調査が終了しており、今回の調査区をＩ区とする（第１図）。

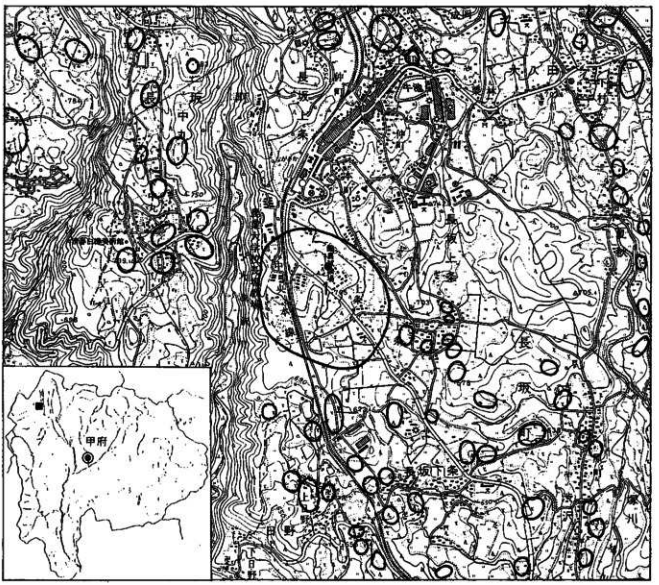
発掘調査では、排土置き場を調査区内に求めねばならなかったことから、まず調査地域の東側約半分を前半に、追加部分を含めた西側半分を後半に調査した。重機により表土剥ぎし、その後は人力により掘り下げた。２０～３０㎝の耕作土の直下から遺物の出土が激しく、２０～３０㎝の暗褐色土の包含層が良好に残存し、包含層の調査後に住居跡や土坑などの遺構が確認された。なお、曽利Ⅴ式期の配石や屋外埋甕については、重機による耕作土の除去直後に確認され、屋外埋甕は口縁部が一部失われた状態であり、配石も耕作土直下で出土しているので、曽利Ⅴ段階の地表面が辛うじて残存するような状況である。こうした状況から推定して、曽利式段階の遺物や遺構の多くが、比較的浅いレベルに包含されていて、耕作等でほとんどが撹乱されている可能性がある。酪農試験場の職員の話では農場耕作で多量の遺物が出土したとのことであるが、井戸尻式期以前の遺構・遺物は比較的深いレベルに保存されていて良好な出土状態であったので耕作等で撹乱された可能性が低い。こうした発掘の所見からすると浅いレベルに包含されていた曽利式期の遺物が耕作で多量に出土していた可能性がある。

グリッドの設定については、５m方眼で第１・２次調査のグリッド区割りと連続する。グリッド名称は東西方向に東からＢ、Ａ、Ａ'、Ｂ'、Ｃ' ～Ｎ' とダッシュを付けたアルファベットを主にし、南北方向は南から２３～３４と算用数字を付して、たとえばＡ' ２３区といった名称を各グリッドに付けた。

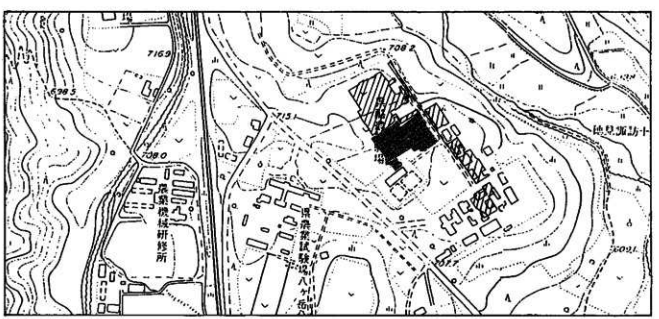
調査時には、５m方眼をさらに４分割し、北東部、南東部、南西部、北西部の順で時計回りに１、２、３、４と番号を付け、遺物の一括取り上げについてはこの４分割を単位として袋詰めし取り上げた。したがって、一括遺物のグリッド名はたとえばＡ' ２３－１といった名称になる。調査ではこの小グリッドに１～２人の作業員が入り移植ゴテ等で精査した。その際周囲に幅５０㎝のベルトを残し、常に土層断面が観察できるように配慮した。したがって、掘り下げ当初は２m区画を掘り下げることになる。遺構が確認できた段階で遺構に関わらないベルトは除去し、遺構の掘り下げを行なった。

さらに、発掘時には各グリッドごとに１０㎝深度で遺物をまとめ袋詰めし、それごとに①、②、③と丸文字の

第１図　酪農試験場旧建物配置と調査区の配置図（1／2000）



第２図　遺跡の位置と周辺の遺跡（１が酒呑場・長坂上条遺跡、黒丸が調査地点、1／25000）



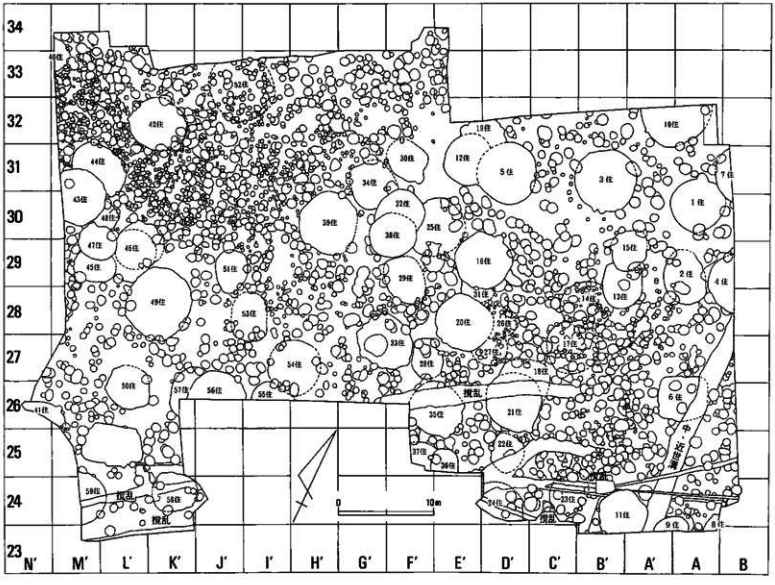
第３図　調査地点の位置図（薄黒が調査地点、1／5000）

算用数字で名称を付けて取り上げた。したがって、一括遺物の袋にはたとえばA’２３－１－①といった名称が付くことになる。ただし、最上層の①については、重機による耕作土除去後の面から上方１０cm以内に水糸を水平に設定し、そのレベルから１０cmの範囲としたので、最上層は１０cmより薄い範囲の遺物群となる。水糸は標高で７１２．８mなどと１０cm単位の標高に合わせて設定したので、各グリッドの一括遺物の取り上げ単位は出土レベルにおいても統一性を持たせることができ、統計処理が可能となる。なお、住居跡についても取り上げレベル区割りはグリッドと連続しており、出土レベルの取り上げ単位はグリッドと統一的に扱えるが、平面については遺構の範囲に限定されることになり、面積的には不統一となる点注意を要する。

遺物の取り上げについては、手のひらの大きさ以下のものについては一括遺物として、先のクリッド、層位名称を付して一括して袋詰めして取り上げたが、手のひらの大きさより大きいものについては、光波測距儀と小型コンピュータによるトータルステーションによってX（南北方向）・Y（東西方向）・Z（標高）の基準軸を設定して、位置を計測しデジタルデータとして記録した。特に大型の土器や礫についても１点ないしは２点（最上部と最下部）を計測し、その遺物の位置として代表させた。住居跡出土土器などは完形状態で出土したものについてもこの方法で位置データを記録したが、これとは別に土坑出土土器や礫、単独出土土器や礫については極力、出土状態の微細図を作成した。手のひらより小さな遺物で黒曜石製の石器や石斧、装飾品などで主立ったものについては適宜位置デタの記録を行なった。また、調査の前半では排土のすべてを各グリッド小区割りの層位別に２mmメッシュの電動フルイにかけて、微小遺物の採集作業を実施した。これには相当の労力が必要なため、途中で遺構内の排土のみに限定し、さらに最終的には遺物等の出土状態で注目される任意の遺構に限定した。

G’２６区で安山岩製の石刃１点が採集されたため、この付近の５０㎡ほどを８０～９０cmローム層をジョレンで精査しながら掘り下げたが遺物はまったく出土しなかった。

なお、土層の色調表記は黒色から褐色へ順次、黒色、暗黒褐色、黒褐色、明黒褐色、暗褐色、明暗褐色、褐色、明褐色と表記し、地山のローム層は暗黄褐色、黄褐色、明黄褐色と表記した。



第４図　遺構全体図（1／400）（配石、炉址、屋外埋甕、古墳時代・中世遺構は別図）

第Ⅱ章　遺跡の立地と環境

第１節　遺跡の概要

縄文時代の住居跡５９軒を確認、調査した。内訳は縄文前期後半の諸磯ｂ式期を中心とする住居跡１２軒（２、４、８、９、１１、１４、１５、２２、２３、３１、３６、３７号住居跡）、中期の五領ケ台式期１０軒（６、２４、３０、３４、４６、４７、４８、５５、５７、５９号住居跡）、猿沢式期５軒（１６、１７、１９、４４、４５号住居跡）、新道式期６軒（１、１２、２６、２７、２９、３２号住居跡）、藤内式期１４軒（５、７、１０、１８、２０、２８、３３、３５、４０、４９、５０、５１、５３、５６号住居跡）、井戸尻式期９軒（３、２５、３８、３９、４１、４２、４３、５２、５４号住居跡）、曽利式期３軒（１３、２１、５８号住居跡）である。諸磯式期の住居跡は調査区南東部にまとまっており、第１・２次調査の成果からして本調査区より南東方向に集落の中心があると思われる。縄文中期前半から中葉の五領ケ台式期から井戸尻式期の住居跡は第１・２次調査の成果もふまえると環状集落を形成している。第２次調査のＣ区南西部と今回調査したＩ区北西隅部に住居跡のない土坑のみによって構成される円形の空間があり、この部分を中心とし、直径２００ｍほどの規模のものと推定される。曽利式期は住居跡数が少なく南部に集まる。しかし、発掘所見からして、土層の高いレベルに包含されていたことから大半が撹乱されている可能性があり、第１・２次調査の成果からして、中期中葉までの環状集落とは別の中心を持つ集落を形成していた可能性がある。

土坑は約１７００基である。諸磯式期から曽利Ⅴ式期までである。この他、住居跡への帰属が不明な炉址が１３基、曽利式段階と思われる配石が９基、曽利Ⅴ式期の屋外埋甕が２基ある。

縄文時代以外の遺構は、古墳時代の掘立柱建物址１棟（２間×１間）、同時代の小ピット１基、中世から近世と思われる溝状遺構が１条確認できた。これらの遺構は出土遺物がないが、帰属時期については、同様な遺構が第１・２次で確認されていることや、覆土の特長などから判断した。

第２節　遺跡の立地と土層

遺跡の立地する地点は、八ケ岳火山が大規模爆発によって山体崩壊し、その折に流下した山体の一部が基盤となったいわゆる「流れ山」（約３０万年前頃形成）と思われる小山の上面に位置する。小山上面の平坦面は非常に広く、西側をＪＲ中央線に南北に立ち割られているものの、大深沢川の崖線まで同一面と思われる。北側はより高い面を持つ別の流れ山の南斜面に接している。南側は縄文晩期の配石が調査された長坂上条遺跡の立地する低湿地面が広く展開するが、そこから小山に向かって入江状に低湿地が入り込んでいて、あたかもＵの字状を呈している。

小山の平坦面は広くローム層に覆われており、地表面から６ｍほどでＰｍ－Ｉ（御岳火山第１軽石層、８万年前頃降灰）が存在するという。土層について工事中の掘削面で２ｍ弱までが観察できた。２０㎝ほどの耕作土の下に３０㎝ほどの明暗褐色土があり、縄文土器を包含する。その直下に３０㎝ほどのかなりソフト化したローム層がある。明るい褐色で湿気が強く、削るとさらさらとした砂質な質感で乾燥したときの構造が粒状である。その下位にうっすらと暗い暗色帯が４０㎝ほどの厚さで存在することが確認できた。ポコポコした質感の団塊状構造をもつハードローム層で暗褐色を呈し、たまに木炭片を含む。暗色帯は調査地点のうち最も高いＭ`ラインで確認できたが、より低い北にいくほど不鮮明になり消滅しており、おそらく保存状況のよい地形の高い部分に部分的に残存しているものと思われる。その下位は明褐色のハードローム層でポコポコした質感はなく非常に硬質で削るとネットリとした粘性がある。

第Ⅲ章　縄文時代の遺構

第１節　住居跡

１号住居跡

(位置)　Ａ－30・31、一部Ａ'－30グリッドに位置している。

(重複・改築)　住居跡南壁は、Ａ－30イ土坑に切られ、北壁は、ＮＯナシ土坑と重複関係にある。北東壁側は、７号住居跡に切られている。

(形態・規模)　形態は円形を呈する。規模は長径5.34m、短径5.09mを測る。

(壁・周溝)　壁の立ち上がりは垂直に近く、深さが最大36cm、最小３cmを測る。周溝は、北東壁側にわずかに存在し、幅最大32cm、深さ床より最大10cmを測り、東側を７号住居跡に切られている。また他の壁方向には、周溝は確認されなかった。

(床面)　ローム地床で、硬化している。

(柱穴)　各柱穴は、11本あり、35×32cm前後の円形を呈し、最大58×55cmを測り、最大64cm、最小９cmの深さを測る。主柱穴は、Ｐ－２（床面よりの深さ57cm)、Ｐ－３（床面よりの深さ42cm)、Ｐ－４（床面よりの深さ64cm)、Ｐ－５（床面よりの深さ61cm）の４本である。深さ30cm前後の支柱穴がある。Ｐ－６（床面よりの深さ35cm)、Ｐ－７（床面よりの深さ33cm)、Ｐ－８（床面よりの深さ28cm）の3本である。Ｐ－９は深さ16cmと浅いが、Ｐ－４、Ｐ－５の主柱穴の間にあり、支柱穴と思われる。

(炉)　地床炉で、径127×95cm、深さ36cmを測り、最大14cmの焼土、その下層には余熱により硬化したロームが分布。

(時期)　新道式期。

(出土遺物)　住居跡の炉址より西側覆土中、中層～下層にわたり黒曜石チップが多数出土し中層が特に多い。

(覆土)　覆土は、暗褐色土を基調とし、ローム粒、カーボン粒を全体に含む。

２号住居跡

(位置)　Ａ－28・29、Ａ'－28・29グリッドに位置している。

(形態・規模)　確認面が地山ローム層のため、北東側の壁が検出できず、壁際のピットにより想定。形態は楕円を呈するものと考えられ、規模は長径推定で5.10m、短径推定で3.70mを測る。

(壁・周溝)　東壁の一部、南壁、西壁は確認されたが、北壁、東壁の一部は確認できなかった。壁の立ち上がりは傾斜で、深さが最大19cm、最小５cmを測る。周溝は存在しない。

(床面)　ローム地床で、硬化面が所々にある。

(柱穴)　Ａ－29イ、ロ、ホ土坑に本住居跡は切られ、その土坑底部には、本住居址の柱穴がある。南西側の壁は、Ａ'－28ロ、ホ土坑に切られる。主柱穴はなく、径55～12cmの比較的浅い柱穴が35本、床及び、壁際で検出され、住居跡西側には、おおよそ等間隔で、壁外柱穴と思われる径40cm前後の柱穴が、１列に４本並び、そのうち中２本は建て替えと思われ、各１つずつと切り合っている。Ｐ－１～Ｐ－17は、床面からの深さが30cm以深であるもので、Ｐ－４が62cm、Ｐ－７が52cm、Ｐ－10が57cmと特に深く、これ以外は30cm台である。これらは、住居の比較的内側にあり、Ｐ－１～３、Ｐ－４、Ｐ－５～７、Ｐ－８・９、Ｐ－10・11、Ｐ－12～15および壁外のＰ16・17と７つの群を成している。30cm未満の深さのピットは全体に分散分布している。柱の建て替えを考えても、深い柱穴群の中の柱穴が主柱穴的な役割をになっていたと考えられよう

(炉)　地床炉で、径96×85cm、焼土部の深さ５cmを測り、炉址直上に、礫が点在していた。

(時期)　諸磯式期。

(出土遺物) A'－29－2、覆土最下層より、土棒が横位にて出土。

3号住居跡

(位置) A'－31・30、B'－31・30グリッドに位置している。

(重複・改築) 東壁をA'－31ホ土坑、西壁をC'－31ホ土坑、南壁をNOナシ土坑にそれぞれ切られている。

(形態・規模) 形態は円形を呈する。規模は長径6.40m、短径6.32mを測る。

(壁・周溝) 壁は垂直に立ち上がり、壁高が最大17cm、最小1cmを測る。周溝は全周しており、幅最大で35cm、深さ18cmを測り、一部ではあるが、住居跡拡張と思われる周溝が南西壁周溝内側にわずかに確認された。

(床面) ローム地床。全体に硬化。

(柱穴) 主柱穴はP－9（床面から深さ77cm）、P－10（床面から深さ67cm）、P－12（床面から深さ73cm）、P－13（床面から深さ69cm）、P－14（床面から深さ73cm）、P－15（床面から深さ74cm）、P－16（床面から深さ83cm）、P－22（床面から深さ65cm）の8本である。60cm以上の深さのピットは他にP－3～5、P－7、P－23で、主柱穴のP－12、P－10周辺に深いピットが集まる。50cm台の深さのピットはP－1、P－18、P－21、P－24、40cm台がP－20の中央のピット、P－25、P－6、P－2である。30cm台のものは、B'－31ロ土坑の南北両側にあるピット以外になく、他の小ピットは20cm以下の浅いものである。柱穴覆土は、暗褐色土で、径2mmローム粒、カーボン粒を多量に含む。P－13底より花崗岩、P－15より打斧、黒曜石原石が出土。

(炉) 住居跡中央部に深さ62cmと非常に深いB'－31ロ土坑がありその覆土中には、炉址に使用していたと思われる一部加熱を受けた礫が無造作に入れられていた。本来この位置に石囲炉があり、意図的に壊されたものと思われる。また住居跡中心部より北西側に、床面が焼土化している所が61×20cmの範囲であった。

(時期) 井戸尻式期。

(出土遺物) P－4…土器底部、P－6の底より打斧、礫、P－7下層より打斧、P－12底より黒曜石フレーク、P－13底より花崗岩ペグマ、P－15…打斧、黒曜石原石、P－17…凹石1点、打斧2点、南壁の外に張り出た入り口施設と思われる掘り込みからは、黒曜石チップ、フレークが多量に出土。P－3は、オーバーハングしており、底部より粘土のかたまりが出土。P－17には、大型礫が上層にある。P－5と北西部焼土の上に完形に近い深鉢が2個体と、底部のみの個体が浮いた状態で出土。

(覆土) 覆土は、暗褐色土を基調とする。ローム粒、カーボン粒を全体に含む。

4号住居跡

(位置) A－29・28、B－29・28グリッドに位置している。半分以上調査区外にある。

(重複・改築) 住居跡の拡張または、建て替えを行ったと思われる。

(形態・規模) 半分以上調査区外にあるため、全掘はできなかった。確認できた部分は、おおよそ西側半分である。形態は円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存6.10m、短径残存2.80mを測る。

(壁・周溝) 壁は垂直に近く立ち上がり、壁高が最大30cmを測る。周溝は二重になっており、また周溝から床面までの間にテラス状の段差が認められた。外側の周溝は、最大幅42cm、床から21cmを測り、内側の周溝は、最大幅25cm、深さテラス部より25cmを測る。周溝内の小ピットも確認された。

(床面) ローム地床。確認された面の大半に拡張に伴うと思われるテラスあり。

(柱穴) 深さ50cm以上の柱穴がP－1～P－11である。P－8（深さ62cm）とP－5（深さ67cm）の間が心心で2.1m、P－5とP－2（深さ51cm）の間が1.8mである。P－6（深さ50cm）とP－4（深さ67cm）が2.2m、P－4とP－9（深さ59cm）が1.7mと前3者の距離関係と一致する。さらに、P－7（深さ56cm）とP－3（深さ55cm）が2.2mであり、3回の建て替えを示唆する主柱穴群の想定も可能である。他のピット

の深さはいずれも20cm以内。
(炉) 地床炉で、径残存156×残存28cm、深さ5cmを測る。
(時期) 諸磯式期
(覆土) 覆土は、暗褐色土を基調とし、ローム粒、カーボン粒を全体に含む。

5号住居跡
(位置) D'－31・30、C'－31グリッドに位置している。
(重複・改築) 西壁方向でを12号住居跡、北西壁方向を19号住居跡と切り合い、それぞれを切っている。
(形態・規模) 形態は円形を呈する。規模は長径6.25m、短径6.20mを測る。
(壁・周溝) 壁は南壁では、ほぼ垂直に立ち上がり、深さが北15cm、東10cm、南35cmを測る。周溝は北側、西側の一部をのぞき確認された。また、南壁周溝の外側で別の周溝と北東周溝の内側に南壁周溝と同一と思われる周溝が確認でき、建て替えをしたと思われる。
(床面) 炉址付近では、一段（8cm程）掘り凹み、それ以外の床面は、テラス状となる。ローム地床。
(柱穴) 主柱穴はP－1（床面からの深さ73cm）、P－2（床面からの深さ55cm）、P－3（床面からの深さ48cm）、P－4（床面からの深さ76cm）、P－5（床面からの深さ66cm）、P－6（床面からの深さ58cm）の6本で、P－7（床面からの深さ54cm）、P－8（床面からの深さ68cm）が支柱穴の可能性がある。この他50cm以上の深さのあるP－9～P－16、40cm台の深さのP－17～P－23があるが、No.2炉を取り囲むようにある点が注目される。これ以外は30cm台が3基程度で20cm台以下の深さである。なお北西部のピットは、12・19号住居跡関係のものであると思われる。ピットは、暗褐色で、径1～3mmローム・カーボン粒を含む。
(炉) NO1炉は地床炉で、径88×73cm、深さ21cmを測り、楕円形を呈し、焼土は、5cmの厚さで、比較的、ブロック状に薄く全体にちらばった感じである。NO2炉は地床炉で、径105×65cm、深さ23cmを測り、不整楕円形を呈し、12cmの厚さの焼土が全体的に確認された。
(時期) 藤内式期。
(覆土) 覆土は、暗黒褐色土、暗褐色土を基調とする。

6号住居跡
(位置) A－27・26、A'－27・26グリッドに位置している。
(重複・改築) 1号溝に切られている。NOナシ土坑により、南西コーナー付近、北壁中央部はそれぞれ切られている。
(形態・規模) 形態は隅丸方形に近い円形を呈するものと考えられる。規模は長径4.76m、短径残存4.08mを測る。
(壁・周溝) 1号溝に切られ、東壁、北壁の一部、南壁の一部が確認できなかった。壁の立ち上がりは傾斜で、深さが北12cm、西21cm、南16cmを測る。周溝は存在しない。
(床面) ローム地床。
(柱穴) 主柱穴はP－1～P－4の4本柱で、深さはいずれも75cmである。P－1は、A－26ロ土坑と切り合い、P－4は、A－26ニ土坑の床面にて確認され、炉址を中心に4方向に配置されている。
(炉) 地床炉で、径110×96cm、深さ9cmを測り、9cmの厚さで焼土が焼けている。特に掘り込みはなし。
(時期) 五領ヶ台式期。

7号住居跡
(位置) A－31、B－31・30グリッドに位置している。半分以上調査区外にある。
(重複・改築) 1号住居跡と重複関係にあり、切っていると思われ、遺存した北西壁は、A－31ニ土坑、NOナ

シ土坑により切られている。
(形態・規模) 形態は円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存5.40m、短径残存1.70mを測る。
(壁・周溝) 壁は急傾斜で立ち上がり、壁高が最大25cm、最小２mmを測る。周溝は、検出された住居跡床面にすべてあり、おそらく調査区外へも続き全周すると思われる。
(床面) ローム地床で硬化している。
(柱穴) 主柱穴は、Ｐ－１（深さ65cm）、Ｐ－２（深さ68cm）の２本である。他にＰ－３（深さ83cm）、Ｐ－６（深さ58cm）、Ｐ－７（深さ72cm）と50cmを越える深さのピットがある。また、主柱穴の脇にＰ－４（深さ34cm）とＰ－５（深さ40cm）と比較的浅いピットがよりそう。なお、本住居跡は、長坂町教育委員会が1995年に調査した町教委８号住居跡と一体の住居跡と思われる。その調査では２本の主柱穴を確認しており、主柱穴間の距離から６本の主柱穴であったと推定される。
(時期) 藤内式期。
(覆土) 覆土は、１号住居跡より暗い、暗褐色土を基調とする。上層では、カーボン粒を多量に含み、全体にローム粒、カーボン粒を含み、最下層では焼土粒子も含まれる。

８号住居跡
(位置) Ａ－24・23グリッドに位置している。調査区外にほとんど入っていて、約1/4程しか確認されていない。
(形態・規模) 約1/4の北西側のみ確認することができる。形態は円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存1.65m、短径残存1.45mを測る。
(壁・周溝) 壁は急傾斜で立ち上がり、深さが北26cm、西28cmを測る。確認することができた約1/4の北西側で1/4周した周溝を検出し、その西方向内側に、わずかではあるが、拡張前の周溝と思われる溝が一部分確認された。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 主柱穴は不明。Ｐ－１が39cmの深さ、Ｐ－２が32cmで、他は20cm台以下の浅いピット。
(時期) 不明（小破片の諸磯と井戸尻あり）。
(覆土) 覆土は、暗褐色土を基調とし、全体に炭化粒子を含んでいる。

９号住居跡
(位置) Ａ－23・24、Ａ'－23・24グリッドに位置している。調査区外へのびる。
(形態・規模) 北壁と、西壁の一部、東壁の一部を残し、調査区外へ続くため他の個所は確認できなかった。
住居址北西側は、１号溝により壊されている。形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存3.55m、短径残存1.50mを測る。
(壁・周溝) 壁の立ち上がりは傾斜で、深さが北４cm、東３cm、西６cmを測る。周溝は、確認できた範囲では存在しない。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 主柱穴は不明。Ｐ－１が深さ57cm、Ｐ－２が49cm、Ｐ－３が48cm、Ｐ－４が33cmで、他は20cm以下の浅いピット。
(炉) 地床炉で、径78×35cm、深さ４cmを測る。
(時期) 諸磯式期。
(覆土) 覆土は、暗褐色土を基調とし、全体に微量の炭化粒子を含む。

10号住居跡
(位置) Ａ－32・一部31、Ａ'－31・一部32グリッドに位置している。東側は撹乱により、北側は調査区外に

あるため、確認できなかった。本住居跡は、1995年度調査の第84・84号住居跡と同一である。
(形態・規模) 形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存6.30m、短径残存4.30mを測る。
(壁・周溝) 壁は西壁でほぼ垂直に立ち上がり、深さが南13cm、、西31cmを測る。周溝は、西側で確認され、その他の面では、周溝内の小ピットが列をなし、ほぼ同心円状に３重になっており拡張に伴うものと思われる。
(床面) ローム地山床。ゆるやかに内側に向かい傾斜する。
(柱穴) 主柱穴はまず、Ｐ－１（深さ49cm）、Ｐ－２（深さ66cm）ないしはＰ－３（深さ48cm）と、84号住居跡ピット１（深さ72cm）と84号住居跡ピット２（深さ74cm）の４本が考えられる。拡張後の主柱穴は、Ｐ－４（深さ43cm）、Ｐ－５（深さ58cm）と、84'号住居跡ピット１（深さ55cm）とピット２（深さ47cm）、ピット３（深さ47cm）の５本で、Ｐ－６（深さ75cm）、Ｐ－７（深さ61cm）、Ｐ－８（深さ69cm）、Ｐ－９（深さ72cm）が入口部の構造体を構成する。この他、深さ79cmのＰ－10は拡張前の柱穴で、ロームブロックを多量に含んでおり、上層は張り床となる。60cm台の深さのピットがＰ－11・12、50cm台がＰ－13～19、40cm台がＰ－20～24で、30cm台が１個あるのみで他は20cm台以下の浅いものである。
(炉) 石囲炉で、径68×残存48cm、深さ27cmを測る。石囲の内側に、焼土が、厚さ８cmでほぼ全面にわたり確認された。炉石は、20×18cm位の大きさで大きな礫を用い、長軸方向を横に床面に突き刺してゴルフクラブをねかせたような形状で10コの石が列を作っていた。また掘り込みは不定形ではあるが、最深27cmを測り検出された。
(時期) 藤内式期。
(出土遺物) 南壁際に、土盤と白色粘土塊が並んで出土し、同じく南壁際にあるＰ－23中層より土器底部を再利用したと思われる土盤と白色粘土塊が並んで出土した。Ｐ－１内から打斧、花崗岩、Ｐ－２内からスリ石が出土。
(覆土) 覆土は、暗黒褐色土を基調とし、全体に炭化粒を含む。

11号住居跡
(位置) A'－24・23、B'－24・23グリッドに位置している。南壁は調査区外。
(形態・規模) 南壁は調査区外、東壁、北壁はカクランにより壊され、遺存度は悪い。形態は円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存4.83m、短径残存4.45mを測る。
(壁・周溝) 壁は、西壁はなだらかに立ち上がり、深さが北13cm、、東０cm、西19cmを測る。周溝は、北壁、東壁の一部にそれぞれ確認され、それ以外では、壁際にある小ピットが廻っているだけである。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 深さ40cmを超えるピットが12個あり、壁から数十センチ内側に円形に配列する。Ｐ－１が深さ44cm、Ｐ－２が45cm、Ｐ－３が60cm、Ｐ－４が47cm、Ｐ－５が42cm、Ｐ－６が51cm、Ｐ－７が70cm、Ｐ－８が55cm、Ｐ－９が84cmと74cm、Ｐ－10が41cmと41cm、Ｐ－11が42cm、Ｐ－12が50cm。これらが上屋を支える柱穴であろう。深さ30cm台が８個あるが分散分布し、他は20cm台以下の浅いピットである。
(炉) 炉址は、住居跡中心より西側に偏り位置する。地床炉で、径86×58cm、深さ10cmを測る。炉址焼土は、10cmの厚さを測り、炉址を中心に東に80cm、西に95cm、南に140cm北に110cmにそれぞれ床面が焼けていた。住居址覆土中層～下層に焼土粒子が多くある。
(時期) 諸磯式期。
(覆土) 覆土は、暗褐色土を基調とし、全体に焼土粒、炭化粒を含んでいた。

12号住居跡
(位置) E'－31、一部D'－32、E'－32グリッドに位置している。
(重複・改築) 東壁を５号住居跡に切られ、北壁は19号住居跡を切り、それぞれ立ち上がりは明確ではない。

(形態・規模) 形態は隅丸方形に近い円形を呈する。規模は長径推定5.35m、短径推定4.80mを測る。
(壁・周溝) 壁の立ち上がりは垂直に近く、深さが南46cm、西46cmを測る。周溝は、南壁から西壁半分にかけて最大40cm幅、深さ7cmを測り、確認されたが、それ以外は、壁際にある小ピットを基に、プランの想定を行った。
(床面) 間敷り溝と思われる溝が、コの字状に大、小2条炉址を囲んで確認された。ローム地床で、硬化。
(柱穴) 主柱穴はP－1（床面からの深さ72cm)、P－2（床面からの深さ63cm)、P－3（床面からの深さ81m)、P－4（床面からの深さ66cm）の4本で、60cmより深い。P－5～P－10は深さ50cm台で、P－10以外は主柱穴の可能性がある。P－11～P－15が40cm台の深さで、これ以外のピットの大半が20cm台以下の深さにある。
(炉) 炉址は、埋甕炉、径93×75cm、深さ27cmを測る。炉体土器のまわりに焼土がブロック状に全体に遺存し、土器の内部下層部に8cmの厚さで焼土粒が多量に含まれる所あり。
(時期) 新道式期。
(覆土) 覆土は、暗褐色土を基調とし、中層は暗くなる。ローム粒を全体に含み、住居跡西側の最下層には、カーボン粒、焼土粒子主体の層がある。ピット覆土は暗褐色土で、径1～5mmカーボン粒、黒曜石チップを多量に含む。

13号住居跡
(位置) A'－28・29、B'－28・29グリッドに位置している。
(重複・改築) 14・15号住居跡を切る。
(形態・規模) 形態は隅丸方形に近い楕円形を呈する。規模は長径残存4.57m、短径3.94mを測る。
(壁・周溝) 壁は傾斜して立ち上がり、深さが東19cm、南13cm、西26cmを測る。周溝は、各辺で断続的ではあるが廻る。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 主柱穴は不明。深さ50cm台がP－1～5、40cm台がP－6～10である。P－1、P－2～4とP－8、P－9・10、P－5～7と深さ38cmのP－11の4つのグループに分けられ、基本的に4本柱であった可能性がある。30cm台の深さのピットは他に2個で、これ以外は20cm台以下の浅いピットである。
(炉) 炉址は、住居跡のほぼ中央に位置し20cm大の破砕礫8ヶからなる。石囲炉で、径75×70cm、深さ14cmを測る。炉址内には、焼土はなかったが、南西コーナー付近に焼土がある。
(時期) 曾利Ⅲ式期。
(出土遺物) 炉石には、凹石も見られる。
(覆土) 覆土は、暗褐色土を基調とし、ローム粒子、径10～20mmのロームブロックを含む。カーボンを少量含む。

14号住居跡
(位置) B'－28・29、C'－28・29グリッドに位置している。13・17号住居跡と重複する。
(重複・改築) 13・17号住居跡と重複し、床面及び、遺存した壁は、土坑群と切り合う。古墳時代と思われる掘立柱建物址と重複している。
(形態・規模) 遺存度は悪い。形態は円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存4.80m、短径残存4.50mを測る。
(壁・周溝) 壁の立ち上がりは北壁で弱傾斜、深さが北8cmを測る。周溝は、北壁側の一部にのみ確認された。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 主柱穴は不明。P－1深さ83cm、60cm台の深さがP－2・3、50cm台の深さがP－4～8、40cm

台がP－9・10、30cm台の深さがP－11～18で、炉址を取り囲むものの規則性はない。
(炉) 地床炉で、1号、2号と2つあり、1号は径126×124cm、焼土の厚さ20cm、2号は径残存78×66cm、焼土の厚さ8cmを測る。住居跡南東側の床面に、B'－28イ焼土がある。
(時期) 諸磯式期。
(覆土) 覆土は、暗褐色土を基調とし、径1mmローム粒を多く含み、径5mmローム粒若干、カーボン若干を含む。

15号住居跡
(位置) A'－29・30、B'－29・30グリッドに位置している。
(重複・改築) 南壁を13号住居跡に、西壁の一部をB'－29ロ土坑、北壁の一部をNOナシ土坑に切られている。
(形態・規模) 遺存度はあまりよくない。形態は隅丸方形に近い楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径4.20m、短径3.50mを測る。
(壁・周溝) 壁の立ち上がりは傾斜で、深さが北14cm、東12cm、西28cmを測る。周溝は存在しない。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 主柱穴は不明。深さ60cm台がP－1・2、50cm台がP－3～5、40cm台がP－6で、P－1と3、P－4、P－5と6、P－7と2の4つのグループに分けられる。30cm台がP－8、20cm台がP－9～P－21で、先のグループに編入されるものの他にP－8～P－13で30cm～20cm台のグループができる。4～5本の柱による構造であった可能性がある。西壁際では、小ピットが列をなしている。
(炉) 炉址は、住居跡のほぼ中央に位置し、その南側には、50×30cmの大きな礫一点が配置されていた。地床炉で、径110×80cm、深さ14cmを測る。
(時期) 諸磯式期
(出土遺物) 東側には、A'－29屋外埋甕（曾利V式期）が覆土中に構築されていた。
(覆土) 覆土は、暗褐色土を基調とし、径1mmローム粒が多く、径5～1mmローム粒若干、カーボン若干を含む。

16号住居跡
(位置) D'－28・29、E'－28・29グリッドに位置している。
(重複・改築) 住居跡確認面にて、E'－29－1石組（Cの字）遺構を検出。焼土は伴っていない。
(形態・規模) 形態は隅丸方形に近い円形を呈する。規模は長径5.75m、短径5.60mを測る。
(壁・周溝) 壁の立ち上がりは北壁では急傾斜、それ以外は傾斜で、深さが北47cm、東23cm、南14cm、西27cmを測る。周溝は存在しない。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 主柱穴は、P－1（深さ55cm）、P－2（深さ62cm）、P－3（深さ53m）、P－4（深さ54cm）の4本である。他にP－5（深さ68m）、P－6（深さ53cm）、P－7（深さ58cm）と50cm以上の深さのピットがあり、40cm台では、P－8～17があるが、P－6とP－15とが配列性がありそうだが、他は規則性が見当たらない。30cm台では、径が30cm以上がP－18～21である。北西床面に逆L字状の間敷り溝があり、そのライン上に、小ピットが配列する。
(炉) 炉址はほぼ中央に位置し、2つの埋甕炉を配する。1号埋甕炉は口縁部（一部破損）があるが、2号埋甕炉の方は、口縁部を打ち砕いているようで遺存せず、胴部のみを残す。いずれも底部はない。炉体土器は狢沢式である。2個体ある甕の廻りに焼土が広がっていて、焼土の範囲は径114×75cm、深さ23cmを測る。
(時期) 狢沢式期

(出土遺物) 南壁際床面直上部にて黒曜石原石の集中箇所があり、覆土中住居中央部中層～下層にかけて復元可能な狢沢式土器を主体に数個体横位でつぶれて出土。P－2覆土中層より口縁部を欠いた小型鉢が横位で出土している。
(覆土) 覆土は、暗黒褐色土を基調とし、ローム粒子、カーボン粒子を全体的に含んでいる。

17号住居跡
(位置) B'－27・28、C'－27・28グリッドに位置している。
(重複・改築) 北側を14号住居跡と切り合い、東壁及び床全体を土坑群と切り合う。
(形態・規模) 遺存度は悪い。形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は残存長径5m、残存短径3.50mを測る。
(壁・周溝) 壁の立ち上がりは西壁で急傾斜、深さが西10cm、南4cmを測る。周溝は存在しない。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 主柱穴は、4本確認された。P－1で径25cm、深さ43cm、P－2で径36cm、深さ51cm、P－3で径41cm、深さ86cm、P－4で径44cm、深さ48cmをそれぞれ測る。他にP－5（深さ60cm）、P－6（深さ44cm）、P－7（深さ44m）、P－8（深さ37cm）が深く、他のピットは20cm台以下。
(炉) 埋甕炉で、径36×32cm、深さ22cmを測る。焼土は存在しない。炉体土器は狢沢式。
(時期) 狢沢～新道式期

18号住居跡
(位置) C'－27、D'－27グリッドに位置している。
(重複・改築) 南側を半分以上21号住居跡に切られる。
(形態・規模) 東西に伸びる攪乱により東側を削平され遺存状況は悪いが、楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存2.50m、短径残存5.20mを測る。
(壁・周溝) 壁は、深さが東19cm、西23cmを測る。周溝は存在しない。。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) P－1（深さ73cm）、P－2（深さ64cmと58cm）、P－3（深さ66cm）、P－4（深さ60cm）のいずれか同志が組み合わさって主柱穴を構成していたと思われる。P－5が47cm、P－6が39cm、P－7が38cmで、他は20cm台以下の浅いピット。
(炉) 地床炉で、径残存56×残存28cmを測り、10cmの深さで焼けている。
(時期) 藤内式期。

19号住居跡
(位置) D'－32・31、E'－32・31グリッドに位置している。北側は調査区外。5・12号住居跡と切り合う。
(重複・改築) 南東壁を5号住居跡に切られ、南西壁は、12号住居跡に切られている。
(形態・規模) 北側は、調査区外に入っている。遺存状況が悪い。形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径推定4.45m、短径残存2mを測る。
(壁・周溝) 壁の立ち上がりは傾斜で、深さが北東24cm、北西31cmを測る。周溝は確認されない。
(床面) ローム地床であまり硬化していない。
(柱穴) 主柱穴は、P－1（床からの深さ54cm）、P－2（床からの深さ57cm）、P－3（床からの深さ58cm）、P－4（床からの深さ52cm）の4本と思われる。P－6は84cm、P－7は63cmと非常に深い。P－5は50cm、P－8～P－12が40cm台、P－13～P－16が30cm台の深さで、他のピットは20cm台より浅い。
(炉) 埋甕炉で、径127×91cm、深さ28cmを測り、10cm程度の厚さで焼土が全体に広がっており、埋甕の覆

土上層部にも、焼土粒と、カーボンの混ざった土が5cm程度つまっていた。炉体土器は、胴部上半部を南側に、底部を北側に埋設、さらに胴部上半部の西側に大型破片を同心円状に埋設している。
(時期) 狢沢式期。
(覆土) ピットの覆土は、暗褐色土で、径1mmカーボン粒を少量含んでいた。

20号住居跡
(位置) D'－27・28、E'－27・28グリッドに位置している。
(重複・改築) 北側で31号住居跡、東側で26号住居跡、東南側で27号住居跡と重複する。
(形態・規模) 形態はほぼ円形を呈する。規模は長径5.90m、短径5.50mを測る。
(壁・周溝) 壁は西壁、南壁で急傾斜に立ち上がり、深さが北16cm、西25cm、南24cmを測る。周溝は、東、北、西側にそれぞれ断続的に廻り、西部では二重に廻る。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 主柱穴は6本であるが、P－1（深さ49cm）、P－2（深さ46cm）、P－3（深さ54cm）、P－4（深さ60cm）、P－5（深さ64cm）、P－6（深さ62cm）の組み合わせと、P－1～P－3と、P－7（深さ61cm）、P－8（深さ51cm）、P－9（深さ72cm）の組み合わせの2通りが考えられる。他に、P－10（深さ62cm）、P－11（深さ58cm）、P－12（深さ55cm）、P－13（深さ56cm）と50cm以上の深いピットがある。また、40cm台のP－14、30cm台で直径30cm以上のP－15、16がある。30cm台の深さのピットは他に3個あり、住居東側に集中し、他は20cm台以下の浅いピットである。
(炉) 炉址は、住居址のほぼ中央部に位置する。地床炉で、径98×67cm、深さ15cmを測り、15cm下に掘り凹めた形で焼土がある。
(時期) 藤内式期。
(出土遺物) 覆土中、E'－28－1では石棒が横位で出土した。E'－28－2では、右手、腰から下部が欠損した土偶が出土。P－8では、覆土中層に大型礫（安山岩）の下に、たたき石、土器片が敷かれて出土。床直で、円筒型のパネル文土器が横位で潰れて出土。そのすぐ脇には、床直上の覆土に焼土層が見られる。
(覆土) 覆土は、明暗褐色土を基調とし全体にローム粒子を含み、炭化粒子も下層に行くにしたがい多くなる。

21号住居跡
(位置) C'－26、D'－26グリッドに位置している。
(重複・改築) 北側を攪乱により欠損し、また18号住居跡と重複し切り合っている。
(形態・規模) 形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存3.88m、短径6.15mを測る。
(壁・周溝) 壁の立ち上がりは急傾斜で、深さが東24cm、南8cm、西13cmを測る。周溝は同心円状に2本あり、拡張していると思われる。外側の周溝は、断続的にほぼ全周し、内側の周溝は、西側と南側の一部に確認された。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 主柱穴は不明。P－1・2とD'－26ニ土坑が60cm台の深さ。P－3～8とD'－26イ土坑が50cm台、P－9～12とD'－26ロ土坑が40cm台の深さである。これらに、18号住居跡P－4（深さ60cm）か18号住居跡P－5（深さ47cm）が組み合わさり、主柱穴群を構成しているものと思われる。
(炉) 炉址は、攪乱により南半分のみが残存。石囲炉で、径109×残存40cm、深さ20cmを測り、石囲の礫の下に焼土面がある。
(時期) 曾利Ⅱ式期。
(出土遺物) 住居南部のP－2に接して立石（長さ60cm、幅30cm、厚さ15cm）が直立した状態で出土した。

22号住居跡
(位置) D'－25グリッドに位置している。
(重複・改築) 南東半分を撹乱により削平され、北壁は、土坑群により切られている。
(形態・規模) 遺存状況は悪い。形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存3.30m、短径残存3.10mを測る。
(壁・周溝) 壁は西壁で急傾斜に立ち上がり、深さが東2cm、西10cmを測る。周溝は存在しない。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 主柱穴は不明。深さ50cm台のピットがP－1～3、40cm台がP－4、30cm台がP－5～6で、他は20cm台以下の浅いピット。
(炉) 埋甕炉で径残存119×70cm、深さ23cmを測る。D'－25ロ土坑に一部を切られている。
(時期) 諸磯式期。

23号住居跡
(位置) B'－24・25、C'－24・25グリッドに位置している。
(重複・改築) 中心より北側で、東西方向にのびる撹乱が入り、東壁も土坑群及び撹乱により削平を受けている。また、北壁、南壁も所々土坑群に切られている。
(形態・規模) 遺存状況が悪い。形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径4.80m、短径残存3.30mを測る。
(壁・周溝) 壁は傾斜して立ち上がり、深さが北13cm、西11cm、南9cmを測る。周溝は存在しない。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 深さ30cm台のピットがP－1～3と、B'－24イピットで、P－4が29cmと深いが、他は20cmより浅いピットがほとんどである。
(炉) 炉址も、C'－24へ土坑や小ピットに切られており遺存状況は悪い。地床炉で、径56×残存35cmを測る。
(時期) 諸磯式期。

24号住居跡
(位置) D'－24、E'－24グリッドに位置している。
(重複・改築) 北壁半分は撹乱により、削平され、東側は、土坑群と切り合う。
(形態・規模) 炉址のすぐ北側に南東から北西方向に床面を分断する撹乱があり、土坑群による切り合いも見られる。西側、南側は、調査区外にある。遺存状況はかなり悪い。形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存4m、短径残存3.90mを測る。
(壁・周溝) 壁は北壁の一部で弱傾斜で立ち上がり、深さが北14cm、東0cmを測る。周溝は存在しない。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) P－1、P－2が50cm台、P－3、P－4が40cm台の深さで、他は土坑も含めて20cm台以下の浅いピット。主柱穴は不明。
(炉) 炉址も、南半分は調査区外にあり、北半分を調査した。地床炉で、径145×残存70cmを測り、厚さ10cmの焼土が遺存。
(時期) 五領ヶ台式期。

25号住居跡
(位置) E'－29・30、F'－30・29グリッドに位置している。
(重複・改築) 東壁、南壁は土坑群、南東方向は、16号住居址、西壁から北壁に掛けては、32・38号住居跡に

切られている。
(形態・規模) 住居跡の遺存は悪く東壁、南壁は土坑群、南東方向は、16号住居址、西壁から北壁に掛けては、32・38号住居跡に切られており、わずかに北壁深さ13cm、南西壁で深さ7cmを測り残すだけで。形態は円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存5.50m、短径残存4.70mを測る。
(壁・周溝) 壁は北壁でゆるやかに傾斜して立ち上がり、深さが北13cmを測る。周溝は存在しない。
(床面) ローム地山床で、残存したすべての面で硬化する。
(柱穴) 主柱穴は5本。P－1（深さ72cm)、P－2（深さ67cm)、P－3（深さ73cm)、P－4（深さ71cm)、P－5（深さ56cm）で、P－5は32号住居跡に切られているため、25号住居跡床面からの深さは72cmとなり、全て60cmより深いピットで構成される。また、P－6（深さ54cm）とP－7（深さ58cm)、P－8（深さ62cm）とP－9（深さ57cm）が、P－3・4と替わって主柱穴を構成していた可能性も考えられる。他にP－10・11が60cm台、P－12が50cm台、P－13が40cm台、P－14が30cm台で、他は20cm台以下の浅いピット。P－3は暗褐色土で、径5mmローム粒が多く、径3mm焼土粒を含む。P－7は暗褐色土で、径3～10mmカーボンが多量、径2mm焼土粒、ローム粒を含む。P－3とP－7で切り合い、P－7が切っている。
(炉) 炉址は、2回作り替えていると思われ、南東側焼土の下には、石が立てられていたと思われる凹が3ヶ所認められ、セクションでも南東側焼土を切っている。長さ最大25cmで10cm角程度の角柱状の礫を五角形に配置した石囲炉で、径95×85cm、深さ23cmを測り、石囲炉の北東側と、南東側に焼土が広がる。また、炉址から1m程東に離れた床面に地床炉を思わせる焼土が75×43cmの大きさでE'－30ホ土坑のすぐ西側にて確認されている。
(時期) 井戸尻式期
(覆土) 覆土は、暗褐色土を基調とし全体にローム粒子、炭化粒子を含み、最下層には炭化粒子、炭化材を主体とする黒褐色土がある。

26号住居跡
(位置) D'－28、E'－28グリッドに位置している。
(重複・改築) 東壁の一部、南東壁の一部を除くと、西は20号住居跡、南は27号住居跡、北は、土坑群に切られている。
(形態・規模) 本住居跡の遺存はきわめて悪い。形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存4m、短径残存3.10mを測る。
(壁・周溝) 壁はなだらかに立ち上がり、深さが東7cmを測る。周溝は存在しない。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 主柱穴は不明。P－1～3が30cm台の深さで、他の小ピットは20cm台以下の浅いもの。
(炉) 地床炉で、径123×76cm、深さ14cmを測り、焼土の厚さは最大14cm。
(時期) 新道式期。

27号住居跡
(位置) D'－27、E'－27グリッドに位置している。
(重複・改築) 北西方向で20号住居跡に切られ、北側で26号住居跡に切られている。
(形態・規模) 遺存状況は悪い。形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存3m、短径残存3.30mを測る。
(壁・周溝) 壁は残存しない。周溝は確認できなかった。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 主柱穴は確認できなかった。D'－27チピット（深さ50cm)、D'－27ニピット（深さ37cm)、P－

1（深さ49cm）が深いピットで、他は20cm台以下の浅いピット。
（炉） 地床炉で、径154×103cmを測り、厚さ８cmの焼土層がある。
（時期） 新道式期。

28号住居跡
（位置） E’－27、F’－27グリッドに位置している。
（重複・改築） 南壁をNO.ナシ土坑２基に切られ、北壁はF’－27ロ土坑、E’－27ホ土坑に切られている。
（形態・規模） 北側の床面は、F’－27イ土坑に切られている。形態は不正楕円形もしくは円形を呈する。規模は長径4.20m、短径3.35mを測る。
（壁・周溝） 壁は傾斜して立ち上がり、深さが北７cm、東７cm、南６cm、西７cmを測る。周溝は存在しない。
（床面） ローム地山床。
（柱穴） 主柱穴は４本でP－１（深さ54cm）、P－２（深さ48cm）、P－３（深さ30cm）、P－４（深さ35cm）である。他に40cm台がP－５、30cm台がP－６で、壁より外側ではあるが深さ86cmのP－７と、48cmのP－８が近接する。他は20cm台以下の浅いピット。
（炉） 地床炉で、径105×64cm、深さ17cmを測る。炉址内西側に落ち込みあり。炉址焼土の直上に、15cm大の安山岩３個が乗っていた。
（時期） 藤内式期。
（覆土） 覆土は、明暗褐色土を基調とし、全体に炭化粒子を多く含む。

29号住居跡
（位置） F’－28・29グリッドに位置している。
（重複・改築） 北側で38号住居跡と接し、北壁、西壁の一部及び南壁のごく一部の壁を残し、それ以外は、土坑群と切り合う。
（形態・規模） 形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径5.15m、短径残存4.40mを測る。
（壁・周溝） 壁の立ち上がりは傾斜で、深さが北10cm、西８cm、南５cmを測る。
（床面） ローム地山床で、ほぼ全面にわたり硬化。
（柱穴） 主柱穴は４本でP－１（深さ45cm）、P－２（深さ70cm）、P－３（深さ60cm）、P－４（深さ50cm）である。P－５（深さ64cm）とP－６（深さ55cm）は入口部の構造を示すものと思われる。他に50cm台の深さがP－７～９、40cm台がP－10、30cm台がP－11～13で、他は20cm台以下の浅いピット。P－２、P－３間には、間じきり溝と思われる溝が一条ある。
（炉） 埋甕炉で、径89×66cm、深さ20cmを測る。
（時期） 新道式期。
（出土遺物） 覆土中土鈴が出土。ピット２の下層より胴部より上を欠損した土器が正位で置かれている。
（覆土） 本址の覆土は、暗褐色土を基調とし全体にローム粒、カーボン粒を含む。

30号住居跡
（位置） F’－31・32グリッドに位置している。
（形態・規模） 北西壁から北壁に至る部分の壁が確認できなかった。形態は隅丸方形に近い楕円形を呈する。規模は長径残存4.10m、短径3.73mを測る。
（壁・周溝） 壁はなだらかに立ち上がり、深さが東17cm、南12cm、西12cmを測る。周溝は存在しない。
（床面） ローム地山床。
（柱穴） 主柱穴は不明。深さ50cm台がP－１～３、40cm台がP－４～６、30cm台がP－７～９で、他は

20cm台以下の浅いピット。
(炉) 地床炉で、径100×82cmを測り、焼土の厚さは10cmを測る。
(時期) 五領ヶ台式期。
(覆土) 覆土は、暗褐色土を基調とし全体に炭化粒子を含み、最下層では、微量の焼土粒子も含まれる。

31号住居跡
(位置) D'－28、E'－28・29グリッドに位置している。
(重複・改築) 北側を16号住居跡、南側を20号住居跡に切られている。
(形態・規模) 東壁のごく一部、西壁の一部を残し、遺存状況は悪い。形態は隅丸方形に近い形態を呈するものと考えられる。規模は長径残存3.35m、短径残存1.70mを測る。
(壁・周溝) 壁は遺存した西壁でほぼ垂直に立ち上がり、深さが東10cm、西21cmを測る。周溝は、確認された西壁沿いにあるのみである。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 主柱穴は、P－1（深さ53cm）とP－2（深さ50cm）が明確であるが、これに対応すると思われるピットが16号住居跡内のP－12（深さ49cm）とP－18（深さ34cm）で、16号住居跡の床面が31号住居跡より約20cm深いことを考えると深さも適当であり、4本の主柱穴であったと思われる。P－3が深さ40cm台で他は20cm台以下。
(炉) 炉址と思われる場所も、16号住居跡の南壁にあり、遺存状況は悪い。地床炉で、径77×50cmを測る。
(時期) 諸磯式期。

32号住居跡
(位置) F'－30・31、G'－30グリッドに位置している。
(重複・改築) 北西側では34号住居跡を切り、東側で25号住居跡を切り、南側では38号住居跡に切られており、南東壁は検出されなかった。
(形態・規模) 形態は隅丸方形に近い楕円形を呈する。規模は長径5.50m、短径4.75mを測る。
(壁・周溝) 壁は、西壁はほぼ垂直に立ち上がり、深さが北26cm、東17cm、南12cm、西42cmを測る。周溝は、北から北西壁にかけてと、南西壁の一部及び東壁の一部に確認された。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 床には、炉址を、コの字型でとり囲む間敷り溝があり、溝ライン状に、4本の主柱穴が配置されている。各主柱穴の大きさは、P－1は径35cm、深さ51cm、P－2は径36cm、深さ51cm、P－3は径34cm、深さ38cm、P－4は径34cm、深さ41cmをそれぞれ測る。また、南西床面にも、間敷り溝と思われる一条の溝がある。他に、50cm台の深さのピットがP－5～6、40cm台がP－7、30cm台がP－8～12で、他は20cm台以下の浅いピットである。
(炉) 炉址は、中心よりやや北に位置する。埋甕炉で、径82×74cm、深さ最大18cmを測る。焼土は、炉体土器の北西側26×15cmの範囲で残存し、また、土器から離れて32×15cmの範囲で残存した。炉体土器の中には、別個体の底部が逆位の状態で伏せられていた。
(時期) 新道式期。
(覆土) 覆土は、38号住居跡より明るい暗褐色土を基調とする。

33号住居跡
(位置) F'－27・28、G'－27・28グリッドに位置している。
(形態・規模) 形態は隅丸方形に近い楕円形を呈する。規模は長径5.90m、短径5.10mを測る。

(壁・周溝) 壁は北西、南西壁がゆるやかにに立ち上がり、深さが北東7cm、南東8cm、南西22cm, 北西22cmを測る。周溝は、南東壁、南西壁で一部切れるもののほぼ全周する。
(床面) ローム地山床。G'－27チ土坑の部分のみ黒褐色土の硬化面となる。
(柱穴) 主柱穴はP－1（深さ59cm)、P－2（深さ70cm)、P－3（深さ65cm)、P－4（深さ72cm)、P－5（深さ62cm）あるいはP－10（深さ49cm)、P－6（深さ70cm)、P－8（深さ65cm）の8本と思われる。40cm台の深さのピットがP－9～11で、他は20cm台以下の浅いピット
(炉) 炉址は、住居跡のほぼ中央に位置し、焼土部分を切り、G'－27チ土坑の上に石組みが配置されていた。長さ70～30cmで20cm角程度の角柱状の礫を五角形に配置した石囲炉で、径90×80cm、深さ20cmを測る。153×90cmの範囲で焼土が石組みの南東方向にのびていた。土層断面では、この焼土を石組みが切っている。
(時期) 藤内式期。
(出土遺物) 覆土上層部で左腕、脚部の欠損した土偶1点が仰向け状態で出土。北西壁際で床直上において、土盤2点が並んで出土し、その近くには、同じく床直上にて、正位で置かれ、押しつぶされた浅鉢が出土。またその真下より、頭部、右腕、脚部を欠いた土偶がうつぶせの状態で出土。もう一つは、脚部、左腕を欠損し、仰向け状態で出土している。
(覆土) 覆土は、暗褐色土を基調とし、炭化粒子を多めに含む。

34号住居跡
(位置) G'－30・31グリッドに位置している。
(形態・規模) 南壁から西壁の一部、北壁の一部分のみを残し、南壁は32号住居跡に切られ、東壁は30号住居跡に接しているため検出できなかった。形態は円形を呈するものと考えられる。規模は長径4.72m、短径残存4.40mを測る。
(壁・周溝) 壁はなだらかに立ち上がり、深さが北13cm、南11cm、西11cmを測る。周溝は存在しない。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 主柱穴は不明。深さ50cm台のピットがP－1・2、40cm台がP－3～5、30cm台がP－6～8で、炉址の周囲に分散分布する。他は20cm台以下の浅いピット。
(炉) 炉址は、ほぼ中央に位置する。地床炉で、径60×56cm、深さ10cmを測る。覆土中に、焼土粒、炭化粒を確認したが、焼土面は認められない。
(時期) 五領ヶ台式期。
(出土遺物) P－8の中に小礫が多く充てんされていた。
(覆土) 覆土は暗褐色土を基調とする。カーボン粒を少量確認。

35号住居跡
(位置) E'－25・26、F'－25・26グリッドに位置している。
(形態・規模) 北側半分を攪乱により削平され、炉址とともに遺存状況はあまりよくない。攪乱の北に35号住居跡と思われる壁が一部確認されている。形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存5.80m、短径残存3mを測る。
(壁・周溝) 壁の立ち上がりは傾斜で、深さが東9cm、南15cm、西15cmを測る。周溝は、西壁の一部にだけ確認された。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 主柱穴は不明。P－1が深さ81cm、P－2が71cm、60cm台がP－3～7、50cm台がP－8、40cmがP－9～12、30cm台がP－13である。他は20cm台以下の浅いピット。
(炉) 地床炉で、径残存94×残存50cmを測る。炉址焼土は、真赤な焼土ではなく、余熱によりわずかに焼けた

パサパサのロームで、セクションで見る限り中央部に向かい焼けた面は凹む。
(時期) 藤内式期。
(出土遺物) P－8のすぐ脇に黒曜石原石4点が固まっておかれている。覆土中ほぼ完形になると思われる土器が多数出土している。
(覆土) 覆土は暗褐色土を基調とし、全体にローム粒、カーボンを含む。

36号住居跡
(位置) E'－25、F'－25グリッドに位置している。
(重複・改築) 北壁は、E'－25ホ土坑と切り合い、西壁は、37号住居跡と切り合い、37号住居跡を切っている。
(形態・規模) 南側は調査区外へと続く。遺存状況はあまりよくない。形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存2.40m、短径残存2.90mを測る。
(壁・周溝) 壁の立ち上がりは傾斜で、深さが北12cm、東14cm、西5cmを測る。周溝は存在しない。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 主柱穴は不明。P－1 (床面よりの深さ55cm)、P－2 (床面よりの深さ31cm) が深いピットで、他は20cm台以下の深さ。
(炉) 埋甕炉で、径55×41cm、深さ14cmを測る。
(時期) 諸磯式期。
(覆土) 覆土は暗褐色土を基調とし、全体にローム粒、カーボン粒を全体に含む。

37号住居跡
(位置) F'－25グリッドに位置している。
(重複・改築) 北側を土坑に削平され、東側で36号住居跡と重複し切られている。
(形態・規模) 西側、南側は調査区外にある。遺存状況は悪い。形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存2.50m、短径残存2mを測る。
(壁・周溝) 壁は北壁を除き、その他は垂直に近く立ち上がり、深さが東20cm、南27cm、西29cmを測る。周溝は、北側で32号住居跡と切り合うため確認できず、南側では一部途切れてはいるが、ほぼ全周すると思われる。
(床面) ローム地床で32号住居跡を切っている北側は張り床であった可能性あり。
(柱穴) 主柱穴は不明。50cm台の深さのピットはP－1、40cm台がP－2～5、30cm台がP－6～7で、他は20cm台以下。
(炉) 炉址も本住居に伴わないピットに切られている。地床炉で、径50×残存25cmを測る。
(時期) 諸磯式期。
(覆土) 覆土は暗褐色土を基調とし、全体にカーボン粒子を多量に含む。

38号住居跡
(位置) F'－30・29、G'－30・29グリッドに位置している。25・32号住居跡を切っている。
(重複・改築) 北側壁で32号住居跡を切り、東側で25号住居跡を切っている。
(形態・規模) 形態は円形を呈する。規模は長径4.80m、短径4.75mを測る。
(壁・周溝) 壁は北壁を除き、その他は垂直に近く立ち上がり、深さが東20cm、南27cm、西29cmを測る。周溝は、北側で32号住居跡と切り合うため確認できず、南側では一部途切れてはいるが、ほぼ全周すると思われる。

(床面) ローム地床で32号住居跡を切っている北側は張り床であった可能性あり。
(柱穴) 主柱穴は6本で、各柱穴の深さはP－1が51cm、P－2が55cm、P－3が67cm、P－4が55cm、P－5が63cm、P－6が65cmである。他の小ピットは全て20cm台以下。
(炉) 炉址は、住居跡のほぼ中央に位置し、埋甕炉で、径74×60cm、深さ最大20cmを測り、炉体土器の北側に幅約5cm、長さ46cmで焼土が土器を半周囲んでいた。尚、口縁部は欠損していた。炉体土器の検出面で、一部分に赤色化した大型安山岩礫3個があり内一つが上に乗っていた。炉址掘り方では、これらの石を埋設していたと思われる窪みが、炉体土器の周囲に遺存していた。
(時期) 井戸尻式期。
(出土遺物) 炉址南西側で、床面直上覆土中に井戸尻式期の土器多数出土。
(覆土) 覆土は、暗褐色土を基調とし、炭化粒子及びローム粒子を全体に多く含む。

39号住居跡
(位置) G'－29・30、H'－29・30グリッドに位置している。
(形態・規模) 形態はほぼ円形を呈する。規模は長径6.60m、短径6.20mを測る。
(壁・周溝) 壁は西壁は急傾斜に立ち上がり、深さが北8cm、東2cm、南5cm、西20cmを測る。周溝は、同心円状に2重になっており建て替えが行われていると思われる。内側の周溝は東側の一部分を除き全周しているが、外側の周溝は東壁の一部から北壁を通り西壁の一部までと、西壁の一部より南壁の一部分、東壁の一部に検出された。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 主柱穴は6本で、拡張前後の2グループが確認できた。外側のグループはP－1（深さ70cm）、P－2（深さ63cm）、P－3（深さ90cm）あるいはP－4（深さ73cm）、P－5（深さ81cm）、P－6（深さ74cm）、P－7（深さ72cm）。内側のグループはP－8（深さ62cm）あるいはP－9（深さ56cm）、P－10（深さ65cm）、P－11（深さ53cm）、P－12（深さ63cm）、P－13（深さ55cm）、P－14（深さ87cm）である。他にP－15（深さ74cm）、P－16（深さ50cm）、P－17（深さ47cm）、P－18（深さ47cm）、P－19（深さ33cm）が深いピットで、他は20cm台以下。なお、P－18は位置的に、外側の主柱穴グループに入る可能性もある。
(炉) 炉址は、住居跡中央部より北壁によっている。またその掘込みの覆土中から、炉に使用されたと思われる礫が多数出土しており、本来は石囲炉と思われる。径148×120cm、深さ33cmを測り、掘込み底面には、33×30cmの範囲で焼土層が検出された。
(時期) 井戸尻式期。
(出土遺物) 南西コーナー付近で、床面より数cm上より、破損した鉢がほぼ逆位で出土。
(覆土) 覆土は、暗褐色土を基調とし全体に炭化粒子を含み、中層部分には、焼土粒子、炭化粒子を含む層がある。

51号住居跡
(位置) I'－29、J'－28・29グリッドに位置している。
(重複・改築) 南壁は、土坑やピットに切られているため、はっきりしない。
(形態・規模) 形態は不整楕円形を呈する。規模は長径4.50m、短径3.55mを測る。
(壁・周溝) 壁は西壁は急傾斜で立ち上がり、深さが北15cm、東9cm、南24cm、西33cmを測る。周溝は存在しない。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 西壁際には、小ピットが多数並んでいる。主柱穴は4本で、各柱穴の大きさは、P－1で径43cm、深

さ66cm、P－2で径41cm、深さ60cm、P－3で径23cm、深さ50cm、P－4で径24cm、深さ44cm、をそれぞれ測る。他にP－5（46cm）、P－6（31cm）の深いピットがあり、他は20cm台以下。

(炉) 炉址は、中心より西側に寄って位置する。埋甕炉で、径65×58cm、深さ20cmを測り、焼土は、わずかに埋甕の北西、南東側に確認できた。

(時期) 藤内式期。

(出土遺物) 北西壁近くの覆土中層には、小礫の集積ヵ所がある。

(覆土) 覆土は暗褐色土を基調とし、炭化粒子を全体に少量含み、中層には暗黒褐色土層があり、黒曜石チップを多量に含んでいる。

52号住居跡

(位置) I'－32・33、J'－32・33グリッドに位置している。

(形態・規模) 遺存度はきわめて悪い。形態は円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存6.30m、短径残存6mを測る。

(壁・周溝) 周溝は存在しない。

(床面) ローム地山床。

(柱穴) 主柱穴は6本で2つのグループが認められる。P－1（深さ60cm）、P－2（深さ53cm）、P－3（深さ48cm）、P－4（深さ61cm）、P－5（深さ47cm）、P－6（深さ40cm）のグループと、P－7（深さ49cm）、P－8（深さ65cm）、P－9（深さ47cm）、P－10（深さ58cm）、P－11（深さ32cm）、P－12（深さ60cm）のグループである。他に深いピットは60cm台がP－12・13、50cm台がP－14、40cm台がP－15～17、30cm台がP－18～20で、他は20cm台以下の浅いピット。

(炉) 炉址はほぼ中央から北西部にかたよった位置にあると思われる。石囲炉で、径92×82cm、深さ30cmを測る。炉址掘り方底面に最大厚11cmで焼土層が形成されていた。長さ40～20cm、幅25～20cm、厚さ10cm程度の板状の礫が平坦に置かれている。炉の掘り方の焼土面を覆う暗褐色土の上に置かれており、炉を解体し埋めもどした後に用材を上に配置したものと思われる。これ以外に、炉址の南側にイ焼土として58×55cmの範囲で焼土が分布していた。

(時期) 井戸尻式期。

(出土遺物) 炉址のすぐ南側で床直遺物としてほぼ完形の深鉢が横位にて出土。

53号住居跡

(位置) I'－27・28、J'－28グリッドに位置している。

(形態・規模) 住居跡の遺存状況は悪く、東壁の途中から北壁、西壁にかけては確認できなかった。形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存5.20m、短径3.80mを測る。

(壁・周溝) 壁は深さが東7cm、南7cmを測る。周溝は存在しない。

(床面) ローム地山床で、西から東方向へゆるやかに傾斜。

(柱穴) 主柱穴は不明。70cm台の深さのピットがP－1・2、60cm台がP－3～6、50cm台がP－7・8、40cm台がP－9～18、30cm台がP－19～26で、他は20cm台以下の浅いピット。

(炉) 地床炉で、径70×53cmを測る。厚さ12cm焼土がみられた。

(時期) 藤内式期。

(出土遺物) 南壁際でミニチュア土器（完形）が床直で出土。P－14より円筒型深鉢が横位で出土。（土坑の可能性あり。）

(覆土) 覆土は暗褐色土を基調とし、全体に焼土粒子がみられ、上層から中層にかけては炭化粒子も多く含まれる。

54号住居跡

(位置) H'－26・27、I'－26・27グリッドに位置している。

(重複・改築) 南～南西側は、55号住居跡と切り合っている。

(形態・規模) 形態は円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存5.40m、短径残存5.30mを測る。

(壁・周溝) 壁は深さが北1cm、西10cmを測る。周溝は西辺から、北辺の一部分にあるだけで、他の辺にはなかった。

(床面) ローム地山床。

(柱穴) 主柱穴は7本で、P－1（深さ62cm）、P－2（深さ89cm）、P－3（深さ61cm）、P－4（深さ55cm）、P－5（深さ55cm）、P－6（深さ74cm）、P－7（深さ63cm）である。深いピットはこの他に60cm台がH'27ト土坑、I'26イ土坑、50cm台がP－8～11、40cm台がP－12～16、I'26ロ土坑、H'26ロ土坑、30cm台がP－17～19、H'27ハ土坑で、他は20cm台以下。

(炉) 炉址は、住居跡中央よりやや北によって位置し、石囲炉で、径101×80cm、深さ18cmを測る。長さ40～25cm、幅20～15cm、厚さ15～10cmの角柱状と板状の礫を3方に立て、さらに15cm角程度の大きさの礫3個を併立させて一辺を構成している。掘り方が2つ存在している。焼土は遺存しない。

(時期) 井戸尻式期。

(出土遺物) 石囲の中の覆土5cm程下から黒曜石チップが出土。P－7中層より黒曜石フレーク4点が出土。

(覆土) 覆土は黒褐色土を基調とし、ロームブロック、炭化粒子を多量に含んでいる。

55号住居跡

(位置) I'－26グリッドに位置している。調査区外にのびる。54号住居跡とも切り合う。

(形態・規模) 南壁は調査区外、北東壁は土坑群、北壁は54号住居跡との重複により確認できず、北西壁のみ確認できた。形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存4.50m、短径残存1.90mを測る。

(壁・周溝) 壁は北西壁のみで、深さが北9cm、西8cmを測る。周溝は存在しない。

(床面) ローム地山床。

(柱穴) 主柱穴は2本を確認した。P－1（深さ76cm）とP－2（深さ71cm）である。また、P－3は深さ39cmと深いが、他は20cm台以下の浅いピット。

(炉) 炉址は、調査区外に存在すると思われる。

(時期) 五領ヶ台式期。

(覆土) 覆土は、暗褐色土を基調とし、全体に炭化粒子、焼土粒子を含み、特に中層より下層にかけて焼土粒子が多い。

56号住居跡

(位置) I'－26・27、J'－26グリッドに位置している。半分は調査区外。

(重複・改築) 西壁は、57号住居跡を切っている。東壁は外側の周溝より約80cm程離れており、その部分がテラス状になっている。3回の拡張があったと思われる。

(形態・規模) 本住居址は、南半分が調査区外にある。形態は円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存6m、短径残存3.02mを測る。

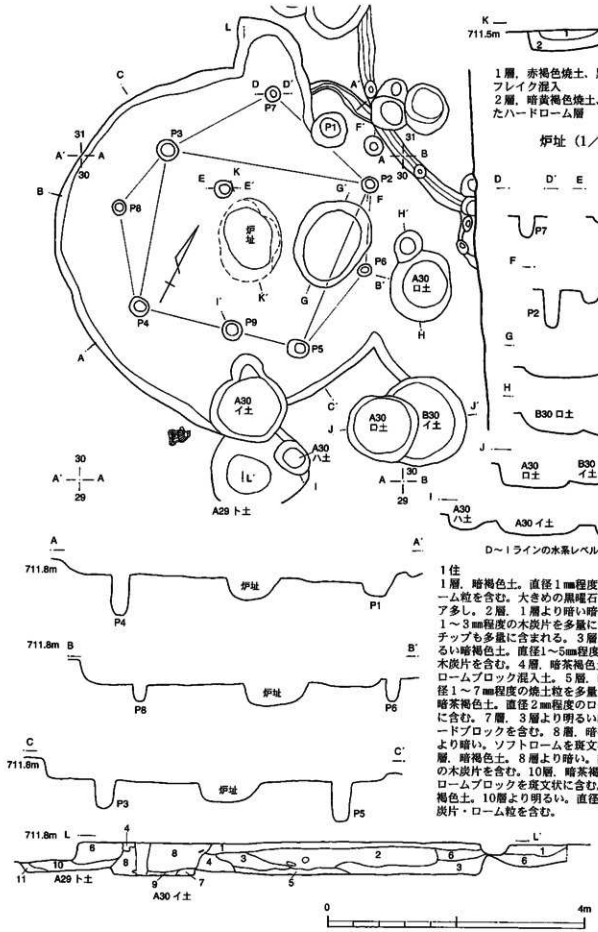
(壁・周溝) 壁は、深さが北22cm、東10cm、西13cmを測る。周溝は、同心円状に2重にある。

(床面) ローム地山床。全面硬化。炉址に向かい、外から内側に傾斜。

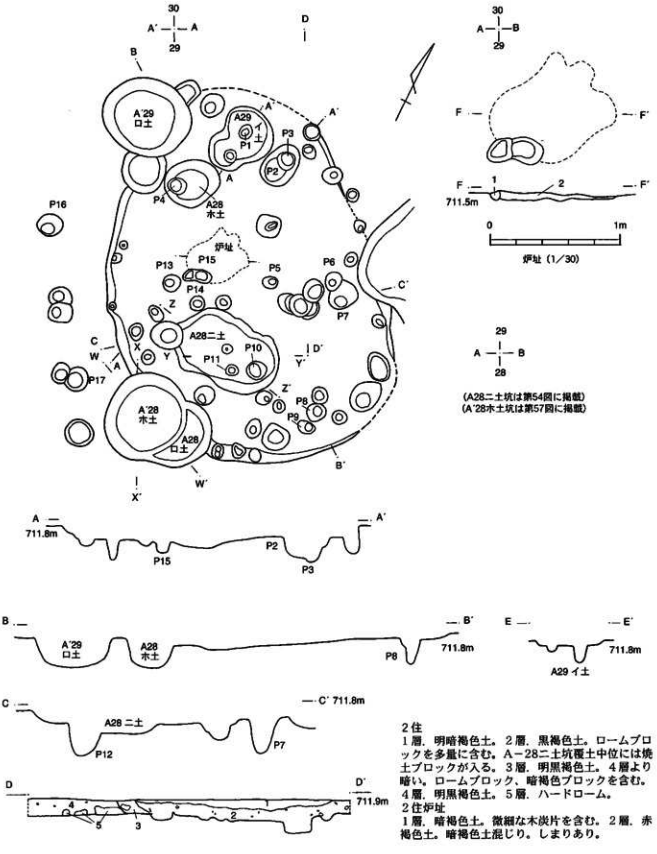
(柱穴) 確認された主柱穴は、4本で、それ以外は、調査区外にあると思われる。P－1（深さ85cm）、P－2（深さ69cm）、P－3（深さ57cm）、P－4（深さ60cm）である。他に60cm台の深さのピットがP－5・6、50cm台がP－7・8、40cm台がP－9、30cm台がP－10・11で、他は20cm台以下。

(炉) 炉掘り方は、径残存72×77cm、深さ23cmを測り、24×16cmの範囲で焼土が炉址掘り方の東側にあった。掘り方内から20cm大の礫が2点出土し、石囲炉であった可能性がある。
(時期) 藤内式期。
(出土遺物) 北西壁よりの覆土中層より土製スプーン出土。藤内式土器が住居址中央部覆土中層より固まって出土。覆土全体に黒曜石チップとフレークが多量に出土し、特に上層から中層にかけて多かった。土偶も出土。
(覆土) 覆土は、暗褐色土を基調とし全体にローム粒子、炭化粒子を含む。また最下層には、焼土粒子が含まれる。

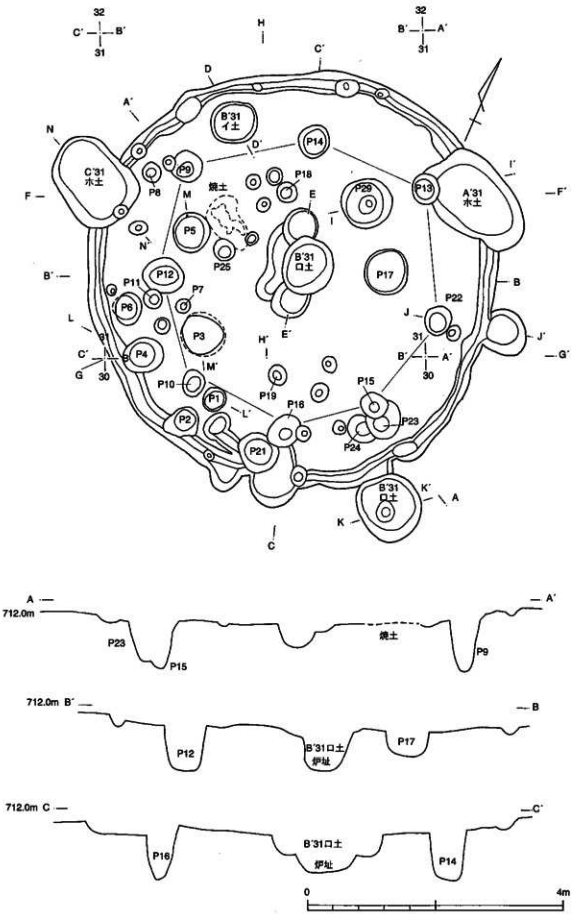
57号住居跡
(位置) J'－27、K'－26・27グリッドに位置している。
(重複・改築) 東側を56号住居跡に切られている。
(形態・規模) 南側は、調査区外にある。形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存5.92m、短径残存2mを測る。
(壁・周溝) 壁はなだらかに立ち上がり、深さが北19cm、西20cmを測る。周溝は存在しない。
(床面) ローム地山床。
(柱穴) 主柱穴は不明。P－1（深さ80cm）、P－2（深さ51cm）、P－3（深さ58cm）の他、40cm台の深さがP－4・5、30cm台がP－6～9で、他は20cm台以下の浅いピット。
(炉) 56号住居跡に切られて欠落している。
(時期) 五領ヶ台式期。
(覆土) 明暗褐色土を基調とし、全体に、ローム粒子、炭化粒子を含んでいる。



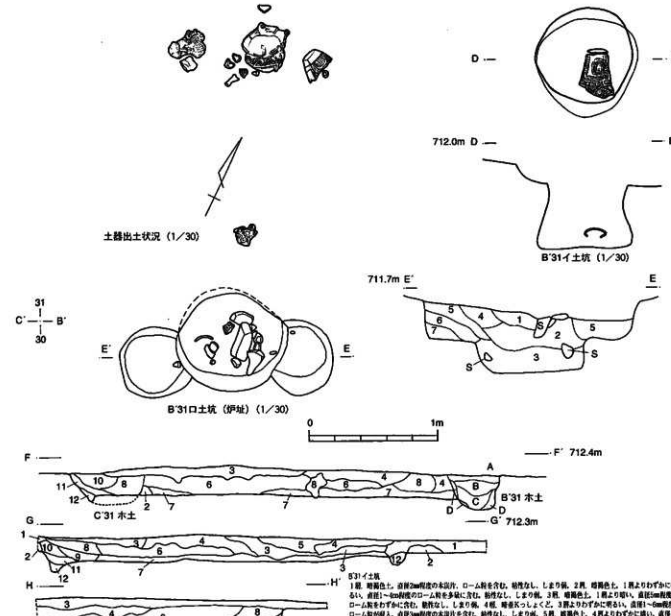
第5図　1号住居跡（1／60）



第6図　2号住居跡（1／60）



第7図　3号住居跡（1）（1／60）



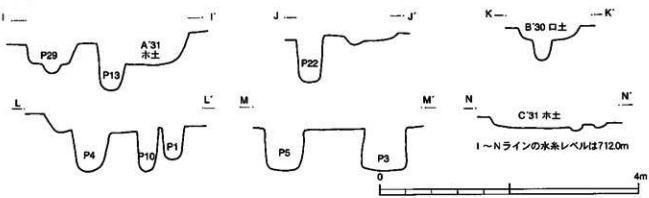
1層 暗褐色土。直径2m程度の木炭片、ローム粒を含む。粘性なし、しまり弱。2層 暗褐色土。1層よりわずかに明るい。直径1～2cm程度のローム粒を多量に含む。粘性なし、しまり弱。3層 暗褐色土。1層より明い。直径5cm程度のローム粒をわずかに含む。粘性なし、しまり弱。4層 暗褐色～レッとご。3層よりわずかに明るい。直径1～5cm程度のローム粒が混入。直径3cm程度の木炭片を含む。粘性なし、しまり弱。5層 暗褐色土。4層よりわずかに暗い。直径1cm程度のローム粒を含む。粘性なし、しまり弱。6層 黒褐色土。直径5cm程度のローム粒、木炭片を含む。粘性わずかにあり、しまりなし。7層 暗茶褐色土。ローム粒、ブロック混入土。粘性やや有り、しまり弱。8層 6層より明るい茶褐色土。直径1cm程度のローム粒をわずかに含む。粘性、しまりなし。9層 8層より明るい茶褐色土。直径1cm程度の木炭片を含み、ローム粒、ブロックの混入土。粘性やや有り、しまり弱。A層 暗褐色土。1層より明るい。直径1cm程度のローム粒を含む。粘性なし、しまりなし。B層 暗褐色土。直径1～5cm程度のローム粒、木炭片を多量に含む。粘性、しまりなし。C層 暗褐色土。B層より明るい。ローム7ロック直径12cm程度を含む。粘性、しまりなし。D層 暗褐色土。明るい。直径1cm程度のローム粒を多量に含む。粘性、しまりなし。E層 暗褐色土。直径1cm程度のローム粒が混入。粘性、しまりなし。

3層

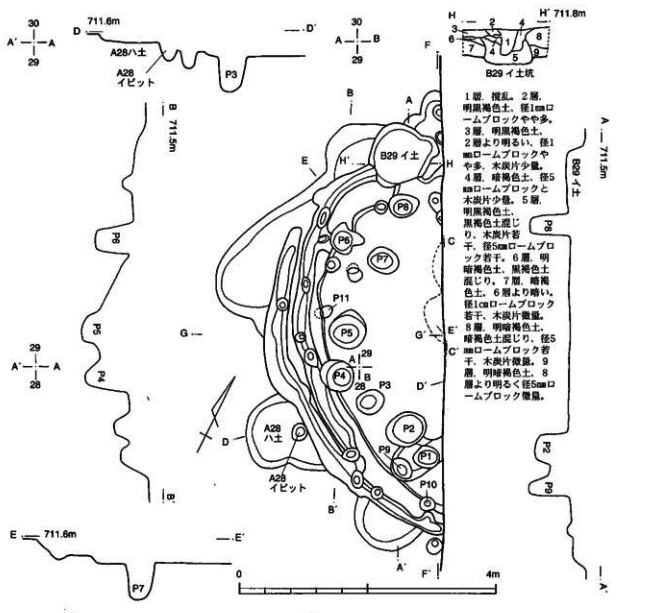
1層 暗褐色土。直径1～10cm程度のローム粒、ブロックが混入。直径2cm程度の木炭片を少量含む。2層 暗褐褐色土。ハードローム7ロック、直径3cm程度の木炭片を含む。3層 暗褐色土。直径2cm程度のローム粒、直径3cm程度の木炭片を含む。4層 暗茶褐色土。ソフトローム を混文状に含み、直径2cm程度の木炭片も含まれる。5層 暗褐色土。直径2～6cm程度のローム粒を多量に含む。6層 暗褐色土（一番暗い）。直径1～3cm程度の木炭片、直径2cm程度のローム粒を多量に含む。7層 明黒褐色土。直径2cm程度の木炭片、ローム粒を含む。8層 暗褐色土。直径2cm程度のローム粒を多量に含み、直径3cm程度の木炭片を微量に含む。9層 暗褐色土。直径10cm程度のローム7ロックを含む。10層 暗褐色土。直径5cm程度のローム粒を多量に含む。11層 明黒褐色土。直径3cm程度のローム粒を少量含む。12層 暗褐色土。直径10～20cm程度のローム7ロックを含む。

6' －31木土坑

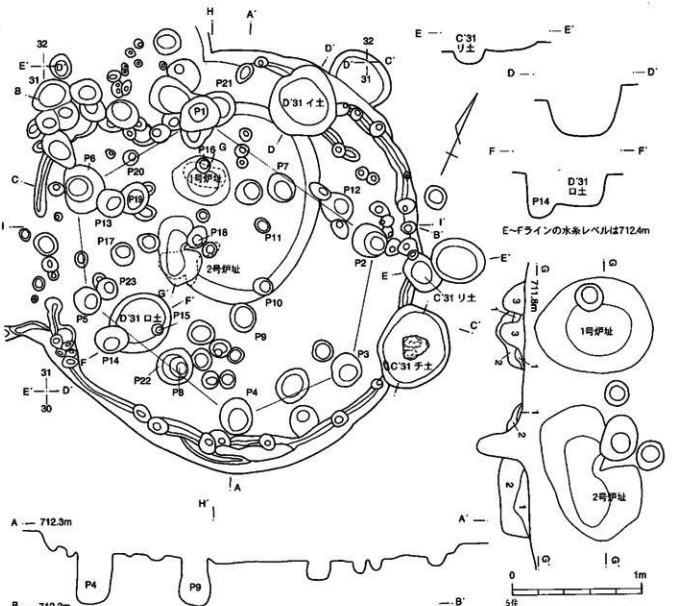
A層 暗褐色土。直径1cm程度の木炭片を含む。B層 暗褐色土。A層より明るい。直径1～3cm程度の木炭片を含む。C層 暗褐色土。A層より暗い。直径2cm程度の木炭片、ローム粒を含む。D層 暗褐色土。B層より明るい。ローム7ロックを含む。



第８図　３号住居跡 (2) (1／60)



第９図　４号住居跡（1/60）

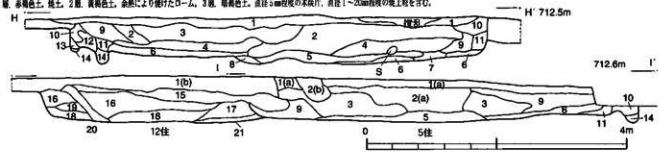


5住

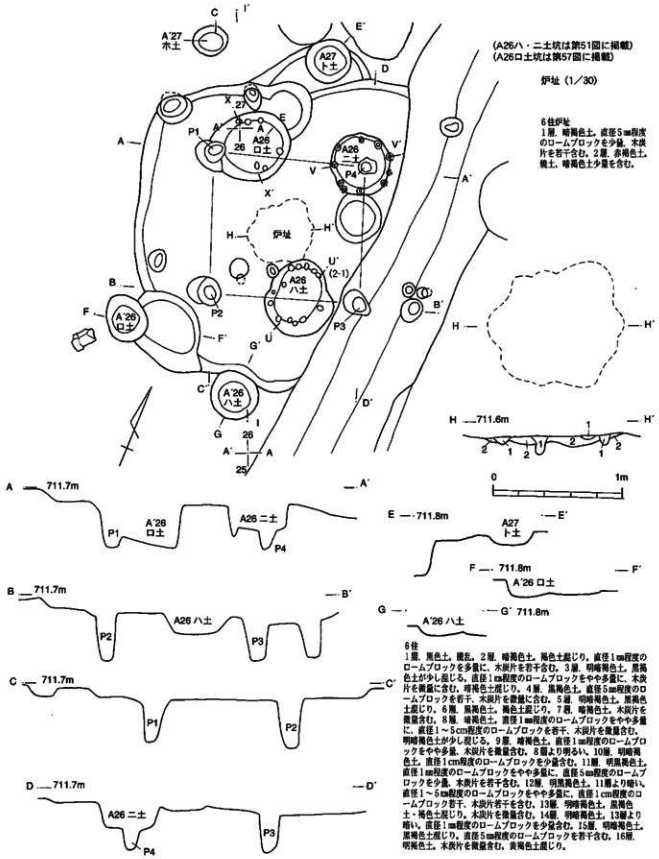
1（a）鋭、暗茶褐色土。直径1mm程度の木炭片、ローム粒多量を含む。1（b）鋭、暗茶褐色土。1層より明るい。直径1mm程度の木炭片、ローム粒を含み、茶褐色土を斑文状に含む。2（a）鋭、暗黒褐色土。直径10～30mm程度の木炭片、直径1～5mm程度の焼土粒、ローム粒を含む。2（b）鋭、2層より暗い暗黒褐色土。直径2mm程度のローム粒、焼土粒を多く含む。3鋭、暗褐色土。直径1～5mm程度の木炭片を含み、直径2mm程度のローム粒を多量に含む。4鋭、暗褐色土。3層より暗い。直径1～3mm程度のローム粒を多量に含み、直径1mm程度の木炭片を含む。5鋭、暗褐色土。4層と同じ色調。直径5～10mm程度のローム粒、焼土粒を含む。6鋭、暗褐色土。直径1mm程度のローム粒をわずかに含む。7鋭、暗褐色土。4層と同じ色調。直径1mm程度の木炭片、ローム粒を多量に含む。8鋭、暗褐色土。ロームブロックを含む。9鋭、暗褐色土。直径3mm程度の焼土粒をわずかに含み、直径1mm程度のローム粒を多量に含む。10鋭、暗茶褐色土。ソフトロームを斑文状に含み、直径1mm程度の木炭片を含む。11鋭、暗褐色土。直径2mm程度のローム粒、木炭片を少量含む。12鋭、暗褐色土。直径3mm程度のローム粒を多量に含む。しまりやや有り。13鋭、暗茶褐色土。10層より暗い。ソフトロームを斑文状に含み、直径1mm程度の木炭片を含む。14鋭、暗褐色土。直径1mm程度のローム粒、木炭片をわずかに含む。15鋭、暗褐色土。直径1～3mm程度の木炭片をわずかに含む。16鋭、暗褐色土。15層より暗い。直径2mm程度のローム粒、直径10mm程度の焼土粒を含む。17鋭、暗褐色土。15層より明るい。直径1～3mm程度のローム粒を含む。18鋭、黒褐色土。木炭片、焼土粒主体に混入する。19鋭、暗茶褐色土。直径3mm程度のローム粒を多量に含み、直径10～30mm程度のロームブロックをわずかに含む。20鋭、暗褐色土。16層より暗い。直径1～5mm程度のローム粒を含む。

5住炉址

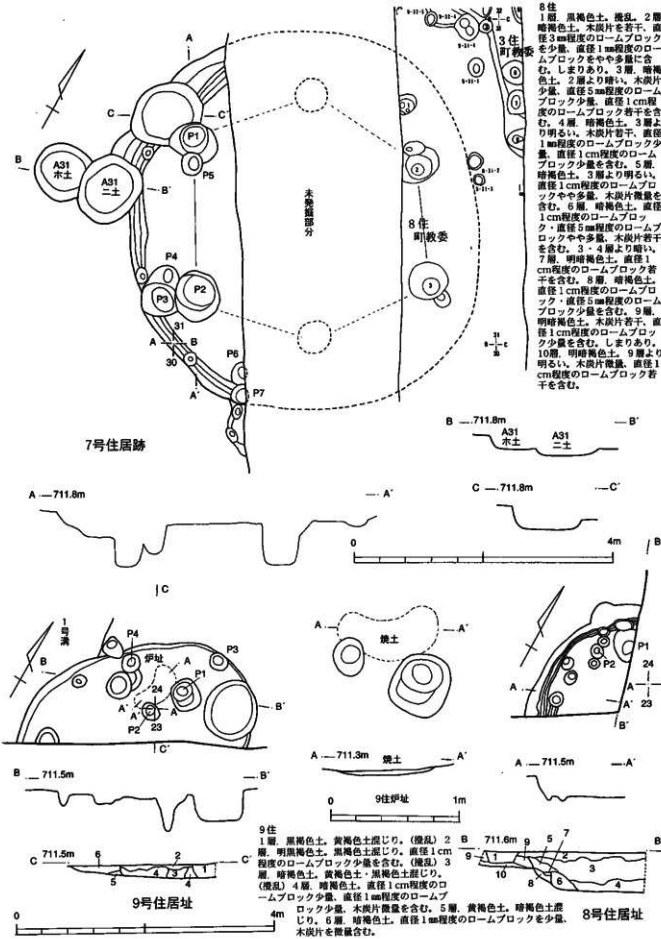
1層、赤褐色土。焼土。2層、黄褐色土。余熱により焼けたローム。3層、暗褐色土。直径5mm程度の木炭片、直径1～20mm程度の焼土粒を含む。



第10図　5号住居跡（1／60）



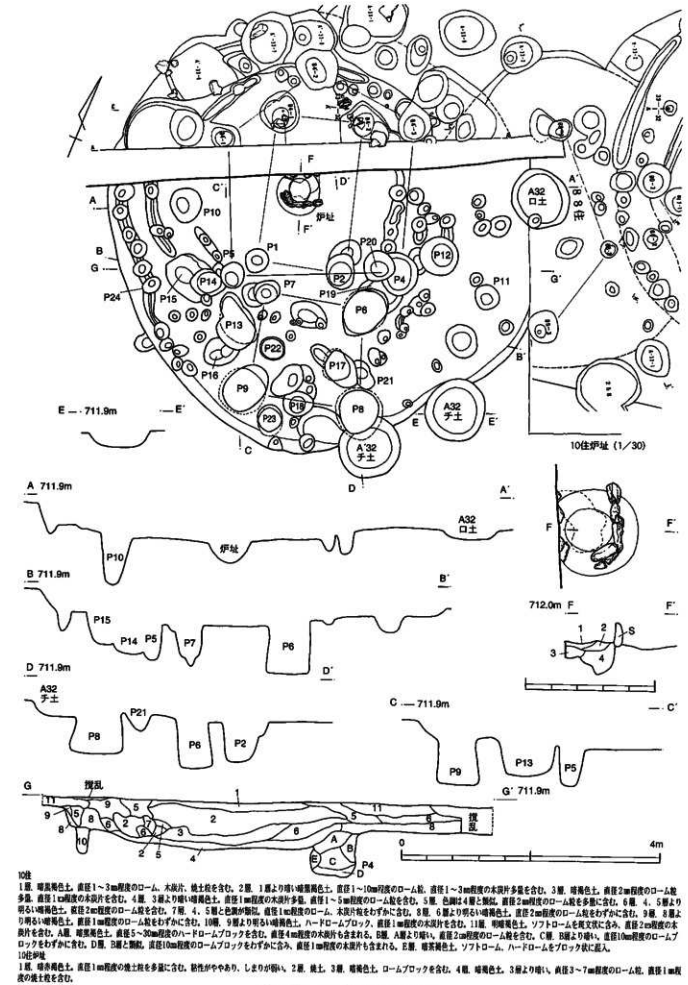
第11図　6号住居跡 (1/60)



8住
1層．黒褐色土．撹乱．2層．暗褐色土．木炭片を若干，直径3mm程度のロームブロックを少量，直径1mm程度のロームブロックをやや多量に含む．しまりあり．3層．暗褐色土．2層より暗い．木炭片少量，直径5mm程度のロームブロックが散．直径1cm程度のロームブロック若干を含む．4層．暗褐色土．3層より明るい．木炭片若干，直径1cm程度のロームブロック少量を含む．5層．暗褐色土．3層より明るい．直径1cm程度のロームブロックやや多量．木炭片微量を含む．6層．暗褐色土．直径1cm程度のロームブロック・直径5mm程度のロームブロックやや多量．木炭片若干を含む．3・4層より暗い．7層．明暗褐色土．直径1cm程度のロームブロック若干を含む．8層．暗褐色土．直径1cm程度のロームブロック・直径5mm程度のロームブロック少量を含む．9層．明暗褐色土．木炭片若干，直径1cm程度のロームブロック少量を含む．しまりあり．10層．明暗褐色土．9層より明るい．木炭片微量，直径1cm程度のロームブロック若干を含む．

9住
1層．黒褐色土．黄褐色土混じり．(撹乱) 2層．明黒褐色土．黒褐色土混じり．直径1cm程度のロームブロック少量を含む．(撹乱) 3層．暗褐色土．黄褐色土・黒褐色土混じり．(撹乱) 4層．暗褐色土．直径1cm程度のロームブロック少量，直径1mm程度のロームブロック少量．木炭片微量を含む．5層．黄褐色土．暗褐色土混じり．6層．暗褐色土．直径1mm程度のロームブロックを少量．木炭片を微量含む．

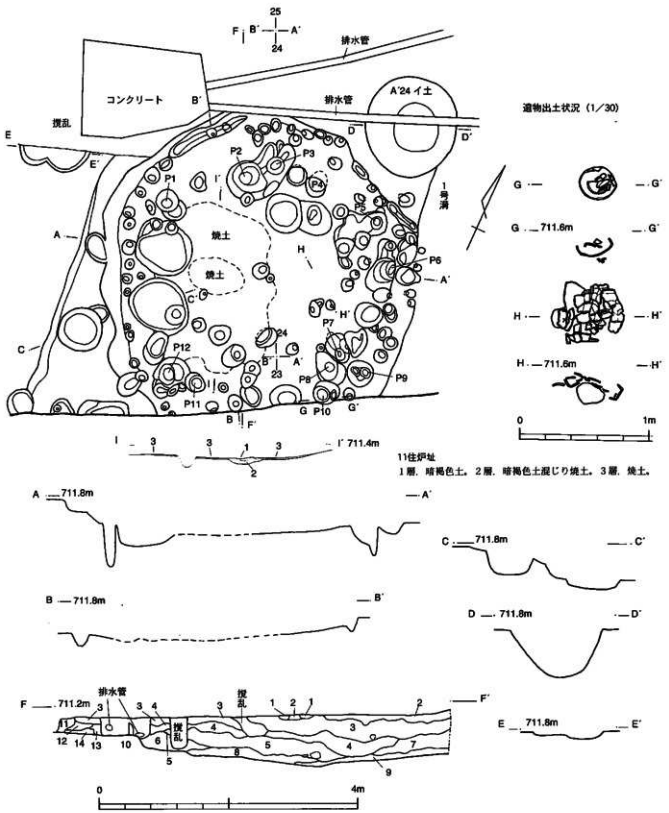
第12図　7・8・9号住居跡（1／60）



10住
1層. 暗黒褐色土. 直径1～3mm程度のローム. 木炭片. 焼土粒を含む. 2層. 1層より暗い暗黒褐色土. 直径1～10mm程度のローム粒. 直径1～3mm程度の木炭片多量を含む. 3層. 暗褐色土. 直径2mm程度のローム粒多量. 直径1cm程度の木炭片を含む. 4層. 3層より暗い暗褐色土. 直径1mm程度の木炭片多量. 直径1～5mm程度のローム粒を含む. 5層. 色調は4層と類似. 直径2mm程度のローム粒を多量に含む. 6層. 4、5層より明るい暗褐色土. 直径2cm程度のローム粒を含む. 7層. 4、5層と色調が類似. 直径1cm程度のローム. 木炭片粒をわずかに含む. 8層. 6層より明るい暗褐色土. 直径2mm程度のローム粒をわずかに含む. 9層. 8層より明るい暗褐色土. 直径1mm程度のローム粒をわずかに含む. 10層. 9層より明るい暗褐色土. ハードロームブロック. 直径1mm程度の木炭片を含む. 11層. 明暗褐色土. ソフトロームを斑文状に含み. 直径2cm程度の木炭片を含む. A層. 暗黒褐色土. 直径5～30mm程度のハードロームブロックを含む. 直径4mm程度の木炭片も含まれる. B層. A層より暗い. 直径2mm程度のローム粒を含む. C層. B層より暗い. 直径10mm程度のロームブロックをわずかに含む. D層. B層と類似. 直径10mm程度のロームブロックをわずかに含み. 直径1mm程度の木炭片も含まれる. E層. 暗黒褐色土. ソフトローム、ハードロームをブロック状に混入.

10住炉址
1層. 暗赤褐色土. 直径1mm程度の焼土粒を多量に含む. 粘性がややあり、しまりが弱い. 2層. 焼土. 3層. 暗褐色土. ロームブロックを含む. 4層. 暗褐色土. 3層より暗い. 直径3～7mm程度のローム粒. 直径1mm程度の焼土粒を含む.

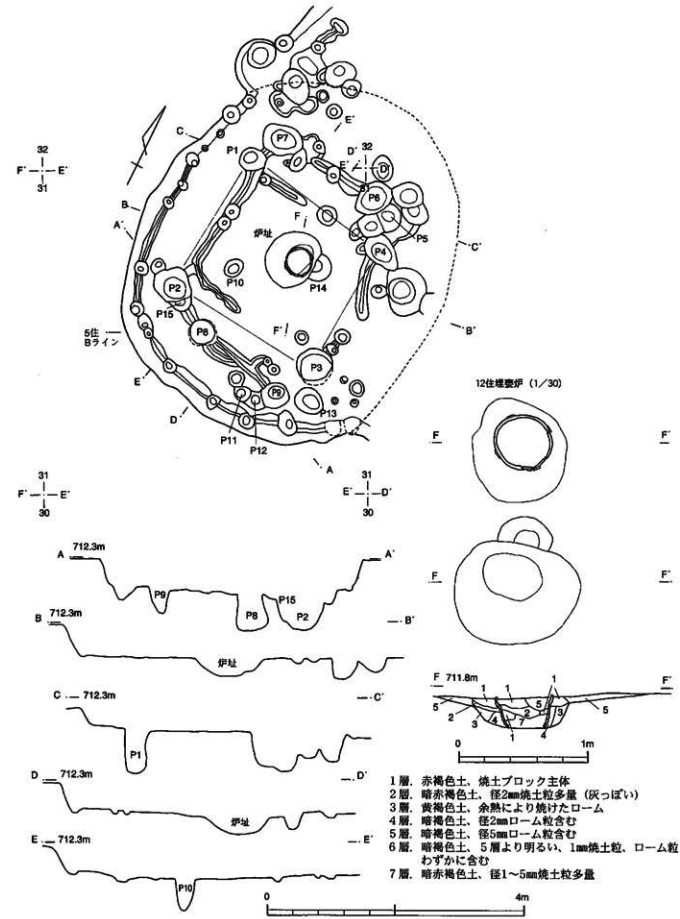
第13図　10号住居跡（1／60）



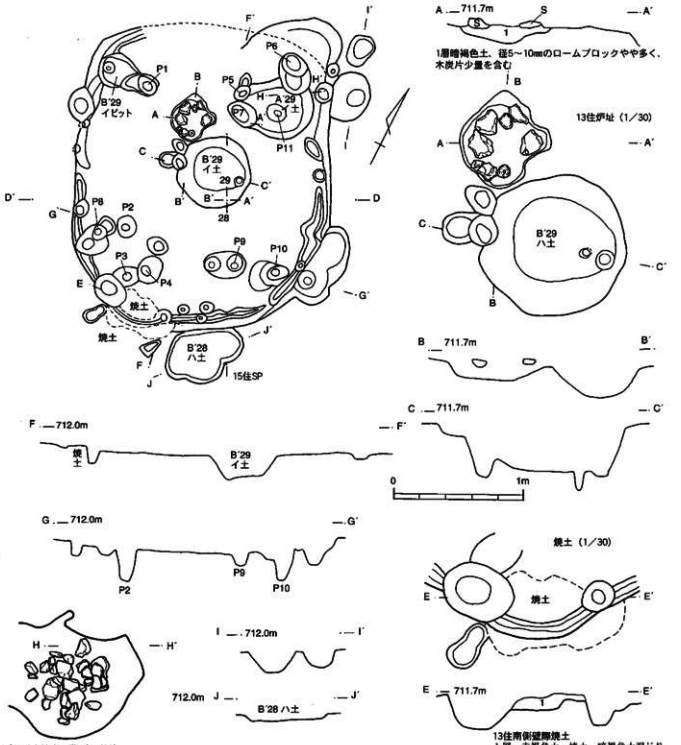
11住

1層．黒色土．直径1㎜程度のロームブロックをやや多量に含む．2層．明褐色土．直径1㎜程度のロームブロックを多量に、木炭片を若干含む．暗褐色土混じり．3層．暗褐色土．直径1㎜程度のロームブロックを多量に、直径1cm程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む．明暗褐色土混じり．4層．明黒褐色土．直径1cm程度のローム ブロック多量、直径3～5cm程度のロームブロック少量、木炭片少量、焼土粒少量を含む．5層．褐色土．直径1～3cm程度のローム ブロックを多量に、直径5～15cm程度のローム ブロックをやや多量に含む．黒褐色土・暗褐色土混じり．焼土粒を少量含む．6層．暗褐色土．直径1～5㎜程度のローム ブロックをやや多量に、木炭片を少量含む．7層．暗褐色土．直径1㎜程度のローム ブロックを多量に、直径5㎜程度のローム ブロックを若干、焼土粒を少量含む．3層よりしまりあり．木炭片を少量含む．8層．暗褐色土．9層より暗い．直径5㎜程度のローム ブロックを少量．直径1㎜程度のローム ブロックをやや多量に、木炭片を少量、焼土粒を若干含む．9層．暗褐色土．直径5㎜程度のローム ブロックを少量含む．7層より明るい．木炭片を若干、焼土粒を少量含む．10層．暗褐色土．木炭片を微量含む．11層．明暗褐色土．黒褐色土混じり．直径5㎜程度のローム ブロックを若干含む．12層．明暗褐色土．11層より明るい．直径5㎜程度のローム ブロックを微量、木炭片を微量含む．13層．褐色土．直径5㎜程度のローム ブロックを若干、木炭片を微量含む．14層．明褐色土．明暗褐色土混じり．

第14図　11号住居跡（1／60）

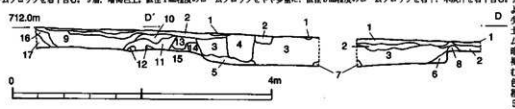


第15図　12号住居跡 (1/60)

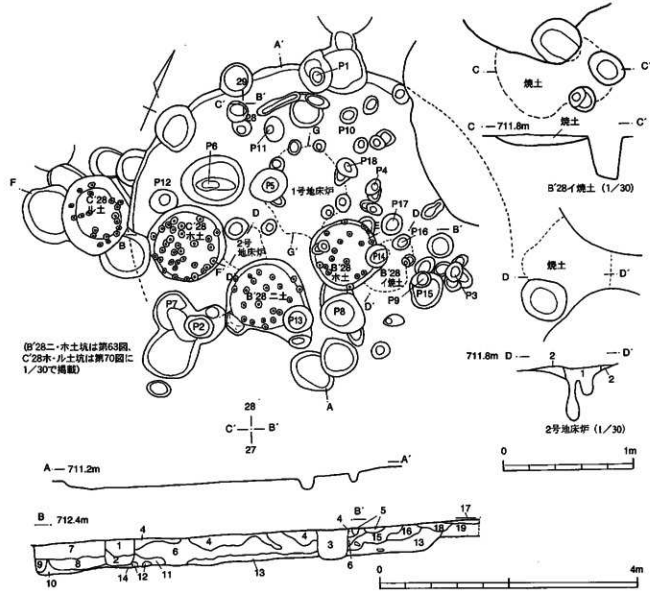


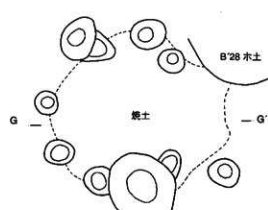
13住

1層。黒色土。直径5mm程度のロームブロックをやや多量に含む。撹乱。2層。明暗褐色土。直径5mm程度のロームブロックを少量、木炭片を若干含む。暗褐色土混じり。3層。暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックを多量に、直径5mm程度のロームブロックをやや多量に、直径1～2cm程度のロームブロックを若干、木炭片を少量含む。4層。黒褐色土。暗褐色土混じり。直径1mm程度のロームブロックをやや多量に、直径1cm程度のロームブロックを若干含む。5層。明暗褐色土。直径5mm程度のロームブロック少量、暗褐色土ブロックを含む、木炭片を微量含む、やしまりあり。6層。明暗褐色土。直径5mm程度のロームブロックを若干含む。7層。明暗褐色土。直径5mm程度のロームブロックを若干含む。8層。明暗褐色土。2層より暗い。直径1mm程度のロームブロック少量、木炭片若干を含む。9層。暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックをやや多量に、直径5mm程度のロームブロックを若干、木炭片を若干含む。10層。明暗褐色土。2層より暗い。直径1mm程度のロームブロック少量、木炭片若干を含む。11層。暗褐色土。10層より明るい。直径5mm程度のロームブロック若干、木炭片微量を含む。12層。暗黄褐色土。暗褐色土混じり。13層。明暗褐色土。木炭片微量に、黄褐色土若干を含む。14層。黒色土。15層。黄褐色土。暗褐色土混じり。16層。明暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックをやや多量に、直径5mm程度のロームブロックを若干、含む。黒褐色土混じり。木炭片を若干含む。17層。明暗褐色土。16層より暗い。黒褐色土混じり。木炭片を若干含む。



第16図　13号住居跡（1／60）

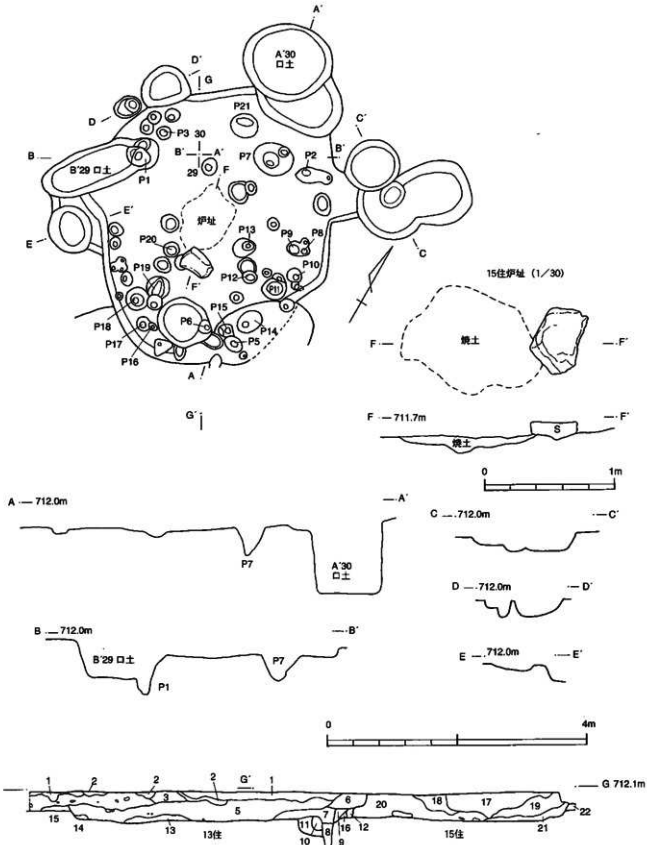




14住
1層. 黒色土. 暗褐色土混じり. 直径5mm程度のロームブロックをやや多量に、木炭片を若干含む. 柔らかい. 2層. 暗褐色土. 直径5mm程度のロームブロックを多量に、木炭片を微量に含む. 柔らかい. 3層. 黒色土. 直径1mm程度のロームブロックを多量に含む. 暗褐色土混じり. 直径5mm程度のロームブロックを若干、木炭片を若干含む. 柔らかい. 4層. 明暗褐色土. 直径1mm程度のロームブロックを若干、木炭片を微量含む. 5層. 褐色土. 黒褐色土混じり. 直径1mm程度のロームブロックを若干含む. 6層. 暗褐色土. 直径1mm程度のロームブロックをやや多量、焼土粒を少量、直径5mm程度のロームブロックを若干、木炭片を若干含む. 7層. 暗褐色土. 直径1mm程度のロームブロックを少量、木炭片を若干、焼土粒を若干含む. 8層. 暗褐色土. 7層より明るい. 黄褐色土混じり、木炭片を若干含む. 9層. 暗褐色土. 直径5mm程度のロームブロックを若干、木炭片を微量含む. 10層. 明暗褐色土. 黄褐色土混じり. 木炭片を若干含む. 11層. 暗褐色土. 直径5mm程度のロームブロックを若干含む. 12層. 黄褐色土. 暗褐色土が若干混じる. 13層. 暗褐色土. 6層より明るい. 直径1mm程度のロームブロックをやや多量に、直径1cm程度のロームブロックを若干、木炭片を若干含む. 14層. 暗褐色土. 8層より明るい. 直径5mm程度のロームブロックを少量含む. 15層. 明暗褐色土. 直径1mm程度のロームブロック少量、木炭片微量を含む. 暗褐色土混じり. 16層. 暗褐色土. 黒褐色土混じり. 直径1mm程度のロームブロックを少量含む. 17層. 黒色土. 焼乱. 18層. 明暗褐色土. 黒褐色土混じり. 直径5mm程度のロームブロック少量、木炭片若干を含む. 19層. 明暗褐色土. 18層より暗い. 暗褐色土混じり. 直径1mm程度のロームブロックを少量含む.

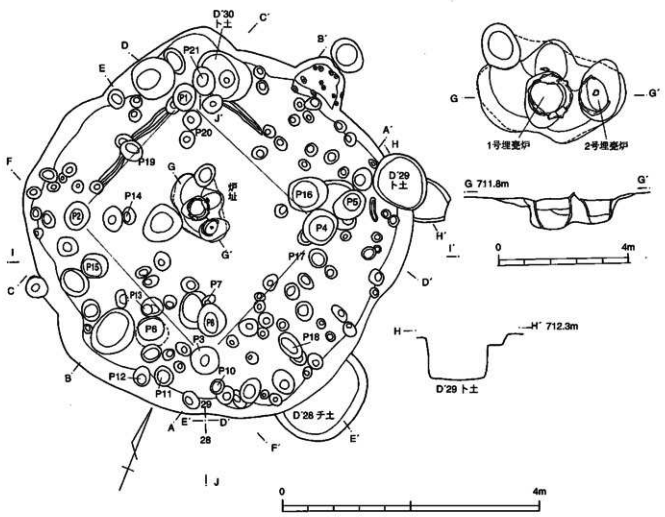
14住2号地床炉
1層. 黒褐色土. 木炭片少量、直径5mm程度のローム粒少量、直径1mm程度の焼土少量を含む. 2層. 赤褐色土. 焼土. しまりあり. 黒褐色土混じり.

第17図　14号住居跡 (1／60)



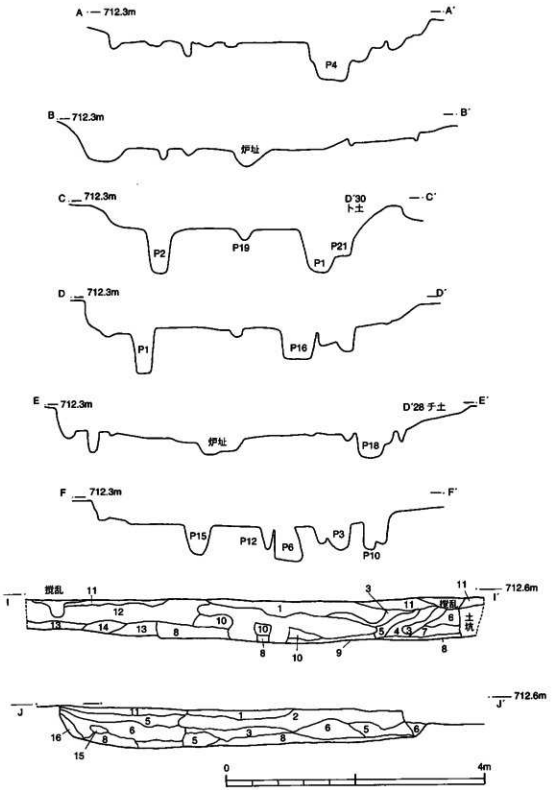
15住
1層. 黒色土. 直径1～5mm程度のロームブロック少量. 木炭片若干を含む. 2層. 明暗褐色土. 直径1mm程度のロームブロック少量. 直径1cm程度のロームブロック若干を含む. 黒褐色土混じり. 3層. 明暗褐色土. 2層より暗い. 直径1mm程度のロームブロックをやや多量に含む. 暗褐色土混じり. 4層. 暗褐色土. 直径1mm程度のロームブロック少量. 直径5mm程度のロームブロック少量. 木炭片若干を含む. やや柔らかい. 5層. 暗褐色土. 4層より明るい. 直径1～5mm程度のロームブロック多量. 直径1cm程度のロームブロック少量. 木炭片少量を含む. ややしまりあり. 6層. 明褐褐色土. 直径1mm程度のロームブロック多量. 直径5mm程度のロームブロック若干. 木炭片若干を含む. 7層. 暗褐色土. 直径5mm程度のロームブロック少量. 直径3cm程度のロームブロック若干. 木炭片少量を含む. 8層. 明暗褐色土. 直径5mm程度のロームブロックを若干含む. 9層. 明暗褐色土. 直径1mm程度のロームブロックをやや多量に. 直径5mm程度のロームブロックを少量含む. 10層. 明暗褐色土. 8層より暗い. 直径5mm程度のロームブロックを少量含む. 11層. 褐色土. 直径5mm～1cm程度のロームブロック多量. 木炭片微量を含む. 12層. 暗褐色土. 直径5mm程度のロームブロックを少量含む. 13層. 暗褐色土. 直径1mm程度のロームブロックをやや多量に. 直径1cm程度のロームブロックを若干. 木炭片を若干含む. 5層より明るい. 14層. 暗褐色土. 5層より明るい. 直径1cm程度のロームブロックを若干含む. 15層. 暗褐色土. 5層より明い. 直径5mm程度のロームブロックを少量含む. 16層. 暗黄褐色土. 暗褐色土混じり. 17層. 明暗褐色土. 直径1mm程度のロームブロック量. 直径5mm程度のロームブロック量を含む. 壁の崩乱が多い. 18層. 明暗褐色土. 17層より暗い. 直径5mm程度のロームブロック若干. 直径1mm程度のロームブロック少量を含む. 19層. 暗褐色土. 直径1mm程度のロームブロックをやや多量に. 直径1cm程度のロームブロックを若干. 木炭片を若干含む. 20層. 暗褐色土. 6層より明るい. 直径1mm程度のロームブロック多量. 直径5mm程度のロームブロック少量. 木炭片少量を含む. 21層. 暗褐色土. 直径1mm程度のロームブロックやや多量. 直径1cm程度のロームブロック少量を含む. 19層より明るい. 22層. 暗褐色土. 21層より明るい. 直径1cm程度のロームブロックを若干含む.

第18図　15号住居跡（1／60）



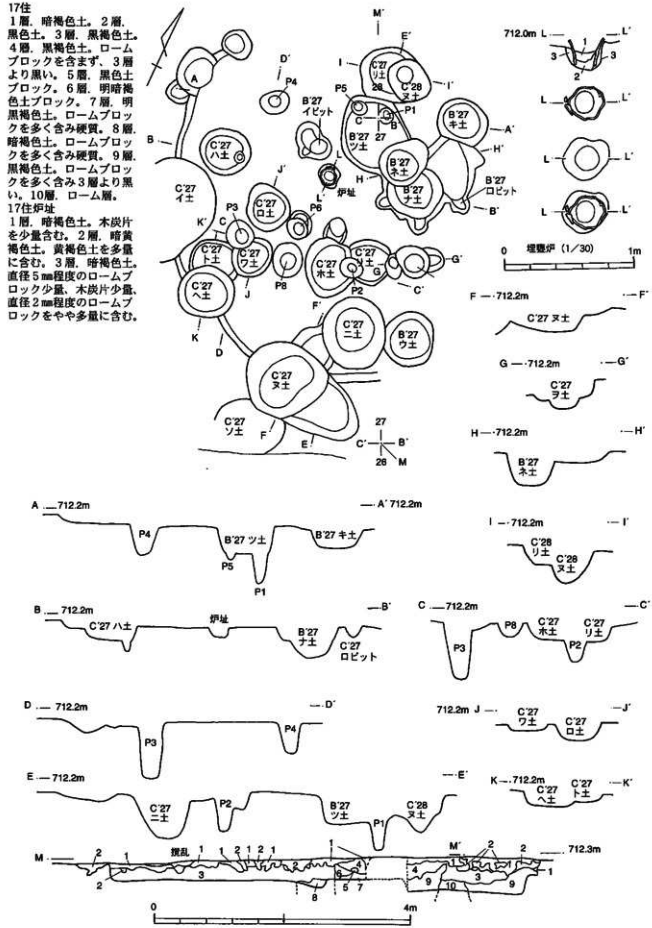
16住
1層．黒褐色土。直径2㎜程度のローム粒を多量に含み、直径1～5㎜程度の木炭片も含まれる。2層．暗黒褐色土。直径1～4㎜程度のローム・木炭片粒を多量に含む。3層．暗黒褐色土。直径2㎜程度のローム粒を少量含む。サラサラしている。4層．暗褐色土。直径5㎜程度のローム粒を含む。5層．暗褐色土。4層より暗い。直径2～6㎜程度のローム粒多量と直径7㎜程度の木炭片を含む。6層．暗褐色土。4層より明るい。直径1～3㎜程度のローム粒を多量に含む。7層．暗褐色土。6層より明るい。直径10㎜程度のローム粒をわずかに含む。8層．暗褐色土。直径1㎜程度の木炭片を多量に含み、直径20㎜程度のロームブロックを少量含む。9層．暗褐色土。直径3㎜程度のローム、焼土、木炭片粒が混入する。10層．暗茶褐色土。直径10㎜程度のローム粒多量、直径5㎜程度の木炭片粒少量を含む。11層．暗茶褐色土。茶褐色土を斑文状に含み、直径1㎜程度の木炭片粒を少量含む。12層．暗褐色土。直径1～10㎜程度のローム粒を含む。13層．暗褐色土。12層より暗く、8層より明るい。直径4㎜程度のローム粒を多量に含み、直径2㎜程度の木炭片を少量含む。14層．暗褐色土。8層に類似の色調。直径3㎜程度のローム粒を少量含む。15層．暗黄褐色土。ロームブロックが主体。16層．暗褐色土。直径3㎜程度のローム粒をわずかに含む。
16住炉址
1層．明暗褐色土。直径1～5㎜程度の焼土粒を多めに含む。2層．暗褐色土。直径1㎜程度の焼土粒、ローム粒を含む。3層．暗赤褐色土。直径1㎜程度の焼土粒を多量に含む。4層．赤褐色土。焼土。5層．暗褐色土。直径1～5㎜程度の木炭片、焼土粒の混入土。

第19図　16号住居跡（1）（1／60）

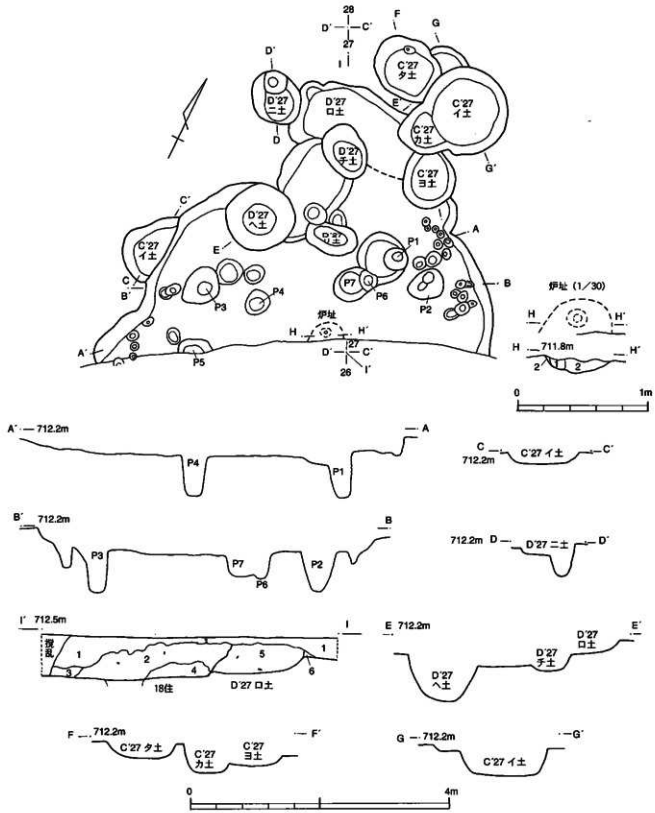


第20図　16号住居跡 (2) (1／60)

17住
1層．暗褐色土。2層．黒色土。3層．黒褐色土。4層．黒褐色土。ロームブロックを含まず、3層より黒い。5層．黒色土ブロック。6層．明暗褐色土ブロック。7層．明黒褐色土。ロームブロックを多く含み硬質。8層．暗褐色土。ロームブロックを多く含み硬質。9層．黒褐色土。ロームブロックを多く含み3層より黒い。10層．ローム層。
17住炉址
1層．暗褐色土。木炭片を少量含む。2層．暗黄褐色土。黄褐色土を多量に含む。3層．暗褐色土。直径5mm程度のロームブロック少量、木炭片少量。直径2mm程度のロームブロックをやや多量に含む。

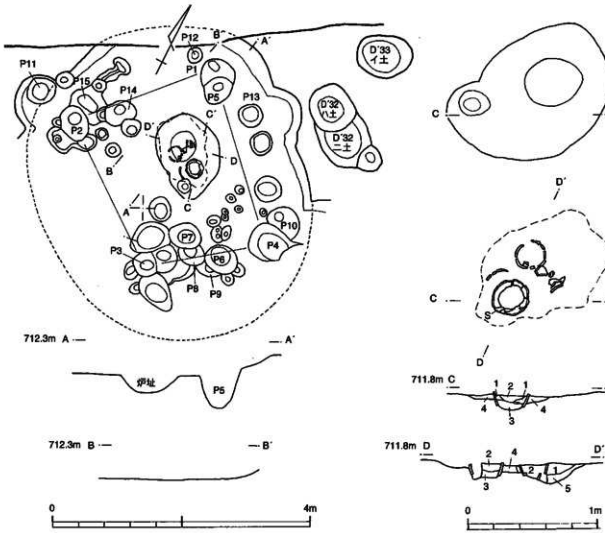


第21図　17号住居跡（1／60）



18住
1層．暗褐色土。斑文状に明暗褐色土が入る。2層．明黒褐色土。ローム小ブロックを多く含む。3層．褐色ロームブロック。4層．暗黒褐色土。ローム微粒子と焼土粒、木炭片を多量に含む。5層．黒褐色土。ローム小ブロックを少量含む。6層．ローム層。
18住炉址
1層．暗褐色土。直径5㎜程度のロームブロックを少量、焼土粒をやや多量に含む。2層．赤褐色土。焼土。しまりあり。暗褐色土混じり。

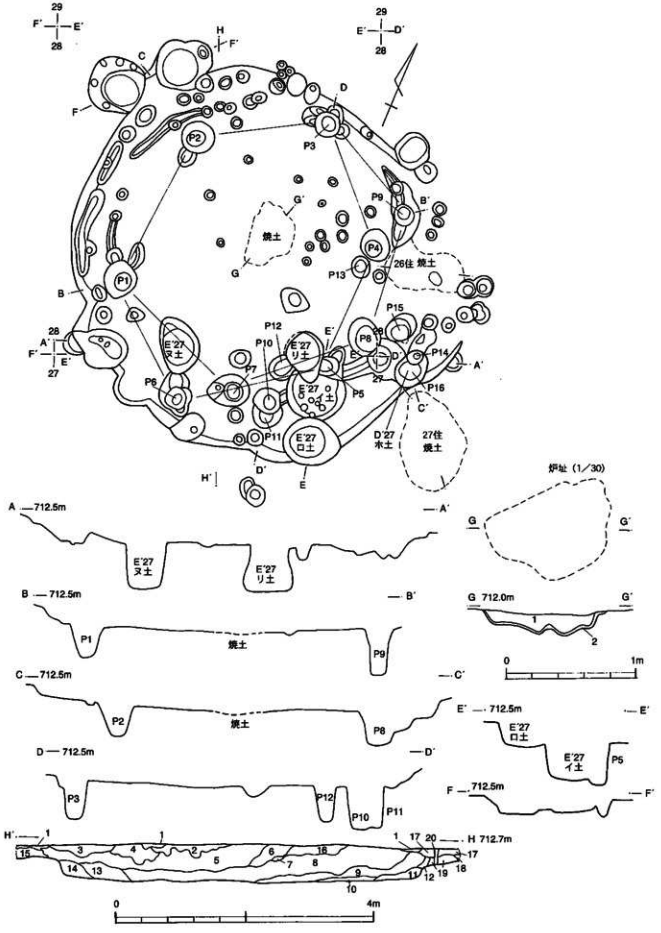
第22図　18号住居跡（1／60）



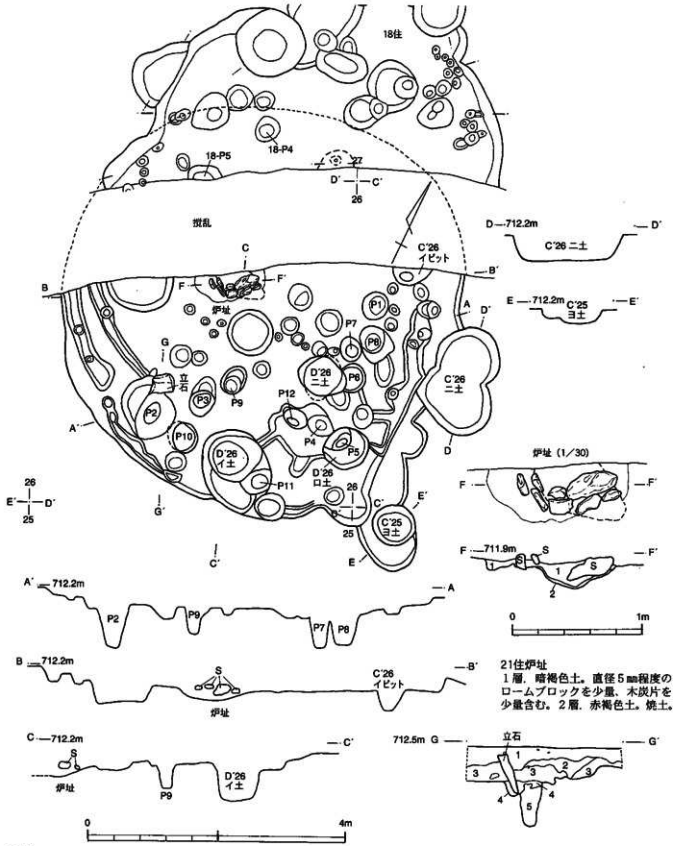
19住炉址
1層．赤褐色土。焼土ブロック主体。2層．暗褐色土。直径1㎜程度の焼土粒、木炭片を含む。3層．暗褐色土。2層より明るい。直径1㎜程度のローム粒、焼土粒を含む。4層．暗褐色土。直径2㎜程度の焼土粒を少量含む。5層．黄褐色土。被熱したローム層。

20住
1層．黒色土。撹乱。2層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックをやや多量に、木炭片を少量含む。3層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックをやや多量に、木炭片を若干含む。やや明るい。4層．明暗褐色土。2層より明るい。3層より暗い。直径1㎜程度のロームブロックをやや多量に、直径5㎜程度のロームブロックを若干、木炭片をやや少量含む。5層．明暗褐色土。2～4層より明るい。直径1～5㎜程度のロームブロックを多量に含む。褐色土混じり。木炭片をやや多量に含む。6層．暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックをやや多量に、直径5㎜程度のロームブロックを若干、木炭片を少量含む。7層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロック少量、木炭片若干を含む。8層．暗褐色土。直径1～5㎜程度のロームブロックを極めて多量に、直径1cm程度のロームブロックをやや多量に、木炭片を多量に含む。9層．暗褐色土。8層より明るい。直径1～5㎜程度のロームブロック多量、木炭片少量を含む。11層．暗褐色土。9層・10層より明るい。直径1㎜程度のロームブロック多量、直径1cm程度のロームブロック若干、木炭片微量を含む。12層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを多量に、木炭片を微量に含む。13層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを多量に、直径1cm程度のロームブロックを少量、木炭片をやや多量に含む。14層．明暗褐色土。13層より暗い。直径1㎜程度のロームブロックをやや多量に、直径5㎜程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む。15層．褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを多量に、木炭片を少量含む。16層．暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを多量に、直径5㎜程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む。17層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックをやや多量に、木炭片を少量含む。18層．明暗褐色土。17層より明るい。直径1㎜程度のロームブロック若干、木炭片若干を含む。19層．褐色土。直径1㎜程度のロームブロック若干、木炭片若干を含む。20層．黒色土。根の撹乱。
20住炉址
1層．暗褐色土。直径5㎜程度のロームブロック少量、焼土粒多量を含む。2層．赤褐色土。焼土。暗褐色土混じり。

第23図　19号住居跡（1／60）



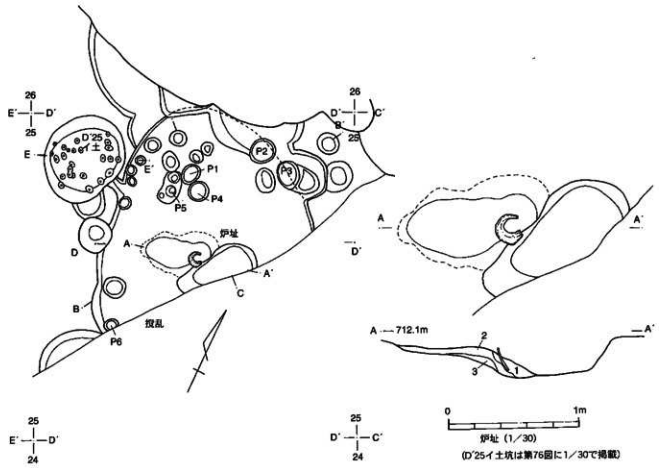
第24図　20号住居跡 (1/60)

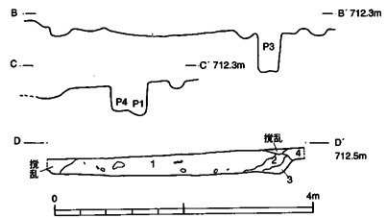


21住炉址
1層．暗褐色土。直径5㎜程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む。2層．赤褐色土。焼土。

21住
1層．明褐色土。暗褐色土ブロックを斑文状に含む。2層．暗褐色土。軟質。3層．暗褐色土。硬質でローム小ブロックを多量に含む。4層．暗褐色土。3層より大粒のロームブロックを多量に含み、3層より硬質。5層．褐色ロームブロック層。暗褐色土小ブロックも含む。

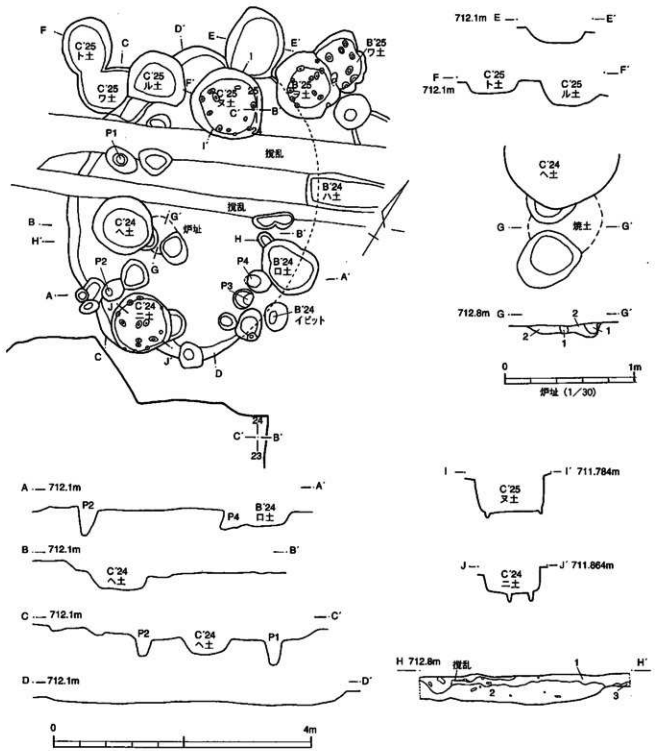
第25図　21号号住居跡





22住
1層．黒褐色土。ローム小ブロックを多量に含む。
2層．明黒褐色土。ローム小ブロックを少量含む。
3層．暗褐色土。ロームブロックを含まない。
4層．明暗褐色土。
22住炉址
1層．暗褐色土。直径1～5mm程度のロームブロックを少量、焼土粒を若干含む。2層．赤褐色土。焼土。暗褐色土混じり。3層．明黄褐色土。地山。極めてしまりあり。

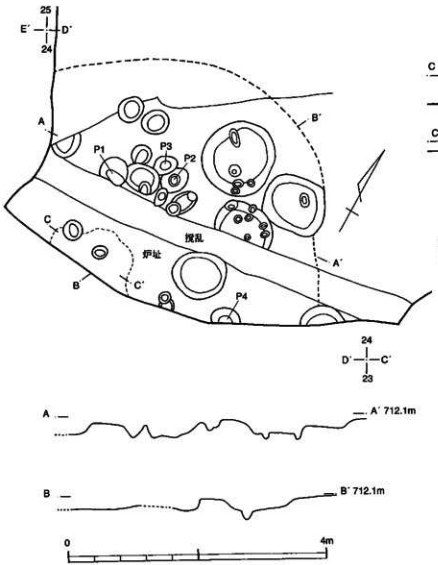
第26図　22号住居跡（1／60）

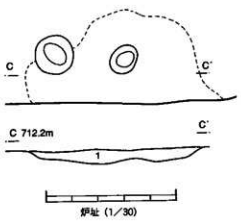


(C'24ニ、C'25ヌ土坑は第67図に1/30で掲載)

23住
1層．暗褐色土。2層．黒褐色土。ローム小ブロックを多量に含む。3層．ローム層。
23住炉址
1層．暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックを若干含む。2層．赤褐色土。焼土。暗褐色土混じり。

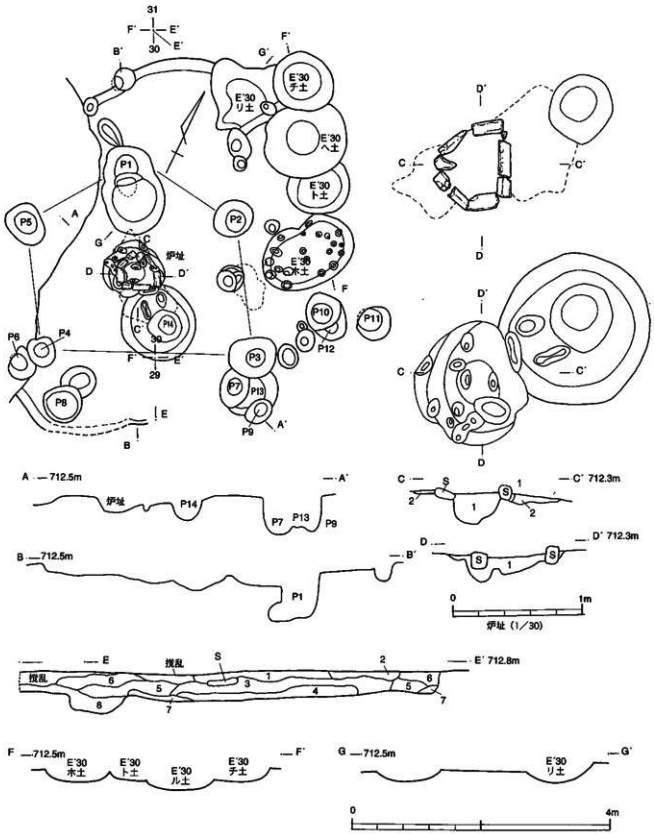
第27図　23号住居跡（1／60）





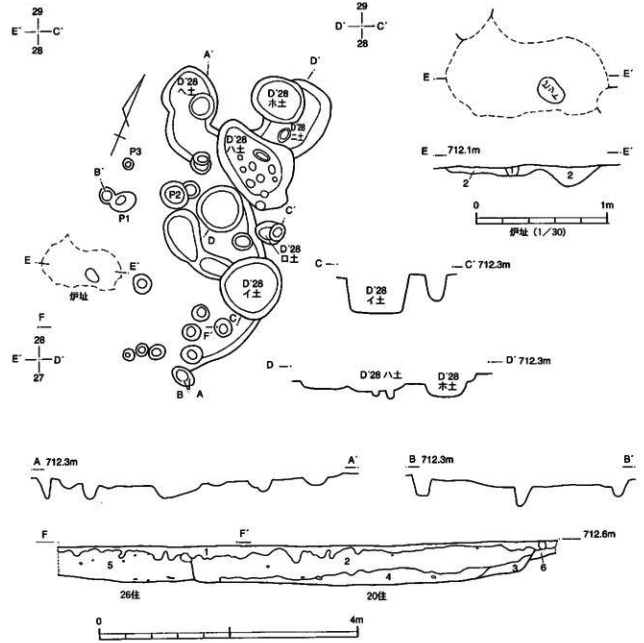
24住炉址
1 層．赤褐色土。焼土。暗褐色土混じり。

第28図　24号住居跡（1／60）



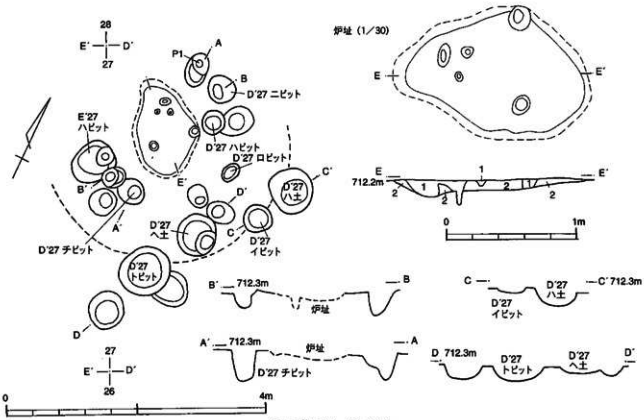
25住
1層．暗褐色土。直径3㎜程度のローム粒多し。直径1㎜程度の木炭片を含む。2層．暗褐色土。1層より暗い。直径3㎜程度のローム粒を含む。3層．暗褐色土。2層より暗い。直径1～3㎜程度のローム粒、直径1㎜程度の焼土粒、直径3㎜程度の木炭片が混入。4層．黒褐色土。直径1～5㎜程度の木炭片を多量に含む。5層．暗褐色土。1層より明るい。直径10㎜程度の木炭片を含む。6層．暗茶褐色土。直径2㎜程度のローム粒、木炭片を含む。7層．暗茶褐色土。6層より明るい。直径2㎜程度の木炭片多量と、ロームブロックを含む。8層．暗黄褐色土。ロームブロックが主体。
25住炉址
1層．暗黒褐色土。焼土ブロック、直径1～3㎜程度の木炭片が混入。2層．赤褐色土。焼土。

第29図　25号住居跡（1／60）

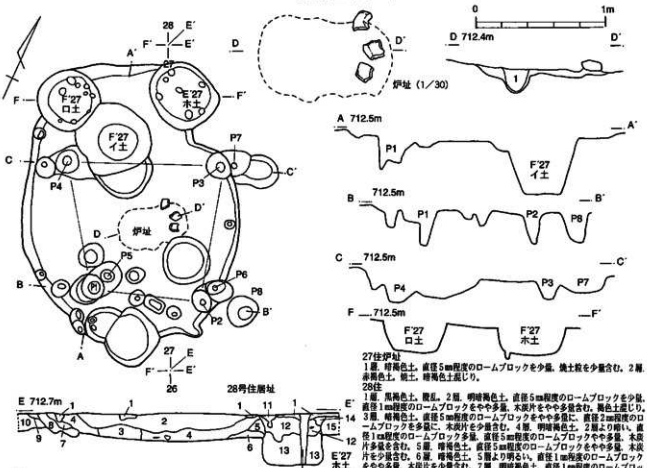


26住
1層．明暗褐色土。2層．暗褐色土。直径10mm程度のローム小ブロックを多量に含み軟質。3層．黒褐色土。直径5mm程度のローム小ブロックと木炭片を多量に含み非常に硬質。4層．明黒褐色土。やや硬質。5層．明黒褐色土。ローム小ブロック特に微小なブロックが多量に入る。6層．ローム層。
26住炉址
1層．暗褐色土。直径5mm程度のロームブロックを若干、焼土粒を若干含む。2層．赤褐色土。焼土。しまりあり。暗褐色土混じり。

第30図　26号住居跡（1／60）



27号住居址 (1/60)

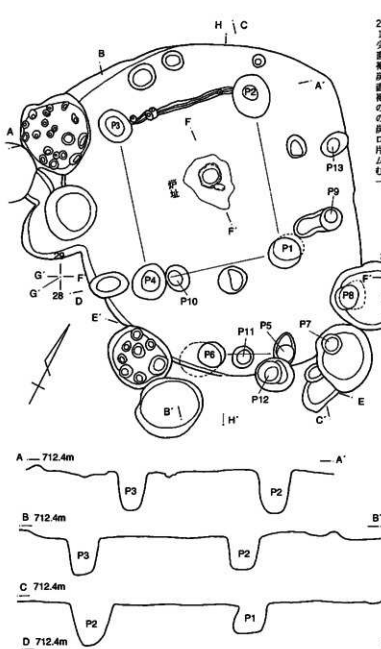


27住炉址
1層. 暗褐色土. 直径5mm程度のロームブロックを少量. 焼土粒を少量含む. 2層. 赤褐色土. 焼土. 暗褐色土混じり.

28住
1層. 黒褐色土. 粗炭. 2層. 明暗褐色土. 直径5mm程度のロームブロックを少量. 直径1mm程度のロームブロックをやや多量. 木炭片をやや多量含む. 褐色土混じり. 3層. 暗褐色土. 直径5mm程度のロームブロックをやや多量に. 直径2mm程度のロームブロックを多量に. 木炭片を少量含む. 4層. 明暗褐色土. 2層より暗い. 直径1mm程度のロームブロック多量. 直径5mm程度のロームブロックをやや多量. 木炭片多量を含む. 5層. 暗褐色土. 直径5mm程度のロームブロックをやや多量. 木炭片を少量含む. 6層. 暗褐色土. 5層より明るい. 直径1mm程度のロームブロックをやや多量. 木炭片を少量含む. 7層. 明暗褐色土. 直径1mm程度のロームブロックを少量. 木炭片を若干含む. 4層より明るい. 8層. 暗褐色土. 直径1mm程度のロームブロックをやや多量. 直径1cm程度のロームブロックを若干. 木炭片を少量含む. 9層. 褐色土. 直径1mm程度のロームブロックを多量に含む. 10層. 明暗褐色土. 直径1mm程度のロームブロック多量. 直径5mm程度のロームブロック少量. 木炭片少量を含む. 11層. 褐色土. 直径1mm程度のロームブロックを多量に含む. 12層. 暗褐色土. 直径1mm程度のロームブロック多量. 直径5mm程度のロームブロック多量. 木炭片をやや多量を含む. 13層. 暗褐色土. 直径1～5mm程度のロームブロックを極めて多量に. 直径1cm程度のロームブロックを多量に. 木炭片をやや多量に含む. 12層より明るい. 14層. 明暗褐色土. 直径1mm程度のロームブロックを少量含む. 15層. 褐色土. 直径1cm程度のロームブロックを少量. 木炭片を若干含む. 16層. 黒色土. 根の撹乱.

28住炉址
1層. 暗褐色土. 直径1cm程度のロームブロックを少量. 焼土粒をやや多量に含む. 2層. 赤褐色土. 焼土. 暗褐色土混じり.

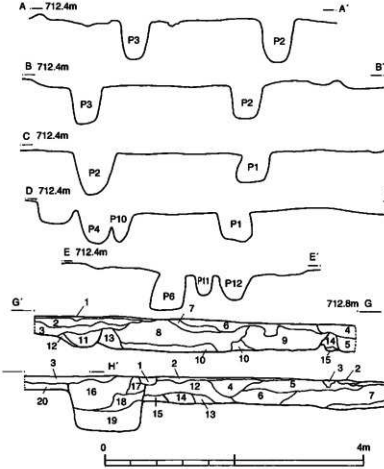
第31図　27・28号住居跡 (1/60)



29住G～G' ライン
1層、黒色土。撹乱。2層、明暗褐色土。直径1m程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む。3層、明暗褐色土。2層より明るい。木炭片若干、直径5m程度のロームブロック少量を含む。4層、黒色土。撹乱。5層、暗褐色土。直径1m程度のロームブロックを多量に含む。黒褐色土混じり。木炭片を少量含む。6層、明暗褐色土。直径1m程度のロームブロック多量、直径1cm程度のロームブロック若干、木炭片やや多量を含む。7層、明暗褐色土。6層より暗い。直径1m程度のロームブロック多量、直径5m程度のロームブロック若干、木炭片少量を含む。8層、暗褐色土。直径1m程度のロームブロックをやや多量に、直径5m程度のロームブロックを少量、木炭片をやや多量に含む。9層、暗褐色土。8層より明るい。直径1m程度のロームブロックをやや多量に、直径5m程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む。10層、暗褐色土。8・9層より明るい。直径1m程度のロームブロックを少量、直径5m程度のロームブロックを若干量、木炭片を少量含む。11層、明暗褐色土。3層より明るい。木炭片を少量、直径1m程度のロームブロックを若干含む。12層、褐色土。直径1cm程度のロームブロックを少量含む。13層、明暗褐色土。3・11層より暗い。直径1m程度のロームブロックを少量、直径5m程度のロームブロックを若干、木炭片を若干含む。14層、明暗褐色土。直径1m程度のロームブロック少量、木炭片若干を含む。15層、明暗褐色土。14層より明るい。直径5m程度のロームブロックを少量含む。

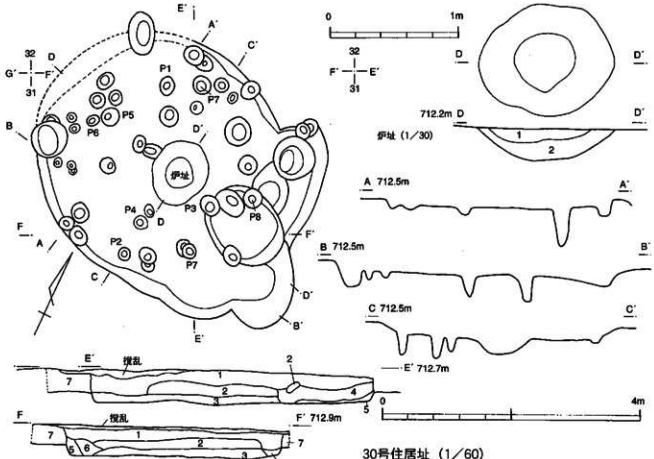
29住H～H' ライン
1層、黒色土。直径1m程度のロームブロックを多量に含む。暗褐色土混じり。2層、黒褐色土。直径1m程度のロームブロックを多量に、木炭片を少量含む。3層、明暗褐色土。直径1m程度のロームブロックをやや多量に、木炭片を少量含む。4層、明暗褐色土。直径1m程度のロームブロック多量、木炭片多量を含む。5層、明暗褐色土。4層より暗い。直径1m程度のロームブロックを多量に、直径5m程度のロームブロックを若干、木炭片を少量含む。6層、暗褐色土。4層より暗い。直径1m程度のロームブロックをやや多量に含む。7層、暗褐色土。6層より暗い。直径1m程度のロームブロックを多量に含む。黒褐色土混じり。木炭片を少量含む。8層、暗褐色土。7層より暗い。直径1m程度のロームブロックをやや多量に、直径5m程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む。9層、暗褐色土。7・8層より明るい。直径1m程度のロームブロックを多量に、直径5m程度のロームブロックを若干、木炭片を少量含む。10層、暗褐色土。9・8層より明るい。直径1m程度のロームブロックを少量含む。暗褐色ブロック混じり。11層、暗褐色土。直径1m程度のロームブロックを少量、木炭片を若干含む。12層、暗褐色土。4・6層より明るい。直径1m程度のロームブロックをやや多量、直径5m程度のロームブロックを若干、木炭片を少量含む。13層、暗褐色土。12層より明るい。直径1m程度のロームブロックをやや多量、木炭片少量を含む。14層、暗褐色土。12・13層より暗い。直径1m程度のロームブロックをやや多量に、直径5m程度のロームブロックを若干、木炭片を若干含む。15層、暗黄褐色土。明暗褐色土混じり、木炭片を若干含む。16層、暗褐色土。直径1m程度のロームブロックをやや多量、直径5m程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む。17層、明暗褐色土。直径5m程度のロームブロックを多量、木炭片を若干含む。18層、暗色土。直径1～5m程度のロームブロックを多量に、木炭片を少量含む。19層、暗褐色土。直径5mm～2cm程度のロームブロックを少量、木炭片を若干含む。20層、明暗褐色土。3層より暗い。直径5m程度のロームブロックを若干、木炭片を若干含む。

29住炉址
1層、暗褐色土。直径5m程度のロームブロック少量、木炭片少量を含む。2層、暗褐色土。1層より明るい。直径5m程度のロームブロック少量、焼土を含む。3層、赤褐色土。焼土。ボソボソしている。4層、黄褐色土。しまり極めてあり。地山。

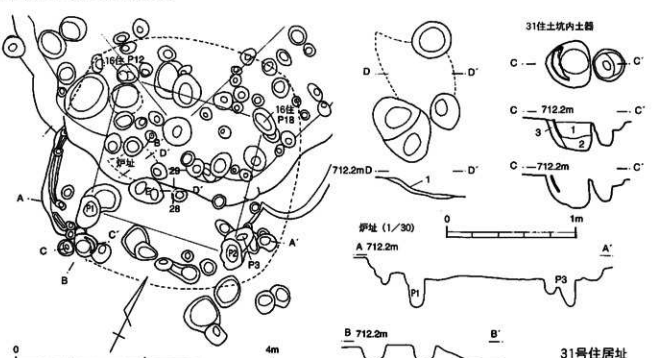


埋甕炉 (1/30)

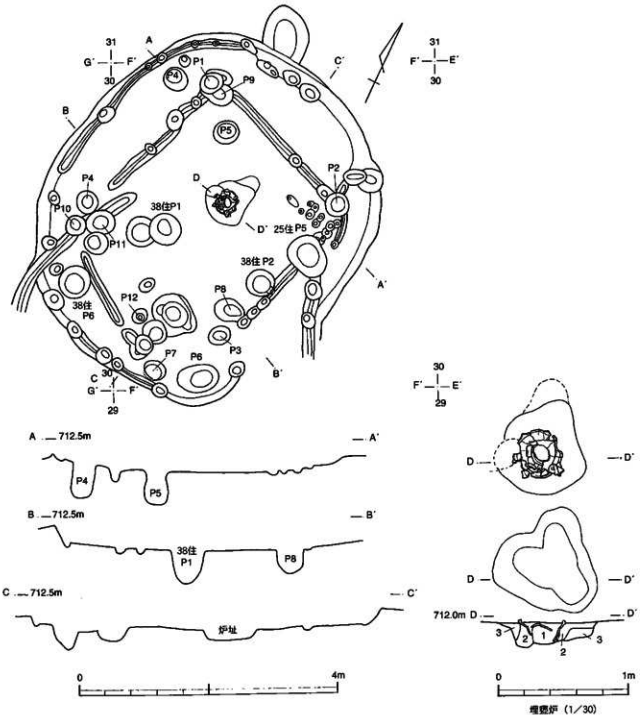
第32図　29号住居跡 (1/60)



30住
1層．暗褐色土．直径1㎜程度の木炭片・ローム粒少量を含む．2層．暗褐色土．1層より暗い．直径1㎜程度の木炭片を多量に含む．3層．暗褐色土．2層より暗い．直径2㎜程度の木炭片を含み、少量の焼土粒子も含む．4層．暗褐色土．1層より明るい．直径1㎜程度のローム粒を多量に含む．5層．暗褐色土．3層よりわずかに明るい．ソフトロームを斑文状に含む．6層．暗褐色土．直径0.1㎜程度の木炭片を多量に含む．7層．明暗褐色土．自然層．
30住炉址
1層．赤褐色土．焼土．2層．茶褐色土．余熱で焼けたローム．
31住炉址
1層．赤褐色土．焼土．暗褐色土混じり．

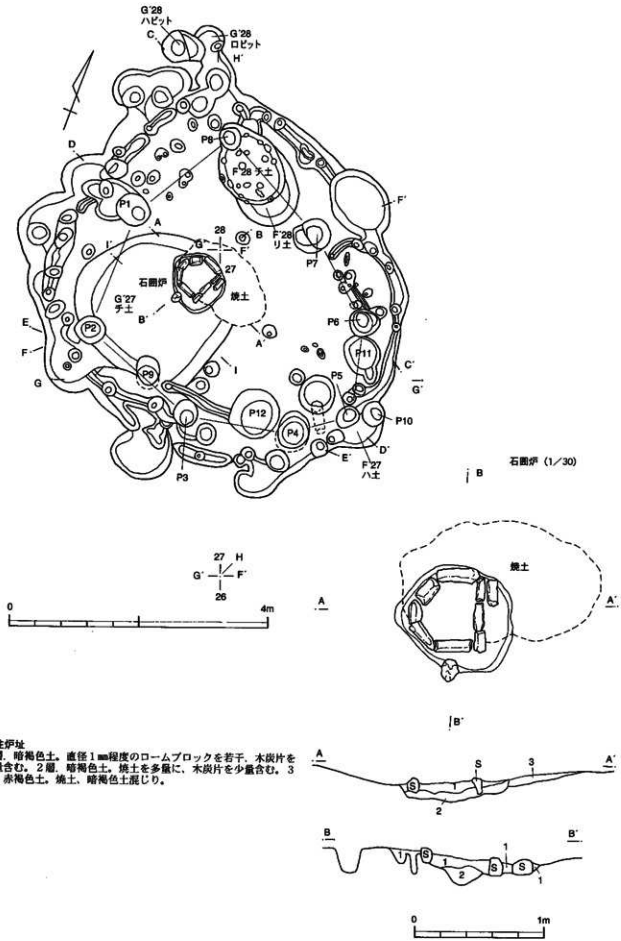


第33図　30・31号住居跡（1／60）

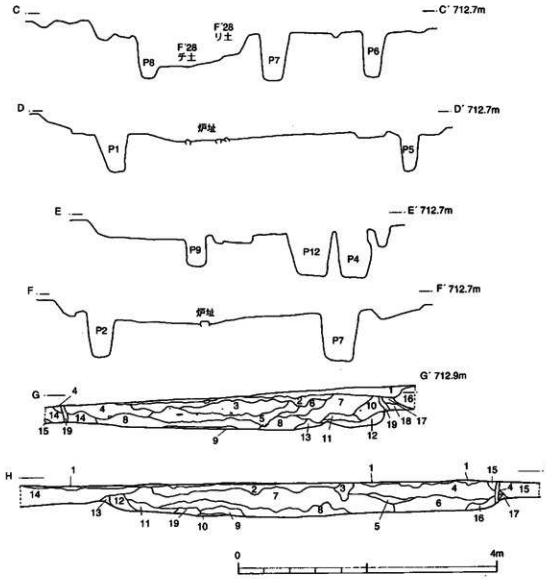


32住
1層．暗褐色土。直径1～5mm程度の焼土粒を含む。2層．暗褐色土。1層より暗い。直径5mm程度の焼土粒を多量に含む。3層．茶褐色土。被熱してポロポロとなったローム層。

第34図　32号住居跡（1／60）



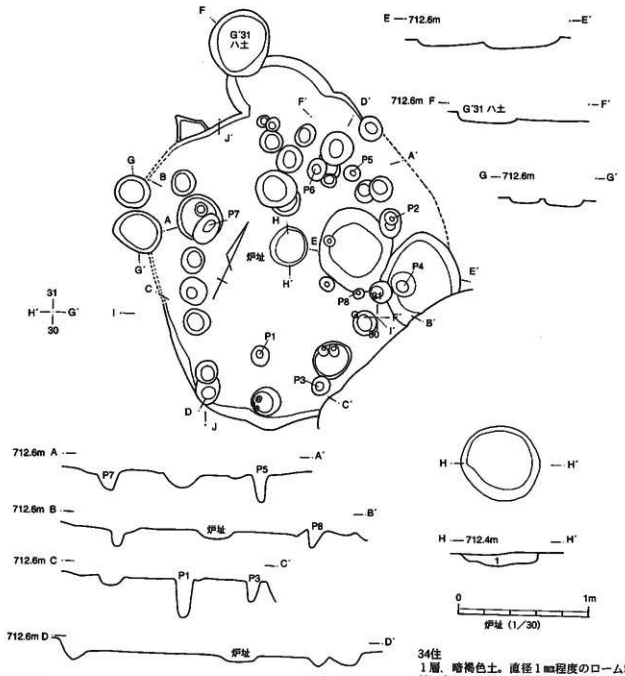
第35図　33号住居跡（1）（1／60）



33住G－G′ ライン
1層．黒色土．撹乱。2層．明暗褐色土．直径1㎜程度のロームブロックをやや多量に、木炭片を少量含む。3層．暗褐色土．直径1～5㎜程度のロームブロックを多量に、直径1cm程度のロームブロックをやや多量に、木炭片をやや多量に含む。褐色土混じり。4層．暗褐色土．直径1㎜程度のロームブロックを多量、直径5㎜程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む。5層．暗褐色土。3層より暗い。直径1～5㎜程度のロームブロックをやや多量、木炭片若干を含む。5層．暗褐色土。4層より暗い。直径1～5㎜程度のロームブロックを極めて多量に、木炭片を多量に、直径1cm程度のロームブロックを少量含む。柔らかい。6層．暗褐色土。5層より暗い。7・8層より明るい。直径1㎜程度のロームブロックを多量に、木炭片をやや多量に含む。7層．暗褐色土。6層より暗い。直径1～5㎜程度のロームブロック多量、木炭片多量を含む。黄褐色土混じり。8層．明黒褐色土。直径1㎜程度のロームブロック多量を含む。9層．暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロック多量、直径5㎜程度のロームブロック少量を含む。10層．明暗褐色土。黄褐色土混じり。木炭片をやや多量、直径5～10㎜程度のロームブロックを少量含む。11層．暗褐色土。7層より明るい。直径1㎜程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む。12層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを少量、直径1cm程度のロームブロックを若干、木炭片を若干含む。10層より明るい。13層．明暗褐色土。黄褐色土混じり。直径1cm程度のロームブロックを若干、木炭片を若干含む。14層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロック多量、直径5㎜程度のロームブロックをやや多量、木炭片若干を含む。15層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを少量、木炭片を若干含む。14層より明るい。16層．明暗褐色土。直径5㎜程度のロームブロックを多量に、直径1～2cm程度のロームブロックを若干、木炭片を少量含む。17層．褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを若干、木炭片を若干含む。18層．明暗褐色土。直径5㎜程度のロームブロックをやや多量、木炭片を少量含む。16層より暗い。19層．黒褐色土。根の撹乱。

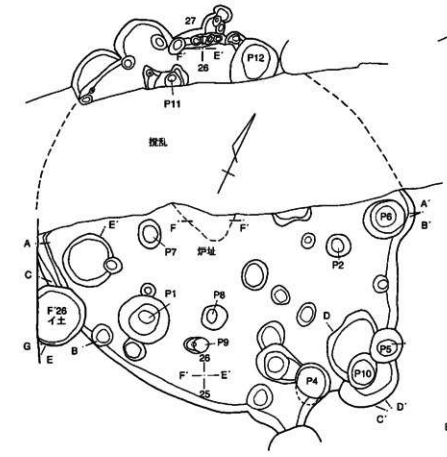
33住H－H′ ライン
1層．黒色土．撹乱。2層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックをやや多量、木炭片を少量含む。（上の2層と同じ）3層．暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックをやや多量、直径5㎜程度のロームブロック若干を含む。やや柔らかい。4層．暗褐色土。3層より明るい。直径1～5㎜程度のロームブロックをやや多量、木炭片若干を含む。5層．暗褐色土。4層より暗い。直径1～5㎜程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む。6層．暗褐色土。5層より明るい。直径1㎜程度のロームブロックを多量に、木炭片をやや多量に含む。7層．暗褐色土。6層より暗い。直径5㎜程度のロームブロックを少量含む。7層．暗褐色土。直径1～5㎜程度のロームブロックを多量に。直径1cm程度のロームブロックをやや多量に、木炭片をやや多量に含む。褐色土混じり。（上の3層と同じ）8層．暗褐色土。7層より暗い。直径1～5㎜程度のロームブロックを極めて多量に、木炭片を多量に、直径1cm程度のロームブロックを少量含む。柔らかい。（上の5層と同じ）9層．明黒褐色土。直径1㎜程度のロームブロック多量、木炭片多量を含む。（上の8層と同じ）10層．暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを多量、直径5㎜程度のロームブロックを少量含む。（上の9層と同じ）11層．暗褐色土。7層より明るい。直径5㎜程度のロームブロックを少量、木炭片を若干含む。12層．暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを若干、木炭片を若干含む。13層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを少量含む。14層．暗褐色土。7層より明るい。直径1㎜程度のロームブロックをやや多量に、木炭片を多量に含む。15層．褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む。16層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む。褐色土混じり。17層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを少量、直径5㎜程度のロームブロック少量、木炭片少量を含む。18層．暗褐色土。直径5㎜程度のロームブロック多量、木炭片多量を含む。

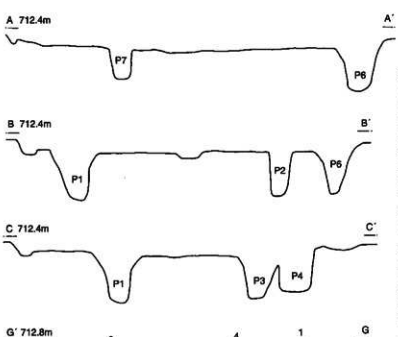
第36図　33号住居跡（2）（1／60）



34住
1層．暗褐色土．直径1㎜程度のローム粒を多量に含む．2層．暗褐色土．1層より暗い．直径1～2㎜程度の木炭片を少量含み，直径1㎜程度のローム粒を多量に含む．3層．暗褐色土．2層より暗い．直径1㎜程度の木炭片を少量含む．4層．暗褐色土．3層より若干明るい．直径1㎜程度のローム粒．木炭片を少量含む．5層．暗褐色土．直径5㎜程度のローム粒を含む．6層．暗褐色土．直径1㎜程度のローム粒を含む．7層．暗褐色土．ロームブロックを含む．8層．暗黒褐色土．直径2㎜程度のローム粒．焼土粒を含み，直径3㎜程度の木炭片をわずかに含む．9層．明暗褐色土．自然層．
34住炉址
1層．赤褐色土．焼土．木炭片．黒褐色土の混入．

第37図　34号住居跡（1／60）

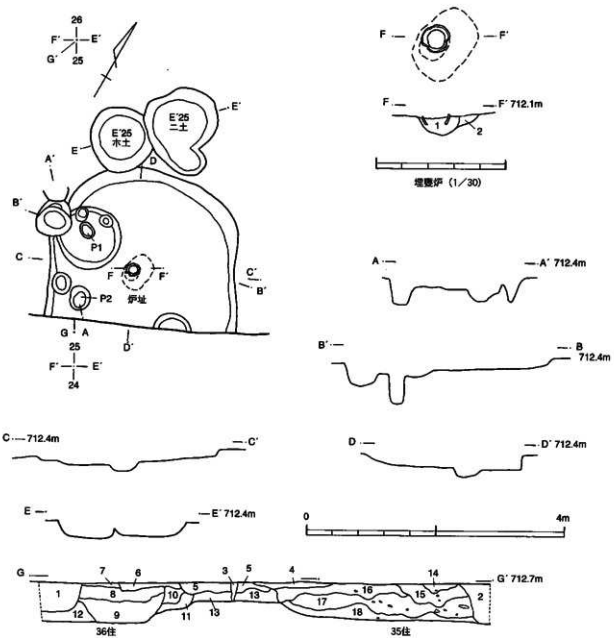




35住
1層．黒色土。攪乱。2層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックをやや多量、木炭片を少量含む。暗褐色土混じり。3層．暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを多量に、直径5㎜程度のロームブロックをやや多量に、木炭片を少量含む。やや柔らかい。4層．褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを若干、木炭片を若干含む。5層．暗褐色土。3層より明るい。直径1㎜程度のロームブロックを多量に、直径5㎜程度のロームブロックを若干、木炭片を少量含む。6層．暗褐色土。3・5層より明るい。直径1㎜程度のロームブロックを多量に、直径1cm程度のロームブロックを若干、木炭片を少量含む。7層．明暗褐色土。木炭片を若干含む。黄褐色土混じり。8層．暗褐色土。直径5㎜程度のロームブロックを少量、直径1㎜程度のロームブロックを少量、木炭片を若干含む。9層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを少量、直径1cm程度のロームブロックを若干含む。10層．暗褐色土。根の攪乱。11層．明暗褐色土。木炭片を若干含む。黄褐色土混じり。12層．明暗褐色土。7・11層より明るい。

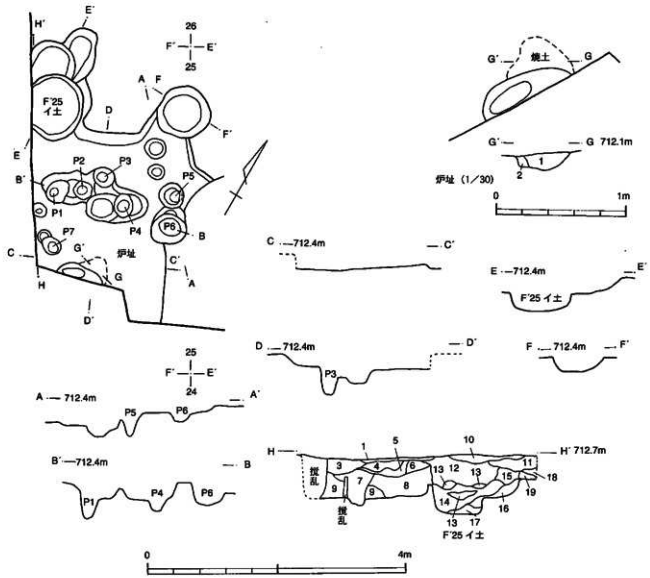
35住炉址
1層．暗褐色土。直径5㎜程度のロームブロックを少量、焼土粒を少量含む。2層．赤褐色土層。焼土。暗褐色土混じり。

第38図　35号住居跡（1／60）



36住
1層．黒色土。攪乱。(ジャリ混じり) 2層．黒色土。攪乱。(黄褐色土・暗褐色土混じり) 3層．黒色土。攪乱。(木の根) 4層．褐色土。直径5㎜程度のロームブロックを若干含む。5層．明暗褐色土。直径5㎜程度のロームブロックを少量、木炭片を若干含む。6層．明暗褐色土。5層より明るい。褐色土混じり。直径1㎜程度のロームブロックをやや多量に、直径5㎜程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む。7層．明暗褐色土層。6層より暗い。直径1㎜程度のロームブロックをやや多量、木炭片を少量含む。8層．暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを多量に、直径1cm程度のロームブロックを若干、木炭片をやや多量に含む。9層．暗褐色土。8層より暗い。直径1㎜以下程度のロームブロックを多量に、直径1～5㎜程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む。10層．暗褐色土。8・9層より明るい。直径1㎜程度のロームブロックをやや多量、木炭片を少量含む。11層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックをやや多量に、直径1cm程度のロームブロックを若干、木炭片を若干含む。12層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックをやや多量に、直径5㎜～1cm程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む。13層．明暗褐色土。11層より明るい。黄褐色土混じり。直径1cm程度のロームブロックを少量、木炭片を若干含む。14層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックをやや多量、木炭片を少量含む。暗褐色土混じり。15層．暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックをやや多量、木炭片やや多量を含む。やや柔らかい。16層．暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを多量に、直径5㎜程度のロームブロックをやや多量に、木炭片を少量含む。やや柔らかい。17層．暗褐色土。16層より明るい。直径1㎜程度のロームブロックを多量に、直径5㎜程度のロームブロックを若干、木炭片を少量含む。18層．暗褐色土。16・17層より明るい。直径1㎜程度のロームブロックを多量に、直径1cm程度のロームブロックを若干、木炭片を少量含む。
36住炉址
1層．暗褐色土。直径5㎜程度のロームブロックを若干、焼土粒を少量含む。2層．赤褐色土。焼土。暗褐色土混じり。

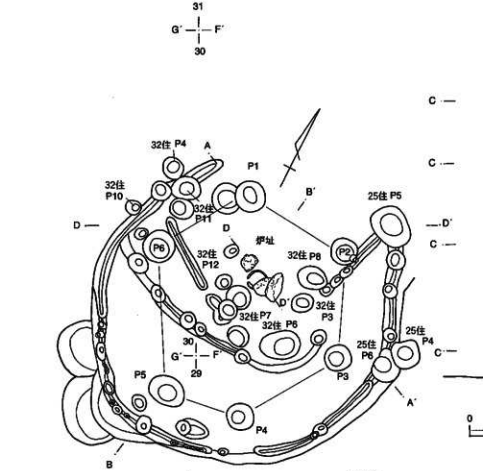
第39図　36号住居跡 (1／60)

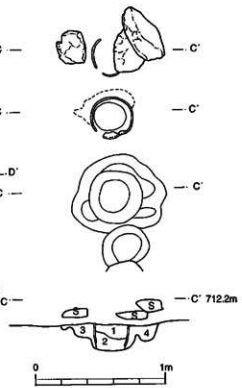


37住
1層．明暗褐色土。直径5㎜程度のロームブロックを少量含む。褐色土混じり。2層．明暗褐色土。1層より明るい。暗褐色土混じり。直径1㎜程度のロームブロックを若干含む。3層．明黒褐色土。直径1～5㎜程度のロームブロックやや多量。木炭片やや多量を含む。4層．暗褐色土。褐色土が少し混じる。直径1㎜程度のロームブロックを少量含む。5層．明暗褐色土。直径5㎜程度のロームブロックをやや多量に含む。2層より暗い。6層．暗褐色土。直径5㎜程度のロームブロックを少量含む。7層．暗褐色土。直径5㎜程度のロームブロックを多量に、木炭片をやや多量に含む。8層．暗褐色土。7層より明るい。直径1㎜程度のロームブロック多量、木炭片多量、褐色土やや多量を含む。9層．明暗褐色土。直径1～5㎜程度のロームブロックを多量に、木炭片を少量、直径1cm程度のロームブロックを少量、褐色土を多量に含む。10層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む。11層．明暗褐色土。10層より暗い。直径1㎜程度のロームブロックを少量、褐色土を少量含む。12層．暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを多量に、直径5㎜程度のロームブロックを少量、木炭片をやや多量に含む。13層．明暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックやや多量、木炭片やや多量を含む。14層．暗褐色土。12層より暗い。直径5㎜程度のロームブロックを多量、直径1cm程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む。15層．褐色土。暗褐色土を少量、黄褐色土をやや多量、木炭片を少量含む。16層．暗褐色土。直径1cm程度のロームブロックを少量、直径5㎜程度のロームブロックをやや多量、木炭片を少量含む。17層．明暗褐色土。径1cm程度のロームブロック少量、径5㎜程度のロームブロックをやや含む。18層．褐色土。暗褐色土を少し含む。19層．明暗褐色土。直径5㎜程度のロームブロックを少量含む。

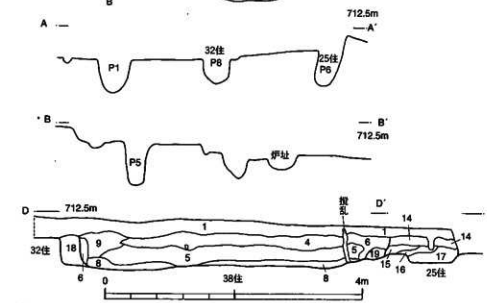
37住炉址
1層．赤褐色土。焼土。暗褐色土混じり。2層．暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを少量、焼土粒を若干含む。

第40図　37号住居跡（1／60）





埋甕炉 (1／30)

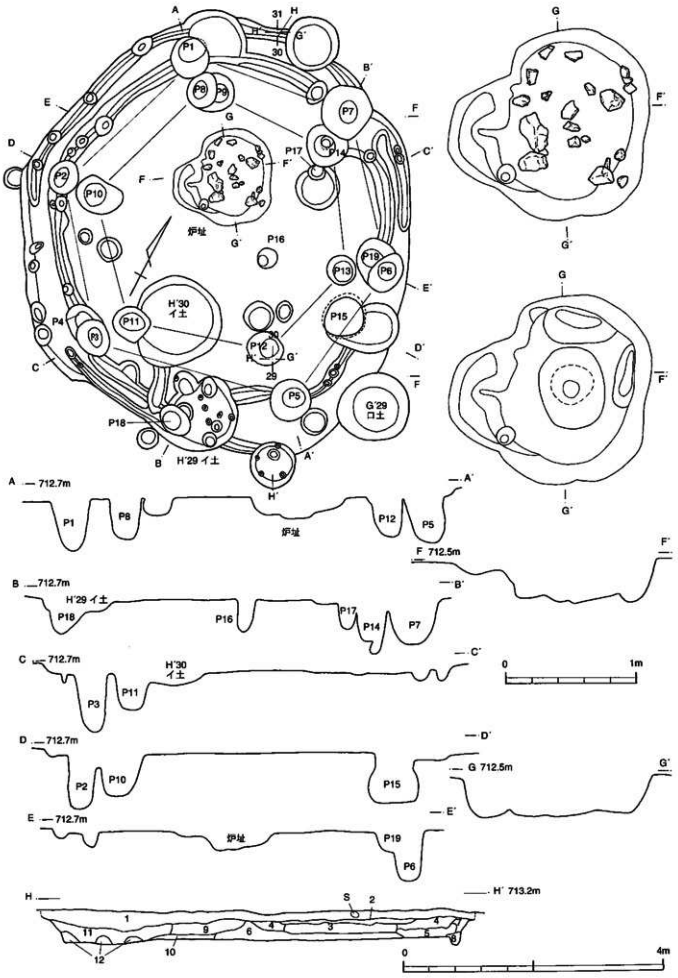


38住
1層．暗褐色土．直径5mm程度のローム粒を少量と直径1mm程度の木炭片を含む。2層．暗褐色土．直径2mm程度のローム粒を多量に含む。3層．暗茶褐色土．2層より暗い。直径1mm程度のローム、木炭片を含む。4層．暗黒褐色土．直径1～5mm程度の木炭片、直径2mm程度のローム粒を多量に含む。5層．暗褐色土。直径1～5mm程度の木炭片、ローム粒を4層より多く含む。直径30mm程度のロームブロックが混合する。6層．暗黒褐色土。直径1mm程度のローム粒を含む。ザラザラしている。7層．暗褐色土。直径10mm程度のロームブロックをわずかに含み、直径1mm程度の木炭片も含まれる。8層．暗茶褐色土。直径1～4mm程度の木炭片を多量に含む。9層．暗褐色土。5層より明るい。直径1～3mm程度のローム粒を多量に含む。10層．暗褐色土。5層より暗い。直径1mm程度のローム粒、木炭片、焼土粒をわずかに含む。11層．暗褐色土。直径3mm程度のローム粒を少量含む。12層．暗茶褐色土。直径1mm程度のローム粒を少量含む。13層．暗茶褐色土。直径2mm程度のローム粒を少量含む。14層．暗褐色土。直径2mm程度の焼土粒を含む。15層．暗黒褐色土。直径1～3mm程度の焼土粒、ローム粒を含む。16層．暗黒褐色土。15層より暗い。直径5mm程度の焼土粒をわずかに含む。18層．暗褐色土。直径10mm程度のロームブロック、直径2mm程度の木炭片を含む。19層．暗褐色土。焼土ブロック多し。

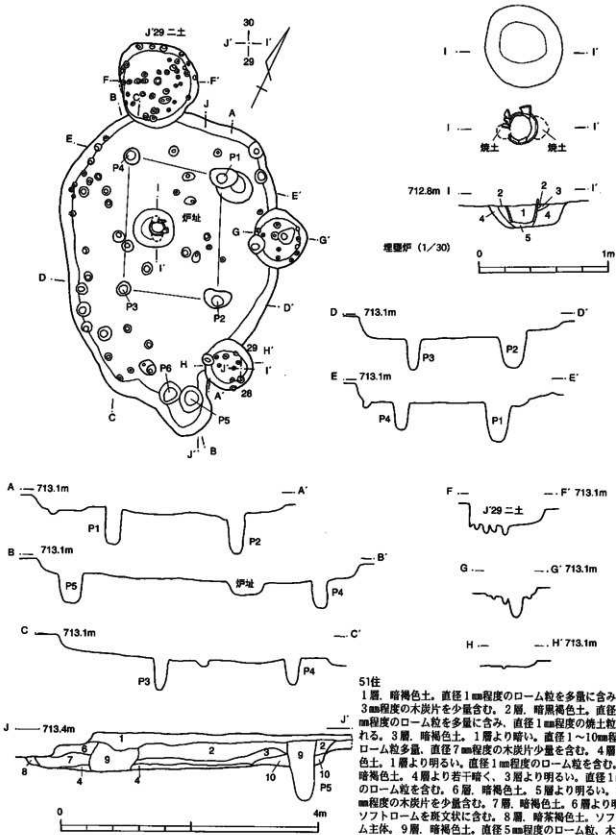
38住炉址
1層．暗褐色土。直径1mm程度の焼土粒を若干含む。2層．暗茶褐色土。直径1mm程度の焼土粒を多めに含む。3層．暗茶褐色土。ロームブロック、焼土粒混入土。4層．暗茶褐色土。ロームブロック主体。

39住
1層．暗褐色土。直径1～10mm程度のローム粒、直径1mm程度の木炭片を含む。2層．暗褐色土。1層より暗い。直径2mm程度の木炭片を多量に含む。3層．暗褐色土。2層より暗い。直径1mm程度の木炭片、焼土粒を含む。4層．暗褐色土。2層より明るい。直径4mm程度のローム粒を含む。5層．暗茶褐色土。ロームブロックを斑文状に含む。6層．暗褐色土。直径1mm程度の木炭片、ローム粒を含む。7層．暗褐色土。直径1mm程度の木炭片を少量含む。8層．暗褐色土。7層より暗い。直径1mm程度の木炭片を少量含む。9層．暗褐色土。直径1mm程度の木炭片を多量に含む。10層．暗褐色土。粘性がやや有り。11層．暗褐色土。炭褐色土を斑文状に含む。12層．暗褐色土。5層と類似。直径1mm程度のローム粒、木炭片を少量含む。

第41図　38号住居跡（1／60）



第42図　39号住居跡（1／60）



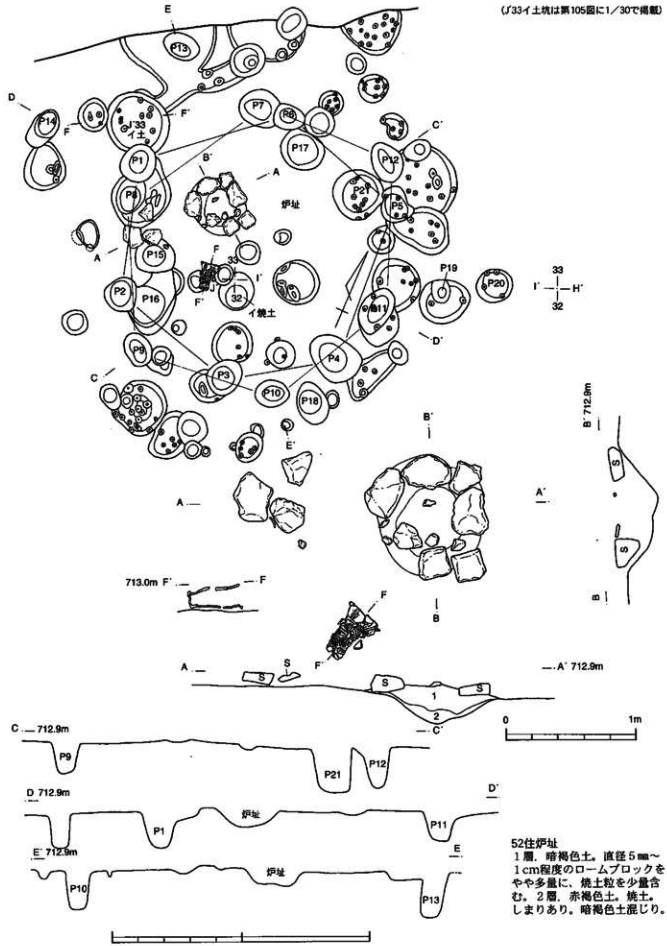
51住

1層．暗褐色土．直径1mm程度のローム粒を多量に含み、直径3mm程度の木炭片を少量含む．2層．暗黒褐色土．直径1～5mm程度のローム粒を多量に含み、直径1mm程度の焼土粒も含まれる．3層．暗褐色土．1層より暗い．直径1～10mm程度のローム粒多量．直径7mm程度の木炭片少量を含む．4層．暗褐色土．1層より明るい．直径1mm程度のローム粒を含む．5層．暗褐色土．4層より若干暗く、3層より明るい．直径1mm程度のローム粒を含む．6層．暗褐色土．5層より明るい．直径2mm程度の木炭片を少量含む．7層．暗褐色土．6層より明るい．ソフトロームを斑文状に含む．8層．暗茶褐色土．ソフトローム主体．9層．暗褐色土．直径5mm程度のローム粒、木炭片を多量に含む．10層．黄褐色土．ハードロームブロック主体．

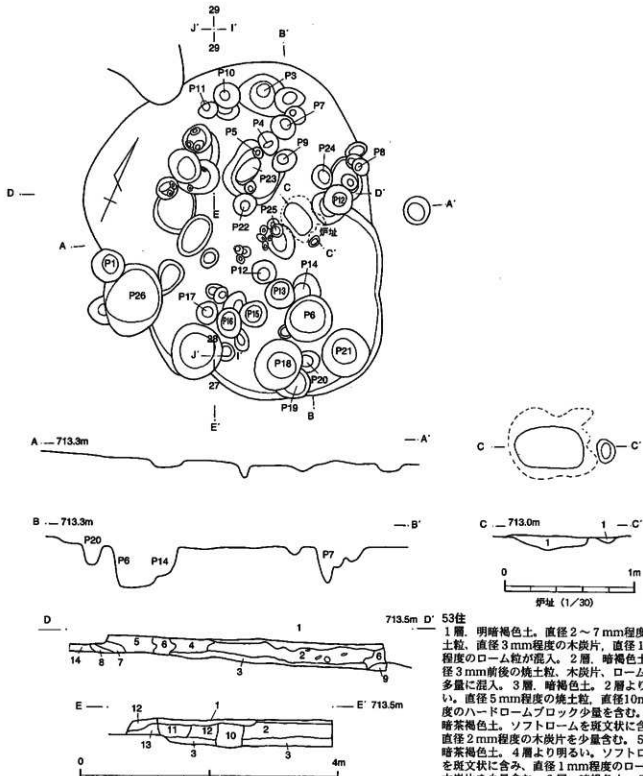
51住炉址

1層．暗褐色土．直径2mm程度の焼土粒を少量含む．2層．暗褐色土．直径1～3mm程度のローム粒を多量に含む．3層．暗茶褐色土．直径10mm程度のロームブロックを少量含む．4層．暗黄褐色土．余熱により焼成を受けたハードローム．5層．暗黄褐色土．焼土．

第43図　51号住居跡（1／60）



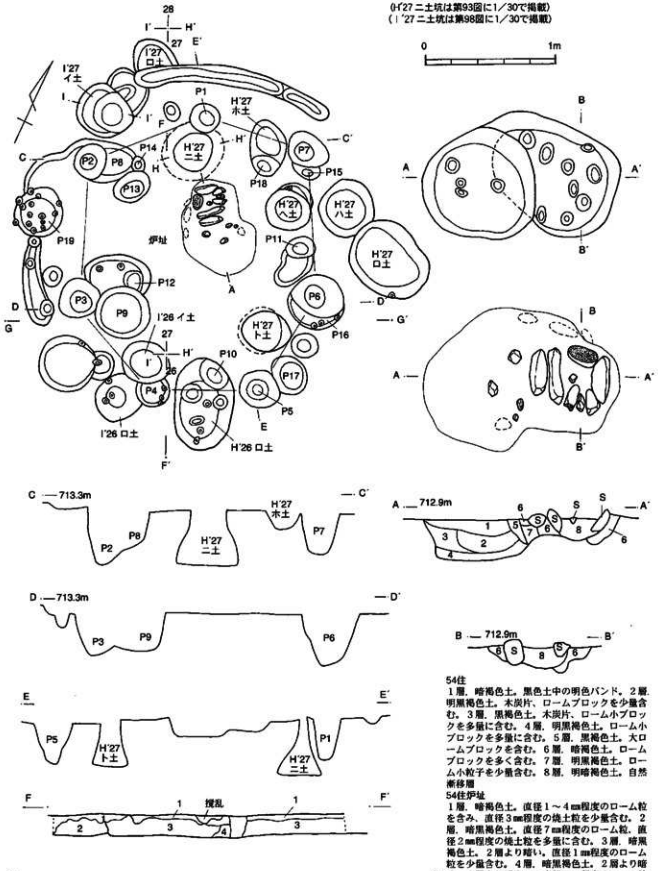
第44図　52号住居跡（1／60）



53住
1層．明暗褐色土。直径2～7mm程度の焼土粒、直径3mm程度の木炭片，直径1mm程度のローム粒が混入。2層．暗褐色土。直径3mm前後の焼土粒、木炭片、ローム粒が多量に混入。3層．暗褐色土。2層より明るい。直径5mm程度の焼土粒，直径10mm程度のハードロームブロック少量を含む。4層．暗茶褐色土。ソフトロームを斑文状に含む。直径2mm程度の木炭片を少量含む。5層．暗茶褐色土。4層より明るい。ソフトロームを斑文状に含み、直径1mm程度のローム粒，木炭片を少量含む。6層．暗褐色土。3層より暗く、2層より明るい。ソフトロームをわずかに斑文状に含む。7層．暗茶褐色土。5層より明るい。ソフトロームを斑文状に含む。8層．暗茶褐色土。5層と同じ色調。直径1mm程度の木炭片を少量含む。9層．暗褐色土。直径4mm程度のローム粒を多量に含む。10層．暗黒褐色土。直径2～8mm程度のローム粒を含む。11層．暗黒褐色土。直径2mm程度のローム、焼土粒、黒曜石チップ等を含む。12層．暗褐色土。直径1mm程度のローム粒を多量に含む。13層．暗褐色土。直径5mm程度のローム粒を多量に含む。14層．明暗褐色土。自然層。

53住炉址
1層．赤褐色土。焼土層。

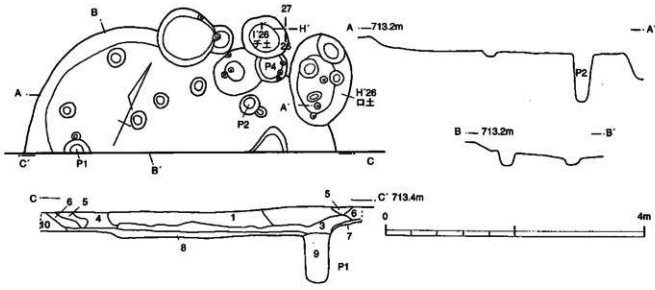
第45図　53号住居跡（1／60）



54住
1層．暗褐色土．黒色土中の明色バンド．2層．明黒褐色土．木炭片．ロームブロックを少量含む．3層．黒褐色土．木炭片．ローム小ブロックを多量に含む．4層．明黒褐色土．ロームブロックを多量に含む．5層．黒褐色土．大ロームブロックを含む．6層．暗褐色土．ロームブロックを多く含む．7層．明黒褐色土．ローム小粒子を少量含む．8層．明暗褐色土．自然堆積層

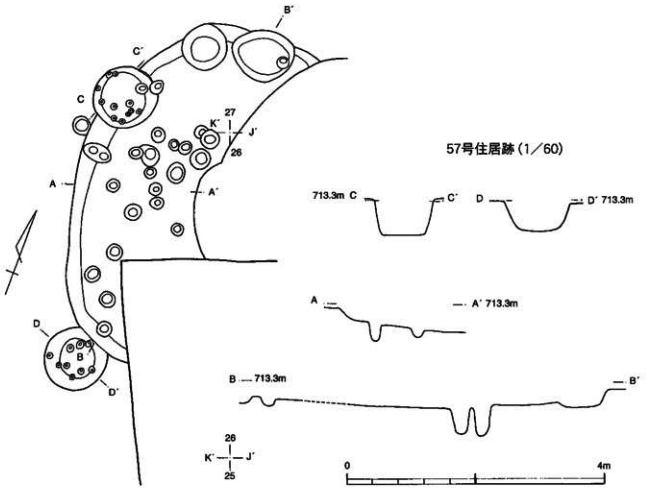
54住炉址
1層．暗褐色土．直径1～4㎜程度のローム粒を含み．直径3㎜程度の焼土粒を少量含む．2層．暗黒褐色土．直径7㎜程度のローム粒．直径2㎜程度の焼土粒を多量に含む．3層．暗黒褐色土．2層より暗い．直径1㎜程度のローム粒を少量含む．4層．暗黒褐色土．2層より暗く、3層より明るい．直径1㎜程度のローム粒．焼土粒をごくわずかに含む．5層．3層より暗い．直径1㎜程度の焼土粒を少量含む．6層．暗褐色土．直径2㎜程度の木炭片を少量含む．7層．赤褐色土．焼土．ロームブロック混入．8層．5層より暗い．直径1～5㎜程度のローム粒を少量含む．

第46図　54号住居跡（1／60）

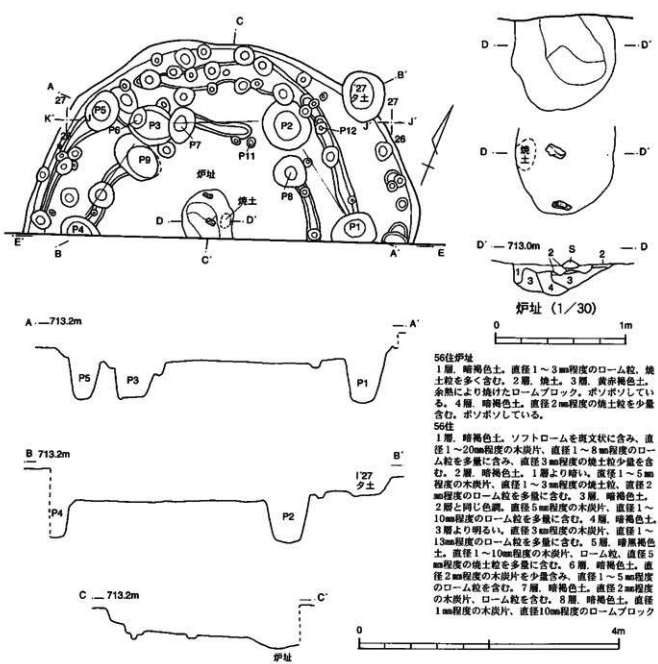


55号住居跡（1／60）

55住
1層．暗褐色土。直径1～3㎜程度の木炭片、直径1㎜程度のローム粒多量、直径4㎜程度の焼土粒少量を含む。2層．暗褐色土。1層より明るい。直径1㎜程度の木炭片、直径1～3㎜程度のローム粒を多量に含む。3層．暗褐色土。1層より暗い。直径1～5㎜程度の木炭片、ローム粒、焼土粒を多量に含む。4層．暗褐色土。2層より明るい。直径1㎜程度の木炭片を少量含む。5層．暗茶褐色土。直径1㎜程度の木炭片を少量含み、ソフトロームを斑文状に含む。6層．暗褐色土。ハードロームブロックをわずかに斑文状に有す。7層．暗褐色土。直径5㎜程度のローム粒を少量含む。8層．暗褐色土。直径1㎜程度のローム粒、木炭片を少量含む。9層．暗褐色土。直径2㎜程度の木炭片、直径10㎜程度のハードロームブロックを少量ずつ含む。10層．明暗褐色土。自然層。



第47図　55・57号住居跡（1／60）



少量を含む。9層．明暗褐色土。直径1mm程度の木炭片を微量に含み、直径2mm程度のローム粒を多量に含む。10層．暗褐色土。直径2mm程度の木炭片、ローム粒を少量含み、直径1mm程度の焼土粒が散量ながら含まれる。11層．暗褐色土。直径3mm程度の木炭片を含み、直径1～5mm程度のローム粒を多量に含む。12層．暗褐色土。直径1～3mm程度の木炭片を少量、直径1～5mm程度のローム粒を11層より多量に含む。13層．明暗褐色土。直径1mm程度の木炭片、焼土粒、直径10mm程度のロームブロック少量を含み、直径2mm程度のローム粒を多量に含む。14層．暗褐色土。直径2mm程度の木炭片を少量含み、直径1mm程度のローム粒を多量に含む。15層．暗褐色土。直径1mm程度の木炭片を少量含む。16層．暗褐色土。直径0.5mm程度の木炭片を微量に含む。17層．暗褐色土。直径1mm程度の木炭片、直径3mm程度の焼土を微量に含み、直径1～30mm程度のローム粒、ロームブロックも含まれる。18層．暗黄褐色土。ソフトローム、ハードロームをブロック状に含む。19層．黄褐色土。ソフトローム主体。20層．暗褐色土。直径2mm程度の木炭片を少量含む。

57住
A層．明暗褐色土。直径2mm程度のローム粒、木炭片少量を含む。B層．明暗褐色土。A層より明るい。直径3mm程度の木炭片少量を含む。C層．明暗褐色土。A層より暗い。直径1mm程度のローム粒、木炭片を多量に含む。D層．明暗褐色土。B層より暗く、C層より明るい。直径1～3mm程度のローム粒を含み、直径1mm程度の木炭片少量を含む。E層．暗褐色土。直径1mm程度のローム粒、木炭片を少量含む。F層．暗褐色土。E層より暗い。直径1mm程度のローム粒、木炭片を少量含む。

第48図　56号住居跡（1／60）

第2節　土坑

グリッド名	土坑名	時期	形態	長径	短径	深さ	立ち上がり	所見
B-24	イ土坑		楕円形	103	67	56	下のほうでオーバーハングする。	B-24ロ土坑に切られている。覆土は暗褐色土を基調とし径10㎜ローム粒少量、径1㎜ローム粒やや多く、カーボン若干含む。
	ロ土坑		円形	116	100	74	下のほうでオーバーハング　上は急斜面	B-24イ土坑を切っている。覆土は暗褐色土を基調とし径10㎜ローム粒少量とカーボンを若干含む
	ハ土坑		円形	93	76	55	急傾斜	南側を攪乱でやられている。覆土は暗褐色土を基調とし上層では径5㎜ローム粒が多く中～下層では少なくなり、カーボンも若干含まれる。
B-25	イ土坑		円形	70	68	21	急傾斜	B-25ロ土坑に切られる。北側が攪乱を受けている。覆土は明暗褐色土を基調としローム粒若干含み、カーボン微量に含む
	ロ土坑		円形	90	86	34	急傾斜	B-25イ土坑を切り、北側少し一部を攪乱でやられている。覆土は暗褐色土を基調としローム粒、カーボン若干含む
	ハ土坑		円形	81	74	42	急傾斜	B-25ニ土坑と重なる。ニ土坑に切られる。覆土は暗褐色土を基調とし径5㎜ローム粒やや多く、カーボン若干含む
	ニ土坑		円形	97	33	26	なだらか	B-25ハ土坑とB-25ヘ土坑が、北側・南側でそれぞれ重なる。ハ土坑を切っている。覆土は暗褐色土を基調とし、ハ土坑覆土より明るい径5㎜ローム粒若干含まれる。
	ホ土坑		円形	118	95	40	急傾斜	B-26イ土坑と重なり、もう一つの土坑と接する。
	ヘ土坑		楕円形	112	94	33	急傾斜	B-25ニ土坑と重なる。一部攪乱を受けている。
B-26	イ土坑		円形	89	55	14	急傾斜	B-25ホ土坑と重なり、もう一つの土坑と接する。
	ロ土坑	五領ケ台	円形	101	101	23	急傾斜	西側で土坑と重なる。覆土は暗褐色土径10㎜ローム粒カーボン若干含む
	ハ土坑	諸磯	円形	104	95	36	急傾斜	5つの土坑と重なる。覆土は明暗褐色土で径10㎜ローム粒少量、カーボン若干含む
	ニ土坑	五領ケ台	円形	80	48	46	南側はオーバーハング　その他は急傾斜	半分調査区外。2つの土坑と重なる。覆土は明暗褐色土を基調とし、カーボン少量、径5㎜ローム粒やや多く含む
	ホ土坑		楕円形	120	100	36	急傾斜	B-26イ土坑、Noナシ土坑2基と切り合う。覆土は暗褐色土を基調とし径2㎜ローム粒若干、径5㎜ローム粒やや多く、カーボン少量含む
B-28	イ土坑	五領ケ台	円形	82	80	22	なだらか	
B-29	イ土坑	曽利	円形	90	83	28	急傾斜	覆土は暗褐色土で下層はさらに暗くなり径5㎜ローム粒、カーボンを少量含む。4住の北側に位置し、4住を切っている。
B-30	イ土坑		円形	138	138	38	急傾斜	A-30ロ土坑と重複し切られる。
	ロ土坑		楕円形	109	95	30	フラット	1号住ピットと重複
A-23	イ土坑		楕円形	93	81	48	急傾斜	9住居内に位置する。覆土は暗褐色土を基調とし径5㎜ローム粒やや多く、カーボン少量含む
	ロ土坑		楕円形	87	64	13	急傾斜	
	イピット		円形	22	15	50	急傾斜	
A-24	イ土坑		円形	79	64	16	急傾斜	
	ロ土坑		円形	100	94	4	皿状	
	ハ土坑		楕円形	75	64	16	傾斜	A-24ホ土坑と重複
	ニ土坑		楕円形	55	42	18	傾斜	A-24ホ土坑と重複
	ホ土坑		楕円形	72	64	13	傾斜	A-24ハ、ニ土坑と重複している
	ト土坑		楕円形	108	90	40	傾斜	覆土は暗褐色土を基調とし径1㎜ローム粒やや多く、カーボン少量含む
	イピット		楕円形	40	30	22	傾斜	
A-25	イ土坑		円形	80	80	25	急傾斜	覆土は暗褐色土で径10㎜ローム粒少量、カーボン微量に含む
	ロ土坑		円形	125	107	64	南側はオーバーハング　他は急傾斜	1号溝に切られる。覆土は暗褐色土を基調とし中～下層は明黒褐色となる。径1㎜ローム粒多量、カーボン若干含む
	ハ土坑		不整	110	89	40	急傾斜	土坑の上層部が攪乱を受けている
	ニ土坑		円形	100	90	17	なだらか	南東側で土坑と接する。覆土は暗褐色土を基調とし径10㎜ローム粒及び、カーボンを若干含む
	ホ土坑		円形	82	75	9	なだらか	
	ヘ土坑		円形	82	79	28	急傾斜	覆土は明暗褐色土を基調とし径5～10㎜ローム粒若干及びカーボンも若干含まれる
A-26	イ土坑		円形	125	114	28	急傾斜	1号溝に切られる。3つの土坑と重なる。覆土は暗褐色土、径5～10㎜ローム粒を若干含みカーボンも若干含まれる。
	ロ土坑	五領ケ台	円形	118	104	57	急傾斜	6住内にある。セクションから6住を切っている。6住P-1を切っている。
	ハ土坑		円形	116	102	33	西側直　東側傾斜	6住内の地床炉の南東脇に位置、地床炉の隅を切っている。覆土は暗褐色土を基調とし径1㎜ローム粒を多く含みカーボン少量含む
	ニ土坑		円形	95	95			6号住P-4と重複する。覆土は暗褐色土を基調とし径1～5㎜ローム粒やや多く、2～5㎝ロームブロック少量、カーボン若干にそれぞれ含む
A-27	イ土坑		円形	87	86	24	なだらか	覆土は明暗褐色土でローム粒、カーボン粒若干含む
	ロ土坑	五領ケ台	円形	96	94	31	北側の一部オーバーハング　他は急傾斜	覆土は褐色土を基調とし上層は径1㎜ローム粒少量含み、下層は暗褐色土となり、ローム粒も多く、微量のカーボンも含まれしまり強くなる。
	ハ土坑		円形	115	102	18	なだらか	A-27チ土坑と接する。覆土は明暗褐色土で径1㎜ローム粒若干含み、カーボンも微量に含まれる。
	ニ土坑		円形	57	45	19	急傾斜	A-27チ土坑と接する。
	ホ土坑		楕円形	93	73	14	なだらか	
	ヘ土坑		円形	56	54	12	なだらか	
	ト土坑		円形	69	67	19	傾斜	
	チ土坑	五領ケ台	不整楕円形	259	77	23	なだらか	3つぐらいの土坑が連なっていると思うが、それらをA-27チ土坑にした。A-27ハ土坑・A-27ニ土坑・他1つの土坑と接する。
A-28	イ土坑		円形	115	104	23	なだらか	径41㎝のピット北側で接する。覆土は明暗褐色土を基調としローム粒少量含む。土器小片数点のみ
	ロ土坑	藤内～井戸尻	円形	114	50	55	急傾斜	A´-28ホ土坑を切っている。2住も切っている。覆土は暗褐色土径10㎜程のローム粒子中層で多くなる。
	ハ土坑	藤内	楕円形	115	80	16	傾斜	4号住と重複
	ニ土坑	五領ケ台	楕円形	164	112	21	西側は急傾斜　他はなだらか	2住内に位置。2住P-5と一部重なる。2住と一緒に埋められていると思われる。この土坑の1m北西の住居から2～3㎝浮いた所から男根状土製品（土棒）が出土している。
	ホ土坑	諸磯	楕円形	149	112	12	なだらか	A-28ヘ土坑と、南側で重なる
	ヘ土坑	諸磯	円形	104	96	34	急傾斜	A-28ホ土坑と北側で重なる。覆土は明暗褐色土を基調としローム粒子若干含み、カーボン粒子微量に含む。
	ト土坑		円形	96	88	10	なだらか	A-28リ土坑と南側で接する。
	チ土坑		円形	88	77	13	なだらか	覆土は暗褐色土を基調としローム粒少量、カーボン微量含み、下層ではローム粒やや多くなる。
	リ土坑		楕円形	113	90	12	なだらか	A-28ト土坑と北側で接し、他の土坑と南側で重なる。
	イピット							
A-29	イ土坑	諸磯	楕円形	87	64	8	急傾斜	A-29ロ土坑と重複し勝っている。覆土は明暗褐色土を基調とし径1㎜ローム粒若干含み、カーボン粒子微量に含む
	ロ土坑	曽利V	円形	61	61	10	急傾斜	A-29イ土坑と重複し切られている。覆土は明暗褐色土を基調とし径5㎜ローム粒子を微量に含む
	ハ土坑		楕円形	87	76	34	西側と東側はオーバーハ	A-29ニ土坑を切っている。覆土は暗褐色土を基調としカー

グリッド名	土坑名	時期	形態	長径	短径	深さ	立ち上がり	所見
							ング その他は急傾斜	ボン粒若干含み、明暗褐色土混入
	ニ土坑	藤内	円形	73	56	13	急傾斜	A−29ハ土坑に切られている。覆土は明暗褐色土を基調としカーボン粒若干含む。
	ホ土坑	曽利V	不整円	87	74	42		
	ヘ土坑	五領ケ台	不整円	71	70	16		
	イピット		楕円形	40	61	25	急傾斜	A′−29ロ土坑と重複。覆土はカーボン粒微量に含む
A−30	イ土坑	五領ケ台	円形	122	109	29	傾斜	1号住南コーナー床面にて検出、A−29ト土坑、A−30ハ土坑と重複
	ロ土坑		円形	114	111	38	急傾斜	B−30イ土坑と重複し切っている。
	ハ土坑		楕円形	57	41	21	傾斜	A−30イ土坑、A−29ト土坑と重複
A−31	イ土坑		円形	80	732	19		Noナシ土坑を切っている。
	ロ土坑		楕円形	126	107	30	なだらか	遺構確認面より打斧5点出土。暗褐色土を基調とし径2㎜カーボン、径3㎜焼土粒わずかに含む
	ハ土坑		円形	92	80	32	傾斜	暗褐色土径1㎜ローム粒、カーボン粒含む
	ニ土坑		楕円形	108	92	28	傾斜	ホ土坑と重複し切っている。覆土は暗褐色土を基調とし径1～7㎜ローム粒カーボン含む
	ホ土坑		円形	89	86	23	傾斜	ニ土坑と重複し切られている。覆土はA−31ニ土坑より暗い暗褐色土を基調とし径1～4㎜ローム粒カーボン含む
	ヘ土坑		円形	67	67	18	急傾斜	
	ト土坑		円形	75	68	23	傾斜	1号住北壁ぎわに有
	チ土坑	藤内	円形	99	94	29	急傾斜	10号住北東壁南側コーナー付近に有。10号住P−1を重複し切ってる
A−32	イ土坑		円形	94	90	24	急傾斜	10号住南辺中央部に位置しており壁を切っている
	ロ土坑		円形	94	87	14	傾斜	
A′−24	イ土坑		楕円形	155	140	83	なだらか	
A′−25	イ土坑		楕円形	88	72	35	急傾斜	南側でA′−25ヌ土坑と東側で径54cmの土坑と重なる。A′−25ロ土坑を切る。覆土は暗褐色土を基調としローム粒ブロックやや多く、カーボンもやや多く含む
	ロ土坑	藤内	楕円形	94	76	38	直	西側で径54cmの土坑と重なる。A′−25イ土坑に切られる。覆土は暗褐色土を基調とし径1～4㎜ローム粒若干含みカーボンも微量に含む
	ハ土坑		楕円形	103	65	38	急傾斜	A′−25チ・リ・ニ土坑と重なる
	ニ土坑		楕円形	86	80	31	急傾斜	北側でA′−25ハ土坑と重なり、南側の一部は撹乱を受けている。
	ホ土坑	五領ケ台	円形	83	76	25	直に立ち上がる	
	ヘ土坑	諸磯	不整楕円形	143	98	11	なだらか	
	ト土坑		楕円形	82	73	17	なだらか	
	チ土坑		円形	76	72	22	急傾斜	A′−25ハ土坑と重複し、東側を1号溝に切られている。
	リ土坑		円形	75	58	20	急傾斜	東側でA′−25ハ土坑と重複し、西側で径32cmのピットと接する。
	ヌ土坑		楕円形	139	110	26	急傾斜	北側でA′−25ハ土坑と、西側でA′−25イピットと、南側で径67cmの土坑と重なる。覆土は明暗褐色土を基調とし1～2㎜ロームブロック少量、カーボン少量を含む。
	ル土坑		楕円形	77	79	22	急傾斜	北西側でA′−25ヲ土坑と重複
	ヲ土坑	五領ケ台	円形	85	77	40	直に立ち上がる	集石あり。南東側でA′−25ル土坑と重複
	ワ土坑		円形	77	71	26	急傾斜	径55cmの土坑と重なる。
	カ土坑		円形	97	86	10	なだらか	東側1号溝に切られている。
	イピット		円形	66	39	9	皿状	東側でA′−25ヌ土坑と重なる。
A′−26	イ土坑		楕円形	108	94	40	急傾斜	覆土は暗褐色土を基調とし径1㎜ローム粒子多量に含み、カーボン粒微量に含む
	ロ土坑		楕円形	73	60	25	急傾斜	Noナシ土坑と重複している。
	ハ土坑		円形	77	70	20	急傾斜	
	ニ土坑	諸磯	円形	104	101	93	急傾斜	覆土は暗褐色土を基調とし径5㎜ローム粒多量に含み、カーボンも若干含まれる。
	ホ土坑		円形	80	76	45	急傾斜	径48cmの土坑と西側で重複。覆土は暗褐色土を基調とし径5㎜ローム粒少量、カーボン若干含む
	ヘ土坑		円形	81	67	26	急傾斜	東側でA′−26チ土坑と他土坑2つと重複。覆土は明暗褐色土を基調とし、径5㎜ローム粒少量、カーボン微量に含む
	ト土坑		円形	70	68	29	急傾斜	北側で径約90cmの土坑と重なる
	チ土坑		楕円形	60	72	6	皿状	西側でA′−26ヘ土坑と他土坑7つと重複
	リ土坑		楕円形	98	88	14	急傾斜	東側で径約83cmの土坑と重複
A′−27	イ土坑		楕円形	91	78	20	急傾斜	径約63cmの土坑と南側で重なる
	ロ土坑		楕円形	100	82	15	なだらか	A′−27ニ土坑と西側で接する
	ハ土坑		円形	42	40	15	急傾斜	
	ニ土坑		楕円形	99	97	12	なだらか	東側でA′−27ロ土坑と西側でA′−28ハ土坑と南側で72cm×79cmの土坑と接する
	ホ土坑		楕円形	53	47	18	急傾斜	
	ヘ土坑		円形	91	88	42	急傾斜	
	ト土坑	諸磯	円形	89	89	67	オーバーハング	北側で径35cm、深さ10cmのピットを切っている。覆土は明暗褐色土径1～5㎜ロームブロック少量、カーボン若干含む
	チ土坑		不整円形	91	86	54	急傾斜 南側は直	B′−27イ土坑、B′−27ハ土坑とつながる。覆土は暗褐色土径5～10㎜ローム粒少量、カーボン若干含む
	リ土坑		円形	116	108	43	急傾斜	A′−27ヌ土坑、A′−27ヘピットと重複。覆土は暗褐色土を基調とし径5㎜ローム粒少量、径1～3cmロームブロック多量、カーボン若干含む。黄褐色土混ざり
	ヌ土坑		楕円形	91	84	11	皿状	A′−27リ土坑と重複。覆土は明暗褐色土を基調とし径5㎜ローム粒若干カーボン微量に含む
	ル土坑		楕円形	95	80	7	皿状	東側でA′−27ロピットと、北側でA′−27ハピットと重なる
	ヲ土坑		円形	59	51	14	急傾斜	A′−28ト土坑、他土坑1つと接する
	ワ土坑		楕円形	82	70	12	皿状	土坑1つと重なる
	イピット		円形	29	20	14	急傾斜	径37cmのピットと東側で重なる
	ロピット	五領ケ台	円形	39	38	12	急傾斜	西側でA′−27ル土坑と接する
	ハピット		楕円形	59	49	14	なだらか	北側でA′−27ニピットと、南側でA′−27ル土坑と重なる
	ニピット		円形	48	42	20	急傾斜	南側でA′−27ハピットと重なる
	ホピット		不整楕円形	61	43	7	皿状	
	ヘピット		楕円形	80	55	17	急傾斜	A′−27リ土坑、他土坑1つと重なる
A′−28	イ土坑		円形	86	79	37	急傾斜	A′−28ロ土坑、A′−28ハピットとつながり、A′−28ト土坑と接する
	ロ土坑		不整楕円形	214	162	20	なだらか	A′−28ロ土坑とつながり、他土坑1つピット1つと重複。2つの土坑が重なっているかもしれない
	ハ土坑	曽利III	円形	94	87	33	急傾斜	A′−27ニ土坑と、南側で接する。覆土は上層が暗褐色土、下層が明黒色土でローム粒子を微量含む
	ニ土坑	諸磯	不整円形	104	84	16	急傾斜	A′−28ヘ土坑と重複
	ホ土坑	曽利IV	円形	146	113	65	ほぼ直	2住を切り、A′−28ロ土坑に切られている。覆土は明暗褐色土で1～2cmロームブロックやや多く、カーボン若干含む
	ヘ土坑		不整楕円形	125	91	10	皿状	A′−28ニ土坑、他土坑1つと重複

グリッド名	土坑名	時期	形態	長径	短径	深さ	立ち上がり	所見
	ト土坑		円形	60	60	44	急傾斜	A′−28イ土坑、A′−27ヲ土坑、他土坑1つと重複
	チ土坑		楕円形	75	61	44	急傾斜で途中に段あり	
	イピット		円形	34	30	16	急傾斜	
	ロピット		円形	41	38	12	急傾斜	径38cmのピットと東側で重なる。
	ハピット		不整円形	56	54	63	急傾斜	A′−28イ土坑、A′−28ロ土坑とつながる
	ニピット		円形	40	35	20	急傾斜	径47cmのピットと南側で重なる
A′−29	イ土坑		不整楕円形	105	82	20	傾斜	集石あり（底面において）13住、P−3と切り合い、確認面には埋甕あり
	ロ土坑		楕円形	132	118	63	急傾斜	覆土は上層が暗褐色土を基調とし径5～10mmローム粒やや多く、カーボン少量含む。
	イピット	藤内	不整円形	37	29	29	急傾斜	A′−29ロピットと重複
	ロピット	藤内	不整円形	35	32	21	急傾斜	A′−29イピットと重複
	ハピット		不整円形	42	32	52	急傾斜	
	ニピット		円形	31	28	19	急傾斜	13住のピットと思われる。
	ホピット		楕円形	50	35	27	急傾斜	
A′−30	イ土坑	藤内	円形	116	113	37	傾斜	覆土は暗褐色土を基調とし径1～3mmローム粒多量に含み、径2～5mmカーボンも含まれる。
	ロ土坑	諸磯	円形	123	117	119	垂直	A′−30イ土坑と重複
	ハ土坑		円形	135	133	20	傾斜	暗褐色土を基調とし径3mmカーボン、径1～4mmローム粒含みロームブロックをはん文状に含む
	ニ土坑	五領ヶ台	円形	108	104	38	急傾斜	A′−31へ土坑と重複
	ホ土坑		円形	85	78	10	傾斜	
	へ土坑		楕円形	115	87	17	傾斜	A′−30ロ土坑と重複
	ト土坑		円形	82	70	27	傾斜	
A′−31	イ土坑		円形	107	100	47	オーバーハング	暗褐色土径2mmのカーボン粒子多めに含む
	ロ土坑		円形	70	60	16	傾斜	
	ハ土坑		円形	75	75	10	傾斜	
	ニ土坑		円形	100	96	25	傾斜	
	ホ土坑		不整楕円形	180	116	47	傾斜	3号住を切っている。暗褐色土を基調とし径1～3mmカーボン含み、径2mmローム粒含む
	へ土坑		楕円形	120	110	21	傾斜	A′−30ニ土坑と重複
	ト土坑		円形	70	64	15	傾斜	
	チ土坑		円形	63	62	13	傾斜	
	リ土坑		円形	70	63	28	急傾斜	
A′−32	イ土坑	新道	円形	88	88	28	急傾斜	覆土中、花崗岩片（風化）打斧を含み、多量の土器小片、小礫、黒曜石チップ、カーボン粒を含む
	ロ土坑		楕円形	150	110	26	傾斜	
	ハ土坑	五領ケ台	円形	73	67	25	ゆるやか	A′−32ニ土坑と重複し、本土坑が切っている。
	ニ土坑	藤内	楕円形	56	63	23	傾斜	A′−32ハ土坑と重複し、ハ土坑に切られている
	イピット		円形	34	34	70	急傾斜	
B′−24	イ土坑		円形	69	69	41	傾斜	
	ロ土坑	五領ケ台	不整楕円形	87	75	20	急傾斜	23住ピットと切り合っている
	ハ土坑	五領ケ台	長方形	123	53	15	急傾斜	
	イピット		楕円形	45	38	31	傾斜	
B′−25	イ土坑	五領ケ台	楕円形	99	93	35	急傾斜	B′−25ホ・へ・ト土坑と他土坑1つと重複。ホ土・へ土坑に切られる覆土は暗褐色土を基調とし径1～5㎜ローム粒多量に含みカーボンも少量含まれる
	ロ土坑	諸磯	不整円形	124	112	32	急傾斜	土坑1つと重複。覆土は暗褐色土を基調とし下層では径5㎜ローム粒多く含みカーボンも少量含まれる
	ハ土坑	諸磯	円形	86	76	40	急傾斜	土坑1つと重複。覆土は暗褐色土を基調とし径5㎜ローム粒若干含みカーボン微量に含む
	ニ土坑	諸磯	円形	93	83	30	急傾斜	土坑1つと重複。覆土は暗褐色土を基調とし径5～10㎜ローム粒少量カーボン若干含む
	ホ土坑		楕円形	84	86	12	なだらか	B′−25イ土坑、B′−25ト土坑と重なる。イ土坑を切る。覆土は褐とし10㎜ロームブロック若干含み、カーボンも若干含まれる
	へ土坑	五領ケ台	楕円形	88	74	19	急傾斜	B′−25イ土坑と接し、B′−25ル土坑と重なる。イ土坑を切っている。覆土は褐色土を基調とする。径1～5㎜ローム粒やや多く含みカーボン若干含む
	ト土坑	諸磯	円形	104	81	35	直	B′−25イ土坑、B′−25ホ土坑、他径50㎝のピットと重なる。覆土は暗褐色土を基調とし上層で明るく下層で暗い。上層では径5～10㎜ローム粒少なく、下層では増加する。また、カーボンは全体的に少量含まれる
	チ土坑	諸磯	楕円形	98	80	30	急傾斜	
	リ土坑		円形	78	74	27	直に立ち上がる	B′−25ヌ土坑と重複
	ヌ土坑		楕円形	67	54	15		B′−25リ土坑と重なる
	ル土坑		不整円形	83	56	27	急傾斜	石皿出土。B′−25へ土坑、他土坑2つと重複。覆土は暗褐色土を基調とし径1㎜ローム粒やや多く、径5㎜ローム粒少量カーボン少量含む
	ヲ土坑	諸磯	円形	100	97	43	急傾斜	B′−25ワ土坑に切られている。覆土は暗褐色土を基調としB′−25ワ土坑覆土より明るい。径1～10㎜ローム粒やや多く、カーボンも少量含まれる
	ワ土坑		円形	87	(61)	34	急傾斜	B′−25ヲ土坑を切っている。覆土はB′−25ヲ土坑より暗く、暗褐色土を基調とし、径1～5㎜ローム粒少量、カーボン少量含む
	カ土坑		円形	75	67	13	なだらか	
	ヨ土坑		円形	78	75	20	急傾斜	ピット1つと接する。南側が撹乱を受けている。
	タ土坑	五領ケ台	楕円形	74	64	27	傾斜　一部急傾斜	B′−25レ土坑と切り合う
	レ土坑		不整楕円形	100	65	13	なだらか　一部急傾斜	B′−25タ土坑と切り合う
	イピット		楕円形	67	37	13	皿状	
	ロピット		円形	40	40	12	傾斜	
B′−26	イ土坑		円形	82	71	25	直に立ち上がる	南側にテラス状平坦面あり。覆土は明暗褐色土を基調とし径1～2㎜のワームブロックを若干含み、上層ではカーボンを若干含む
	ロ土坑	五領ケ台	不整円形	130	110	31	急傾斜	土坑3つと重なる。覆土は暗褐色土を基調とし径1㎜のローム粒少量。径1～5㎜ロームブロックやや多く、カーボンも若干含まれる。黄褐色土混じり
	ハ土坑	諸磯	楕円形	84	75	27	急傾斜	B′−26ニ土坑と径49㎝の土坑と重複しニ土坑を切っている。覆土は明暗褐色土を基調とし径1～5㎜ローム粒少量含み、カーボンやや多く含む
	ニ土坑	五領ケ台	楕円形	148	102	14	なだらか	B′−26ハ土坑、B′−26ホ土坑、他土坑1つとピット2つと重複　ホ土坑を切りハ土坑に切られる。覆土は暗褐色土を基調とし径1㎜のローム粒若干含む
	ホ土坑	藤内	不整円形	79	72	25	急傾斜	B′−26ニ土坑と径55㎝の土坑と重なる。ニ土坑に切られる。覆土は明暗褐色土を基調とし径1㎜ローム粒微量に含み、径1㎜のロームブロック若干含む
	へ土坑	諸磯	楕円形	160	120	58	急傾斜	土坑4つと重なり、A′−25・2号焼土を切っている。覆土は暗褐色土を基調とし径1～5㎜ローム粒多量に、1～3㎝ロ

グリッド名	土坑名	時期	形態	長径	短径	深さ	立ち上がり	所見
								ームブロックをやや多めにカーボン少量を含んでいる
	ト土坑		楕円形	97	78	38	東側はオーバーハングその他は急傾斜	径46cmのピットと重なる　他土坑1つとピット1つと接する
	チ土坑		円形	97	82	32	急傾斜	
	リ土坑		円形	126	117	40	急傾斜	土坑2つと重なる。覆土は暗褐色土を基調とし径5mmのローム粒やや多く径2cmロームブロック少量。カーボンやや多い
	ヌ土坑		円形	100	95	25	急傾斜	西側が撹乱を受けている
	イピット		不整円形	41	35	47	急傾斜	土坑1つと重複する
B′−27	イ土坑	曽利V	不整円形	128	104	55	急傾斜	B′−27ハ土坑、B′−27ロ土坑と重なり、B′−27ニ土坑と接する。ハ土坑を切り、ロ土坑に切られる。覆土は暗褐色土を基調する。径1～2cmロームブロックやや多く、カーボン少量含む
	ロ土坑		楕円形	51	48	18	急傾斜	B′−27イ土坑、他土坑2つと重複。イ土坑を切っている。覆土は暗褐色土を基調とし径1mmのローム粒少量、カーボン微量含む
	ハ土坑		楕円形	72	52	12	皿状	B′−27イ土坑と重なる（切られている）覆土は明暗褐色土径5mmローム粒少量含む黒褐色土混じり
	ニ土坑	五領ケ台	円形	96	90	44	急傾斜	B′−27イ土坑と接する。覆土は明黒褐色土が中央にあり全体的には暗褐色土を基調とする。径1mmのローム粒多く含み、径5mmのローム粒若干カーボン少量ながら含む
	ホ土坑	五領ケ台	楕円形	100	84	27	急傾斜	B′−27リ土坑と接する
	ヘ土坑	五領ケ台	不整楕円形	90	82	24	急傾斜	
	ト土坑		楕円形	117	85	28	急傾斜	B′−27チ土坑と重なる。チ土坑を切っている。覆土は暗褐色土を基調とし径1mmローム粒やや多く、径5mmのローム粒若干カーボン多量に含む
	チ土坑	五領ケ台	不整楕円形	107	85	59	急傾斜	B′−27ト土坑と重複しト土坑に切られる。覆土は明暗褐色土を基調とし径1～5mmローム粒多量、径1～3mmのロームブロックやや多くカーボンも多量に含む
	リ土坑		楕円形	79	69	50	北側は直その他はオーバーハング	B′−27ホ土坑と接する。覆土は暗褐色土を基調とし径1mmローム粒少量　カーボン若干含む
	ヌ土坑		円形	81	80	55	急傾斜	土坑1つとピット1つと重複。覆土は暗褐色土を基調とし径5mmローム粒やや多く、カーボン少量含む
	ル土坑	諸磯	円形	111	99	55	急傾斜	B′−27ヲ土坑、B′−27カ土坑、他土坑1つと重複
	ヲ土坑		円形	78	68	22	急傾斜	B′−27ル土坑、他土坑1つと重複
	ワ土坑	五領ケ台	楕円形	101	75	18	なだらか	土坑1つと重複
	カ土坑	新道	楕円形	72	48	39	急傾斜	B′−27ル土坑、B′−27ヨ土坑と接する
	ヨ土坑	諸磯	円形	117	116	28	急傾斜	B′−27カ土坑と接し、土坑1つと重なる
	タ土坑		楕円形	80	70	8	皿状	
	レ土坑	藤内	楕円形	88	72	39	急傾斜	土坑2つと重複
	ソ土坑	五領ケ台	円形	79	79	30	急傾斜	B′−27ラ土坑、他土坑1つと接する
	ツ土坑	五領ケ台	楕円形	88	107	44	急傾斜	C′−28リ土坑、B′−27ネ土坑17住柱穴と切り合う。ネ土坑を切っている。覆土は暗褐色土を基調とし径5mmローム粒多量、カーボン少量含む
	ネ土坑	諸磯	楕円形	81	66	53	傾斜 一部なだらか	B′−27ツ・ナ土坑と切り合う。ツ土坑に切られナ土坑を切っている。覆土は暗褐色土を基調としツ土坑覆土より暗い。径1～10mmローム粒少量、カーボン若干含む
	ナ土坑		円形	86	54	36	なだらか	B′−27ネ・Noナシ土坑と切り合う。ネ土坑に切られる。覆土は暗褐褐色土を基調とし径5mmローム粒少量、カーボン若干含む
	ラ土坑		楕円形	105	70	18	なだらか	B′−27ラ土坑、他土坑1つと接する
	ム土坑		円形	50	50	13	皿状	C′−27チ土坑と重なる
	ウ土坑		円形	82	82	21	傾斜	C′−27ニ土坑と一部切り合う
	ヰ土坑	諸磯	楕円形	81	68	25	急傾斜	Noナシ土坑と切り合う
	イピット		不整円形	30	25	14	急傾斜	
	ロピット		楕円形	27	28	16	急傾斜	Noナシ土坑と切り合う
B′−28	イ土坑		楕円形	100	91	62	急傾斜	B′−28ロ土坑、他土坑1つ重複。ロ土坑を切っている。覆土は暗褐褐色土を基調とし径5mmローム粒やや多く、2～3cmロームブロック少量カーボン少量を含む
	ロ土坑		不整円形	107	73	23	急傾斜	B′−28イ土坑と重複し切られる。覆土は暗褐色土を基調としB′−28イ土坑覆土より明るい。径5mmローム粒やや多く、カーボン少量を含む
	ハ土坑		不整楕円形	124	90	9	傾斜	13住南壁側に位置する
	ニ土坑		円形	123	112	30	急傾斜	B′−28ロピットが重なる。覆土は暗褐色土を基調とし径1～5mmローム粒多量、径3cmロームブロック若干　カーボン少量含む
	ホ土坑	曽利V	円形	107	105	29	直に立ち上がる	B′−28トピットの他2つのピットがからんでいる
	ヘ土坑		不整円形	71	61	60	傾斜	Noナシ土坑ピットと重複
	ト土坑		楕円形	57	49	43	なだらか	14住地焼炉（1号焼土址）と切り合う
	ロピット		円形	44	40	38	急傾斜	B′−28ニ土坑と切り合う。覆土は明黒褐色土を基調とし下層は明暗褐色土となる。径1～5mmローム粒多量に含み、カーボン多量に含むが、下層でカーボン量はへる
	ハピット		不整楕円形	33	25	38	なだらか	
	ニピット		楕円形	28	23	17	傾斜	
	ホピット		不整楕円形	27	21	54	傾斜	Noナシ土坑ピットと切り合う
	ヘピット		楕円形	27	17	22	傾斜	
	トピット		楕円形	15	26	10	傾斜	B′−28土坑と切り合う
	チピット		円形	36	32	32	傾斜	
	リピット		楕円形	28	25	45	急傾斜	Noナシ土坑ピットと切り合う
	ヌピット		楕円形	32	25	59	傾斜	Noナシ土坑ピット4基と切り合う
	ルピット		楕円形	35	31	37	傾斜	
B′−29	イ土坑		円形	108	105	35	傾斜	13号住炉址の南側に位置する
	ロ土坑		楕円形	156	65	62	急傾斜	15住P－8と重複する
	ハ土坑		円形	97	90	35	傾斜	
	ニ土坑		円形	86	82	17	傾斜	
	ホ土坑		円形	91	83	17	ゆるやか	B′−29ヘ土坑と重複
	ヘ土坑		円形	83	77	19	傾斜	B′−29ホ土坑と重複
	ト土坑		円形	75	62	23	傾斜	B′−29ヘ土坑と重複
	チ土坑	諸磯	楕円形	54	75	19	傾斜	B′−29リ土坑　Noナシピットと切り合う
	リ土坑		不整楕円形	63	50	27	傾斜	B′−29チ土坑と切り合う
	ヌ土坑		円形	40	40	25	傾斜	
	ハピット		円形	52	49	18	傾斜	
B′−30	イ土坑		楕円形	91	69	26	傾斜	
	ロ土坑		不整円形	103	94	22	傾斜	暗褐色土径3mmカーボンわずかに含み　φ1mmローム粒含む
	イピット		円形	40	40	30	急傾斜	覆土は明黒褐色土で径2mmカーボン粒含み　径2mmローム粒多く含む
	ロピット		円形	47	47	30	急傾斜	覆土は明黒褐色土で径2mmカーボン粒含み　ロームブロック多く含む
B′−31	イ土坑	藤内	円形	74	73	81	垂直に立ち上がりオーバーハング部有	土坑内下層部に東側に底部　西側に口縁を向け横位で完形土器出土　土坑下半分南から西にかけてオーバーハング
	ロ土坑	藤内	円形	88	81	62	急傾斜	3号住炉址をこわし形成している　住炉址にともなうと思われる　覆土は明暗褐色土を基調とし径1～2mmのローム粒、カーボン粒、焼土粒を含む

グリッドNo	土坑名	時　期	形　態	長　径	短　径	深　さ	立ち上がり	所　見
	ハ土坑		円形	82	73	35	傾斜	
	ニ土坑		円形	70	70	37	傾斜	
B′－32	イ土坑		楕円形	80	70	30	傾斜	B′－32ハ土坑と重複
	ロ土坑		円形	70	70	20	傾斜	
	ハ土坑	縄磯	円形	120	110	82	垂直	B′－32ニ・ホ土坑B′－31ニ土坑と重複し　褐土は重複している処の土坑より暗い暗褐色土である　カーボン粒径1～3㎜多し
	ニ土坑		楕円形	100	53	8	皿状	B′－32ハ土坑と重複
	ホ土坑		円形	70	70	17	皿状	B′－32ハ土坑と重複
	ヘ土坑		円形	114	108	53	垂直	土坑中央部中層褐土中に花崗岩有
	ト土坑		円形	72	68	14	ゆるやか	
C′－24	イ土坑	縄磯	円形	151	131	70	急傾斜	東側で径65㎝×深さ20㎝の土坑と重なる
	ロ土坑		円形	94	90	31	急傾斜	
	ハ土坑	縄磯	円形	88	85	33	急傾斜	
	ニ土坑	縄磯	円形	91	87	39	直に立ち上がる	23住を切っている（23住の南壁際）
	ホ土坑	縄磯	楕円形	119	96	24	傾斜　一部なだらか	Nロナシ土坑ピット切り合う
	ヘ土坑	イ土坑	円形	93	88	27	傾斜　一部急傾斜	23住炉址と切り合い　切っているようだ
C′－25	イ土坑	縄磯	円形	93	72	16	傾斜	C′－25ロ・ヲ土坑と切り合う
	ロ土坑		円形	76	72	36	急傾斜一部オーバーハング	C′－25イ土坑と切り合う
	ハ土坑		円形	85	85	32	急傾斜	C′－25ニ土坑と切り合う
	ニ土坑		不整楕円形	86	45	47	急傾斜	C′－25ハ土坑と切り合う
	ホ土坑	五領ケ台	楕円形	118	30	40	急傾斜	C′－25ヘ土坑と重複
	ヘ土坑		楕円形	101	75	48	急傾斜	C′－25ホ土坑と重複
	ト土坑	藤内	楕円形	82	76	17	傾斜	C′－25ワ土坑と切り合う
	チ土坑		楕円形	66	51	16	なだらか一部傾斜	
	リ土坑		不整円形	103	86	21	なだらか	土坑1つと重複
	ヌ土坑	縄磯	円形	119	111	52	直に立ち上がる	23住内に位置
	ル土坑	縄磯	不整楕円形	94	80	37	傾斜	C′－25ワ土坑　23住壁と切り合う
	ヲ土坑		楕円形	81	64	28	なだらか一部急傾斜	C′－25ヤ土坑と切り合う
	ワ土坑		楕円形	78	66	18	急傾斜	C′－25ト・ル土坑、23住と切り合う
	カ土坑	五領ケ台	楕円形	69	60	24	傾斜一部急傾斜	Nロナシ土坑と切り合う
	ヨ土坑	五領ケ台	円形	70	65	21	急傾斜	
C′－26	イ土坑	縄磯	楕円形	98	84	46	急傾斜	ピット1つと重なる。褐土は暗褐色土を基調とし下層で若干明るくなる。径5㎜ローム粒やや多く、10㎜ローム粒若干、カーボン若干含む
	ロ土坑	井戸尻	円形	85	79	35	急傾斜	
	ハ土坑	縄磯	楕円形	94	72	19	皿状	
	ニ土坑	縄磯	楕円形	122	85	40	急傾斜	C′－26ホ土坑と切り合う
	ホ土坑	縄磯	円形	90	89	37	傾斜	C′－26ニ土坑と切り合う
	ヘ土坑		楕円形	81	77	15	皿状	
	イピット		楕円形	45	31	34	なだらか	
C′－27	イ土坑	曾利	円形	135	130	40	傾斜	C′－27カ・タ土坑、Nロナシ土坑と切り合う
	ロ土坑		不整円形	76	68	27	傾斜	
	ハ土坑		楕円形	79	71	20	傾斜	
	ニ土坑	曾利V	円形	135	130	40	傾斜	B′－27ホ・ル土坑と一部切り合い、Nロナシ土坑とも切り合っている　ホ土坑に切られる。17住内に位置する。褐土は暗褐色土を基調とし径5㎜ローム粒少量、径3㎝ロームブロック若干、カーボン若干含む
	ホ土坑		不整楕円形	92	71	30	急傾斜	B′－27ニ・ル土坑1７住柱穴と切り合う。ニ土坑に切られる。褐土は暗褐色土を基調とし二土坑より明るく径5ローム粒少量、径3㎝ロームブロック若干、カーボン若干含む
	ヘ土坑		楕円形	87	79	24	急傾斜	17住西壁に位置し、C′－27ト土坑と切り合う
	ト土坑		円形	78	43	12	急傾斜	C′－27ヘ・ワ土坑と切り合う
	チ土坑		不整円形	86	84	46	直	B′－27ム土坑、他土坑1つと重複　南側が撹乱を受けている
	リ土坑	曾利V						
	ヌ土坑		不整楕円形	128	112	41	なだらか	17住南西壁　Nロナシ土坑、C′－27リ土坑と切り合う
	ル土坑		楕円形	56	45	44	傾斜	実際にはB′－27グリッドに位置する　NロナシピットとNロナシピットと切り合う
	ヲ土坑							
	ワ土坑		楕円形	67	57	12	急傾斜	C′－27ヨ土坑、17住ピットと切り合う
	カ土坑		楕円形	60	63	39	傾斜	C′－27イ・ヨ土坑と切り合う
	ヨ土坑		楕円形	83	81	39	急傾斜	C′－27カ土坑と切り合う
	タ土坑		不整楕円形	100	91	27	傾斜	C′－27イ土坑と切り合う
	レ土坑		楕円形	37	31	44	傾斜	Nロナシ土坑と切り合う
	イピット		円形	36	32	14	傾斜	
C′－28	イ土坑		円形	95	95	43	急傾斜	褐土は暗褐色土を基調とし径1㎜ローム粒径10～30㎜ロームブロック多量に含み径1㎜カーボンも含む
	ロ土坑	縄磯	円形	90	90	27	傾斜	C′－28ハ土坑と重複し切られる
	ハ土坑	縄内	円形	70	70	22	急傾斜	C′－28ロ土坑と重複し切っている
	ニ土坑	五領ケ台	円形	73	68	25	傾斜	褐土は暗褐色土を基調とし径1㎜ローム粒径10～30㎜ロームブロック多量に含み径1㎜カーボンも含まれる
	ホ土坑	縄磯	円形	192	184	43	急傾斜	14住内に位置　褐土は暗褐色土を基調とし径1～2㎜ローム粒多量　5㎜～2㎝ロームブロック少量、カーボンやや多く含む
	ヘ土坑		楕円形	97	78	16	傾斜	14住内に位置
	ト土坑		楕円形	45	35	66	急傾斜	Nロナシ土坑の中にある
	チ土坑	曾利V	楕円形	63	42	16	急傾斜	Nロナシ土坑より古い
	リ土坑	縄磯	楕円形	98	85	37	傾斜	C′－28ヌ、ヨ土坑と切り合う
	ヌ土坑		楕円形	72	62	49	なだらか	実際はB′－28ヒに位置する　C′－28リ土坑と切り合う
	ル土坑	縄磯	円形	122	101	25	急傾斜	
	ヲ土坑		楕円形	43	41	10	傾斜	C′－28ル・ワ土坑と切り合う
	ワ土坑	曾利V	円形	56	41	11	傾斜	C′－28ヲ土坑・14号と切り合う
	カ土坑							
	ヨ土坑	曾利V	楕円形	109	89	39	傾斜	
	タ土坑	縄磯	楕円形	77	84	14	傾斜	C′－28レ土坑と重複
	レ土坑		楕円形	74	60	51	急傾斜	C′－28タ土坑と重複
	ソ土坑		楕円形	90	90	38	急傾斜	D′－27ト、C′－28ツ土坑と重複
	ツ土坑	曾利V	楕円形	70	77	26	傾斜	
	ロピット		円形	41	36	39	傾斜	一部C′－28ホ土坑と切り合う
	ハピット		楕円形	36	25	13	急傾斜	
C′－29	イ土坑		楕円形	118	97	21	傾斜	
	ロ土坑	縄磯	円形	83	75	28	傾斜	
	ハ土坑		円形	77	71	21	傾斜	
	ニ土坑		円形					D′－29チ土坑と重複
	ホ土坑	五領ケ台	楕円形	129	102	47	傾斜	褐土は暗褐色土を基調とし径1～3㎜ローム粒、焼土粒を含み、下層は径10～30㎜のロームブロックを含む
	ヘ土坑	縄磯	楕円形	220	158	40	傾斜	C′－30ロ土坑と重複　C′－29ト土坑とも重複し、本土坑が勝っている。褐土は暗黒褐色土を基調とし径1～20㎜ローム粒をわずかに含み、ロームブロックを多めに含み、カーボン粒も含まれている

グリッド名	土坑名	時期	形態	長径	短径	深さ	立ち上がり	所見
	ト土坑		不整円形	118	115	40	急傾斜	C′−29へ土坑に切られる
	チ土坑		円形	91	86	25	傾斜	
	リ土坑	藤内	円形	122	114	73	直	C′−29ヌ・ル土坑と重複　ル土坑をこわしリ土坑が構築され、それをこわしてヌ土坑がある　覆土は暗黒褐色土を基調とし径5〜30㎜ローム粒ブロック含み、径3㎜カーボンわずかに含む　中層から下層にかけて暗黄褐色土となりル土坑を埋めもどしているためロームブロック多量に含む
	ヌ土坑	藤内	円形	64	64	64	急傾斜	C′−29リ土坑を切り、ヲ土坑とも重複しておりヲ土坑に埋めもどされている。覆土は暗褐色土を基調とし径5㎜ローム粒少量と径1㎜カーボンわずかに含む　下層は径1〜3㎜ローム粒多く含んでいる
	ル土坑	藤内	楕円形	120	85	35	直	C′−29リ土坑と重複しており
	ヲ土坑		楕円形	120	92	19	傾斜	C′−29ヌ土坑の上に構築
	ワ土坑		円形	80	75	16	傾斜	C′−29カ土坑、D′−29リ土坑に切られている
	カ土坑		円形	92	83	61	急傾斜	C′−29ワ土坑、D′−29リ土坑と重複し、本土坑が勝っている。覆土は暗褐色土で径1〜3㎜ローム粒多い
C′−30	イ土坑	五領ケ台	楕円形	138	112	24	なだらか	C′−30チ土坑と重複
	ロ土坑		不整楕円形	101	83	75	急傾斜	大形礫6点、土坑底部中央より石ゾク1点出土、C′−30ハ土坑と重複しハ土坑を切っている。覆土は暗褐色土を基調とし径7㎜ローム粒ごくわずかに含む
	ハ土坑		不整長方形 楕円形	110	98	26	急傾斜	C′−30ロ土坑と重複し、ロ土坑に切られる。覆土は暗褐色土を基調とし径1㎜ローム粒多く含む
	ニ土坑	五領ケ台	楕円形	96	76	62	傾斜	C′−30ト土坑と重複　土は暗褐色土を基調としローム粒子を含み、カーボンわずかに含む
	ホ土坑		円形	80	56	26	傾斜	D′−30イ土坑と重複しており、イ土坑に切られている
	ヘ土坑		円形	60	50	40	傾斜	
	ト土坑		円形	86	82	21	傾斜	C′−30ニ土坑と重複
	チ土坑		円形	106	103	18	傾斜	C′−30イ土坑に切られている
C′−31	イ土坑	諸磯	円形	100	96	98	急傾斜	中層より花崗岩　覆土は暗褐色土を基調とし、中層には黒褐色土層があり、この層には径2㎜ローム粒径4㎜焼土粒が多量に含まれ、径5㎜カーボンも含まれる
	ロ土坑	五領ケ台	円形	126	120	39	ゆるやか	C′−31ニ土坑と重複、ニ土坑に切られている
	ハ土坑	曽利Ⅴ	円形	85	78	新45 古100	新・直、古・一部オーバーハング	土坑確認面にてプラン西側に完形土器が立位で出土。本土坑は2基重複している。（深い方を埋めもどしている）再埋葬の可能性もある。新しい方の覆土は暗褐色土を基調とし、径2〜6㎜カーボン、径1㎜ロームブロックを混入する。古い方は埋めもどされているため明暗褐色土となりローム粒、ブロックを多く含む
	ニ土坑	曽利Ⅴ	円形	93	80	78	急傾斜	C′−31ロ土坑と重複しており、本土坑が勝っている。覆土中より花崗岩（風化している）片多数出土、黒曜石チップも多量に出土
	ホ土坑		不整楕円形	146	100	19	皿状	3号住西壁北西コーナー付近に位置し、3号住の壁をこわしている
	チ土坑		不整楕円形	130	110	58	垂直	5号住東辺南東コーナー付近に立地し、住居址をこわしている
	リ土坑		楕円形	63	45	33	傾斜	NO無し土坑と重複し切られているが5住を切っている
C′−32	イ土坑	藤内	円形	101	93	26	急傾斜	C′−32ヘ・ホ土坑と重複しており、本土坑が切っている
	ロ土坑	五領ケ台	楕円形	98	78	27	急傾斜	C′−32ハ土坑と重複し切っている　暗褐色土径1㎜カーボン少量含む黒曜石チップも少量有
	ハ土坑		円形	70	70	9	皿状	C′−32ロ土坑と重複し切られる　暗褐色土ロ土坑の覆土より明るい。径1㎜カーボン少量含みロームブロック混入
	ニ土坑	藤内	楕円形	170	130	31	急傾斜	C′−32ト土坑と重複、ト土坑を切っている
	ホ土坑	藤内	円形	94	81	38	急傾斜	C′−32イ土坑と重複し、イ土坑に切られる
	ヘ土坑		円形	85	82	46	急傾斜	C′−32イ・ハ土坑と重複　イ土坑に切られ、ハ土坑に勝っている。
	ト土坑	藤内	楕円形	145	60	31	傾斜	C′−32ニ土坑と重複し、ニ土坑に切られる　底部に別のピット状の掘り込み有
D′−24	イ土坑	諸磯	円形	115	106	20	傾斜	
	ロ土坑	諸磯	楕円形	94	54	18	傾斜	攪乱によりプラン半分はない
	ハ土坑		楕円形	82	72	33	急傾斜	
	ニ土坑		楕円形	84	81	19	傾斜	
D′−25	イ土坑	諸磯	円形	135	124	37	急傾斜	22住の西側に位置　覆土は暗褐色土を基調とし上層で径1㎜ローム粒やや多く、カーボン少量含み、下層では径1㎜ローム粒やや多くなりカーボン少量となる
	ロ土坑							
	ハ土坑		円形	112	31			
	ニ土坑	藤内	不整円形	83	77	26	なだらか	
D′−26	イ土坑	諸磯	不整楕円形	81	75	57	傾斜　一部なだらか	NOナシ土坑と切り合う
	ロ土坑	井戸尻	楕円形	65	33	46	急傾斜	NOナシピットと切り合う
	ハ土坑	藤内	円形	103	53	32	急傾斜	
	ニ土坑	諸磯	不整円形	67	59	64	オーバーハング	21住に伴う土坑と思われる
	ホ土坑	諸磯	円形	106	103	18	傾斜	NOナシ土坑と切り合う
D′−27	イ土坑	諸磯	楕円形	85	80	21	傾斜	18住西壁と切り合う
	ロ土坑		長楕円形	200	95	33	傾斜	D′−27ニ・チ、C′−27ヨ・カ土坑と切り合う
	ハ土坑	五領ケ台	楕円形	71	65	28	傾斜　一部なだらか	
	ニ土坑		円形	85	85	20	傾斜	
	ホ土坑		円形	70	65	19	傾斜	
	ヘ土坑		円形	102	100	88	なだらか	18住内に位置する
	ト土坑	五領ケ台	楕円形	130	110	70	急傾斜	C′−28ソ・ツ土坑と重複
	チ土坑	曽利Ⅴ	楕円形	84	62	16	なだらか一部傾斜	D′−27ロNoナシ土坑と切り合う
	リ土坑	諸磯	楕円形	82	47	29	傾斜	Noナシ土坑ピットと切り合う
	イピット	諸磯	円形	46	43	10	傾斜	
	ロピット		楕円形	32	23	12	急傾斜	
	ハピット		円形	38	35	19	急傾斜	Noナシピットと切り合う
	ニピット		円形	42	40	37	傾斜	
	ホピット		楕円形	62	43	41	傾斜	20住ピットと重複
	ヘピット		円形	63	61	13	傾斜	底面に別のピット掘り込み有
	トピット		円形	77	72	24	傾斜	Noナシピットと切り合う
	チピット		楕円形	42	35	50	急傾斜	Noナシピットと切り合う
D′−28	イ土坑	藤内	円形	95	92	61	急傾斜	
	ロ土坑		楕円形	45	33	9	傾斜	Noナシピットと重複
	ハ土坑		楕円形	152	80	21	傾斜	D′−28ニ土坑と重複
	ニ土坑		楕円形	109	90	17	傾斜	D′−28ハ・ホ土坑と重複
	ホ土坑		楕円形	83	71	39	急傾斜	D′−28ニ土坑と重複
	ヘ土坑		楕円形	80	86	9	急傾斜	Noナシピット、土坑と重複する
	ト土坑	五領ケ台	円形	70	66	11	急傾斜	
	チ土坑		楕円形	156	70	19	傾斜	16住南東コーナー部に位置する
D′−29	イ土坑		不整楕円形	87	70	24	傾斜	D′−29ロ土坑と重複し、本土坑が勝っている
	ロ土坑		楕円形	95	77	16	傾斜	D′−29イ土坑と重複し、イ土坑に切られている
	ハ土坑		楕円形	120	102	29	傾斜	D′−29チ土坑と重複しチ土坑に切られている　暗褐色土、チ

グリッド名	土坑名	時　期	形　態	長　径	短　径	深　さ	立ち上がり	所　見
								土坑より明るく径1㎜ローム粒少量含む
	ニ土坑	諸磯	円形	98	94	27	傾斜	D′−29ホ土坑と重複
	ホ土坑	五領ケ台	楕円形	170	65	20	皿状	暗褐色土径1㎜カーボンローム粒少量含む　土坑底部に小ピット有　D′−29ニ土坑と重複
	ヘ土坑	五領ケ台	不整楕円形	179	100	37	皿状	暗褐色土径1㎜カーボンローム粒少量含む
	ト土坑	諸磯	楕円形	93	79	68	急傾斜	16住東側壁をこわしている
	チ土坑	五領ケ台	円形	95	87	41	傾斜	D′−29ハ土坑と重複、本土坑が勝っている　暗褐色土D′−29ハ土坑より暗い　径1㎜ローム粒多量に含む
	リ土坑			93	76	39	傾斜	D′−29ワ・ヲ土坑に切られている。カ土坑に切っている。覆土は暗褐色土を基調としC′−29カ土坑より暗い。径30㎝ロームブロック個入
D′−30	イ土坑	諸磯	楕円形	98	73	66	ゆるやか	C′−30ホ土坑、D′−30ハ土坑と重複、本土坑が勝つ
	ロ土坑	諸磯	円形	114	104	20	ゆるやか	D′−30ハ土坑と重複し、ハ土坑を切っている
	ハ土坑	藤内	円形	83	78	23	ゆるやか	D′−30イ・ロ土坑と重複し切られている
	ニ土坑	五領ケ台	円形	93	77	46	急傾斜	
	ホ土坑		不整楕円形	138	97	34	傾斜	
	ヘ土坑		円形	84	78	41	急傾斜	
	ト土坑	五領ケ台	楕円形	90	65	13	傾斜	16号北西壁北コーナー付近、住居址を切っていると思われる。覆土は暗褐色土を基調とし径2㎜カーボン少量含む
	チ土坑	諸磯	楕円形	54	84	18	傾斜	16住北壁中央に位置する。住居址を切っているものと思われる。
	リ土坑	五領ケ台	楕円形	164	117	35	傾斜	E′−30イ土坑と重複し切っている　覆土は暗褐色土で黒褐色土をはん文状に含み径1〜4㎜カーボン少量含む
D′−31	イ土坑	諸磯	不整円形	110	107	76	急傾斜	5号住床面が検出面、暗褐色土を基調とし径3㎝ロームブロックを全体に含む
	ロ土坑	諸磯	楕円形	103	88	48	急傾斜	5号住、P−6と重複し切っている
D′−32	イ土坑	称呉	楕円形	85	67			
	ロ土坑		円形	82	28			
	ハ土坑		円形	71	66	45	傾斜	D′−32ニ土坑と重複、本土坑が勝っている　覆土は暗褐色土を基調とし径20㎝ロームブロック混入
	ニ土坑		楕円形	95	78	27	傾斜	D′−32ハ土坑と重複、ハ土坑に切られている。覆土は暗褐色土を基調としハ土坑より明るくローム粒やや多い
E′−25	イ土坑	諸磯	円形	107	104	71	直に立ち上がる	E′−25ロ土坑に切られる。土坑底面の土壌をサンプリングしている
	ロ土坑		円形	95	88	74	直に立ち上がる	E′−25イ土坑を切り、E′−25ハ土坑に隣接
	ハ土坑		円形	99	84	20	急傾斜	E′−25ロ土坑と隣接
	ニ土坑		楕円形	113	94	23	傾斜	E′−25ホ土坑、NOナシ土坑と切り合う
	ホ土坑		円形	102	88	27	傾斜	36住、E′−25ニ土坑と切り合う
	イ土坑		円形	95	88	11	皿状	径30㎝のピットが重なる
E′−26	ロ土坑	諸磯	円形	90	90	13	南側は急斜面 北側はなだらか	
	ハ土坑		不定形					NOナシ、ピット、土坑と切り合い、なおかつ撹乱により形態は不鮮明
	ニ土坑		不定形	67	60	16	傾斜	NOナシ、ピット、土坑と切り合う　撹乱により半分しかない
	イピット		楕円形	54	49	74	傾斜	E′−25ロピット、NOナシ土坑と切り合う。35住、南東コーナー付近に位置する
	ロピット		楕円形	54	43	37	急傾斜	NOナシ土坑と重複
E′−27	イ土坑		円形	100	96	45	傾斜	
	ロ土坑		楕円形	89	71	36	傾斜	20住南東コーナー付近に位置する
	ハ土坑		楕円形	102	85	26	急傾斜	NOナシ土坑と重複
	ニ土坑		楕円形	80	61	21	傾斜	E′−27ホ土坑と重複
	ホ土坑		楕円形	106	90	45	急傾斜	28住を切り込んでいる。覆土は暗褐色土を基調とし下層では明るくなる。径1〜5㎝ローム粒こく多量、ロームブロック多量、カーボンやや多量で下層ではワーム粒少量となる
			楕円形					
	ヘ土坑		円形	92	70	67	急傾斜	E′−27リ土坑と20住のNOナシピットと重複する
	ト土坑		楕円形	82	55	49	NOナシ土坑の中に別に位置する	NOナシ土坑の中に別に位置する
	チ土坑		楕円形	93	72	49	ゆるやか	E′−27ニ土坑と重複
	リ土坑		楕円形	76	57	71	一部オーバーハング	E′−27ヘ土坑と重複
	ヌ土坑		不整楕円形	91	59	70	急傾斜	20住内に位置する。
	イピット		円形	48	48	44	傾斜	
	ロピット		楕円形	72	50	22	傾斜	NOナシピットと重複
	ハピット		楕円形	67	58	10	傾斜	他のピットと切り合う
E′−29	イ土坑		楕円形	155	123	28	急傾斜	
	ロ土坑							
	ハ土坑		円形	80	77	69	傾斜	E′−29ニ土坑に切られている。16住とも切り合う。暗褐色土、ロームブロック多量
	ニ土坑		楕円形	45	35		傾斜一部オーバーハング	E′−29ハ土坑を切っている。暗褐色土、径3㎜焼土粒わずかに含む
	ホ土坑		不整楕円形	168	69	38	なだらか	F′−29ロ・ニ土坑など、6つ土坑と重複し、形態はよく分からない
	ヘ土坑							
	ト土坑		円形	48	40	60	直	F′−29ニ土坑と重なる
	チ土坑		円形	31	26	25	急傾斜	
	リ土坑		円形	41	34	25	急傾斜	土坑1つと重複
	ヌ土坑		楕円形	69	45	51	急傾斜	土坑1つと重複
	ヲ土坑		円形	51	50	22	急傾斜	E′−29ワ土坑と重なる
	ワ土坑		楕円形	130	83	31	なだらか	E′−29ヲ土坑、E′−29ホ土坑と重なる
	カ土坑		楕円形	142	118	22	なだらか	E′−29ハ土坑、E′−29ホ土坑、他土坑1つと重なり、形態は不明
E′−30	イ土坑		円形	120	117	35	傾斜	D′−30リ土坑と重複し切られる。覆土は暗褐色土を基調とし D′−30リ土坑より暗い。径1〜3㎜カーボン多量に含み、ローム粒も混入
	ロ土坑		円形	95	86	27	傾斜	E′−30ハ土坑と重複し切っている
	ハ土坑		円形	95	86	27	傾斜	E′−30ロ土坑と重複し、切られている
	ニ土坑		円形	90	88	27	傾斜	E′−30ハ土坑と重複し切られている。土坑内底部周辺にホピット有
	ホ土坑		楕円形	150	97	17	傾斜	E′−30ヘ土坑と重複、勝っている。土坑内底部周辺にホピット有
	ヘ土坑		楕円形	135	118	31	なだらか	E′−30ト・チ土坑と重複し勝っている。暗褐色土、径1〜7㎜カーボン含み径1㎜ローム粒多量
	ト土坑		楕円形	100	57	13	傾斜	E′−30ホ・ヘ土坑と重複し、切られている
	チ土坑		楕円形	100	87	21	傾斜	E′−30ヘ・リ土坑と重複し切られている
	リ土坑		不定形	132	117	29	なだらか	E′−30チ土坑と重複し本土坑が勝っている
E′−32	イ土坑		不整円形	114	100	45	傾斜	
	ロ土坑		楕円形	90	70	30	急傾斜一部なだらか	E′−31の1号埋設と隣り合っている。覆土は暗褐色土で径20㎜ロームブロック径1㎝カーボン含む
E′−33	イ土坑		楕円形	78	65	12	傾斜	E′−33ニ土坑と重複
	ロ土坑		楕円形	86	77	22	傾斜	E′−33ハ・ト土坑と重複し、勝っている
	ハ土坑		円形	113	105	37	傾斜	E′−33ロ土坑と重複し切られている
	ニ土坑		円形	114	100	15	傾斜	ピット2基に切られる

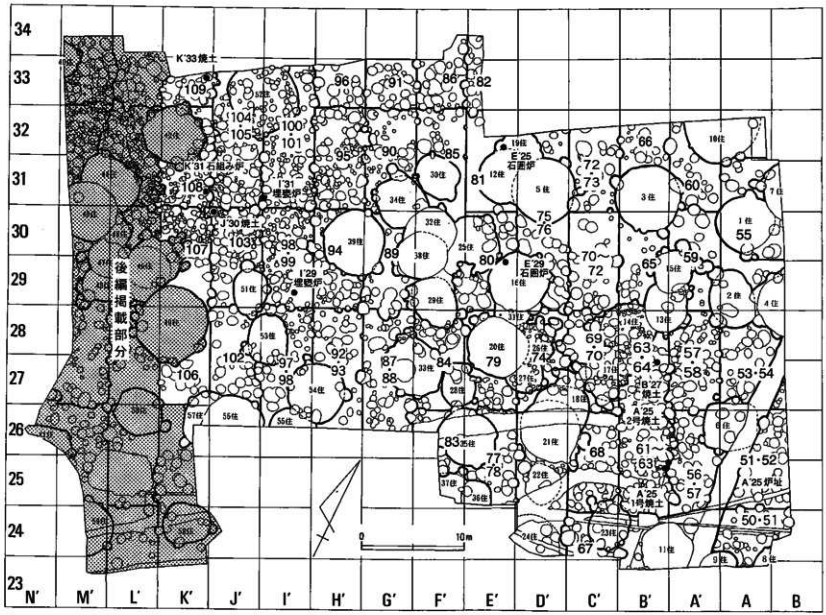
グリッド名	土坑名	時　期	形　態	長　径	短　径	深　さ	立ち上がり	所　見
	ホ土坑		楕円形	113	92	32	急傾斜	ピット2基に切られる
	ヘ土坑		楕円形	110	87	24	急傾斜	E'－34イ土坑とピット1基と重複
	ト土坑		円形	85	85	26	傾斜	E'－33ロ土坑と重複する
	チ土坑		楕円形	80	62	23	急傾斜	E'－33イピットと重複
	リ土坑		円形	100	93	30	傾斜	
	ヌ土坑		円形	90	88	32	傾斜	
	イピット		楕円形	40	32	32	急傾斜	
E'－34	イ土坑		円形	65	64	15	傾斜	E'－33チ土坑と重複 E'－33ヘ土坑、E'－34イ土坑と重複し切られている。暗褐色土、径2mカーボンわずかに含む
	ロ土坑		楕円形	163	110	30	ゆるやか	ピットに切られている
F'－25	イ土坑	五領ケ台	円形	102	81	34	急傾斜	Nロナシ土坑と切り合う
F'－26	イ土坑	五領ケ台	円形	92	90	32	急傾斜	
	ロ土坑		円形	79	71	14	急傾斜	土坑2つと接する
	ハ土坑		不整楕円形	110	95	51	急傾斜	G'－27イ土坑と接し、土坑1つと重なる
F'－27	イ土坑		楕円形	120	95	66	ゆるやか	F'－27ロ土坑とNロナシ土坑と重複
	ロ土坑		円形	96	94	52	傾斜	F'－27イ土坑と重複
	ハ土坑		円形	41	69	14	傾斜	33住、P2、P5と重複
	ニ土坑		円形	77	70	20	急傾斜	Nロナシ土坑と重複
F'－28	イ土坑		円形	108	100	67	傾斜	
	ロ土坑		円形	106	100	63	急傾斜	Nロナシ土坑と切り合う
	ハ土坑		円形	102	99	57	急傾斜	29住の南側に位置
	ニ土坑		楕円形	100	85	18	急傾斜	
	ホ土坑		楕円形	103	85	31	傾斜	
	ヘ土坑		楕円形	55	66	18	急傾斜	29住　柱穴と切り合う
	ト土坑		楕円形	92	80	33	急傾斜	Nロナシ、F'－28ト土坑と切り合う
	チ土坑		楕円形	100	97	53	急傾斜	Nヘナシ、F'－28ヘ土坑と切り合う 33住ピット、F'－28リ土坑と重複しそれぞれを切っている。 褐土は暗褐色土を基調とし径1mmローム粒多く、径5mmローム粒やや多く、カーボン多量に含む
	リ土坑		楕円形	40	95	31	傾斜	F'－28チ土坑に切られる。褐土は明暗褐色土を基調とし、径1～5mmローム粒少量カーボン若干含む
F'－29	イ土坑		円形	102	96	28	急傾斜	
	ロ土坑		不整楕円形	127	91	53	急傾斜	E'－29ホ土坑、F'－29ハ土坑、F'－29イ土坑と重複 E'－29ホ土坑、F'－29ロ土坑、F'－29ニ土坑と重複し形態は不明
	ハ土坑		不明					E'－29ト土坑、E'－29ホ土坑、F'－29ハ土坑、他土坑2つと重複
	ニ土坑		楕円形	90	78	49	急傾斜	
F'－32	イ土坑		円形	96	95	28	傾斜	F'－32ロ土坑ととなり合わせ　褐土は暗褐色土を基調とし径土粒より明るく径10mmローム粒、ブロック含み、径1mmカーボンわずかに含む
	ハ土坑	落沢	円形	103	99	35	急傾斜	暗褐色土径3～7mmカーボン径1～2mmローム粒含む
	ニ土坑		円形	147	145	65	急傾斜	
	イピット		円形	43	42	36	急傾斜	Nヘナシ土坑と重複
F'－33	イ土坑	藤内	楕円形	121	92	21	傾斜	F'－33ロ土坑と重複し切られている
	ロ土坑		円形	94	92	18	傾斜	F'－33イ土坑と重複し勝っている
	ハ土坑		円形	77	69	15	傾斜	
	ニ土坑		円形	122	120	27	傾斜	F'－33ヘ土坑と重複し勝っている
	ホ土坑		楕円形	118	98	51	急傾斜	F'－33ヌ土坑、Nロナシ土坑、ピットと重複する
	ヘ土坑		楕円形	177	109	23	急傾斜	F'－33ニ土坑と重複し切られている
	ト土坑		不整楕円形	104	98	38	急傾斜	Nロナシ土坑と重複
	チ土坑		不整楕円形	114	98	33	傾斜	Nヘナシ土坑と重複
	リ土坑		円形	90	80	23	急傾斜	F'－33イピットと重複
	ヌ土坑		不整楕円形	123	96	24	傾斜	F'－33ホ土坑と重複し切られている
	ル土坑		楕円形	76	65	14	傾斜	F'－33ヘ土坑と重複し切られる
	イピット		円形	50	44	35	急傾斜	F'－33リ土坑と重複
F'－33	イ土坑	藤内	円形	103	101	34	急傾斜	E'－34イ土坑と重複
G'－26	イ土坑		円形	62	57	19	傾斜	G'－26ニ土坑と重複
	ロ土坑		円形	64	61	21	傾斜	G'－26イ土坑と重複
	ハ土坑		不整楕円形	69	59	15	急傾斜	
	ニ土坑		不整楕円形	135	125	86	急傾斜	
G'－27	ロ土坑		楕円形	123	83	28	急傾斜	径91cmの大坑と重複
	ハ土坑		楕円形	103	72	34	急傾斜	G'－27ニ土坑、他土坑1つと接する
	ニ土坑		円形	72	67	63	急傾斜	G'－27ハ土坑、G'－27ホ土坑と接する
	ホ土坑		楕円形	52	35	64	急傾斜	G'－27ニ土坑と接する
	ヘ土坑		円形	68	56	46	急傾斜	土坑1つと重複
	ト土坑		不整円形	124	103	91	急傾斜	土坑1つと重なる
	チ土坑		方円形	237	222	12	ゆるやか	33住の石囲炉が上にのっている
	イピット		円形	35	27	31	急傾斜	G'－27ロピットと重複
	ロピット		円形	45	42	26	急傾斜	G'－27イピットと重複
	ハピット		円形	41	36	22	急傾斜	
G'－28	イ土坑		楕円形	82	32	26	急傾斜	G'－29ヘ土坑、G'－28ロ土坑と重複
	ロ土坑		円形	93	79	8	緩斜	G'－28イ土坑、他土坑2つと重複
	ハ土坑		楕円形	185	121	23	なだらかに立ち上がる	G'－28ニ土坑と径3.4cmのピットと接する
	ニ土坑		楕円形	65	42	17	急傾斜	G'－28ハ土坑と接する
	イピット		円形	52	50	16	急傾斜	
	ロピット		円形	45	34	2	ゆるやか	他のピットと重複
	ハピット		楕円形	50	40	29	傾斜	
G'－29	イ土坑		不整楕円形	124	107	26	急傾斜	29住北西壁コーナー付近に位置する
	ロ土坑		円形	98	92	17	急傾斜	
	ハ土坑		楕円形	84	76	32	なだらか	石皿出土、G'－29ホ土坑と重複
	ニ土坑		楕円形	149	123	19	なだらか	石皿出土、G'－29ニ土坑、G'－29ヘ土坑と重複
	ホ土坑		円形	117	80	25	急傾斜	G'－29ニ土坑、G'－29ヘ土坑と重複
	ヘ土坑		不整円形	135	108	27	急傾斜	G'－29ホ土坑、G'－28ロ土坑、G'－28イ土坑、他土坑2つと重複
	ト土坑		楕円形	75	64	15	急傾斜	
	チ土坑		円形	87	81	22	急傾斜	
	リ土坑		円形	58	58	34	傾斜	G'－29ヌ土坑と重複
	ヌ土坑		楕円形	156	93	31	傾斜	G'－29リ土坑、ピットとも重複
	ル土坑		楕円形	134	115	26	急傾斜	H'－29ヌ土坑と重複
	ヲ土坑							
	ワ土坑		円形	98	78	17	急傾斜	径50cmの土坑と重複し、G'－29ヘ土坑、G'－29カ土坑と接する
	カ土坑		不整円形	100	85	12	急傾斜	G'－29ホ土坑、G'－29ワ土坑と接する
G'－30	ハ土坑		円形	60	59	74	オーバーハング	39住に伴う土坑に思われる
	ニ土坑		不整楕円形	106	82	19	傾斜	
	イピット							
	ロピット		円形	82	80	70	傾斜	39号住柱穴　G'－30ニピットと重複
	ハピット		楕円形	67	45	79	傾斜	39号住柱穴　Nロナシピットと重複
	ニピット		円形	64	63	65	傾斜	39号住柱穴　G'－30ロピットと重複
	ホピット		円形	46	44	55	急傾斜	39号住柱穴
G'－31	イ土坑		円形	61	54	38	ゆるやか	

グリッドN	土坑名	時　期	形　態	長　径	短　径	深　さ	立ち上がり	所　見
	ロ土坑		楕円形	96	79	30	急傾斜	
	ハ土坑		不整楕円形	101	92	18	急傾斜	
	イピット		楕円形	25	33	19	傾斜	
	ロピット		円形	45	44	23	傾斜	
G′−32	イ土坑		円形	59	50	25	ゆるやか	
	ロ土坑		不整楕円形	116	77	39	傾斜	G′−33チ土坑と重複し切っている
	ハ土坑		円形	104	98	25	急傾斜	G′−32イピットと重複
	ニ土坑		円形	42	66	8	傾斜	Nοナシピット、土坑と重複
	ホ土坑		円形	115	115	32	急傾斜	G′−32ヘ土坑と重複し切っている
	ヘ土坑		楕円形	45	75	17	急傾斜	G′−32ホ土坑と重複し切られている
	チ土坑		円形	86	82	35	急傾斜	
								G′−32ト・リ土坑と重複レト土坑には切られているがリ土坑を切っている
	リ土坑							G′−32チ土坑と重複し切られている
	イピット		円形	36	35	51	急傾斜	G′−32ハ土坑と重複
G′−33	イ土坑		円形	88	85	24	傾斜	
	ロ土坑							G′−33ハ土坑と重複
	ハ土坑							G′−33ロ土坑と重複し切られている
	ニ土坑		円形	70	66	15	傾斜	
	ホ土坑		円形	52	50	17	ゆるやか	
	ヘ土坑		不整円形	107	92	52	急傾斜	G′−33チ土坑と重複し切っている
	ト土坑		円形	107	104	47	急傾斜	
	チ土坑		楕円形	90	74	16	傾斜	G′−33ヘ土坑、G′−32ロ土坑に切られている
H′−26	イ土坑		円形	85	76	28	急傾斜	
	ロ土坑		楕円形	142	91	49	傾斜	54住のNοナシピット3つと切り合う
H′−27	ハ土坑		円形	93	91	27	急傾斜	
	ロ土坑		楕円形	131	102	22	なだらかで一部傾斜	H′−27ハ土坑と一部切り合う
	ハ土坑		円形	90	84	13	傾斜	H′−27ロ土坑と一部分切り合う
	ニ土坑							54号住炉の主柱穴「54住P−1」に接する
	ホ土坑		円形	54	54	27	急傾斜	54住柱穴 Nοナシピットと重複
	ヘ土坑		円形	70	64	39	傾斜	
	ト土坑		楕円形	77	62	69	オーバーハング	54号住主柱穴
	チ土坑							54住炉址のすぐ南に位置し炉址に切られていると思われる
H′−28	イ土坑	藤内	楕円形	101	75	13	皿状	土坑の西側で径50cmのピットと接する
	ロ土坑	五領ケ台	円形	94	90	20	急傾斜	
	ハ土坑		楕円形	69	53	15	傾斜	H′−28ト土坑と重複
	ニ土坑		円形	83	83	18	急傾斜	H′−28ホ土坑と重複
	ホ土坑		楕円形	100	80	19	急傾斜	H′−28ニ土坑と重複
	ヘ土坑		円形	51	51	17	傾斜	
	ト土坑		不整楕円形	147	116	22	急傾斜	
	チ土坑		楕円形	108	90	45	急傾斜	
	リ土坑		不整楕円形	103	98	19	急傾斜	
	イピット		不整円形	36	30	10	傾斜	
H′−29	イ土坑		円形	120	106	23	傾斜	39住のピット9と重複
	ロ土坑		楕円形	100	80	17	急傾斜	Nοナシ土坑と切り合う
	ハ土坑		円形	70	68	22	急傾斜	Nοナシ土坑と切り合う
	ニ土坑		楕円形	114	95	26	急傾斜	Nοナシ土坑、ピットと切り合う
	ホ土坑		楕円形	127	100	13	傾斜	H′−29ヘ・ト土坑と重複
	ヘ土坑		円形	106	105	36	傾斜	H′−29ホ・Nοナシ土坑と重複
	ト土坑		円形	96	90	14	傾斜	H′−29ホ・チ土坑と重複
	チ土坑		円形	87	76	13	傾斜	
	リ土坑	称沢	不整円形	75	71	8	皿状	Nοナシ土坑、ピットと重複
	ヌ土坑		楕円形	66	43	19	傾斜	G′−29ル土坑と重複
H′−30	ル土坑	新道	不整楕円形	142	136	21	傾斜	39住東面が確認面　住居址内ピットと重複
	ロ土坑		不整楕円形	162	148	32	傾斜	39住炉址をこわした土坑と思われる
	ハ土坑		楕円形	68	50	19	傾斜	39住西側に位置する　H′−30ホ土坑と重複
	ニ土坑		円形	103	96	23	傾斜	
	ホ土坑	新道	不整楕円形	120	89	25	傾斜	H′−30ハ土坑、I′−30イ土坑と重複
	イピット		楕円形	31	25	45	斜めに立ち上がり	39住の北壁外すぐの所に位置し、H′−30P−ロとともなり合わせ
							一部オーバーハング	
	ロピット		楕円形	29	24	20	傾斜	39住の北壁外すぐの所に位置し、H′−30P−イとともなり合わせ
H′−31	イ土坑	井戸尻	楕円形	123	80	17	傾斜	
	ロ土坑		楕円形	102	80	24	急傾斜	Nοナシ土坑と切り合う
	ハ土坑		不整楕円形	84	82	14	傾斜	H′−31ニ土坑と重複し、切られている
	ニ土坑	五領ケ台	楕円形	100	70	15	傾斜	H′−31ハ土坑を切り、イピットに切られる
	ホ土坑		不整楕円形	163	90	28	底	H′−31ロピットと重複
	ヘ土坑		円形	102	92	22	急傾斜	
	ト土坑	勝内	不整楕円形	107	80	12	急傾斜	
	チ土坑		円形	52	52	9	傾斜	
	リ土坑		不整楕円形	112	102	24	急傾斜	H′−31ヌ土坑を切っている。Nοナシピットに切られる
	ヌ土坑		不整楕円形	113	103	31	急傾斜	H′−31リ土坑に切られる。Nοナシピットに切られる
	イピット	藤内〜井戸尻	円形	42	36	41	急傾斜	H′−31ニ土坑と重複、Nοナシ土坑とも重複
	ロピット		円形	38	38	29	急傾斜	H′−31ホ土坑と重複
	ハピット		円形	39	32	37	急傾斜	
	ニピット			43	42	20	急傾斜	
H′−32	イ土坑	藤内	不整楕円形	164	133	25	フラット	H′−32ル土坑と重複
	ロ土坑	新道	円形	122	120	33	傾斜	H′−32ホ土坑と重複し、ロ土坑を切っている
	ハ土坑		楕円形	107	100	28	急傾斜	H′−32ニ土坑と重複し、ニ土坑に切られている
	ニ土坑		不整円形	89	76	42	急傾斜	H′−32ハ・ヘ土坑と重複し、両方の土坑を本土坑が切っている
	ホ土坑		不整円形	100	85	10	皿状	H′−32ロ・ト土坑と重複し、ロ土坑に切られ、ト土坑を切っている
	ヘ土坑		円形	88	74	21	急傾斜	H′−32ニ土坑と重複し、ニ土坑に切られている
	ト土坑		楕円形	59	39	11	ゆるやか	H′−32ホ土坑に切られる
	チ土坑	新道	円形	112	109	26	傾斜	
	リ土坑		不整円形	83	80	20	傾斜	H′−32ヌ土坑を切っている。
	ヌ土坑		楕円形	77	60	9	傾斜	H′−32リ土坑に切られる
	ル土坑		円形	102	100	27	傾斜	H′−32イ・ヲ土坑を切っている
	ヲ土坑		楕円形	72	60	12	傾斜	H′−32ル土坑に切られる
	ワ土坑		不整円形	68	54	16	傾斜	
	イピット		円形	49	44	13	急傾斜	
	ロピット		円形	43	41	56	傾斜	
H′−33	イ土坑		円形	100	96	28	急傾斜	
	ロ土坑	藤内	円形	108	102	15	急傾斜	H′−33ホ土坑と重複し、ホ土坑を切っている
	ハ土坑		円形	107	105	19	急傾斜	
	ニ土坑	称沢	円形	123	121	28	急傾斜	
	ホ土坑		楕円形	95	75	20	急傾斜	H′−33ロ・ヘ・ト土坑と重複し、ホ土坑はロ・ヘ土坑に切られている

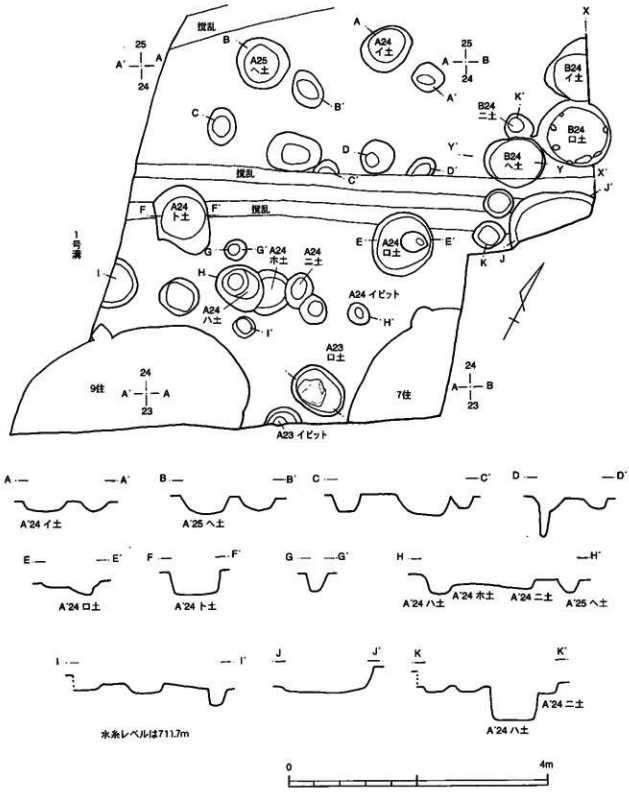
グリッド名	土坑名	時　期	形　態	長　径	短　径	深　さ	立ち上がり	所　見
	ヘ土坑		円形	75	75	17	急傾斜	H′−33ホ土坑を切っている
	ト土坑		不整楕円形	90	82	34	急傾斜	
	チ土坑		不整楕円形	64	64	13	傾斜	
	リ土坑		円形	95	87	17	傾斜	
	ヌ土坑		円形	109	109	9	緩斜	調査区外に伸びでている
I′−26	イ土坑		楕円形	77	64	63	緩斜	I′−26ロ土坑、Nοナシ土坑と切り合う
	ロ土坑		楕円形	77	68	45	なだらか	I′−26イ土坑、Nοナシ土坑と切り合う
I′−27	イ土坑	藤内	不整円形	80	72	33	ゆるやか	
	ロ土坑		楕円形	45	61	13	緩斜	54住掲溝と切り合う
	ハ土坑		楕円形	85	78	23	なだらか	
	ニ土坑		円形	47	72	26	緩斜	I′−27ヘ土坑と切り合う
	ホ土坑		円形	92	83	16	急傾斜	I′−27ヨ土坑、I′−27ヘ土坑と重複
	ヘ土坑		円形	78	76	16	緩斜	I′−27ニ土坑と切り合う
	ト土坑		楕円形	102	60	22	急傾斜	I′−27チ土坑、Nοナシ土坑と切り合う
	チ土坑		円形	82	81	55	急傾斜	
	リ土坑		楕円形					I′−27ル七坑と切り合う
	ヌ土坑		円形	77	76	14	急傾斜	
	ル土坑		不整楕円形	180	167	12	緩斜	I′−27リ・ヲ土坑と切り合い、本土坑も2基が重なっている
	ヲ土坑		楕円形	111	85	37	緩斜	I′−27ル土坑と切り合う
I′−28	イ土坑		楕円形	89	90	39	緩斜	I′−29ホ土坑、Nοナシピットと切り合う
	ロ土坑		楕円形	86	71	8	ゆるやか	
	ハ土坑		円形	61	61	10	ゆるやか	I′−28ニ土坑と重複
	ニ土坑		円形	60	60	9	ゆるやか	I′−28ハ土坑と重複
	ホ土坑		円形	73	69	63	急傾斜	53住P6と切り合う
	ヘ土坑		円形	71	71	48	傾斜	53住内南側に位置する
	ト土坑		楕円形	80	68	49	なだらか	53住内南側に位置する。Nοナシピットと切り合う
	イピット		不整円形	40	36	81	急傾斜	Nοナシピットと切り合い勝っている
I′−29	ロ土坑		円形	97	94	40	急傾斜	
	ハ土坑	藤内	不整円形	96	84	16	緩斜	I′−29ニ土坑と重複
	ニ土坑		楕円形	55	80	13	急傾斜	I′−29ハ土坑と重複
	ホ土坑		円形	58	83	16	緩斜	I′−28イ土坑・NOナシピットと重複
	ヘ土坑		楕円形	89	66	30	緩斜	I′−29ト土坑と重複
	ト土坑		楕円形	83	63	17	緩斜	I′−29ヘ土坑と重複
	イピット	五領ケ台	楕円形	53	46	50	急傾斜	
I′−30	イ土坑		不整楕円形	128	104	35	緩斜	H′−30ホ、I′−30ロ土坑と重複
	ロ土坑		不整楕円形	110	94	38	緩斜	H′−30イ・ト土坑と重複
	ハ土坑		不整円形	93	86	33	緩斜	
	ニ土坑	藤内	楕円形	90	80	59	急傾斜	
	ホ土坑	五領ケ台	不整楕円形	74	58	30	緩斜	I′−30ヘ土坑と重複
	ヘ土坑		円形	84	80	19	緩斜	I′−30ホ土坑と重複
	ト土坑	井戸尻	不整楕円形	92	63	21	急傾斜	I′−30ロ土坑と重複
	チ土坑		楕円形	89	78	23	急傾斜	
	リ土坑		楕円形	58	49	29	緩斜	
	ヌ土坑		楕円形	93	74	26	急傾斜	Nοナシ土坑2基と重複
	ル土坑		円形	88	86	37	急傾斜	
	ヲ土坑		円形	90	90	29	急傾斜	
	イピット		楕円形	41	34	28	直	
	ロピット		楕円形	46	41	30	直	
	ハピット		円形	47	44	25	急傾斜	
I′−31	イ土坑		円形	70	68	14	緩斜	I′−31ロ土坑と重複し切られる。西側壁面はピットに切られる
	ロ土坑		不整円形	107	80	18	緩斜	I′−31イ土坑を切り、ト土坑に切られている
	ハ土坑		円形	88	81	20	急傾斜	暗褐色土径1〜5mカーボ多し　Nοナシピット3基に切られる
	ニ土坑		不整円形	90	79	44	急傾斜	
	ホ土坑	藤内	楕円形	95	70	40	急傾斜北壁は オーバーハング	
	ヘ土坑		不整円形	107	91	23	急傾斜	
	ト土坑		楕円形	83	75	35	急傾斜	I′−31ロ土坑も切っている
	チ土坑	藤内	不整円形	86	83	24	緩斜	ピットと重複
	リ土坑	藤内	不整円形	100	74	33	緩斜	暗褐色土、径1〜3mカーボン多く、黒曜石チップも多く出土
	ヌ土坑		円形	90	83	20	急傾斜	
	イピット		楕円形	43	36	60	急傾斜	
	ロピット		円形	32	31	30	急傾斜	
	ハピット		楕円形	45	40	65	急傾斜	
	ニピット		円形	35	33	25	急傾斜	
	ホピット		円形	76	75	29	急傾斜	
I′−32	イ土坑		円形	76	75	29	急傾斜	
	ロ土坑	藤内	不整円形	94	87	21	急傾斜	
	ハ土坑	藤内	楕円形	77	65	12	緩斜	
	ニ土坑		不整楕円形	84	60	63	緩斜	
	ヌ土坑		不整円形	100	100	51	急傾斜	
	イピット		円形	54	50	22	急傾斜	
	ロピット		円形	32	30	20	急傾斜	
	ハピット		円形	54	50	30	緩斜	
	ニピット		楕円形	51	41	40	急傾斜	
	ホピット		楕円形	30	27	17	緩斜	
	ヘピット		円形	50	47	17	緩斜	
	トピット		楕円形	37	28	19	緩斜	
	チピット		楕円形	68	47	44	緩斜	
	リピット		楕円形	53	45	60	急傾斜	
	ヌピット		円形	63	56	47	緩斜	ピット番号になっているが、土坑である
	ヌピット		楕円形	54	33	24	緩斜	
	ヲピット		円形	45	41	22	緩斜	
	ワピット		楕円形	47	40	29	急傾斜	土坑の可能性有り
I′−33	イ土坑		楕円形	126	100	25	急傾斜	
	ロ土坑		円形	90	90	28	急傾斜	
	ハ土坑		円形	71	70	10	急傾斜	
	ニ土坑		円形	75	73	69	急傾斜	
	ホ土坑		円形	66	64	49	急傾斜	I′−33ニピットと重複
	イピット		円形	54	51	30	急傾斜	
	ロピット		楕円形	66	43	61	緩斜	
	ハピット		不整楕円形	58	42	47	急傾斜	
	ニピット		楕円形	47	38	40	緩斜	I′−33ホピットと重複し切っている
	ホピット		楕円形	65	60	49	緩斜	I′−33ニピットと重複し切られている
	ヘピット		円形	42	42	37	急傾斜	北側半分は、調査区外に位置する
J′−24	イ土坑	五領ケ台	楕円形	83	71	25	急傾斜	Nοナシ土坑と切り合い、58住東側に位置する
	ロ土坑	五領ケ台	円形	59	54	26	急傾斜	Nοナシ土坑とK′−24ハ土坑と切り合う。58住、P7と接する
J′−27	イ土坑		楕円形	54	44	17	緩斜	

グリッド名	土坑名	時　期	形　態	長　径	短　径	深　さ	立ち上がり	所　見
	ロ土坑		楕円形	102	88	43	急傾斜	
	ハ土坑		円形	109	106	37	急傾斜	
	ニ土坑		楕円形	62	52	20	急傾斜	J'－27ニ土坑と切り合う
	ホ土坑		円形	89	84	35	傾斜	
	ヘ土坑		円形	104	104	35	傾斜	J'－27ト土坑と重複
	ト土坑		円形	101	100	36	急傾斜	J'－27ヘ・チ土坑と重複
	チ土坑		不整楕円形	94	82	31	急傾斜	J'－27ト・ル土坑と重複
	リ土坑		円形	83	77	6	急傾斜	
	ヌ土坑		円形	101	96	30	急傾斜	
	ル土坑		不整楕円形	89	77	14	傾斜	J'－27チ、J'－27ホ土坑と重複
	ヲ土坑		楕円形	77	67	33	傾斜	J'－27ワ土坑と切り合う
	ワ土坑		楕円形	51	62	14	やるやか	J'－27ヲ土坑と切り合う
	カ土坑		楕円形	86	76	36	傾斜	
	ヨ土坑		楕円形	97	80	39	傾斜	
	タ土坑		楕円形	79	66	30	なだらか	カーボン粒雑土中、多量に含みドングリ系カーボンも上層～下層にわたり点在していた。56住北東壁ぎわに位置
	イピット							
J'－28	イ土坑		円形	88	87	27	傾斜	
	ロ土坑							
	ハ土坑		楕円形	111	102	38	急傾斜	Ｎｏナシ土坑と切り合う
	ニ土坑							
	ホ土坑		円形	81	80	23	傾斜	
	ヘ土坑		楕円形	112	90	51	急傾斜一部なだらか	53住Ｐ－２　Ｎｏナシピットと切り合う
	ト土坑		楕円形	85	78	34	傾斜	
J'－29	イ土坑		円形	97	94	18	急傾斜	J'－29ロ土坑と切り合う
	ロ土坑		楕円形	52	49	25	傾斜	J'－29イ土坑と切り合う
	ハ土坑		不整楕円形	85	37	18	なだらか	小ピットや、Ｎｏナシピットと切り合う
	ニ土坑	諸磯	不整円形	130	126	36	急斜一部オーバーハング	J'－30ワ土坑と切り合う
	ホ土坑		不整円形	97	90	27	急傾斜	
	ヘ土坑		円形	94	93	30	急傾斜	
J'－30	イ土坑	井戸尻	不整円形	73	71	43	傾斜	ロ土坑と重複
	ロ土坑		円形	91	89	20	傾斜	土坑に切られる
	ハ土坑	井戸尻	円形	94	92	23	傾斜	Ｎｏナシ土坑と重複
	ニ土坑		円形	103	100	27	急傾斜	
	ホ土坑		円形	95	95	23	急傾斜	
	ヘ土坑		不整円形	92	81	29	急傾斜	J'－30ト土坑と重複
	ト土坑	藤内	円形	98	96	28	急傾斜	J'－30ヘ土坑と重複
	チ土坑		円形	84	79	21	傾斜	
	リ土坑		楕円形	68	44	37	傾斜	J'－30ヌ土坑と重複
	ヌ土坑		不整円形	94	87	34	急傾斜	
	ル土坑		不整円形	80	70	28	傾斜	J'－31ピット二と重複
	ヲ土坑		不整楕円形	127	107	30	急傾斜	
	ワ土坑		円形	82	75	12	傾斜	J'－29ニ土坑、J'－30カ土坑と重複する
	カ土坑		楕円形	82	74	11	急傾斜	
	イピット		円形	44	39	19	急傾斜	
	ロピット		楕円形	34	31	20	急傾斜	
	ハピット		楕円形	40	38	19	急傾斜	
	ニピット	藤内	円形	48	47	21	急傾斜	
J'－31	イ土坑		楕円形	105	89	24	傾斜	
	ロ土坑	藤内	円形	75	69	10	皿状	
	ハ土坑		楕円形	107	98	22	傾斜	J'－31ヘ土坑と重複し切っている
	ニ土坑							
	ホ土坑	井戸尻	楕円形	80	69	13	急傾斜	
	ヘ土坑	井戸尻	楕円形	101	76	24	傾斜	J'－31ハ土坑と重複し切っている
	ト土坑		不整円形	52	48	22	傾斜	J'－31チ土坑と重複し切っている
	チ土坑		不整円形	59	52	48	傾斜	J'－31ト土坑と重複し切っている
	リ土坑	藤内	円形	96	88	43	直	J'－31カ土坑と重複し本土坑が切っている
	ヌ土坑		円形	71	71	15	急傾斜	Ｎｏナシピット１基と重複
	ル土坑		不整円形	86	78	22	急傾斜	Ｎｏナシピット２基と重複
	ヲ土坑	藤内	楕円形	104	88	52	直	
	ワ土坑		楕円形	149	83	13	傾斜	J'－31ハピット、Ｎｏナシピット２ケと重複
	カ土坑		楕円形	95	90	30	急傾斜	J'－31リ土坑に切られている
	イピット		円形	46	45	53	傾斜	
	ロピット		円形	53	47	41	急傾斜	J'－31ロ・ワ土坑と重複
	ハピット	藤内	不整円形	52	45	37	急傾斜	
	ニピット		楕円形	40	33	35	急傾斜	J'－30ル土坑と重複
	ホピット		楕円形	36	30	20	急傾斜	
J'－32	イ土坑	井戸尻	不定形	102	80	45	傾斜	
	ロ土坑	井戸尻	楕円形	202	125	10	皿状	
	ハ土坑	藤内	不整円形	72	65	13	傾斜	Ｎｏナシピット３基と重複
	ニ土坑		不整円形	78	76	60	傾斜	
	ホ土坑		不整楕円形	134	81	18	急傾斜	土坑１つ、ピット１つと重複
	ヘ土坑		楕円形	39	28	19	傾斜	Ｎｏナシ土坑、ピットと切り合う
	ト土坑		楕円形	75	63	76	垂直で一部オーバーハング	
	チ土坑		楕円形	104	85	37	傾斜	Ｎｏナシピットと切り合う
	イピット		不整楕円形	29	28	29	急傾斜	52住主柱穴と重複
	ワピット		不整楕円形	30	28	28	傾斜	
J'－33	イ土坑	井戸尻	楕円形	99	91	16	なだらかに立ち上がる	J'－33ヘピットと南側で重なる
	ロ土坑		不整楕円形	63	56	53	オーバーハング	J'－33イピットと切り合う
	ハ土坑		不整楕円形	75	66	11	なだらか	
	ニ土坑							
	ホ土坑		不整円形	61	58	51	傾斜	J'－33ヘピットと切り合う
	イピット		円形	37	35	62	急傾斜	J'－33ロ土坑と重複
	ロピット		円形	34	34	48	垂直	Ｎｏナシ土坑と切り合う
	ハピット		不整楕円形	36	30	17	急傾斜	
	ニピット		楕円形	47	35	52	急傾斜	
	ホピット		楕円形	69	44	67	急傾斜	J'－33ヘピットと切り合う　Ｎｏナシ土坑の中に位置する
	ヘピット		不整楕円形	60	53	61	傾斜	J'－33ホピット　J'－33イ土坑と切り合う
K'－26	ロ土坑		円形	101	101	39	急傾斜一部オーバーハング	
	ニ土坑		円形	96	94	46	傾斜	57住に一部切られる
	ホ土坑		楕円形	115	100	30	傾斜	ＮＯナシ土坑と切り合う
	ヘ土坑		すみ丸方形	90	90	18	皿状	K'－２５ト土坑を切っている
K'－27	イ土坑	五領ケ台	楕円形	132	99	23	傾斜	ＮＯナシ土坑と切り合う
	ロ土坑		楕円形	83	38			K'－27ハ土坑・ＮＯナシ土坑と切り合う

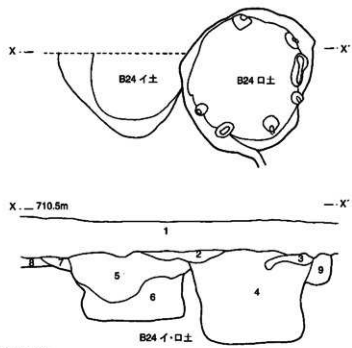
グリッド名	土坑名	時　期	形　態	長　径	短　径	深　さ	立ち上がり	所　見
	ハ土坑		楕円形	90	67	27	傾斜	49ピットと切り合う
	ニ土坑		楕円形	残存80	75	30	急傾斜	NOナシ土坑と切り合う
	ホ土坑		円形	107	96	47	急傾斜	K'-27へ、ト、チ土坑と重複
K'-27	ヘ土坑		楕円形	約110	63	21	傾斜	K'-27ホ土坑と重複
	ト土坑		不整円形	130	100	26	傾斜	K'-27ホ土坑と重複
	チ土坑		不整円形	87	72	29	急傾斜	K'-27ホ土坑と重複
	リ土坑		円形	75	70	14	傾斜	
	ヌ土坑		ほぼ円形	62	58	19	傾斜	
	ル土坑	五領ケ台	円形	94	94	58	急傾斜	
K'-28	イ土坑		不整円形	92	86	44	傾斜	NOナシ土坑と切り合う
	ロ土坑		おそらく楕円形	残存55	55	40	傾斜	49住ピット3、NOナシピットと切り合う・49住のピットの可能性有
	ハ土坑		楕円形	54	48	50	傾斜	49住ピットと切り合う・49住ピットの可能性有
	ニ土坑		おそらく楕円形	残存73	残存46		傾斜	49住、P・4　K'-28ホ土坑と切り合う
	ホ土坑		楕円形	82	57			K'-28ニ土坑、49住ピットと切り合う
	ヘ土坑		円形	86	82	36	急傾斜	49住ピット11と切り合う
	ト土坑		楕円形	70	61	41	急傾斜	
	チ土坑		おそらく円形	60	58	62	急傾斜	NOナシ49住ピットと切り合う
K'-29	イ土坑		おそらく円形	98	92	30	急傾斜	
	ロ土坑		楕円形	90	75	20	急傾斜	J'-29ヘ土坑と一部切り合う
	ハ土坑		不整楕円形	88	76	14	傾斜	NOナシピット2つと切り合う
K'-30	イ土坑		楕円形	165	70	32	急傾斜	NOナシ土坑、ピットと重複
	ロ土坑		不整楕円形	91	77	44	傾斜	
	ハ土坑		円形	64	62	16	急傾斜	
	ニ土坑		不整楕円形	93	71	20	傾斜	NOナシピット3ヶに切られる
	ホ土坑	曾利V	円形	48	46	20	なだらか	他の土坑と重複関係にあり、それらを切っている。
	ヘ土坑		楕円形	86	65	43	傾斜	K'-30ト、リ土坑と重複し、切っている
	ト土坑		円形	85	約80	15	急傾斜	K'-30へ、リ、チ土坑に切られている
	チ土坑		不整楕円形	120	約72	19	傾斜	K'-30ト土坑を切っている
	リ土坑		楕円形	78	約63	26	急傾斜	K'-30へ、ト土坑と重複
	ヌ土坑		不整円形	77	75			土坑2つ、K'-30ホピット、他ピット1つと重複
	ル土坑		不整楕円形	92	80	13	皿状	NOナシ土坑と切り合う・礫認面にて、安山岩質の大形で表面が所々赤化した礫が出土
	ヲ土坑		円形	90	84			K'-30イピットと重なる・礫認面にて、安山岩質大形礫(石皿?)出土
	ワ土坑		不整楕円形	87	72			K'-30ニピット、K'-30ロピット、他ピット1つと重なる。
	カ土坑		不整楕円形	110	91	8		NOナシ土坑と切り合う
	ヨ土坑		ほぼ円形	108	102	38	なだらか	NOナシ土坑と切り合っている
	タ土坑		不整円形	101	98	11	皿状	46住P-2、K'-30チピット、NOナシピットと切り合っている
	イピット		円形	56	46			K'-30ヲ土坑、他ピット1つと重複
K'-30	ロピット		円形	53	48			ピット1つと重複
	ハピット		楕円形	54	41			土坑1つと重なる
	ニピット		楕円形	49	39			K'-30ワ土坑と重なる
	ホピット		楕円形	47	38			K'-30ヌ土坑と重なる
	ヘピット		楕円形	34	23			ピット1つと重複
	トピット	藤内	楕円形	27	22	11	急傾斜	K'-30タ土坑、NOナシピットと切り合う
	チピット		楕円形	残存18	21			ピット1つと重なる・K'-30タ土坑と切り合う
	リピット		楕円形	34	27	20	急傾斜	NOナシピットと切り合う
	ヌピット							
K'-31	イ土坑		楕円形	96	約85	39	傾斜	NOナシピット1基と重複
	ロ土坑		楕円形	74	53			土坑2つ、小ピット3つと重なる
	ハ土坑		おそらく円形	87	残存72	25	急傾斜	42号住と重複
	ニ土坑		円形	80	78	46	傾斜	K'-31ヘ土坑と重複
	ホ土坑		円形	83	80	21	傾斜	K'-31ヘ土坑と重複
	ヘ土坑		不定形	残存185	残存73	17	傾斜	K'-31ハ、ニ、ホ土坑と重複
	ト土坑		不整円形	45	40		中段あり	ピット1つと接する
	チ土坑		楕円形	残存64	32			K'-31リ土坑、土坑1つ、ピット1つと重なる
	リ土坑		楕円形	残存86	73			K'-31チ土坑、他ピット2つと重なる
	ヌ土坑		不整円形	71	67			K'-31トピット、他ピット1つと重なる
	ル土坑		円形	50	45			
	ヲ土坑		円形	50	43			土坑1つと重複
	ワ土坑		楕円形	80	68			土坑1つと重なる
	イピット		楕円形	42	35	18	急傾斜	
	ロピット		楕円形	45	40	39	急傾斜	K'-31ハピットと重複している
	ハピット		不整円形	46	42	41	急傾斜	K'-31ロピットと重複している
	ヘピット		円形	46	46			土坑1つと重なる
	トピット		楕円形	70	48			L'-31ひ土坑、他ピット1つと重なる
	チピット		不整楕円形	74	48			
	リピット		円形	46	40			ピット1つと重なる
	ヌピット		円形	42	39			ピット1つと重複
	ルピット		楕円形	33	24			K'-31リ土坑、他土坑1つと重複
K'-32	イ土坑	曾利I	円形	102	84	22	急傾斜	42住P-10が底部中央にある。覆土は、暗褐色土を基調とし径1㎜ローム粒、カーボンそれぞれ少量含み、径5㎜ローム粒若干含む
	ロ土坑	藤内	方円形	82	72	77	急傾斜	42住北壁側に位置し、住居を切っていると思われる。K'-32ハ土坑ともり合う
	ハ土坑	井戸尻	円形	105	残存100	33	急傾斜	K'-32ロ土坑、K'-32ニ土坑、径24cmのピット、4ヶ住の周溝と重複
	ニ土坑	曾利V	円形	105	91	41	急傾斜	K'-32ハ土坑、K'-32ホ土坑、42住の周溝、他土坑1つと重複
	ホ土坑		おそらく円形	97	55	19	急傾斜	K'-32ニ土坑、K'-32ヘ土坑、42住の周溝、他土坑1つとピット1つと重複
	ヘ土坑		円形	82	73	46	急傾斜	K'-32ホ土坑、他土坑1つとピット1つと重複
	ト土坑	井戸尻	円形	95	95	55	急傾斜	K'-32チ土坑とり合う
	チ土坑		楕円形	70	56	51	急傾斜	K'-32ト土坑とり合う
	リ土坑		円形	121	118	60	急傾斜	K'-32ヌ土坑と重複
	ヌ土坑	五領ケ台	おそらく楕円形	残存41	残存30	6	傾斜	NOナシ土坑とK'-32リ土坑(北)と切り合い、床面は、ピットとも切り合う
	ル土坑	井戸尻	不整円形	87	83	78	傾斜	
	ヲ土坑		不整楕円形	86	72	17	傾斜	
K'-33	イ土坑		不整楕円形	82	推定63	10	なだらか	L'-33ワ土坑とつながっている
	ロ土坑		円形	55	50	52	急傾斜	土坑2つと重なる
	ハ土坑		楕円形	125	105	19	急傾斜	土坑1つと重なる
	ニ土坑		円形	64	55	50	急傾斜	
	ホ土坑		おそらく楕円形	123	98	10	皿状	西側の立上がりが確認されただけで、その他の立ち上がりは不明
	ヘ土坑		楕円形	60	46	21	傾斜	
	イピット		円形	38	37	20	急傾斜	ピット1つと重なる



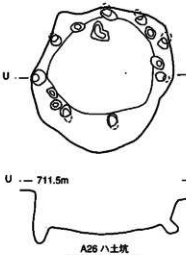
第49図　土坑分布区割り図および炉址分布図（図中の番号は掲載図番号）

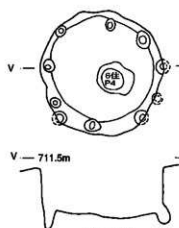


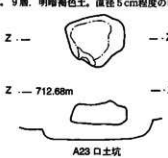
第50図　土坑（1／60）（A23・24区内）

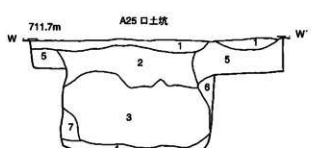


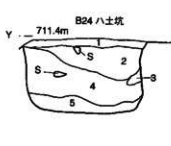
B24イロ土坑
1層．黒色土．耕作土．2層．明暗褐色土．木炭片を若干、直径1cm程度のロームブロックを少量含む．3層．明暗褐色土．木炭片を若干、直径5cm程度のロームブロックを若干含む．4層．暗褐色土．明暗褐色土混じり．直径1cm程度のロームブロックを少量．木炭片を若干含む．5層．暗褐色土．直径1cm程度のロームブロックを若干、直径1cm程度のロームブロックをやや多量に含む．6層．暗褐色土．直径1cm程度のロームブロックを少量．木炭片を若干含む．明暗褐色土混じり．7層．明暗褐色土．9層．明暗褐色土．7層より明るい．直径1cm程度のロームブロックを少量含む．9層．明暗褐色土．直径5cm程度のロームブロックを少量含む．







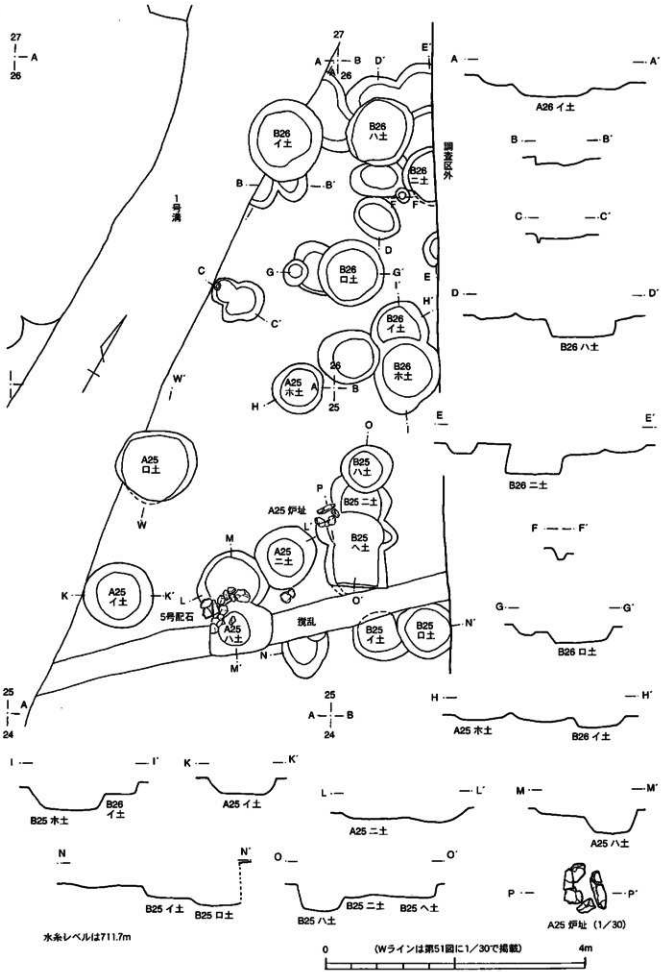




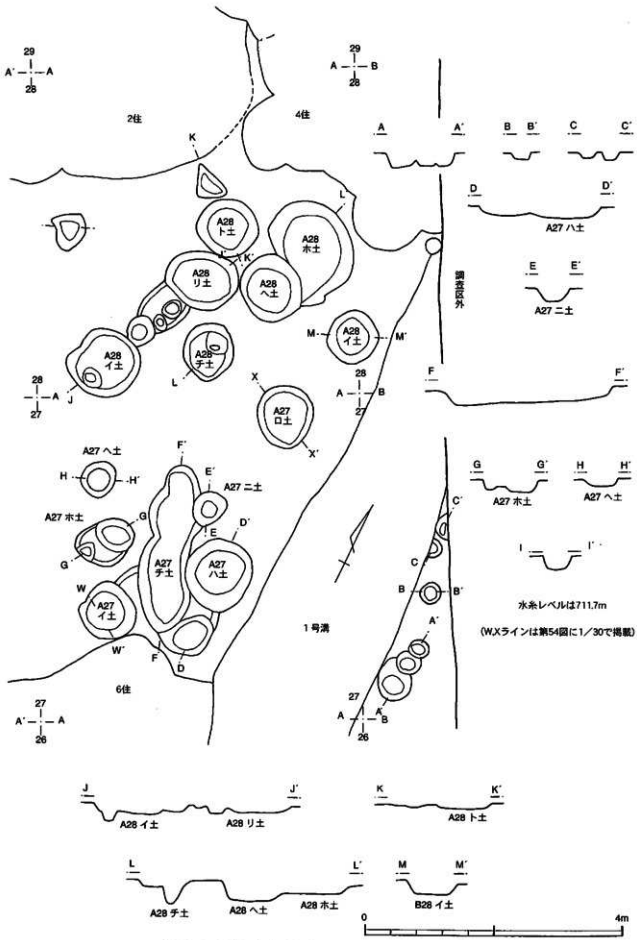
B24ハ土坑
1層．明暗褐色土．直径5cm程度のロームブロックを少量含む．2層．暗褐色土．木炭片を少量、直径5cm程度のロームブロックをやや多量に含む．3層．褐色土．木炭片を若干含む．4層．暗褐色土．2層より暗い．直径1cm程度のロームブロックを少量．直径5cm程度のロームブロックを少量．木炭片を若干含む．5層．明暗褐色土．木炭片を少量．直径1cm程度のロームブロックを少量含む．
A25ロ土坑
1層．暗褐色土．直径1cm程度のロームブロックを少量．直径5cm程度のロームブロックを若干．木炭片を若干含む．2層．暗褐色土．直径1cm程度のロームブロックを多量に、直径5cm程度のロームブロックを少量．木炭片を若干含む．明暗褐色土混じり．3層．明黒褐色土．直径1cm程度のロームブロックを多量．直径1cm程度のロームブロックをやや少量に、木炭片を少量含む．4層．暗褐色土．直径1cm程度のロームブロックを少量含む．やや明るい．5層．明暗褐色土．暗褐色土混じり．直径1cm程度のロームブロックを少量．木炭片を微量、直径1cm程度のロームブロックを微量含む．6層．暗黄褐色土．暗褐色土混じり．7層．暗褐色土．木炭片を微量．直径1cm程度のロームブロックを若干含む．

0 2m

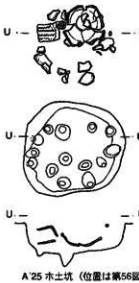
第51図　土坑（1／30）（B24，A23・25・26区内）



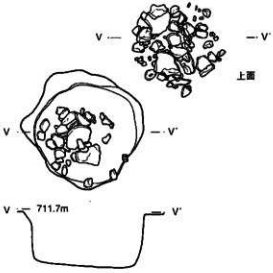
第52図　土坑（1／60）炉址（1／30）（B25・26，A25・26区内）



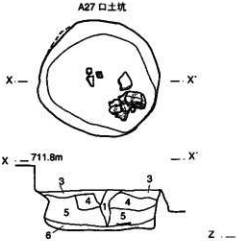
第53図　土坑（1／60）（B 27・28, A 27・28区内）



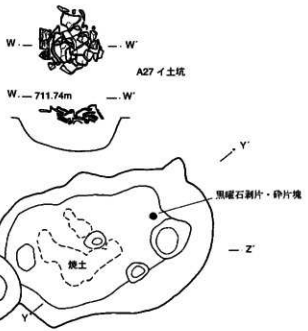
A'25 ホ土坑（位置は第56図）



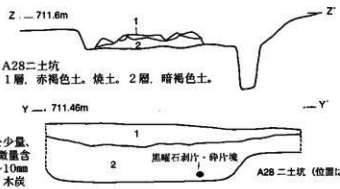
A'25 ヲ土坑（位置は第56図）



A27ロ土坑
1層．黒色土。根の攪乱。2層．明褐色土。黒褐色土混じり。3層．明褐色土。直径1mm程度のロームブロックを少量含む。4層．褐色土。直径1mm程度のロームブロックを少量含む。5層．暗褐色土。直径1cm程度のロームブロックをやや多量に、木炭片を微量に含む。しまりあり。6層．明暗褐色土。直径5mm程度のロームブロックを少量含む。しまりあり。



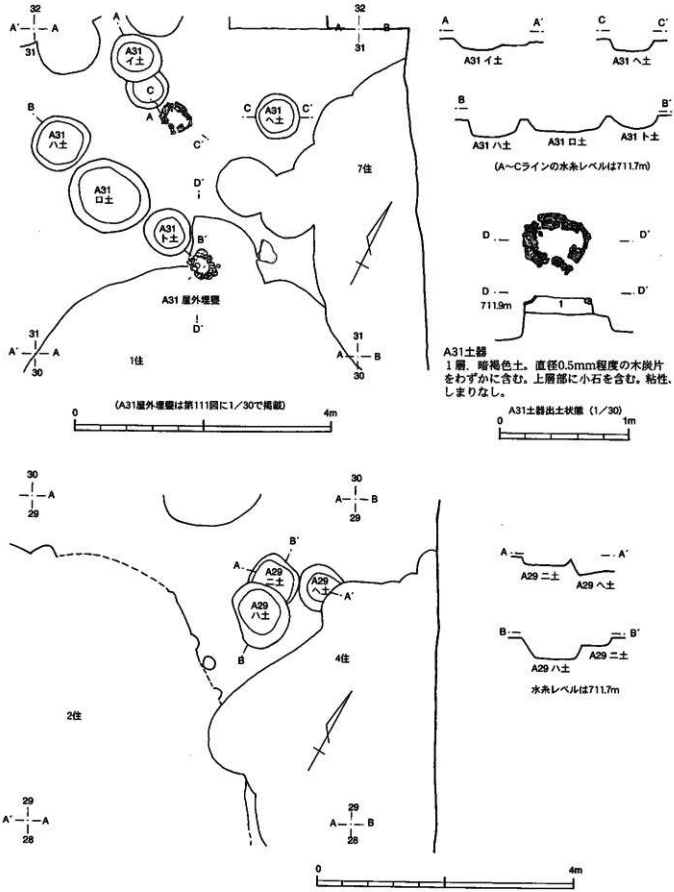
A' 25ト土坑
1層．暗褐色土。直径5mm程度のロームブロックを少量、直径1cm程度のロームブロックを若干、木炭片を微量含む。2層．明暗褐色土。黒褐色土混じり。直径5～10mm程度のロームブロックを少量含む。3層．褐色土。木炭片を若干、直径5mm程度のロームブロックをやや多量、暗褐色土を少量含む。4層．暗黄褐色土。明暗褐色土混じり。5層．暗褐色土。直径5mm程度のロームブロックをやや多量、木炭片を少量含む。



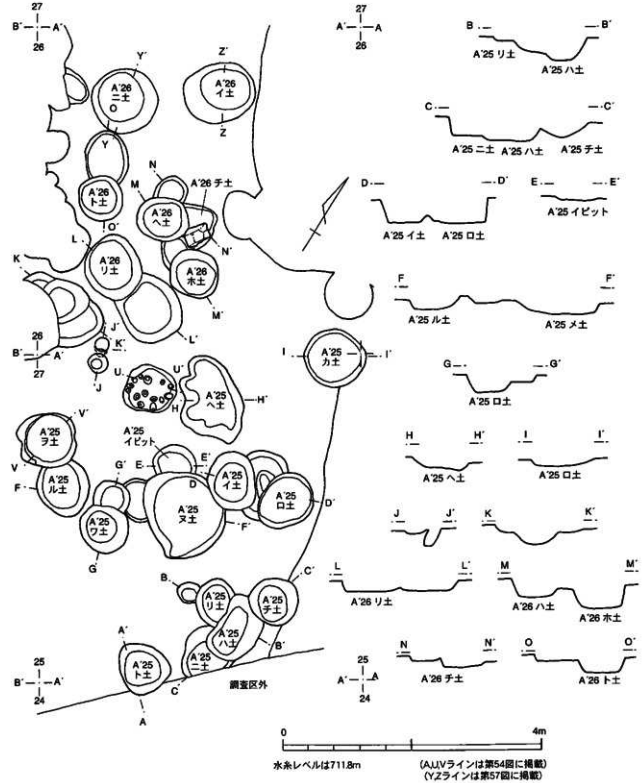
A28二土坑
1層．赤褐色土。焼土。2層．暗褐色土。

A28 二土坑（位置は第6図中）

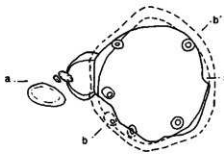
第54図　土坑（1／30）（A27・28，A'25区内）

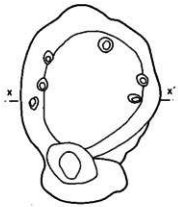


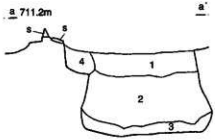
第55図　土坑（1／60）（1／30）（B29，A29，B31，A31区内）



第56土坑（1／60）（A'25・26区内）

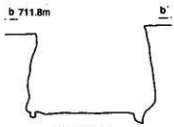






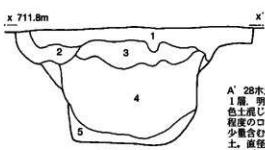
A' 27リ・ヌ土坑
1層．明暗褐色土．直径5mm程度のロームブロックを若干、木炭片を微量含む。2層．明暗褐色土．1層より暗い。黄褐色土混じり。直径5mm程度のロームブロックを若干含む。3層．暗褐色土．直径1～3cm程度のロームブロックを多量、直径5mm程度のロームブロックを少量、木炭片を微量含む。黄褐色土混じり。

A'26 ロ土坑（位置は第11図中）



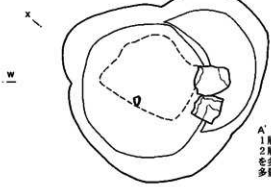
A'27 ト土坑

A' 27ト土坑
1層．暗褐色土。明暗褐色土混じり。木炭片を若干、直径5mm程度のロームブロックを若干含む。2層．明暗褐色土。黄褐色土混じり。直径1cm～5mm程度のロームブロックを少量含む。3層．明暗褐色土。2層より暗い。直径1cm程度のロームブロックを少量含む。4層．暗褐色土。直径5mm程度のロームブロックを少量含む。

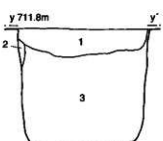


A'28 ホ土坑

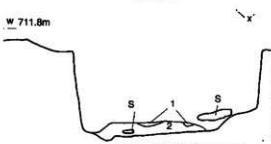
A' 28ホ土坑
1層．明暗褐色土．暗褐色土混じり。直径5mm程度のロームブロックを少量含む。2層．暗褐色土。直径5mm程度のロームブロックを少量含む、ややしまりあり。3層．暗褐色土。明暗褐色土混じり。黄褐色土を少量含む。2層より暗い。4層．明黒褐色土。直径1～2cm程度のロームブロックをやや多量、木炭片を若干含む。ややしまりあり。5層．暗褐色土。直径1cm程度のロームブロックを若干含む。4層より明るい。6層．暗褐色土。2層より明るい。7層．黄褐色土。地山。



A' 28ホ土坑
1層．赤褐色土。焼土。
2層．暗褐色土。焼土粒を多量に含む。木炭片を多量に含む。

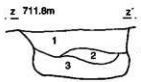


A'26 ニ土坑



A'28 ホ土坑（位置は第6図中）

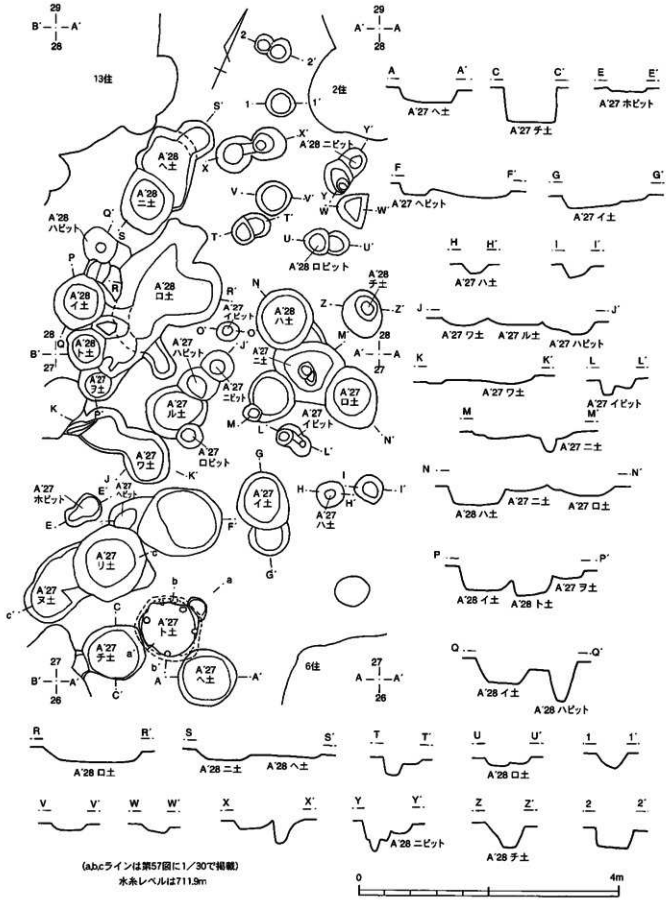
A' 26ニ土坑
1層．明暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックを少量、木炭片を若干含む。2層．明暗褐色土。暗褐色土混じり。3層．暗褐色土。直径1～5cm程度のロームブロックをやや多量に、木炭片を若干、直径5mm程度のロームブロックを多量に含む。



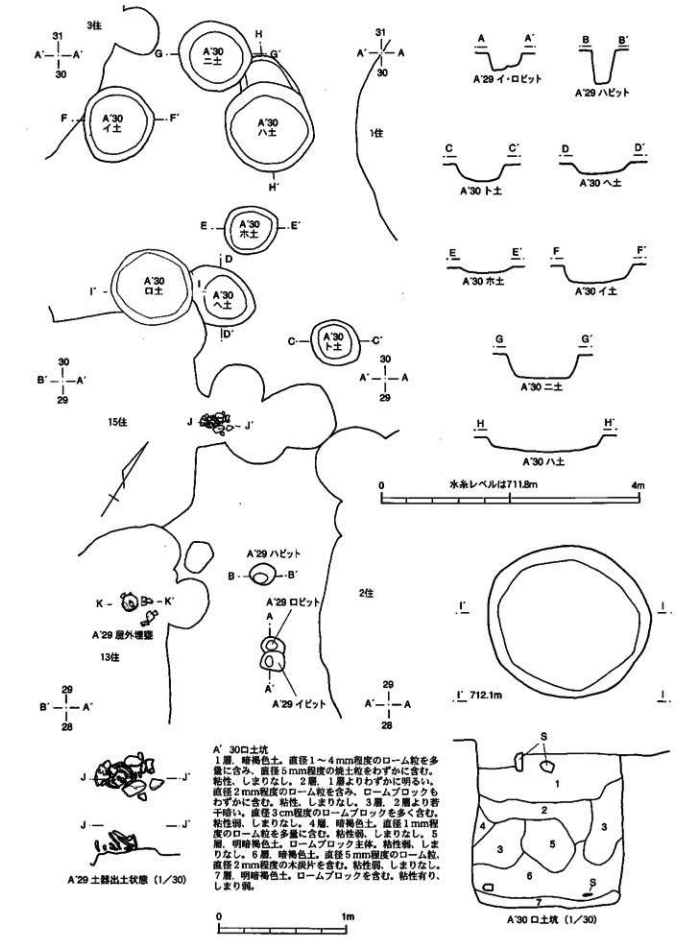
A'26 イ土坑

A' 26イ土坑
1層．暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックを多量に、木炭片を微量に含む。2層．明暗褐色土。木炭片を微量に含む。暗褐色土混じり。3層．暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックをやや多量に、木炭片を若干、直径5mm程度のロームブロックを少量含む。1層より暗い。

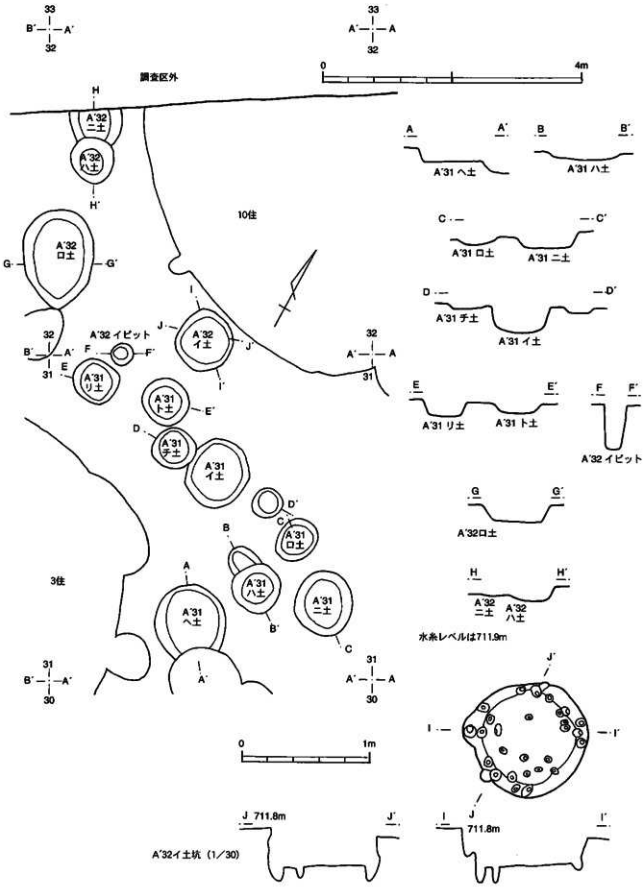
第57図　土坑（1／30）（A26，A'26・27・28区内）



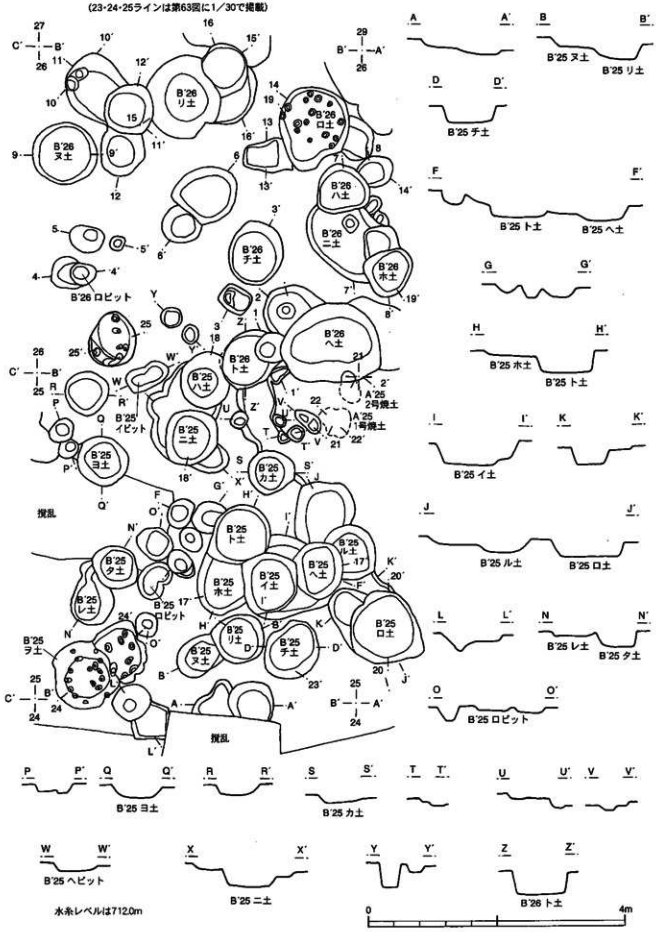
第58図　土坑（1／60）（A'27・28区内）



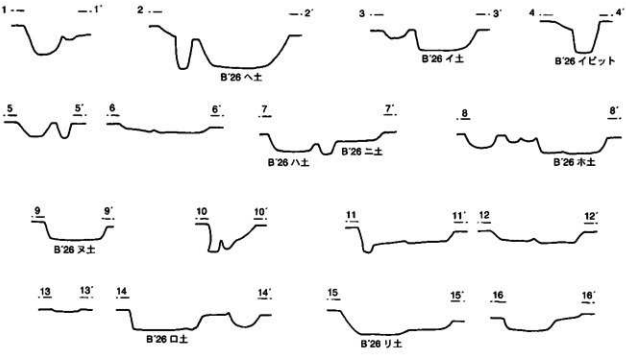
第59図　土坑（1／60）（1／30）（A'29・30区内）



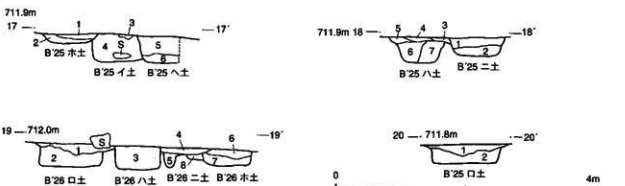
第60図　土坑（1／60）（1／30）（A'31・32区内）



第61図　土坑（1／60）（B'25・26区内－（1））

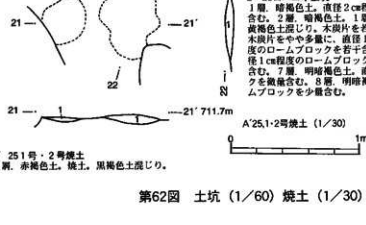


水糸レベルは712.0m



B' 25イホヘ土坑
1層. 明暗褐色土。直径1cm程度のロームブロックを少量含む。2層. 褐色土。木炭片を若干、直径1cm程度のロームブロックを若干含む。3層. 明暗褐色土。木炭片を若干、直径5mm程度のロームブロックをやや多量、直径1cm程度のロームブロックを少量含む。4層. 暗褐色土。直径1cm程度のロームブロックを若干、直径1～5mm程度のロームブロックを多量に、木炭片を少量含む。5層. 暗褐色土。4層より暗い。直径1～5mm程度のロームブロックをやや多量に、木炭片を若干含む。6層. 暗褐色土。5層より暗い。直径5mm程度のロームブロックをやや多量に、直径2cm程度のロームブロックを若干含む。

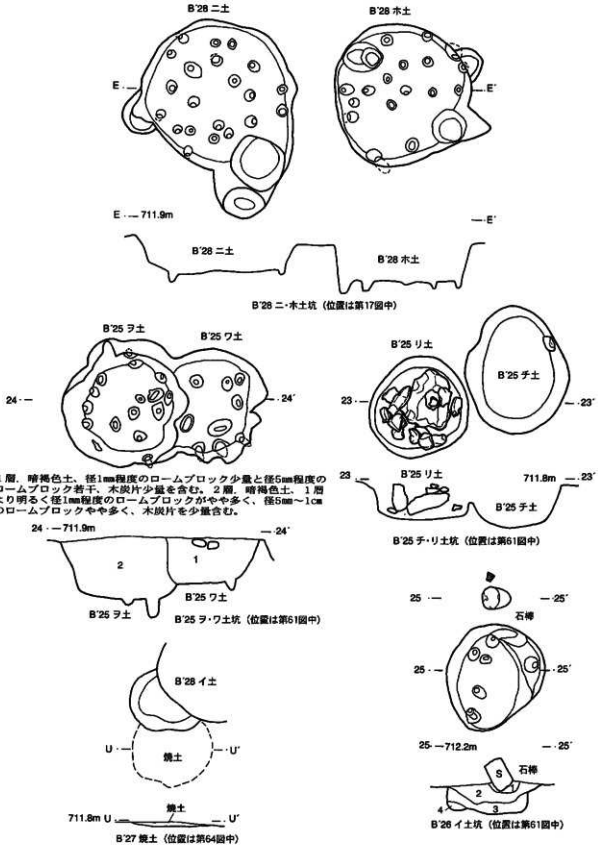
B' 25ハニ土坑
1層. 暗褐色土。直径5mm程度のロームブロックを少量含む。明暗褐色土混じり。2層. 暗褐色土。1層より暗い。直径5mm～1cm程度のロームブロックを少量、木炭片を若干含む。3層. 明暗褐色土。直径1cm程度のロームブロックを若干含む。4層. 暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックを若干含む。5層. 明暗褐色土。褐色土混じり。直径1mm程度のロームブロックを若干、木炭片を若干含む。6層. 暗褐色土。直径5mm程度のロームブロックを若干、木炭片を微量に含む。7層. 暗褐色土。明暗褐色土を多量に、直径5mm程度のロームブロックを若干含む。



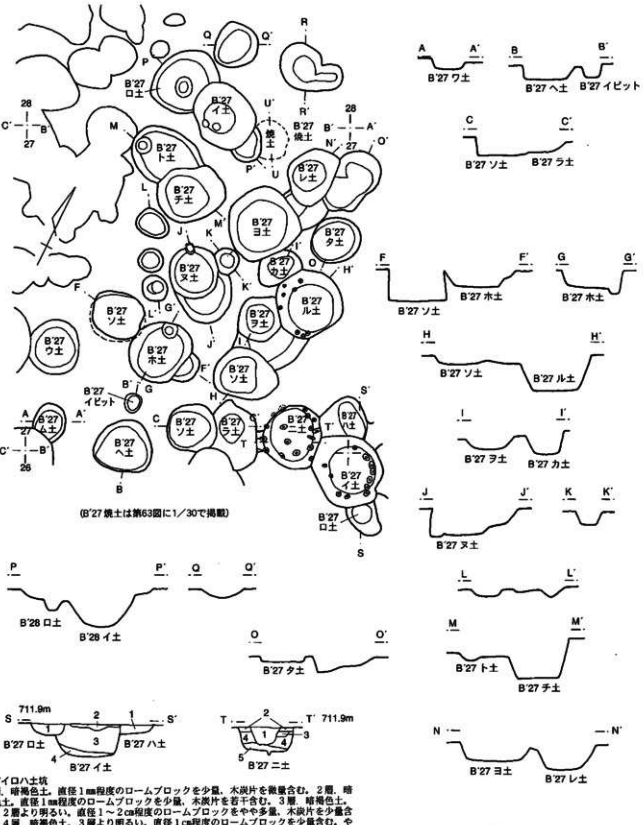
(23,24,25ラインは第99図に1/30で掲載)

A' 25 1号・2号焼土
1層. 赤褐色土。焼土。黒褐色土混じり。

第62図　土坑 (1/60) 焼土 (1/30) (B'25・26区内－ (2))



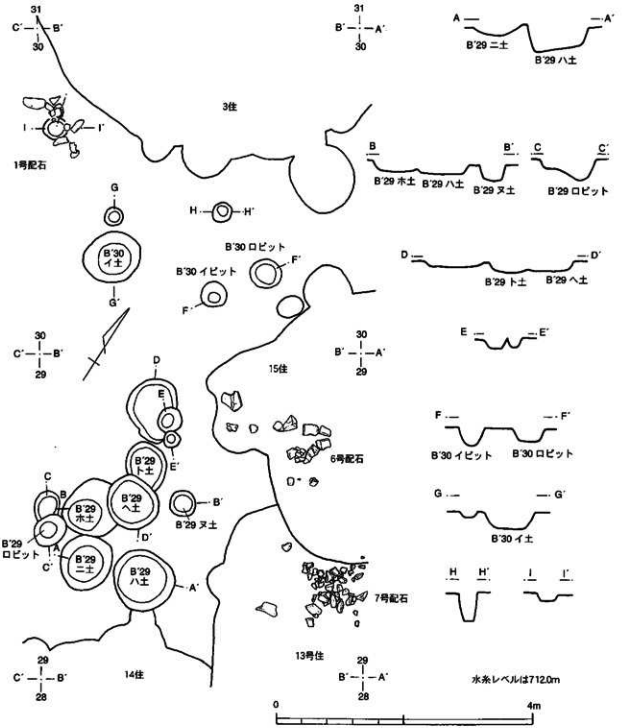
第63図　土坑（1／60）（B´25・26・27・28区内）



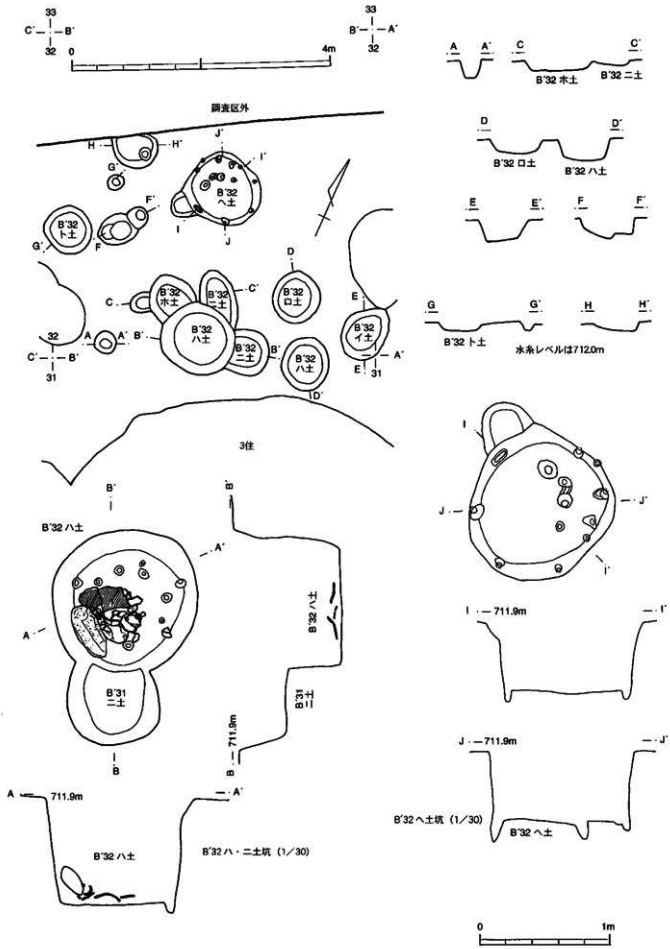
B'27-イロハ土坑
1層．暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを少量、木炭片を微量含む。2層．暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを少量、木炭片を若干含む。3層．暗褐色土。1・2層より明るい。直径1～2㎝程度のロームブロックをやや多量、木炭片を少量含む。4層．暗褐色土。3層より明るい。直径1㎝程度のロームブロックを少量含む。ややしまりあり。5層．明暗褐色土。黒褐色土混じり。直径5㎜程度のロームブロックを少量含む。

B'27-ニ土坑
1層．明黒褐色土。直径1㎜程度のロームブロックを多量に、木炭片を少量、直径5㎜程度のロームブロックを若干含む。2層．明暗褐色土。直径5㎜程度のロームブロックを若干含む。暗褐色土混じり。3層．明暗褐色土。2層より暗い。直径1～5㎜程度のロームブロックを若干含む。4層．暗褐色土。直径1㎜程度のロームブロックをやや多量、直径1㎝程度のロームブロックを若干、木炭片を少量含む。5層．暗褐色土。4層より明るい。木炭片を若干、直径5㎜程度のロームブロックを少量含む。

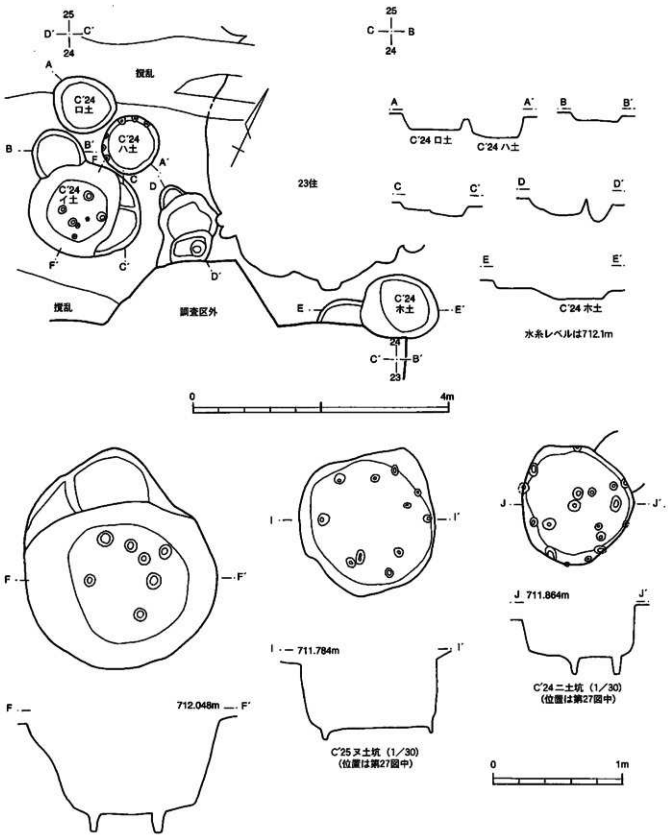
第64図　土坑（1／60）（B'27・28区内）



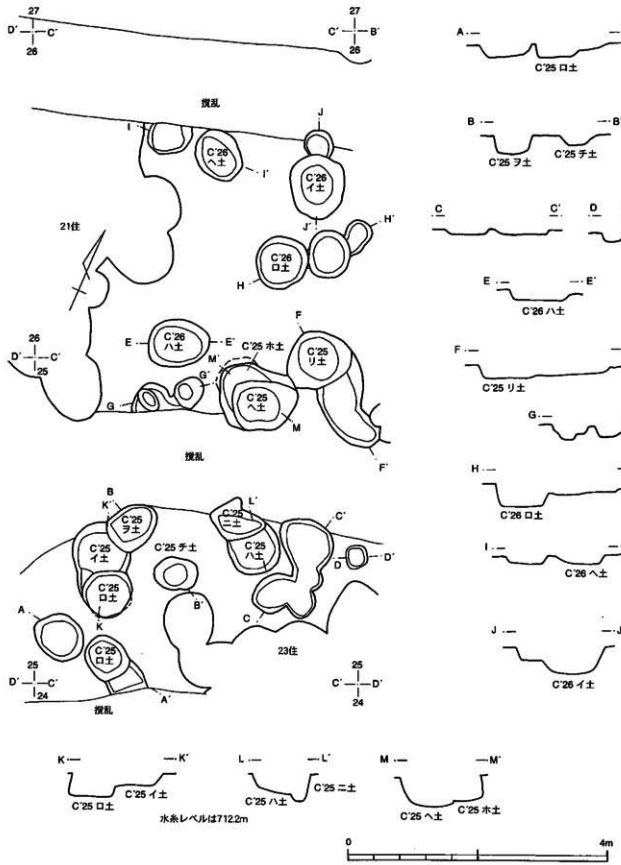
第65図　土坑（1／60）（B'29・30区内）



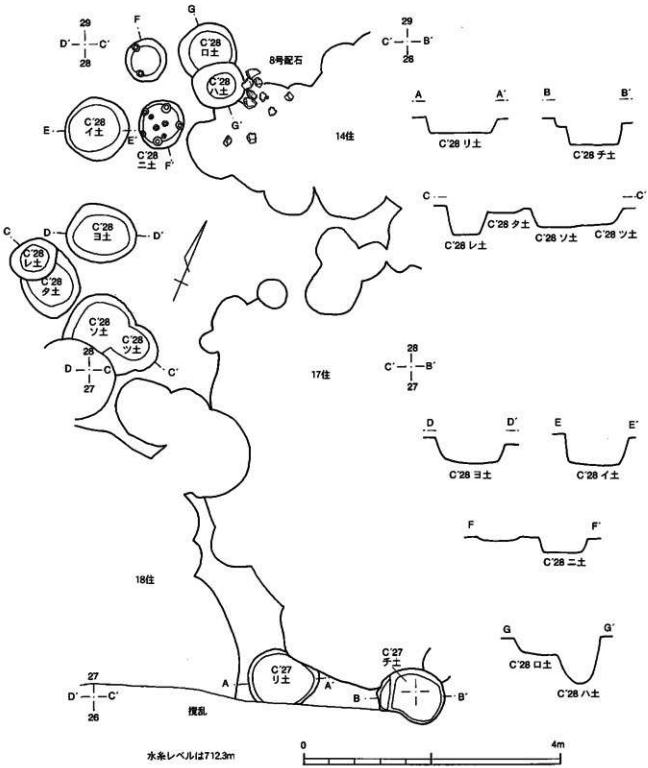
第66図　土坑（1／60）（1／30）（B′31・32区内）



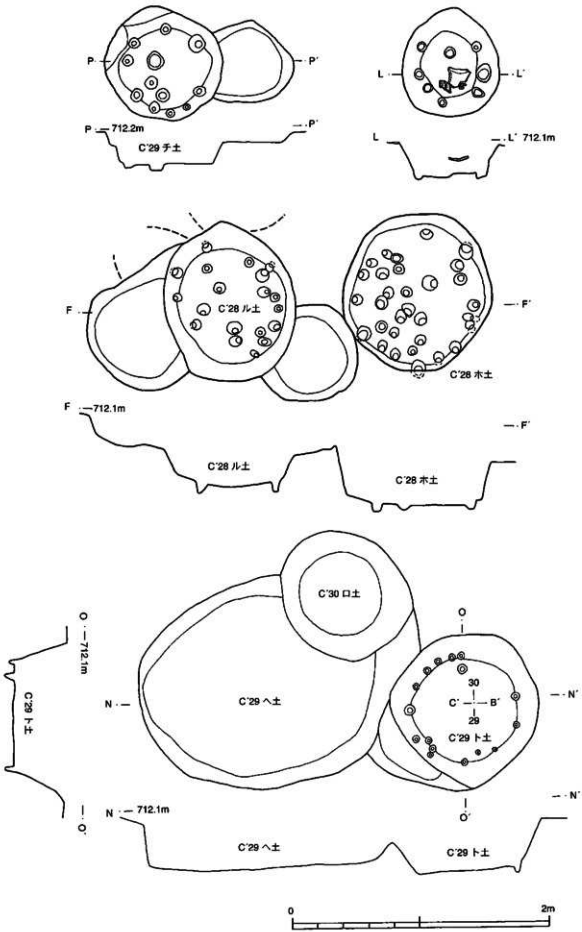
第67図　土坑 (1/60) (1/30) (C'24区内)



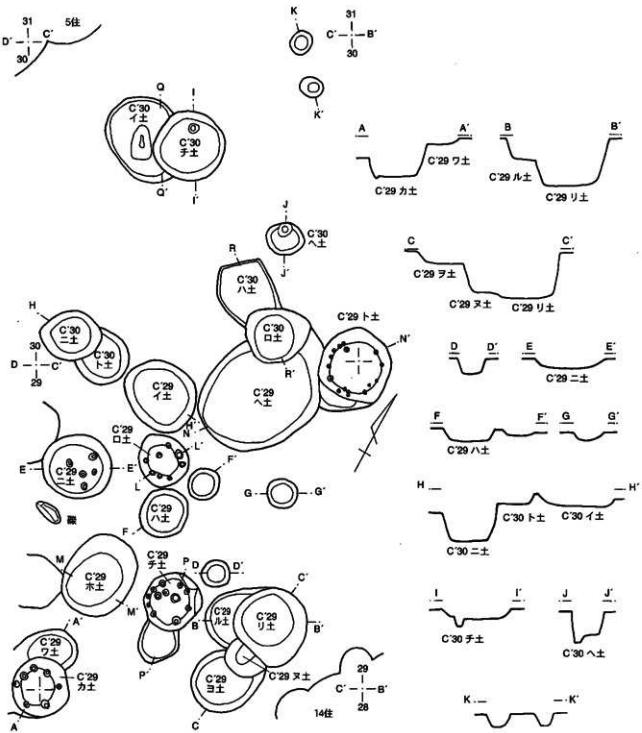
第68図　土坑（1／60）（C'25・26区内）



第69図　土坑（1／60）（C'27・28区内）

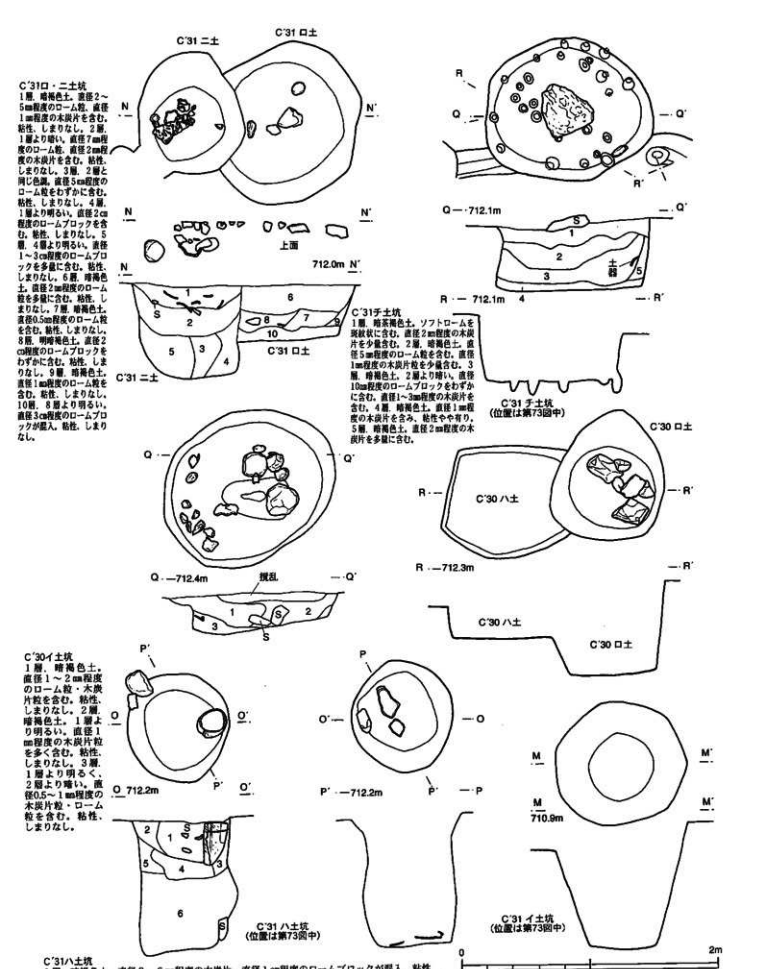


第70図　土坑（1／30）（C'28・29・30区内）

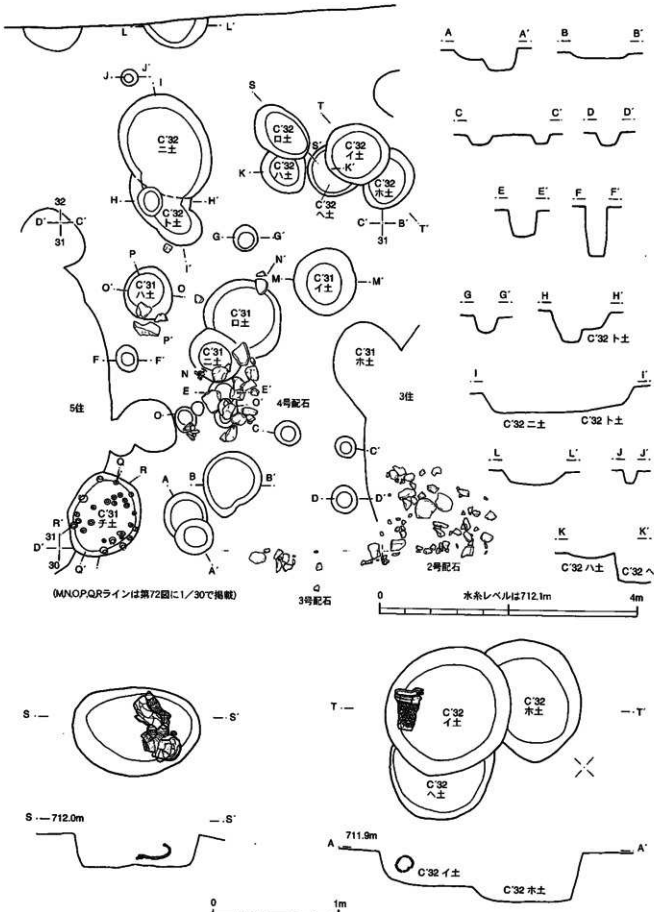


C'29ホ土坑
1層．暗褐色土。直径1～3㎜程度のローム粒．焼土粒を含む。2層．暗褐色土。1層より明るい。直径5～10㎜程度のローム粒を含む。3層．暗褐色土。2層より明るい。直径10～30㎜程度のロームブロックを含む。

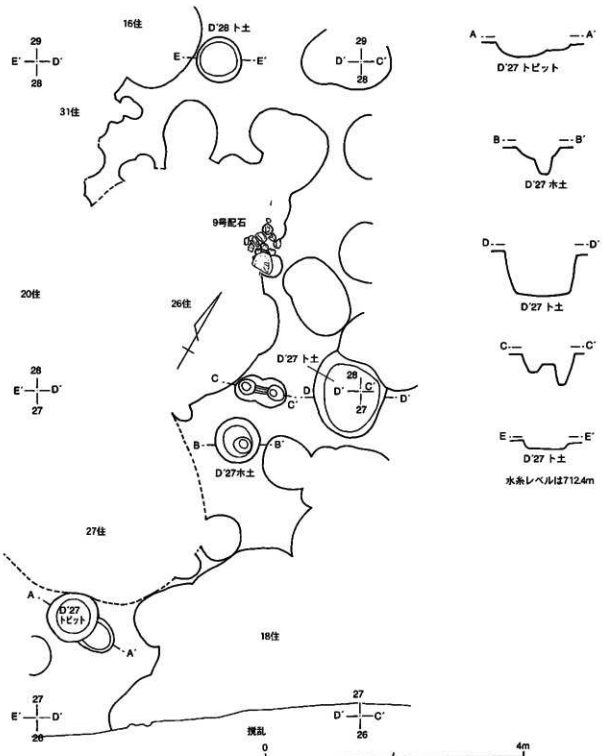
第71図　土坑（1／60）（C'29・30区内）



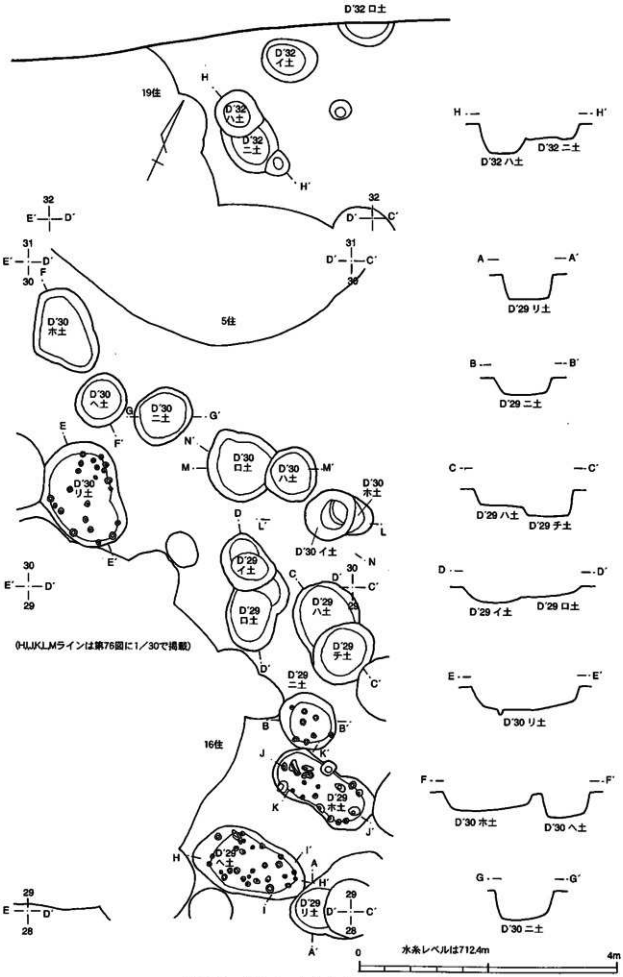
第72図　土坑（1／30）（C'30・31区内）



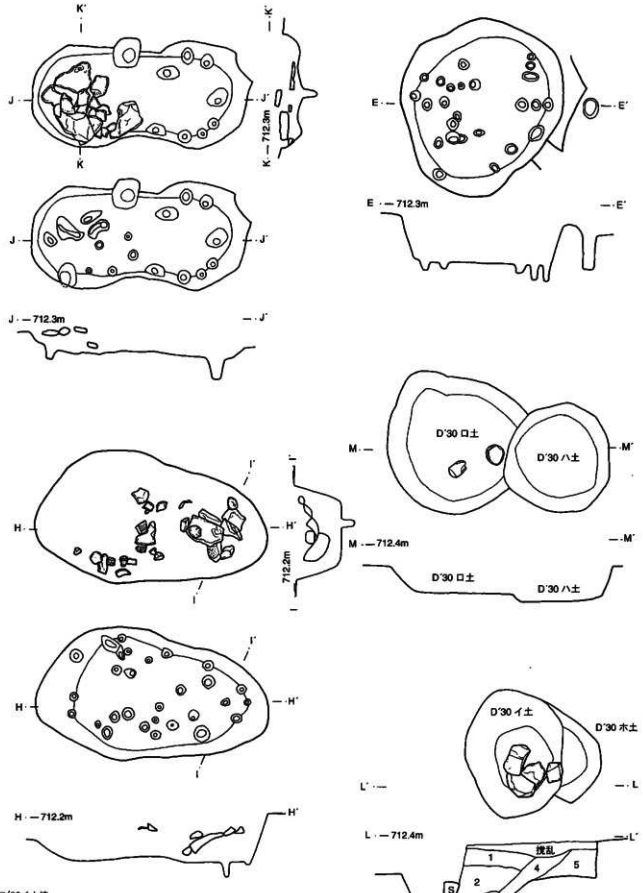
第73図　土坑（1/60）（1/30）（C'31・32区内）



第74図　土坑（1／60）（C'27・28区内）

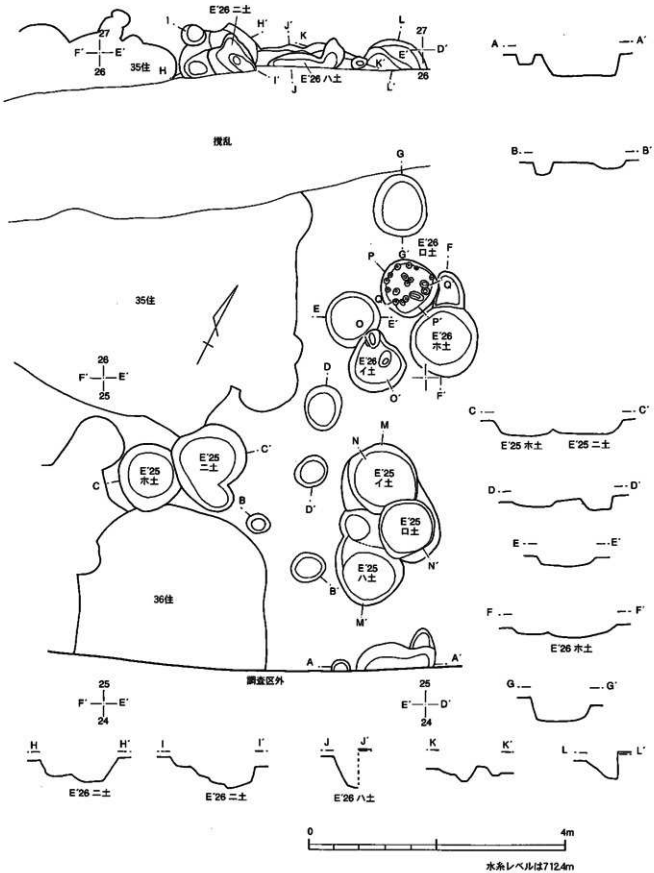


第75図　土坑（1／60）（D'29・30・32区内）

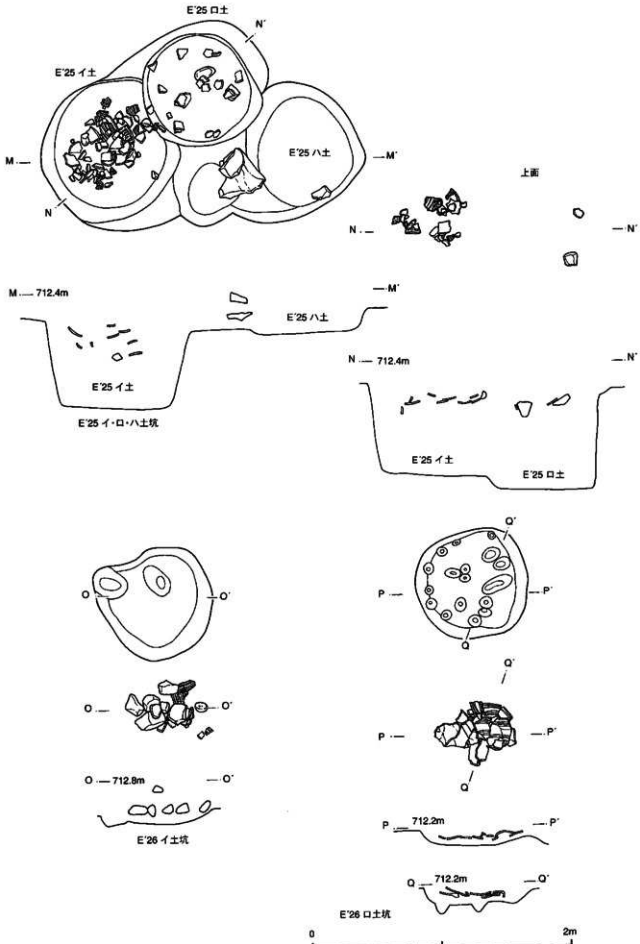


D'30-イ土坑
1層．暗褐色土。直径1～3mm程度のローム粒を含む．粘性．しまりなし。2層．暗褐色土。1層より暗い。ローム粒．ロームブロック混入土．直径3mm程度の焼土粒を含む．粘性．しまりなし。3層．黒褐色土。直径2mm程度のローム粒子とわずかにロームブロックを含む．粘性．しまりなし。4層．暗褐色土。直径5mm程度のローム粒をわずかに含む．粘性．しまりなし。5層．暗茶褐色土。ローム粒を多量に含む．粘性やや弱り．しまり弱。6層．明暗褐色土。直径1mm程度のローム粒を含む．粘性．しまりなし。

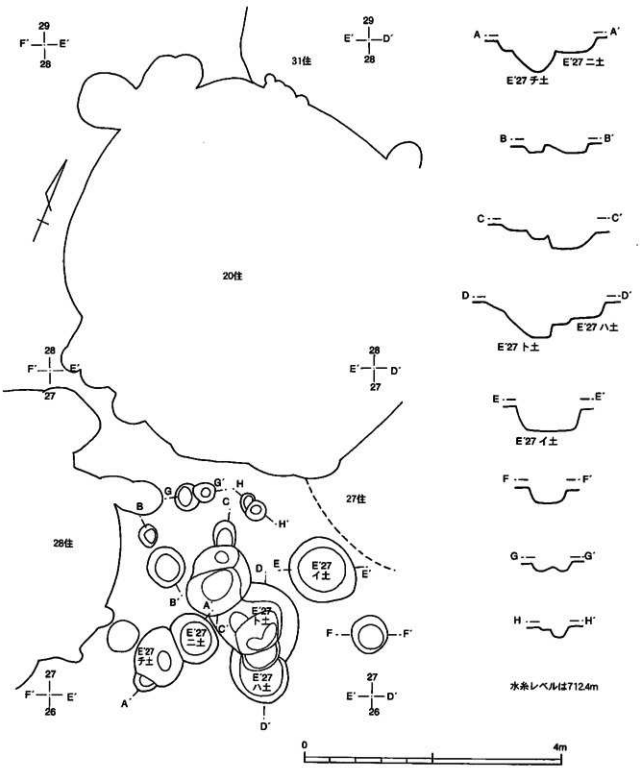
第76図　土坑（1／30）（D'25・29・30区内）



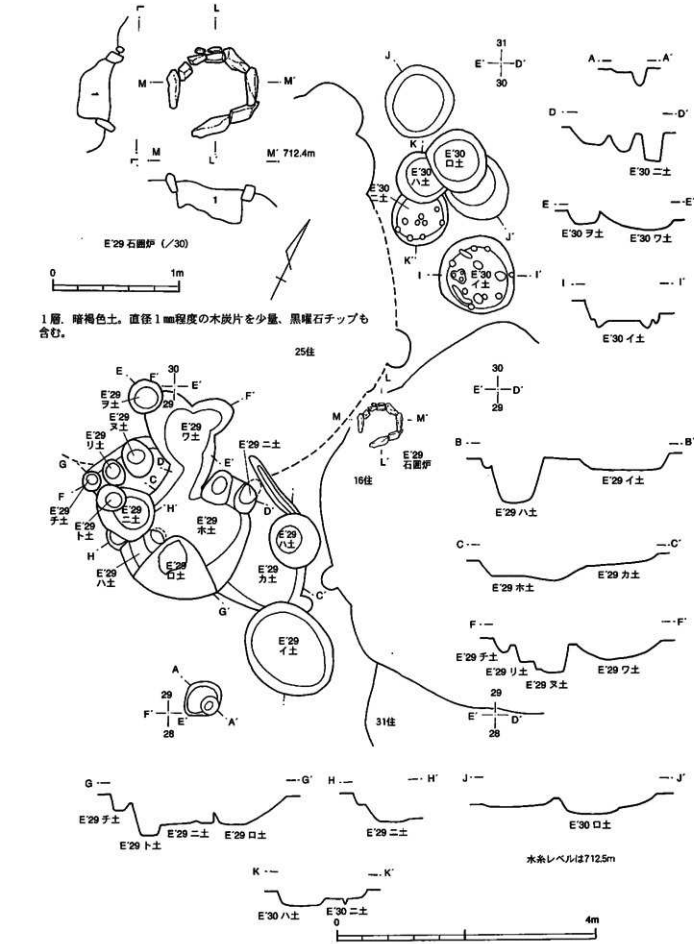
第77図　土坑（1／60）（E'25・26区内）



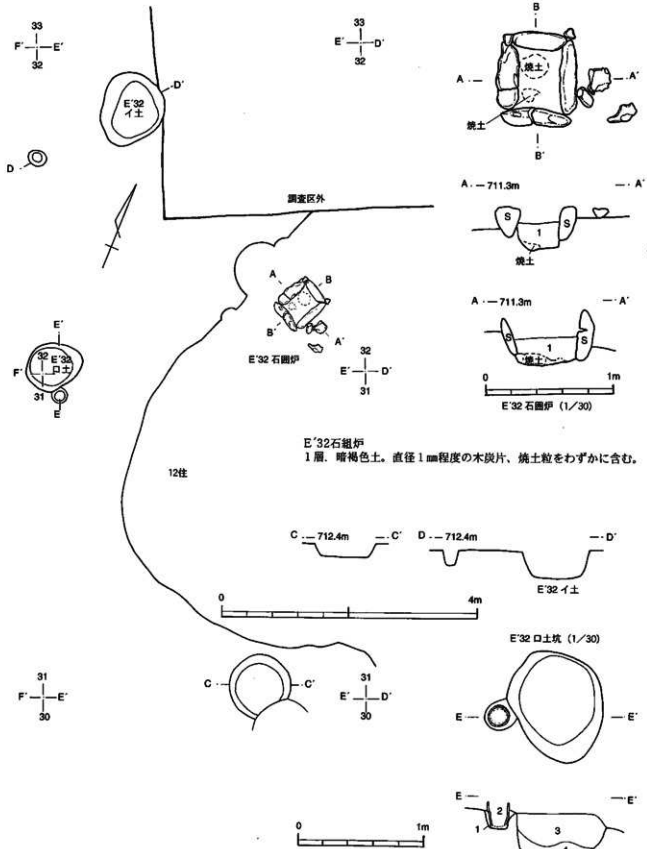
第78図土坑（1／30）（E'25・26区内）



第79土坑（1／60）（E'27・28区内）



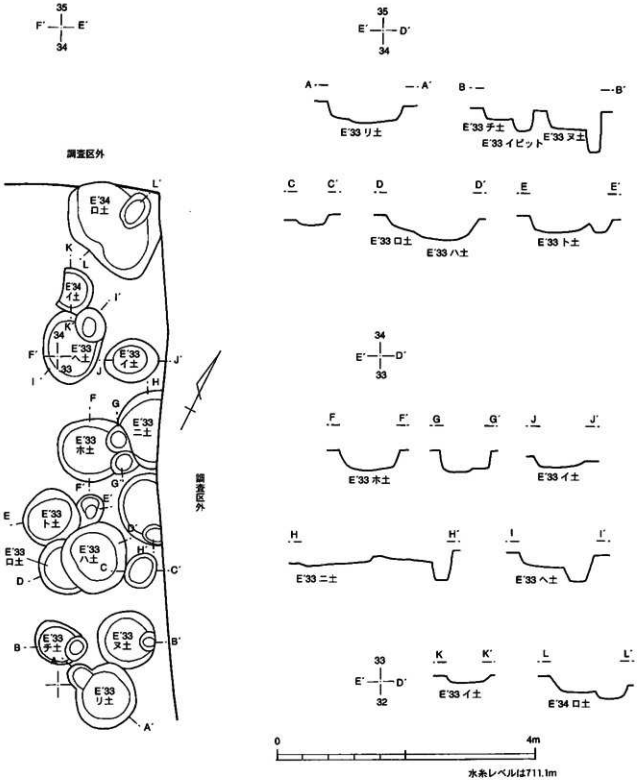
第80図　土坑（1／60）石囲炉（1／30）（E'29・30内）



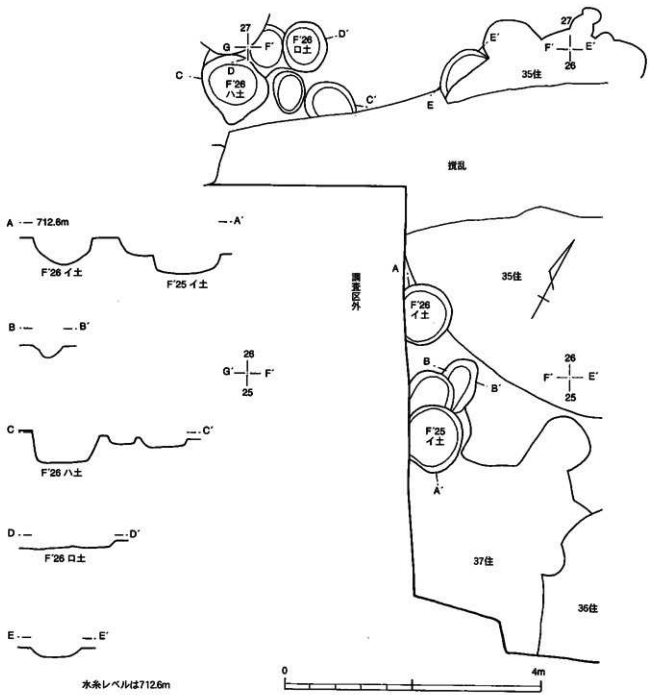
E'32石組炉
1層．暗褐色土。直径1㎜程度の木炭片、焼土粒をわずかに含む。

E'32ロ土坑
1層．暗褐色土。直径1㎜程度のローム粒を少量含む。2層．暗褐色土。直径5㎜程度の焼土粒を含む。3層．暗褐色土。1層より暗い。ポソポソ。直径20㎜程度のロームブロックを含み、直径1㎜程度の木炭片も含まれる。4層．暗茶褐色土。直径5～20㎜程度のロームブロックを含む。

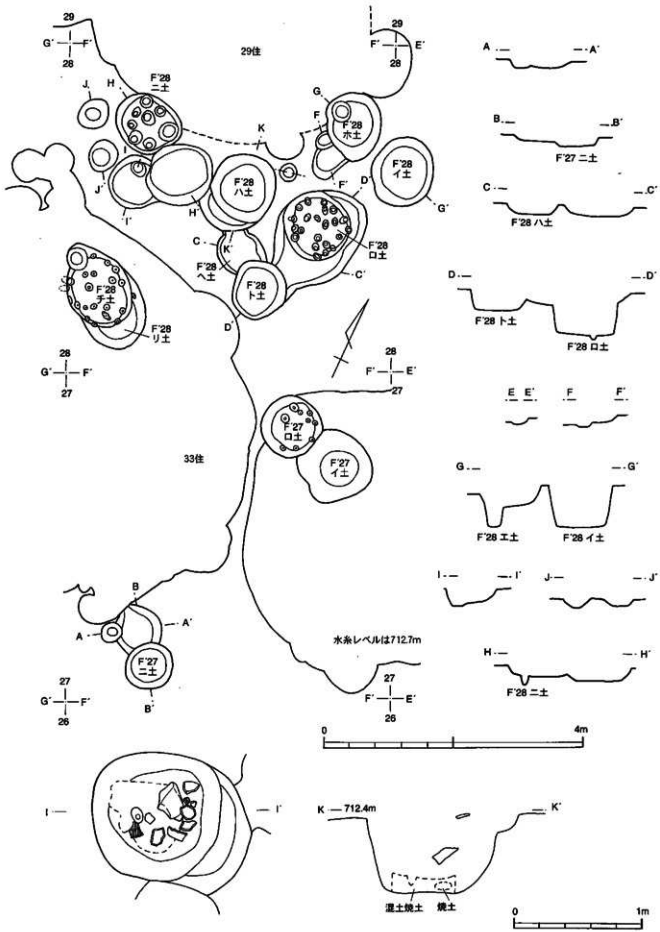
第81図　土坑（1／60）（1／30）石囲炉（1／30）（E'31・32区内）



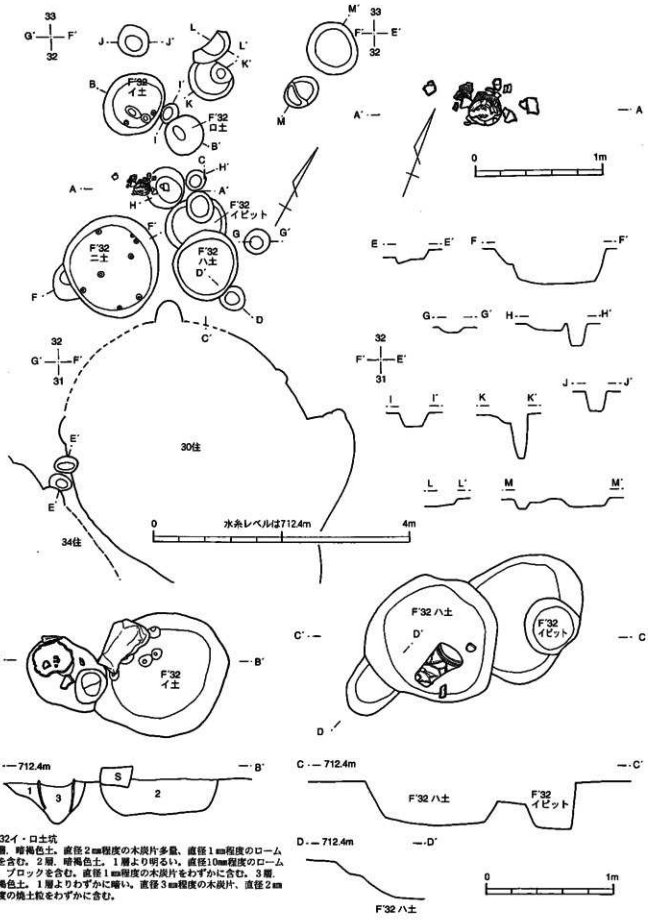
第82図　土坑（1／60）（E'33・34区内）



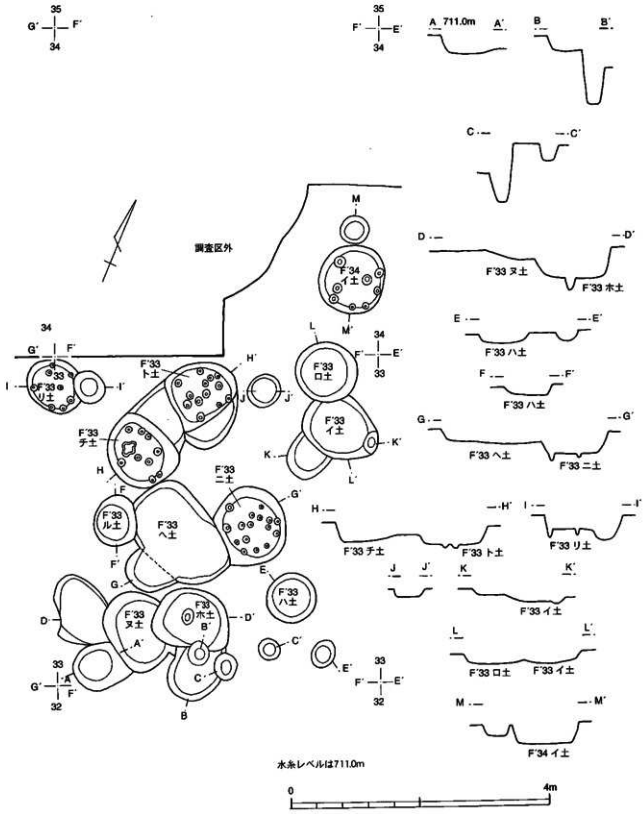
第83図　土坑（1／60）（E'25・26区内）



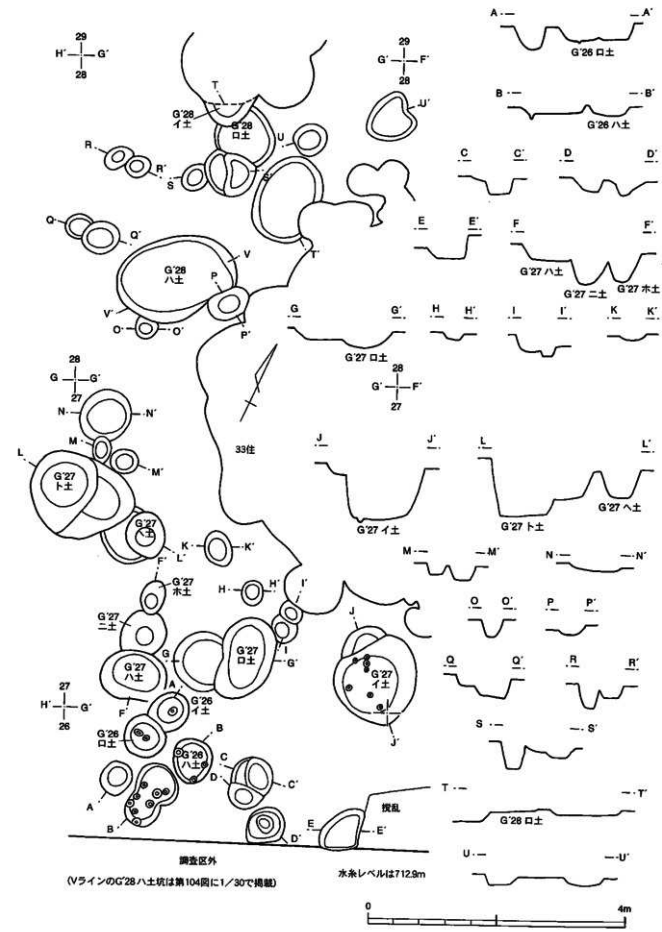
第84図　土坑（1／60）（E'27・28区内）



第85図　土坑（1／60）（1／30）(F'31・32区内)

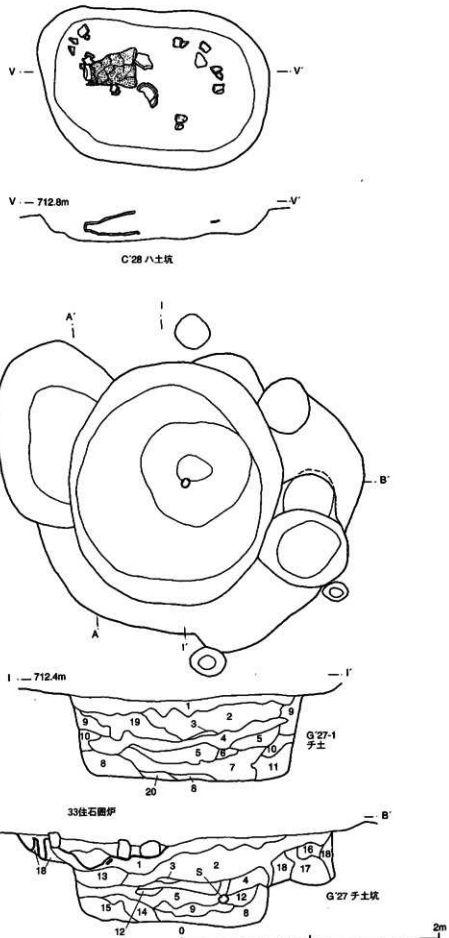


第86図　土坑（1／60）（F'33・34区内）

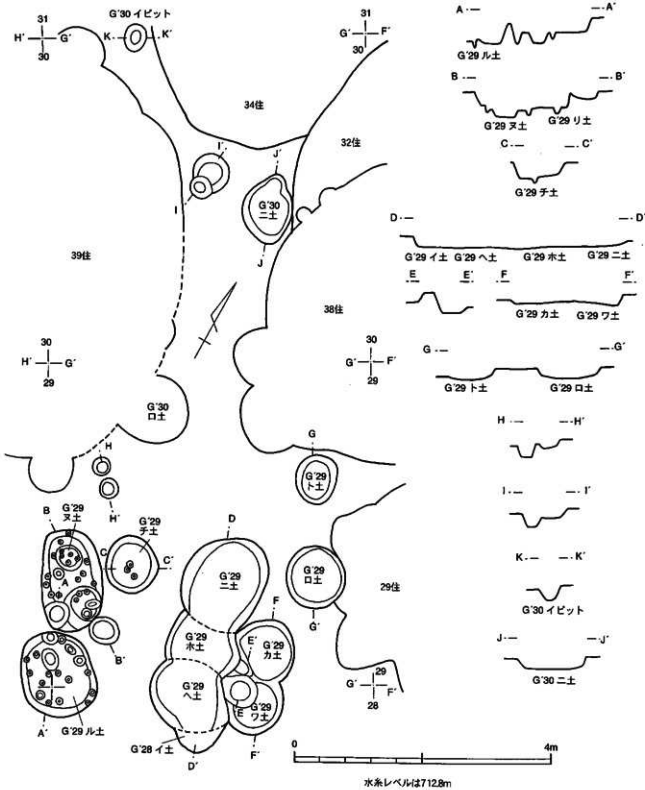


第87図　土坑（1／60）（G'26・27・28区内）

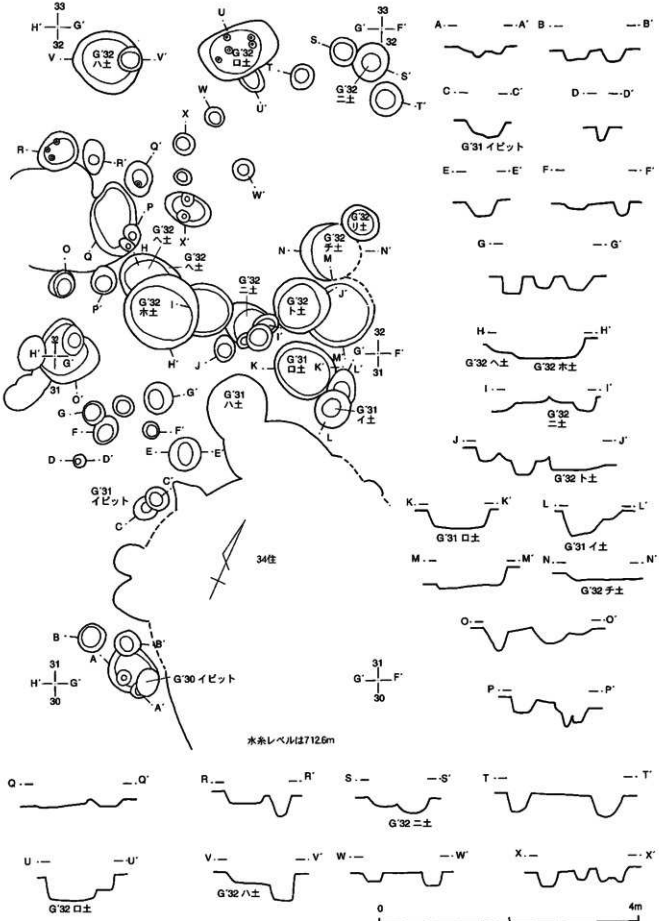
G'27チ土坑
1層．暗褐色土。径5m程度のロームブロック若干，径1m程度のロームブロック少量，木炭片やや多く含む。2層．暗褐色土。径1～3mmのロームブロックやや多く，径1m程度のロームブロック多く，木炭片を多量に含み，暗褐色土混じり。3層．黒色土。木炭片集中層で径1m程度のロームブロック若干含む。4層．暗黄褐色土。ロームブロック層で明暗褐色土混じり，木炭片少量含む。5層．明暗褐色土。径1cm程度のロームブロック少量，木炭片若干含み2層より明るい。6層．明暗褐色土。径1cm程度のロームブロック多量，5層より明るい。7層．暗黄褐色土。ロームブロック層，明暗褐色土混じり，木炭片若干含む。8層．明暗褐色土。径5cm程度のロームブロック少量，径1cm程度のロームブロック若干，木炭片若干含む，9層．明暗褐色土。径1cm程度のロームブロックやや多，暗褐色土混じり，木炭片若干，2・5層より明るい。10層．明暗褐色土。径3～5cmロームブロックやや多く，木炭片若干，5・9層より明るい。11層．明暗褐色土，径1cm程度のロームブロックやや多，木炭片若干，10層より暗い。12層．明暗褐色土。やや明るい。直径1m程度のロームブロックを若干，木炭片を若干含む。13層．暗褐色土。直径1m程度のロームブロックを多量，直径5m程度のロームブロックを少量，木炭片を若干含む，1(3)層より明るい。14層．暗黄褐色土。やや暗い。直径1～2cm程度のロームブロックを多量，木炭片を若干含む，15層．暗褐色土。直径1m程度のロームブロックを多量，直径5m程度のロームブロックを少量，木炭片を若干含む，16層．暗黄褐色土。明暗褐色土混じり，17層．明暗褐色土。直径1cm程度のロームブロックをやや多量，木炭片を若干含む，18層．黄褐色土。地山。しまりあり，19層．暗褐色土。黄褐色土混じり，木炭片多く，径5mm程度のロームブロック少量，1層より暗い，20層．明暗褐色土。径1cm程度のロームブロック少量，8層より明るい。



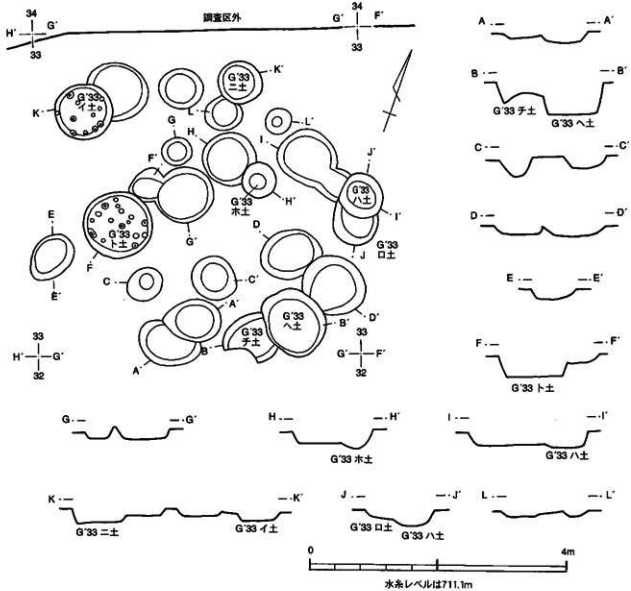
第88図　土坑（1/30）（G'27・28区内）



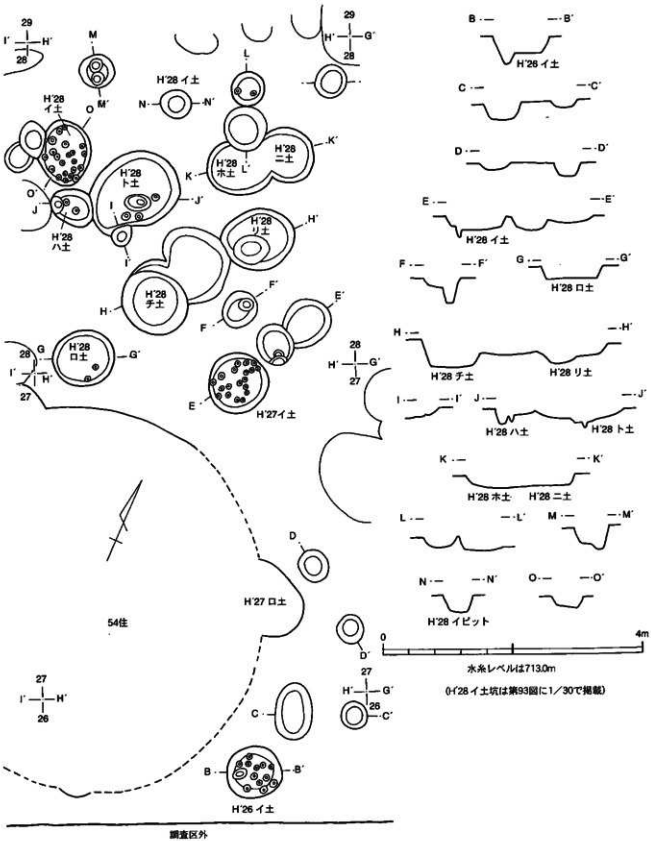
第89図　土坑（1／60）（G'29・30区内）



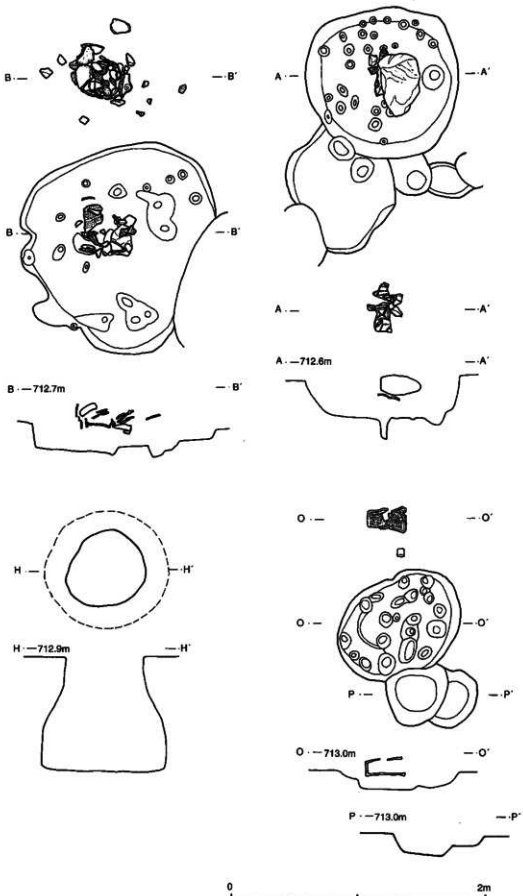
第90図　土坑（1／60）（G'31・32区内）



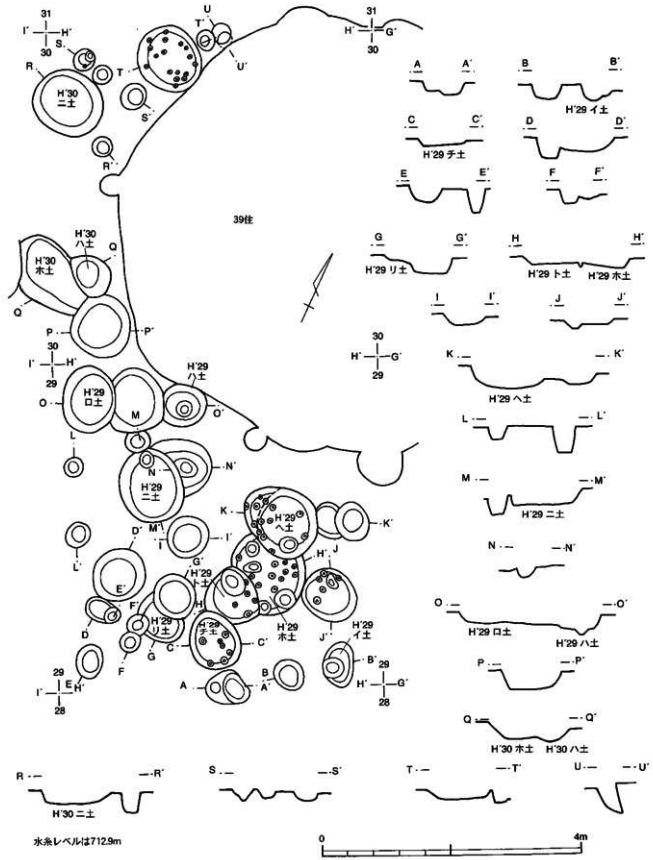
第91図　土坑（1／60）（G'33区内）



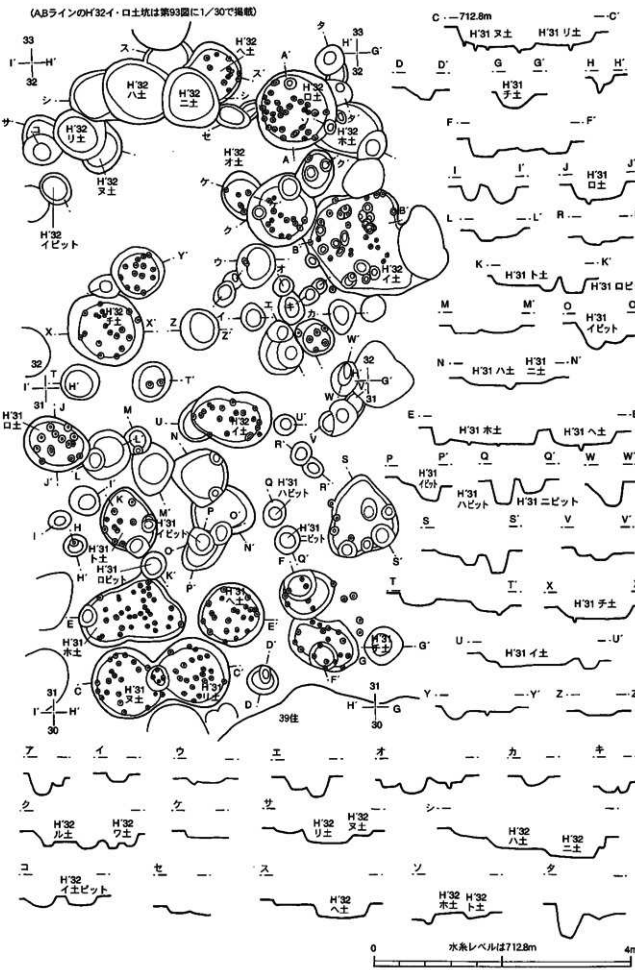
第92図　土坑（1／60）(H'26・27・28区内)



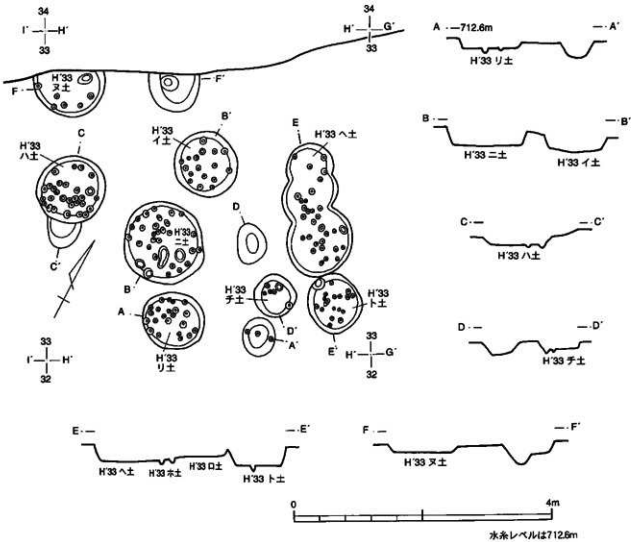
第93図　土坑（1／30）（H27・28・32区内）



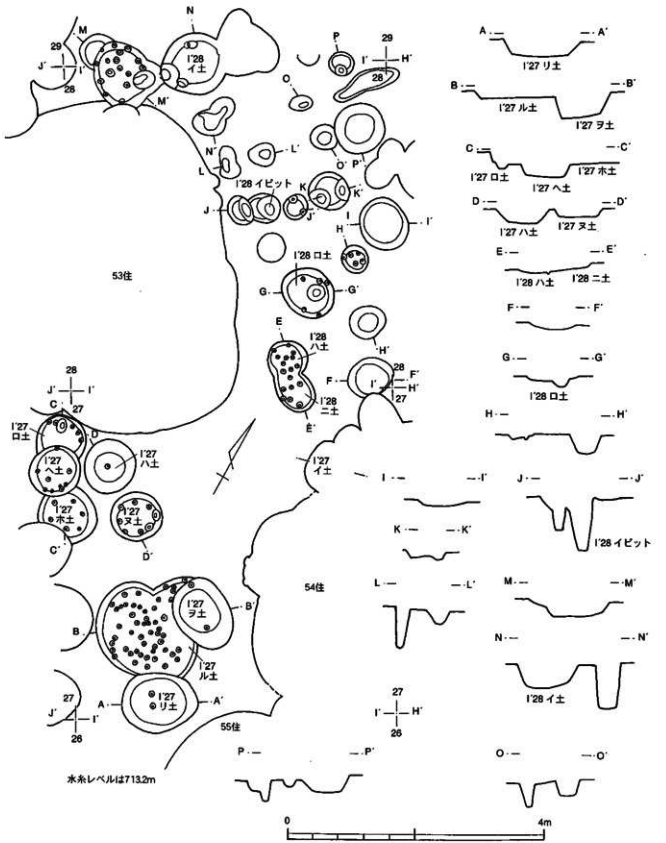
第94図　土坑（1／60）（H'29・30区内）



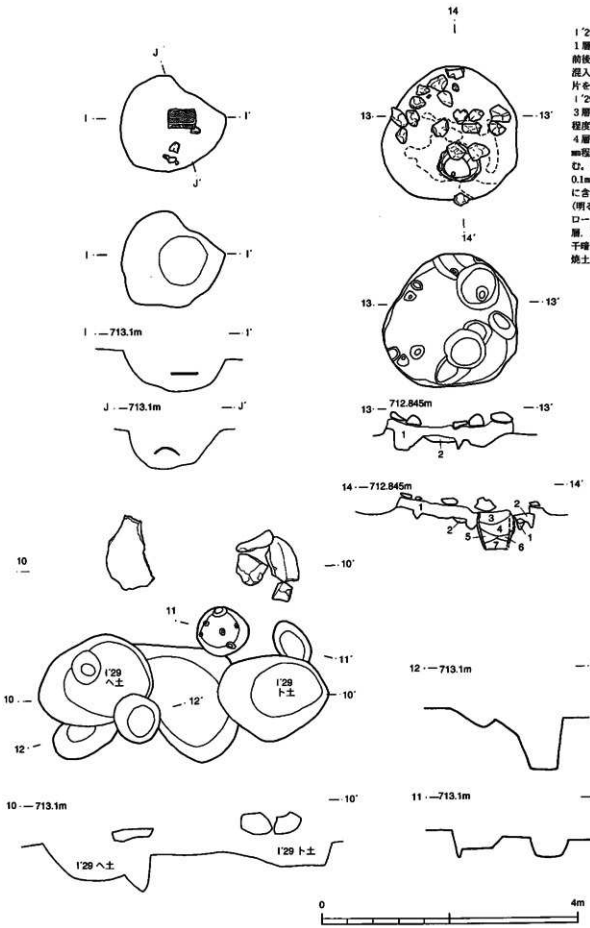
第95図　土坑（1／60）（H'31・32区内）



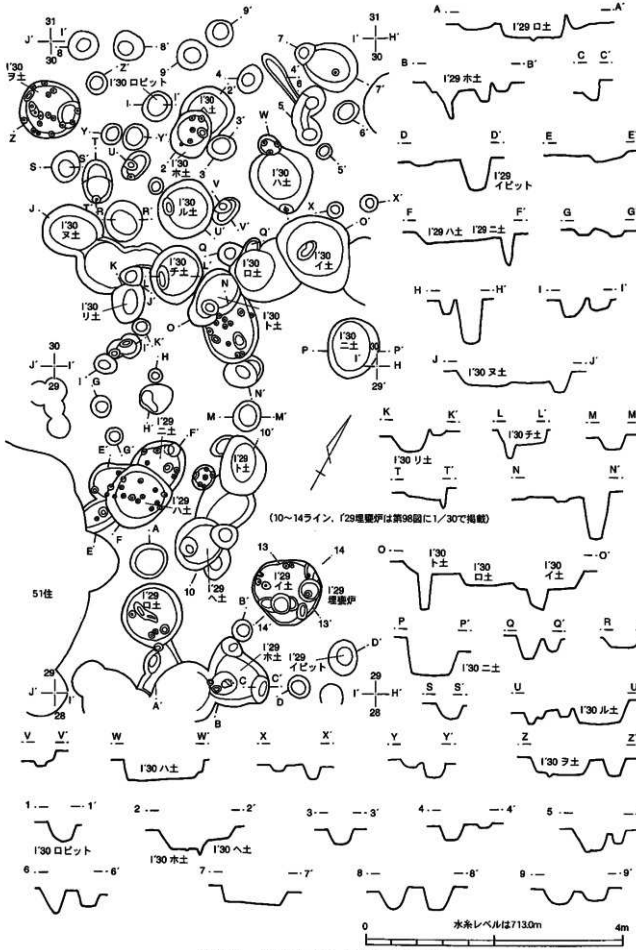
第96図　土坑（1／60）（H'33区内）



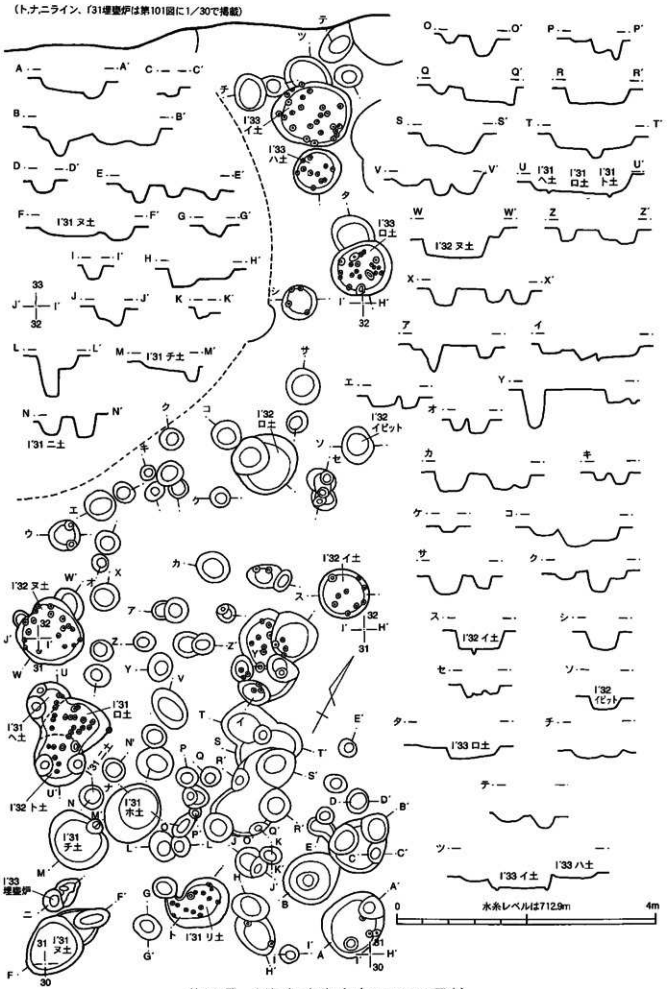
第97図　土坑（1／60）（I'27・28区内）



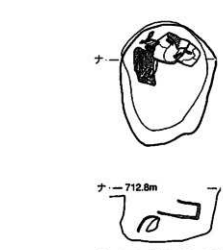
第98図　土坑（1／30）（I'27・29区内）



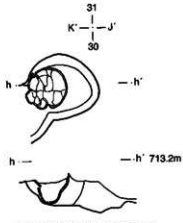
第99図　土坑（1／60）（I'29・30区内）



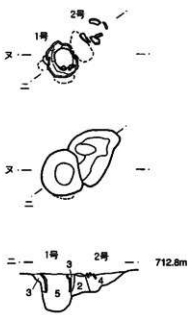
第100図　土坑（1／60）（I'31・32・33区内）



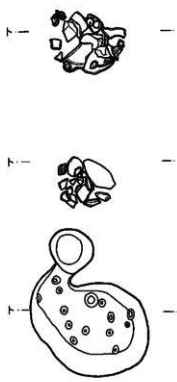
Γ31ホ土坑（位置は第100図中）



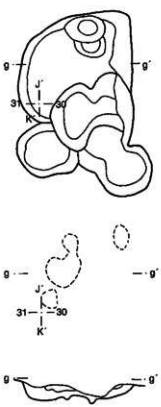
K'30ホ土坑（位置は第103図中）



Γ31,1号・2号埋甕炉（位置は第100図中）



Γ31リ土坑（位置は第100図中）



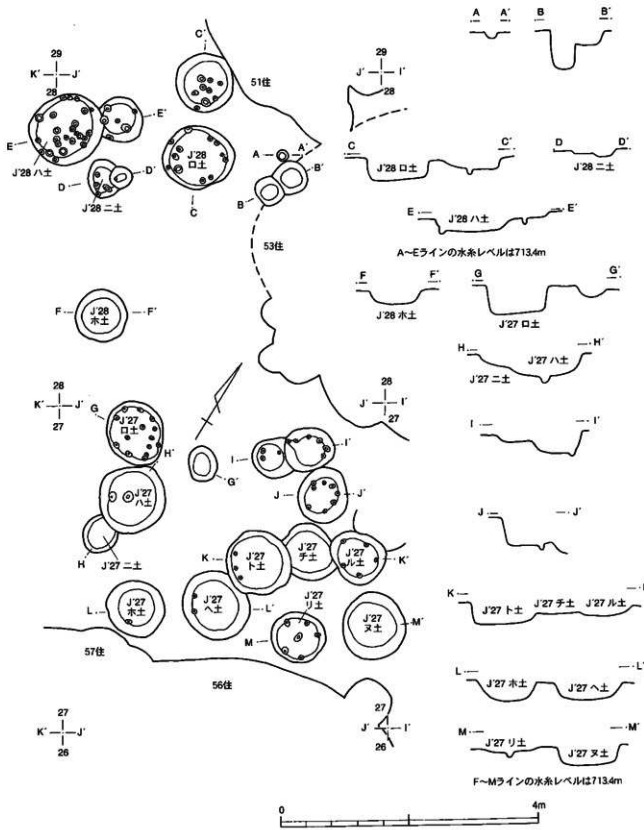
J'30焼土（位置は第103図中）

I '311号・2号埋甕炉
1層．赤褐色土。焼土。2層．黄褐色土。ロームブロック。3層．暗褐色土。直径0.5mm程度の焼土粒を含む。4層．暗褐色土。3層より暗い。直径3mm程度の焼土粒をごくわずかに含む。5層．暗褐色土。4層より暗い。直径1～3mm程度の焼土粒を含む。

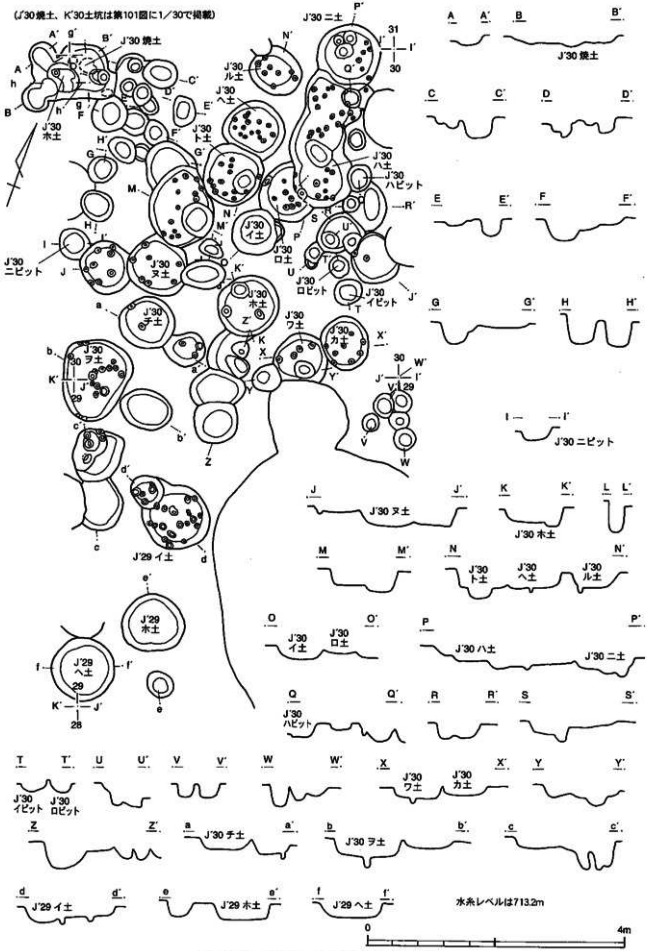
J'30焼土
1層．焼土。2層．暗褐色土。直径1mm程度の焼土粒を含み、直径1mm程度のローム粒をわずかに含む。

0 2m

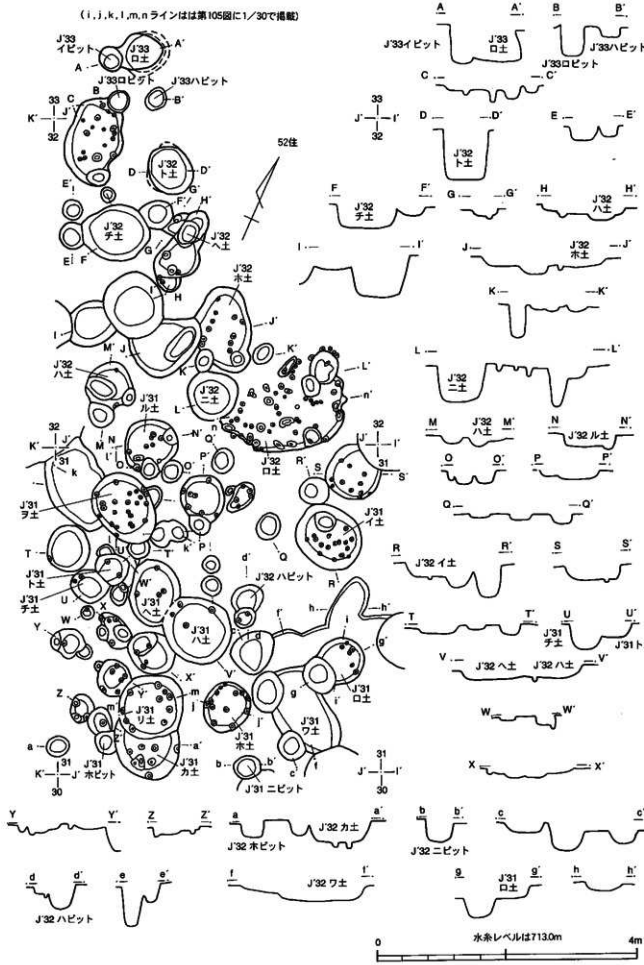
第101土坑・炉址（1／30）（I'31，J'30，K'30区内）



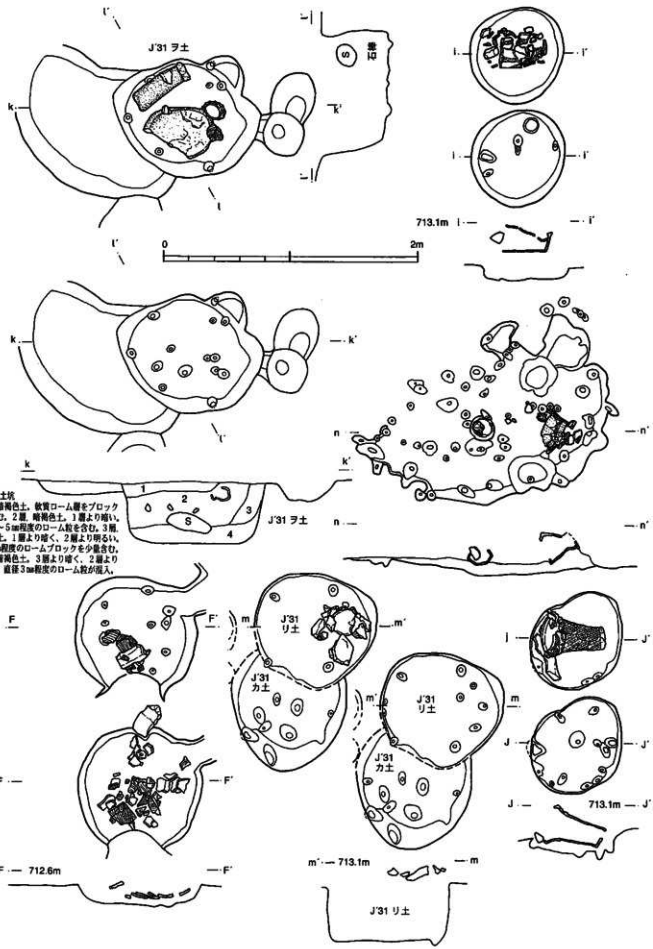
第102図　土坑（1／60）（J'27・28区内）



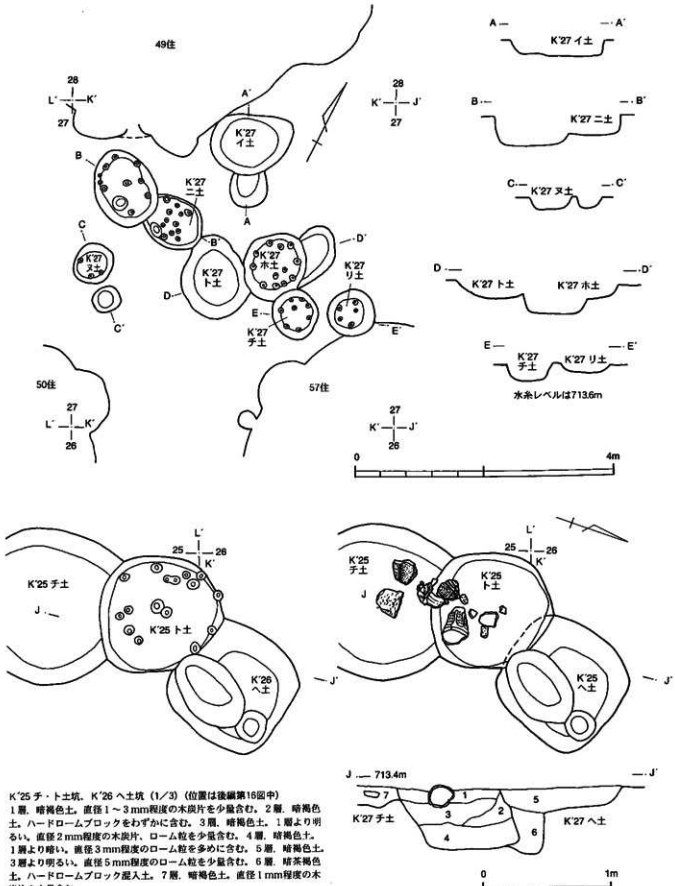
第103図　土坑（1／60）（J'29・30区内）



第104図　土坑（1／60）（J'31・32区内）

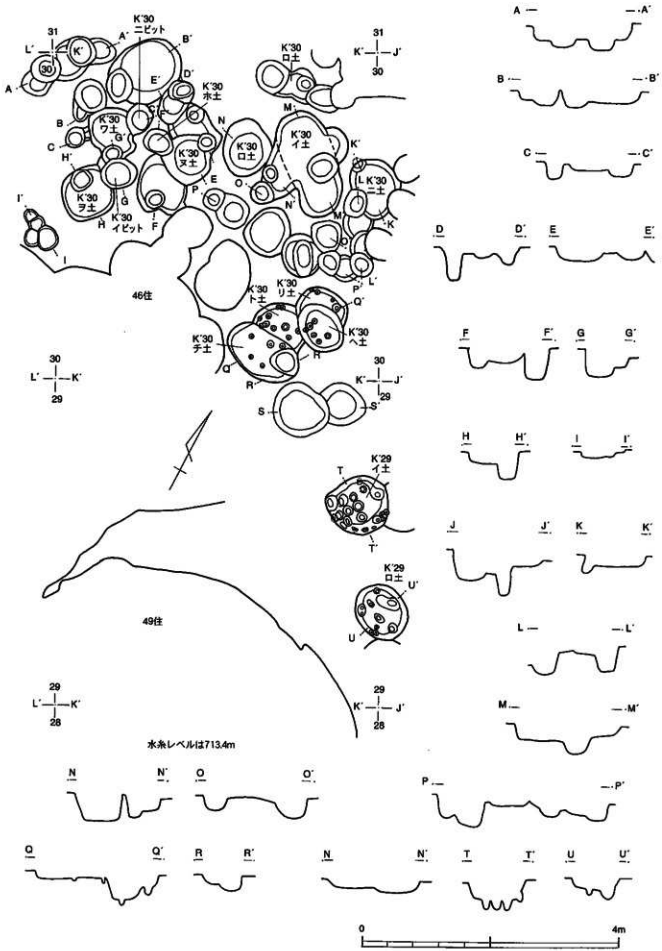


第105図　土坑（1／30）（J'31・32・33区内）

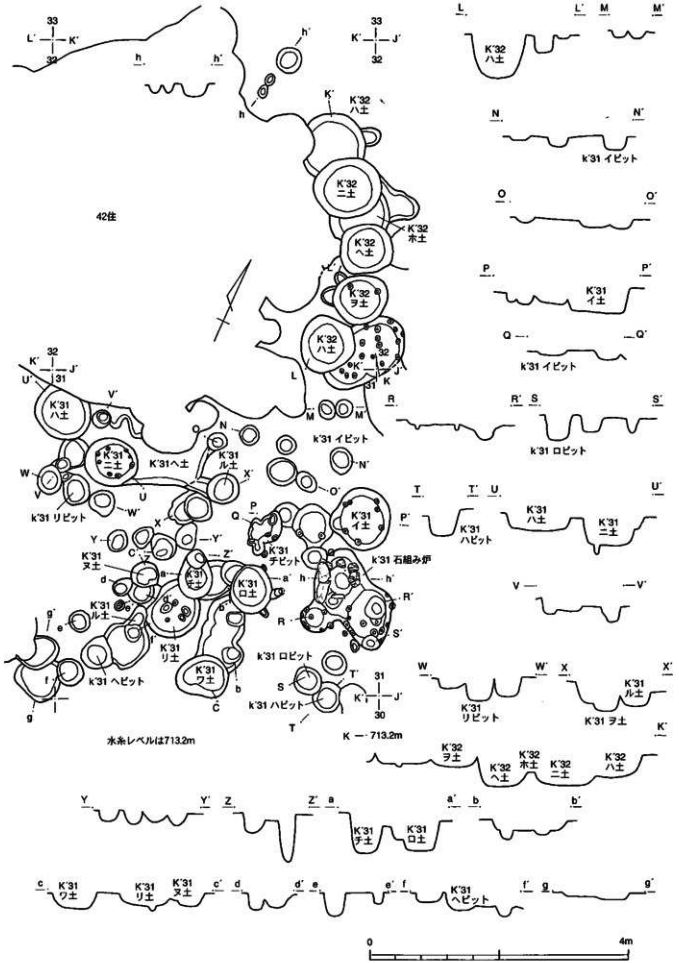


K'25 チ・ト土坑、K'26 ヘ土坑（1／3）（位置は後編第16図中）
1層、暗褐色土。直径1～3mm程度の木炭片を少量含む。2層、暗褐色土。ハードロームブロックをわずかに含む。3層、暗褐色土。1層より明るい。直径2mm程度の木炭片、ローム粒を少量含む。4層、暗褐色土。1層より暗い。直径3mm程度のローム粒を多めに含む。5層、暗褐色土。3層より明るい。直径5mm程度のローム粒を少量含む。6層、暗茶褐色土。ハードロームブロック混入土。7層、暗褐色土。直径1mm程度の木炭片を少量含む。

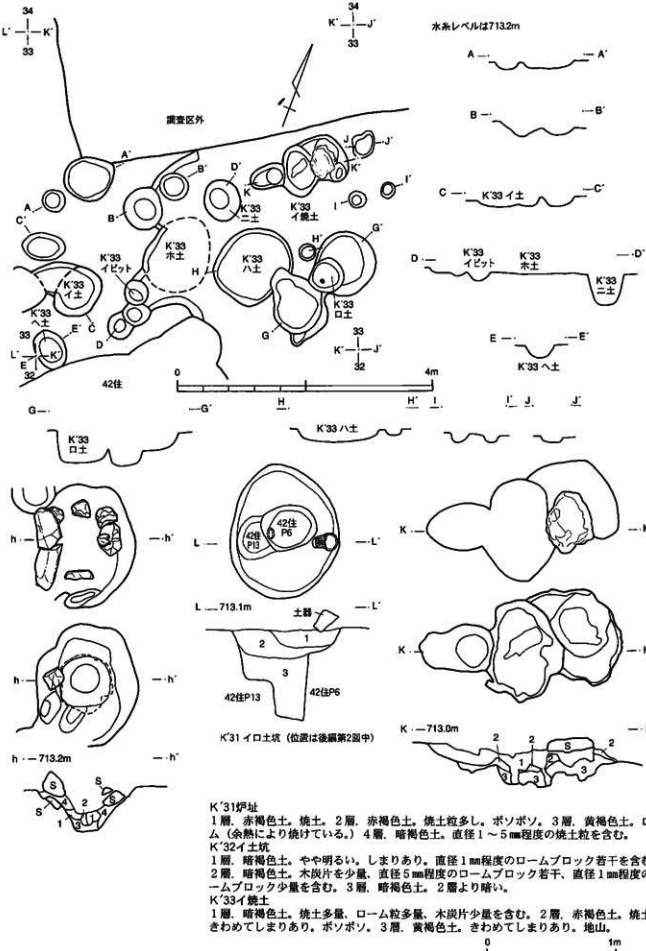
第106図　土坑（1／60）（K'27区内）（1／30）（K'25・26区内）



第107図　土坑（1／60）（K'29・30区内）



第108図　土坑（1／60）（K'31・32区内）



第109図　土坑（1／60）（1／30）炉址（1／30）（K'33区内）

第3節　炉址

A－25　1号炉跡
時期）不明
(形態）方形を呈する。石囲炉に似ている。
(規模）
(所見）厚い板状の礫が石囲炉のように方形に囲っている。しかし、周りの覆土に焼土や焼土粒はなく、礫自身も焼けていない。遺構名は、炉跡としたが、配石になるかもしれない。5号配石の東側に位置。B－25へ土坑の上に構築。（土坑とは関係ないと思われる）
A′－25　1号焼土
(時期）不明
(形態）形態は不整楕円形を呈する。
(規模）規模は長径53cm、短径48cm、焼土の厚さ8cmを測る。
(所見）A′－25、2号焼土の南に位置。一部ピットに切られる。掘り込みなし。
A′－25　2号焼土
(時期）不明
(形態）形態は円形を呈する。
(規模）規模は長径推定39cm、短径32cm、焼土の厚さ4cmを測る。
(所見）A′－25　1号焼土の北に位置。北側一部をB′－26へ土坑により切られる。掘り込みなし。
B′－27　焼土
(時期）不明
(形態）形態は不整円形を呈する。
(規模）規模は長径61cm、短径推定57cm、焼土の厚さ4cmを測る。
(所見）B′－28　イ土坑の東に位置。一部土坑に切られている。掘り込みなし。
E′－29　石囲炉
(時期）不明
(形態）形態はCの字形石組。
(規模）規模は長径68cm、短径60cm、深さ最大33cm、最小13cmを測る。
(所見）石組の外側には、掘り込みはない。16号住居跡確認面で16号住居跡北西壁側で確認。床面は東側に傾斜する。立上がりは直。大、小礫10点で構成されている。
E′－32　石囲炉
(時期）不明
(形態）形態は四角形を呈する。
(規模）規模は長径72cm、短径62cm、深さ30cmを測る。
(所見）大型礫4ヶで四方を作り、その内、北東側の礫の両わきに、小礫を1ヶづつ配置している。19号住居跡北西壁側（遺構検出面）にて確認。焼土は底面に、浮いた状態でわずかながら検出。パリパリの焼土ではない。床面は平坦。立ち上がりは直。
I′－29　埋甕炉
(時期）五領ケ台式期。
(形態）埋甕炉。床面に凹凸あり。
(規模）規模は長径105cm、短径100cm、深さ最大30cm、最小5cmを測る。
(所見）埋甕より上層に、礫が出土している。ブロック状に焼土面あり。埋甕覆土中層に、焼土粒子径0.1mm多量層あり。確認面に、礫が多数集積状に出土。立ち上がりは皿状。
I′－31　1号埋甕炉
(時期）五領ケ台式期
(形態）埋甕炉。
(規模）規模は長径35cm、短径30cm、深さ28cmを測る。
(所見）ピット状の掘り込みがある。2号埋甕炉と並んで出土。埋甕の周囲にブロック状に焼土あり。出土遺物は口縁部と胴部下半分を欠いて全周している。

I′−31　2号埋甕炉
(時期)　五領ケ台式期
(形態)　埋甕炉。
(規模)　規模は長径40cm、短径27cm、深さ13cmを測る。
(所見)　焼土は1号埋甕炉側にブロックとしてあるだけ。覆土内にφ1～3mm焼土粒を含む。焼土の存在、甕のこわされ方から見て、1号埋甕炉が新しいと思われる。土器片が6点出土。
K′−31　炉址
(時期)　不明
(形態)　石囲炉。
(規模)　規模は長径95cm、短径77cm、深さ33cmを測る。
(所見)　土坑状の掘り込みあり。掘り込み下部より15cm上に焼土が掘り込み全体にあり。65×20cmの大きなまくら石を、西側に配置し、北側に10×10cm位の石を3ヶ、東側に25×18cmの赤色石1ヶ、南側に平板状の20×6cmの赤色石を配置する。
K′−33　イ焼土
(時期)　不明
(形態)　不整楕円形を呈する。
(規模)　規模は長径109cm、短径74cm、深さ15cmを測る。
(所見)　南西部がピットと重なる。焼土の中央やや北寄りに約50cm大の板石が置いてあった。掘り込みあり。
J′−30　焼土
(時期)　不明
(規模)　規模は長径105cm、短径96cm、深さ15cmを測る。
(所見)　掘り込みを伴うが、床面は凹凸いちじるしく、焼けてはいない。他のピットや土坑に、所々こわされている。立ち上がりは皿状。焼土は暗褐色土の中に、ブロック状に点在する。

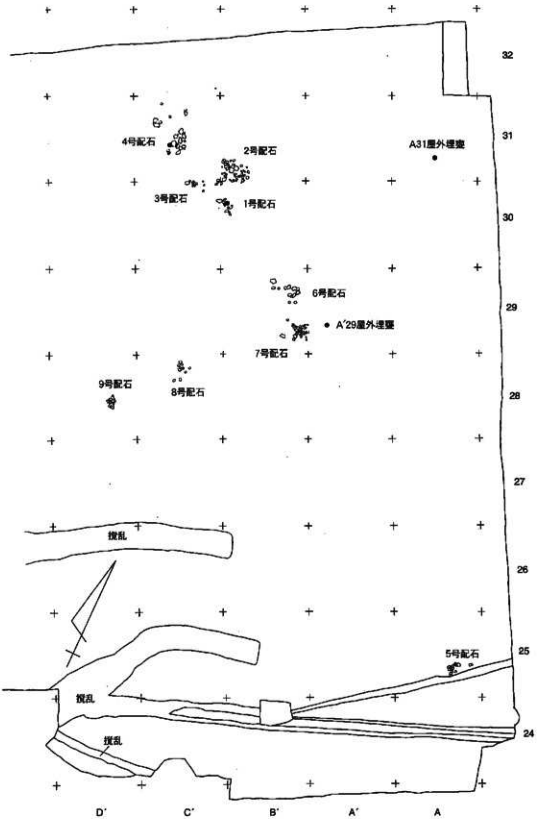
第4節　配石

1号配石
(位置)　B′−30グリッドに位置している。
(時期)　曾利V
(形態)
(規模)　長径120cm、短径70cm。
(所見)　3号住居跡の上部に構築され、埋甕1基を伴う。
2号配石
(位置)　B′−31、一部C′−30・31グリッドに位置している。
(時期)　曾利V
(形態)
(規模)　直径2m。
(所見)　石皿を伴い、大小礫が、台形状に配置される。
3号配石
(位置)　C′−30グリッドに位置している。
(時期)　不明
(形態)
(規模)　長径120cm、短径60cm。
(所見)　出土遺物は、大小礫12ヶが配置されている。
4号配石
(位置)　C′−31グリッドに位置している。
(時期)　曾利V
(形態)
(規模)　長径3m、短径2.2m。
(所見)　埋甕2ヶあり。大形礫多数。埋甕2ヶの内東側方には、大形礫が上に乗っている。

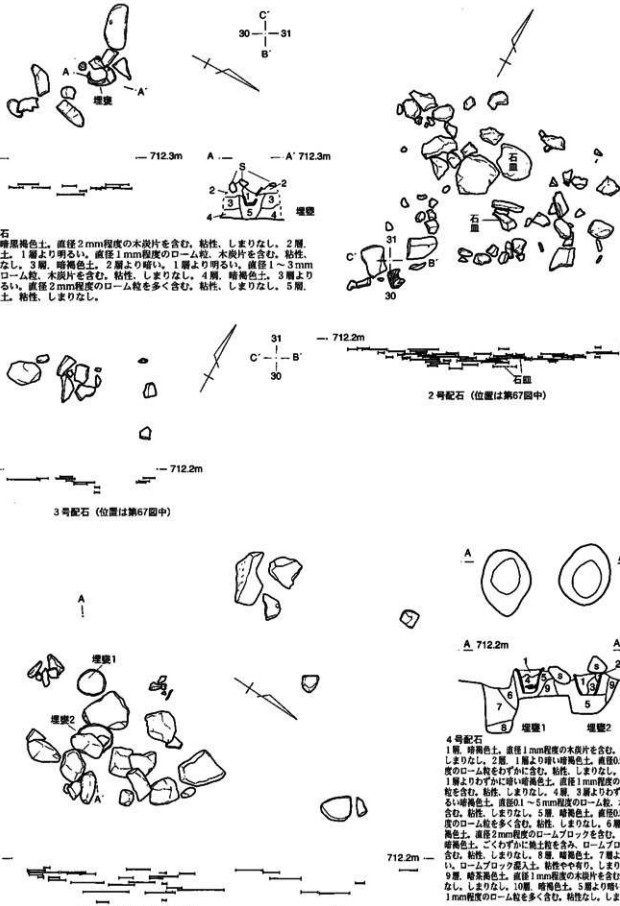
5号配石
(位置) A－25グリッドに位置している。
(時期) 不明。
(形態) 弧状を呈する。
(規模) 長径150cm、短径60cm。
(所見) 10～30cm大の礫が16点弧状につながる。A－25ハ土坑とA－25ニ土坑の間の土坑の上に構築。
6号配石
(位置) B′－29グリッドに位置している。
(時期) 不明。
(形態)
(規模) 長径２m、短径1.1m。
(所見) 大形礫が直線上に並ぶ。
7号配石
(位置) B′－29グリッドに位置している。
(時期) 不明
(形態) 形態は方形に近い。
(規模) 長径190cm、短径160cm。
(所見) 13号住居跡の上に構築されている。５～30cm大の礫が多数密集している。
8号配石
(位置) C′－28グリッドに位置している。
(時期) 不明。
(形態) 礫６点はまとまっているが、その他は散らばっている。
(規模) 長径130cm、短径80cm。
(所見) ５～20cm大の礫が11点ある。その中に石皿片２点がある。C′－28ル土坑の上に構築されている。
9号配石
(位置) D′－28グリッドに位置している。
(時期) 不明
(形態) 形態は菱形に近い。
(規模) 長径80cm、短径60cm。
(所見) D′－28ロ土坑やD′－28ハ土坑の上に構築されている。５～15cm大の礫15点と、半欠の石皿が出土。

第５節　屋外埋甕

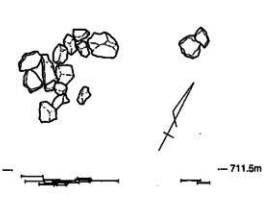
A－31屋外埋甕
(時期) 曾利V
(形態) 正位。埋甕のみを納める掘り込みをセクションで確認した。
(規模) 長径48cm、深さ44cmを測る。
(所見) 埋甕を埋設した土坑は、平面では確認できなかった。床面は平坦面なし。立上がりは急傾斜。口縁部は押しつぶされたように壊れていた。埋甕内には遺物はなかった。
A′－29屋外埋甕
(位置) A′－29グリッドに位置している。
(時期) 曾利V
(形態) 正位。埋甕のみを納める掘り込みをセクションで確認した。
(規模) 長径残存33cm、深さ残存30cmを測る。
(所見) 埋甕を埋設した土坑の平面形は確認できなかった。口縁部は欠損している。埋甕内には、土器片数点しか出土せず、特に遺物はなかった。A′－29イ土坑の上に構築。床面は平坦面なし。立ち上がりは急傾斜。



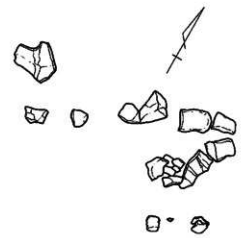
第110図　配石・屋外埋甕分布図

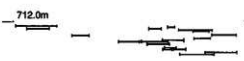


第111図　配石（1）（1／30）

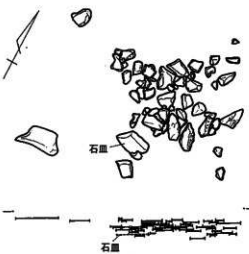


5号配石（位置は第51図中）

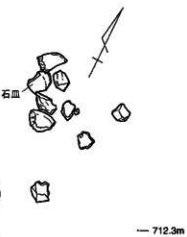




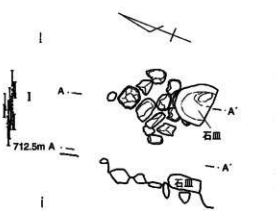
6号配石（位置は第61図中）



7号配石（位置は第61図中）
（見通し図の横線は、礫の下場レベルと見通し方向の幅を示す）



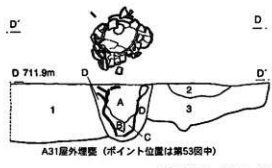
8号配石
（位置は第65図中）



9号配石（位置は第68図中）

A31屋外埋甕
1層．暗褐色土。明黒褐色土を斑文状に含む。直径2mm程度のローム粒を多く含み、直径0.2～3mm程度の木炭片粒子を含む。粘性なし。しまりやや有り。2層．1層より明るい暗褐色土。直径1mm程度のローム・木炭片粒子を含む。粘性なし。しまりやや有り。3層．明暗褐色土。直径1.5 cm程度のロームブロックをわずかに含む。直径1mm程度の木炭片も含まれる。粘性なし。しまりやや有り。A層．褐色土。直径1mm程度のローム粒子を多量に含む。粘性なし。しまりやや有り。5層．明褐黒色土。直径1cm程度の焼土ブロックを含む。粘性なし。しまりやや有り。C層．暗褐色土。直径0.1mm程度のローム粒子をわずかに含む。粘性なし。しまり弱。D層．明暗褐色土。C層と内容物同じ。粘性なし。しまりやや有り。

A'29屋外埋甕
1層．明黒褐色土。直径1mm程度のロームブロック若干、木炭片若干を含む。2層．暗褐色土。直径1mm程度のロームブロック若干を含む。3層．黒褐色土。直径1mm程度のロームブロック若干、木炭片若干を含む。4層．明黒褐色土。直径1mm程度のロームブロック若干を含む。5層．暗褐色土。直径1mm程度のロームブロック微量を含む。6層．暗褐色土。明暗褐色土混じり。5層より明るい。7層．暗褐色土。直径1mm程度のロームブロック少量を含む。5層より明るい。8層．明暗褐色土。直径5mm程度のロームブロック少量、木炭片微量を含む。9層．明暗褐色土。直径5mm程度のロームブロック若干を含む。10層．暗褐色土。直径5mm程度のロームブロック少量、木炭片微量を含む。11層．明暗褐色土。直径5mm程度のロームブロック若干を含む。



A31屋外埋甕（ポイント位置は第53図中）

A'29屋外埋甕
（ポイント位置は第56図中）

第112図　配石（2）・屋外埋甕分布図（1／30）

第４章　古墳時代、中・近世の遺構

第１節　古墳時代の掘立柱建物址

１号掘立柱建物址

(位置)　B′－28・29、C′－28・29グリッドに位置している。

(時期)　古墳時代。

(形態)　形態は長方形（１間×２間）を呈する。

(規模)　規模は長さが4.69m，幅が3.70mを測る。

(所見)　ピットからの遺物は、縄文土器が多いが、昨年度の調査結果から、古墳時代前期のものと思われる。B′－28　イピット　55cm×50cm×42.7cm、径25cm、深さ46cmのピットに切られる。B′－29　イピット　50cm×50cm×18.4cm、　ロピット　55cm×39cm×32.1cm、底部に段・極めて堅い部分あり。B′－29　ハピット　53cm×48cm×20.3cm、B′－29　ニピット　48cm×48cm×35.4cm、底部に極めて堅い部分あり。C′－28　イピット　49cm×45cm×47.6cm、底部に極めて堅い部分あり。覆土は全て黒褐色土。出土遺物は、ほとんどが縄文土器で、古墳時代の土器はほとんどなかった。

Ｂ－28　イピット

(位置)　Ｂ－28グリッドに位置している。

(時期)　古墳時代。

(形態)　形態は円形を呈するものと考えられる。（半分調査区外なので形態は推定）

(規模)　規模は長径42cm，短径残存28cm、深さ23.6cmを測る。

(所見)　掘立柱建物跡のピットの１つと思われる。覆土は黒褐色土。立ち上がりは直。

第２節　中・近世の遺構

１号溝

(位置)　Ｂ－27・28、Ａ－24～28、Ａ’－23～26グリッドに位置している。

(時期)　工具痕や軟質の覆土から中・近世の所産と思われる。

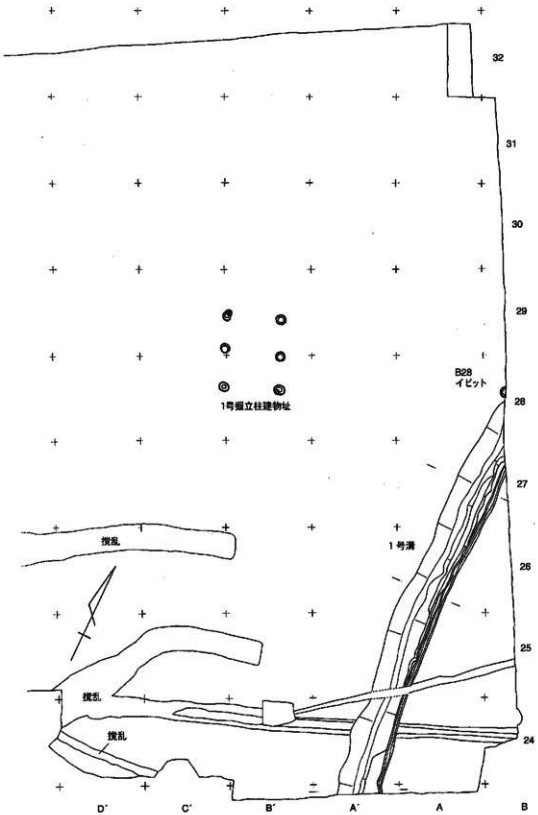
(形態)　太い溝と細い溝がペアとなっている。南北に少し弧を描きながらのびている。

(規模)　規模は長さが約22.7m，幅が約2.5m、深さが約50cmを測る。

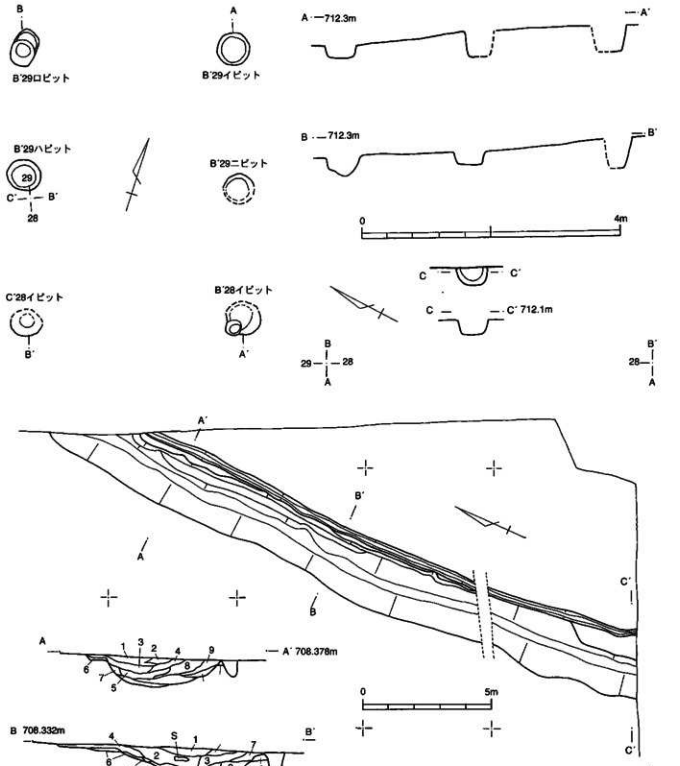
(所見)　太い溝のすぐ脇を細い溝が通っている。

[太い溝]　幅約２m、深さ約50cm。立ち上がりは緩やかであり、明確な稜線はない。壁がテラス状になっている所もある。覆土は、黒褐色土で、徐々に堆積したと思われる。

[細い溝]　幅約30cm、深さ約20～40cm。立ち上がりは直である。底部に二本鍬のようなものの工具痕があり、それから、体を北に向け、工具を振り降ろしたと思われる。覆土は、黒褐色土だが、黄褐色ロームブロックを極めて多く含む。一気に埋められたと思われる。出土遺物は、ほとんどが縄文土器や礫である。



第113図　古墳時代，中・近世の遺構分布図



1号溝A—A' ライン

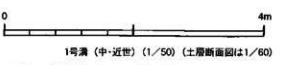
1層、黒褐色土、直径1cm程度のローム粒を若干含む。2層、暗褐色土、直径1cm程度のローム粒を少し含む。3層、暗褐色土、2層より暗い。4層、暗褐色土、2・3層より明るい。直径1cm程度のローム粒をやや多く含む。5層、黒褐色土、暗褐色土混じり。6層、暗茶褐色土、暗褐色土混じり。直径1cm程度のローム粒を若干含む。7層、暗茶褐色土、黒褐色土混じり。8層、暗褐色土、4層より明るい。直径1cm程度のローム粒を多く含む。9層、暗褐色土、8層よりやや明るい。直径1cm程度のローム粒をやや多く含む。10層、暗茶褐色土、暗褐色土混じり。直径2cm程度のローム粒を若干含む。11層、暗褐色土、9層より明るい。直径1cm程度のローム粒をやや多く含む。12層、暗褐色土、11層より明るい。直径1cm程度のローム粒を少し含む。13層、淡暗褐色土、14層、黒褐色土、黄褐色ロームブロックを極めて多く含む。人的に埋められた感じ。

1号溝B—B' ライン

1層、黒褐色土、暗褐色土混じり。2層、黒褐色土、1層より明るい。暗褐色土混じり。3層、暗褐色土、黒褐色土混じり。直径1cm程度のローム粒をやや多く含む。4層、暗褐色土、3層より暗い。黒褐色土混じり。5層、黒褐色土、黄褐色土混じり。6層、淡暗褐色土、黄褐色土混じり。7層、暗褐色土、3層より暗い。直径1cm程度のローム粒を少し含む。8層、淡暗褐色土、水成片を少し含む。9層、暗褐色土、7層より暗い。直径1cm程度のローム粒をやや多く含む。10層、暗褐色土、3・7層より明るい。直径1cm程度のローム粒を若干含む。11層、黒褐色土、黄褐色ロームブロックを極めて多く含む。暗褐色土混じり。人的に埋められた感じ。12層、黒褐色土、1層より明るい。直径1cm程度のローム粒をやや多く含む。

1号溝C—C' ライン

1層、暗褐色土、直径1cm程度のローム粒を少し含む。2層、黒褐色土、暗褐色土が少し混じる。3層、暗褐色土、黒褐色土混じり。4層、暗褐色土、3層より明るい。直径1cm程度のローム粒を少し含む。5層、暗褐色土、直径1cm程度のローム粒を若干含む。6層、黒褐色土、暗褐色土混じり。直径1cm程度のローム粒を若干含む。7層、暗褐色土、直径1cm程度のローム粒をやや多く含む。黒褐色土混じり。8層、暗褐色土、黒褐色土混じり。ローム粒を若干含む。9層、暗褐色土、8層より明るい。10層、淡暗褐色土、黒褐色土混じり。11層、暗褐色土、水成片を若干含む。直径5cm程度のローム粒を若干含む。黄暗褐色土が少し混じる。12層、暗褐色土、11層より暗い。直径5cm程度のローム粒を若干含む。13層、暗褐色土、19層より明るい。直径1cm程度のローム粒を少し含む。14層、黄褐色土、暗褐色土混じり。15層、淡暗褐色土、16層、淡暗褐色土、直径1～5cm程度のローム粒を若干含む。しまりあり。17層、黒褐色土、黄褐色ロームブロックを極めて多く含む。人的に埋められた感じ。18層、暗褐色土、7・9層より明るい。



1号溝（中・近世）（1／50）（土層断面図は1／60）

第114図　古墳時代、中・近世の遺構

報告書抄録

ふりがな	さけのみばいせき（だいさんじ）
書名	酒呑場遺跡（第３次）
副題	酪農試験場増・改築工事に伴う発掘調査報告書（遺構編－前編）
シリーズ名	山梨県埋蔵文化財センター第１３６集
編著者名	保坂康夫・村松佳幸・五味孝広
発行者	山梨県教育委員会
編集機関	山梨県埋蔵文化財センター
所在地・電話	〒400-1508　山梨県東八代郡中道町下曽根９２３　055-266-3016
印刷所	（株）峡南堂印刷所
発行日	１９９７年３月２５日
所在地	山梨県北巨摩郡長坂町長坂上条６２１－２他
	25,000分の1地形図　長坂上条
	位置　東経138°22′16″ 北緯35°48′58″ 標高 712m
	市町村コード　19405
調査原因	酪農試験場増・改築
調査期間	１９９６年４月１５日～１１月１３日
調査面積	３０００㎡
縄文時代	
主な遺構	竪穴住居跡５９軒、土坑１７００基、配石９基、炉址１３基、屋外埋甕２基
主な遺物	土器・石器コンテナ７００箱
	（土偶、ミニチュア土器、器台形土器甕形土器、琥珀玉、装飾品などを含む）
古墳時代	
主な遺構	掘立柱建物址１棟、小ピット１基
中・近世	
主な遺構	溝状遺構１条
特記事項	掘削工具痕が良好に残存し、掘削方向なども推定可能。

山梨県埋蔵文化財センター調査報告書　第136集

酒呑場遺跡（第３次）

酪農試験場増・改築工事に伴う発掘調査報告書（遺構編－前編）

印　刷　1997年３月10日
発　行　1997年３月25日
編　集　山梨県埋蔵文化財センター
発　行　山梨県教育委員会
印　刷　㈱峡南堂印刷所